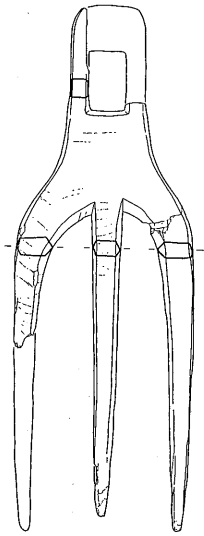


太宰府市の文化財 第31集

# 太宰府・佐野地区遺跡群VI

— 雛川遺跡第1次調査 —



1 9 9 6

太宰府市教育委員会

太宰府の文化財第31集 正誤表

2 ページ	埋蔵文化財係長 和田	文化財保護係長 和田敏信
-------	------------	--------------

# 太宰府・佐野地区遺跡群Ⅵ

太宰府都市計画事業佐野土地地区画整理  
に伴う埋蔵文化財調査報告書(6)

1 9 9 6

太宰府市教育委員会



雑川遺跡全景西より



1SK020



1SX060付近

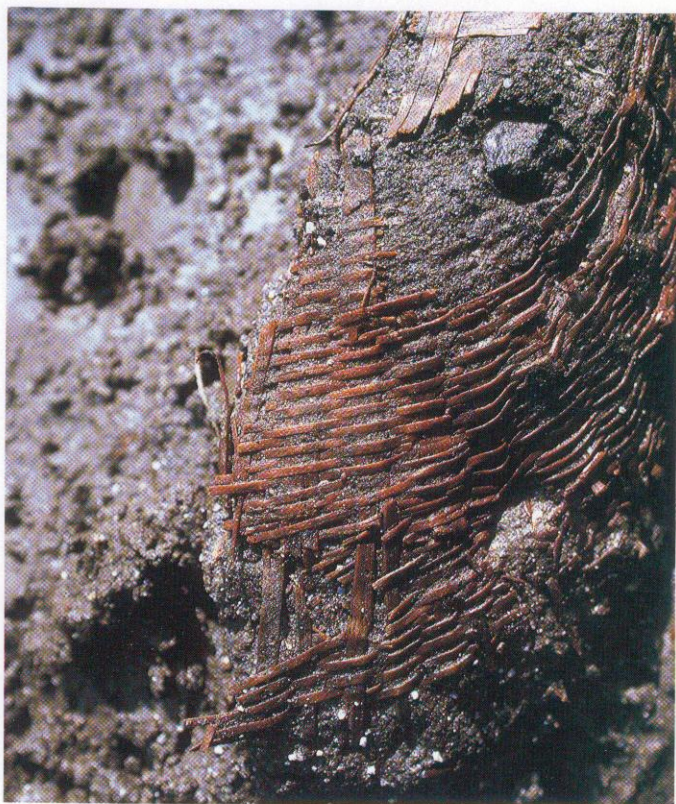




1SX001黒灰土出土「うけ」



「編かご」







## 序

本書は、太宰府市の西郊で行なわれている佐野土地区画整理事業に伴います一連の発掘調査のうち、昭和63年度に実施いたしました雛川遺跡の第1次調査についてまとめたものであります。

佐野地区の調査としては2番目に行なったものであり、まだこの地域が太宰府の歴史の中でいかなる位置を占めるかがまったく分かっていなかったころであり、日々出土する遺構や遺物はそれぞれに新たな事実を教えてくれました。なかでも青銅製の釧は全国的にみても類例は少なく当時の社会の実相復原に貴重な資料を与える結果となりました。

発掘調査はわき出る水との戦いのなかで行なわれましたが、地元大佐野・向佐野をはじめとする作業員の皆さんの並々ならぬ努力のおかげをもちまして、無事調査を終了することができました。感謝申し上げる次第であります。

ささやかな一冊ではありますが、学術研究はもとより文化財の保護、啓発にお役立ていただければ幸いです。

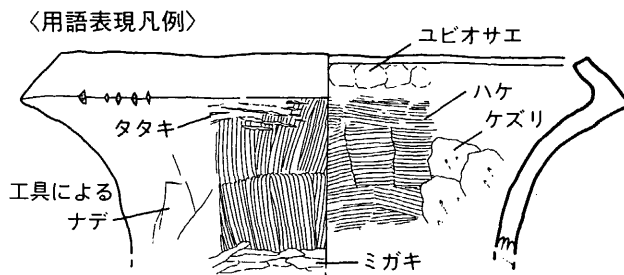
平成 8 年 3 月

太宰府市教育委員会

教育長 長 野 治 己

# 例 言

1. 本書は、太宰府市教育委員会が昭和63年度に実施した太宰府都市計画事業佐野土地区画整理に伴う大佐野・雛川遺跡第1次調査の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 調査は昭和63年4月1日から4月26日まで実施した。その補足調査を同年7、8月におこなっている。  
地番は福岡県太宰府市大字大佐野字雛川21-1、48-1、49-1.2、50である。
3. 調査の関係者は第I章に記載したとおりである。
4. 検出遺構の実測及び写真撮影は、狭川真一・山村信榮・永見秀徳、出土遺物の実測は、土器、木器、石器は山村信榮、境一美、鶴味加代子、西村晴香が、金属器は山村信榮がおこなった。製図は実測者の他、谷由紀子、上村英士がおこなっている。出土遺物の写真撮影は岡紀久夫と一部を山村が撮影した。検出遺構の空中写真撮影は、(旬)空中写真 稲富が行なった。また、検出遺構の全体図(配置図)作成は太宰府市教育委員会がおこない、一部をアジア航測株式会社福岡支店に委託した。
5. 遺構実測図及び遺構配置図はすべて国土調査法第II座標系を基準としている。よって図中に示される方位は特に注記のない限り座標北(G.N.)を指している。
6. 出土した青銅製釧のレントゲン撮影は、奈良大学保存科学研究室西山要一先生にお願いした。
7. 本書の執筆、編集は山村信榮がおこなった。



# 目 次

1. はじめに	1
2. 周辺地形の概要	3
3. 調査の概要	7
(1) 埋没環境	7
(2) 調査の手法と遺構の概要	8
(3) 検出遺構	12
土 壙	12
溝	13
その他の遺構	13
(4) 検出出土遺物	19
1 土 器	19
2 木 製 品	71
3 石 製 品	90
4 金 属 製 品	95
5 観 察 表	96
4. 小 結	
各遺構の年代と所見	118
土器の様相について	119
瀬戸内系土器について	119
木製品について	121

# 1. はじめに

『太宰府・佐野地区遺跡群Ⅰ』（太宰府市の文化財 第14集）でも記載したとおり、太宰府市西郊の佐野地区における区画整理事業は、昭和63年度から一部工事を着工した。工事に伴う発掘調査は昭和62年度から着工し、当初計画では常に工事の1年前に発掘に着手できる予定であったが、諸事情から必ずしもうまく開始できず、今回の報告分である籬川遺跡第1次調査地点も、先に報告を終えている原口遺跡第1次調査地点同様、昭和63年度の工事着手地点であり、工事着手直前に調査がcaろうじて終了した様な状況である。

以後毎年、年間を通じて発掘調査は続いている。そのなかで向佐野地区の前田遺跡は弥生時代前期及び後期の集落、奈良時代の官道など太宰府市内でも有数の遺跡の一つとなり、同じく宮ノ本遺跡は以前から知られる買地券を保有する墳墓だけでなく、奈良時代から平安時代中頃の一大官人墓地であることも判明した。大佐野地区では尾崎遺跡・脇道遺跡が弥生時代から古墳時代にかけての一連の大集落遺跡である可能性も考えられるようになるとともに、脇道遺跡第2次調査地点では5世紀後半頃の貯木場跡とみられる遺構が検出されたり、その上層から奈良時代前半とみられる木簡が出土するなど、こちらも話題性に富んだ遺跡が相次いで発見される結果となった。

しかしながら大きな発見に反して遺構の保存は思うにまかせず、前田遺跡の官道の一部が公園の下に残されることになったほかは目だった保存措置は行なわれておらず、削平の憂き目に遭わなかった遺構群もほとんどが宅地の下に再び眠ることとなってしまったのは残念である。

さて、今回報告する籬川遺跡第1次調査地点は標高34m付近にあり、大佐野川によって開析された小谷から続く低位な沖積平野の一角に位置する。現在は県道32号線によって分断されているが、大佐野集落の南方、天拝山から北に派生する丘陵の裾部分に展開する。

第1次調査は、県道で分断された東側の地点に位置する。現在の地番は、福岡県太宰府市大字大佐野字籬川で、現地での調査は昭和63年4月1日から4月26日まで実施した。また、その補足調査作業を7、8月におこなっている。

整理事業は調査終了後随時実施し、主たる整理は平成7年度を充てた。

第1次調査の現地調査及び整理の組織は以下のとおりである。

(調査当時)

調査主体 太宰府市教育委員会

総括 教育長 藤 壽人

庶務担当 社会教育課長 花田勝彦

文化財係長 鬼木富士夫

主 事 岡部大治 白水伸司

技 師 山本信夫 狭川真一 (調査担当)

緒方俊輔 (囑託) 山村信榮 (調査担当)

発掘調査作業員

田中平助 田部澄博 萩尾昇 萩尾泰祐 八柳健之助 藤原重人 斉藤徳美 三上智久 太田ヤス子 高鍋キミヨ 古川トミ子 古川民子 古川ヨシ子 宮原ハナエ 山本洋子 大田敬子 宮原圭子 柴田ツキエ 岩男澄子 早田ミツル 中嶋幸子 中嶋さなみ 米原峰子 宮田恵子 岸邦子 川原田美千代 高原改良子 白木ハルミ 大迫フミ子 江島スミエ 戸渡洋美 萩尾須磨子 萩尾カネ子 田中テル子 中島タキノ 中島タカ子 中嶋はじめ 松島順子 白水いせの 徳永モモエ 田原智恵子 山下澤子 渡辺ひとみ 花園美千代 楠林静香 吉田正子 大久保悦子 植村奈留美 藤城泰 (現東大阪市文化財協会) 瀬口真司 (現滋賀県文化財協会) 山本孝浩

発掘調査補助員 永見秀徳 (現在筑後市教育委員会) 山田富美

(整理)

総括 教育長 長野治己

庶務担当 教育部長 白木三男

文化課長 花田勝彦

埋蔵文化財係長 和田

主任主事 岡部大治

主 事 今村江利子

主任技師 山本信夫 狭川真一

城戸康利 中島恒次郎

山村信榮 (整理担当)

技 師 井上信正 高橋 学

(囑託) 下川加代子 (保存処理) 松川博一

整理作業員

林美知子 中村房子 菊武淑子 武堂年子 小西晴代 鶴味加代子 境一美 黒木美幸 西村晴香

調査及び整理に際して次の方々からご教示、ご指導を賜った。文末になったが記して感謝の意を表したい。(五十音順、敬称略)

小田富士雄(福岡大学) 三谷拓実(奈良国立文化財研究所) 斎野裕彦(仙台市教育委員会)  
山口譲二(福岡市教育委員会) 奥村俊久(筑紫野市教育委員会)

## 2. 周辺地形の概要

太宰府市は北に玄海灘を臨む福岡平野の南の最深部にあり、籬川遺跡は福岡平野より溝状の低地帯となり有明海に繋がる北筑後の平野部に通じる狭い平野部の西に位置する。河川はこの遺跡の南約2キロで分水嶺となった箇所を南北の各平野に注ぎ、籬川遺跡は博多湾に北流する二級河川御笠川の支流である大佐野川の東岸に当たる。報告する佐野地区の遺跡群はこの河川が形成した小地形に寄生して形成されたものである。

太宰府市域の溝状の平野部には小規模であるが弥生前期から集落跡が散在している(第1図参照)。本報告の佐野地区には前期板付式期前半に属す前田遺跡、板付式期後半に属す原口遺跡、後期のやや規模が大きな集落の前田・宮の本遺跡、籬川遺跡の南には前期の剣塚遺跡、後期の脇田遺跡などが見られる。平野の北側には筑前国分寺周辺を中心に展開する松本遺跡、大宰府史跡周辺の谷や丘陵部に展開する一群(特定の遺跡名称はない。前期の遺物が目立つ)、観世音寺周辺の後期終末の遺物が散見するエリアなどが揚げられる。また、市域の南東部の丘陵地帯には前期から中期にかけての般若寺、峰・峰畑遺跡や高雄(吉ヶ浦)遺跡がある。これらの遺跡は遺跡の継続性や水系などの地理的關係などからおおまかに佐野地区、国分寺周辺地区、大宰府史跡地区、高雄周辺地区に区分できる。弥生中期においては国分寺周辺地区は御笠川水系に属す点や青銅器の鋳型を保有している点で春日市須玖岡本遺跡を中心にした青銅器生産を集中的におこなっていた遺跡群の系列で捉えられる。高雄周辺地区には鏡と剣を副葬した厚葬墓を持つ峰遺跡があり、水系としても北筑後に属するため、前者とは一線をかくすものと思われる。佐野地区と大宰府史跡地区は中期の遺構が顕著に調査されていないため南北のいずれの系列に属すものかは判然としない。これらの弥生中期遺跡の大半は「須玖式」と称される土器様式が解体すると伴に終息するものが多く、後期の集落はことなる立地で展開するケースが多い。後期の住居跡が50棟以上検出された佐野地区の前田・宮の本遺跡でも中期に属す遺構は1割を切っている。後期の集落も前半から中頃の遺構は少ない傾向があり、後半から終末にかけて肥大化している。これらは「布留式」土器の古段階以降は再び終息し、5世紀の集落の様相は霧中にある。

籬川遺跡を発掘調査するに先だって、遺構の残存状況を把握すべく開発対象地区である字尾崎、字篠原、字籬川、字フケの約25,000m<sup>2</sup>について試掘調査を実施した。試掘調査の概要は先に



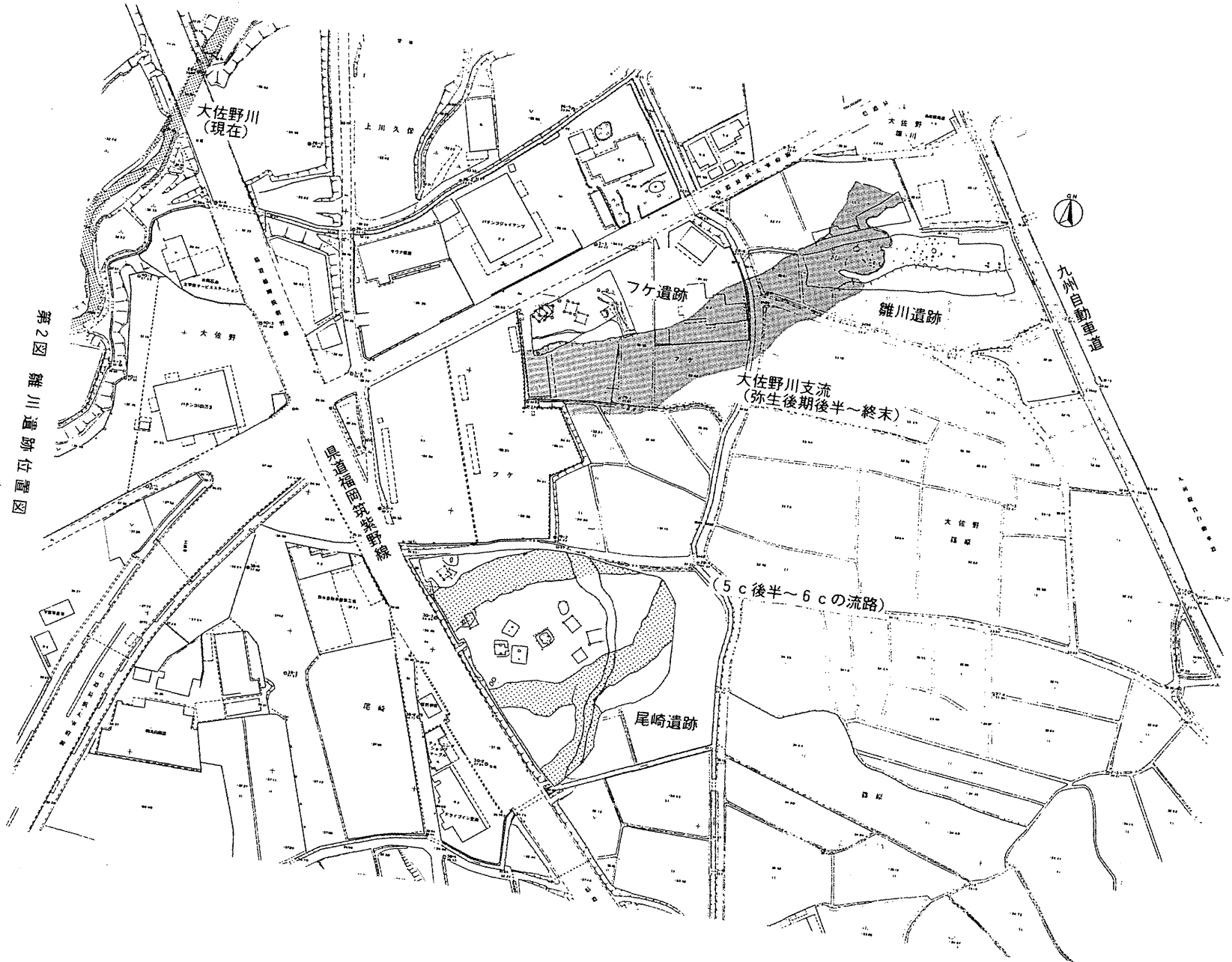
第1図 太宰府市周辺の弥生遺跡 (1/25,000)



報告した尾崎遺跡（「太宰府・佐野地区遺跡群3」1993年）で詳しく報告している。

試掘調査は水田一面に対して1～2本程度のトレンチを設定し、機械力を用いて掘削した。トレンチは51箇所にあつた。トレンチは、水田の耕作土をすべて除去した段階から掘削を開始している。以下に各トレンチの状況を簡単に報告しておく。なお、No.1～11は籬川遺跡第1次調査地点にあたる。その結果この試掘対象地域の籬川遺跡1次調査、尾崎遺跡1次調査以外の地点は安定した地盤は残っており、ほとんどすべてが沖積世中に水流の堆積物に形成された地盤であると考えられる。この流は大佐野地区の南側の丘陵地帯から流れ出る、大小の河川によって形成された流路であったとみられ、長い年月の間にいくつにも流れを変化させながら現在の大佐野川に集約されるものに至るとみられる。表層の散布している遺物を観察すると原始古代から近代にいたるまで連綿と文化物資の消費がこの地域でおこなわれてきたことを示しているが、特に水田地化したと考えられる中世以降は堆積作用も緩慢で、繰り返しばほ同じレベルで耕作が続けられてきたものと考えられる。

今回報告する籬川遺跡も砂と粘土の互層上に形成されている。遺構は溝、柱穴、土壌と低湿地（ISX001）に形成された貯木施設などが検出されている。この低湿地は今回報告分以外に西側と（フケ1次）北側（籬川2次）でも検出されている。フケ1次はこの低湿地の上流に当たり、籬川2次は低地の立ち上がりが見出されており、全体の形状は北側の大佐野川に沿う形に復原され、この低湿地が大佐野川の自然堤防沿いの後背湿地である可能性が指摘できる。



第2図 雛川遺跡位置図

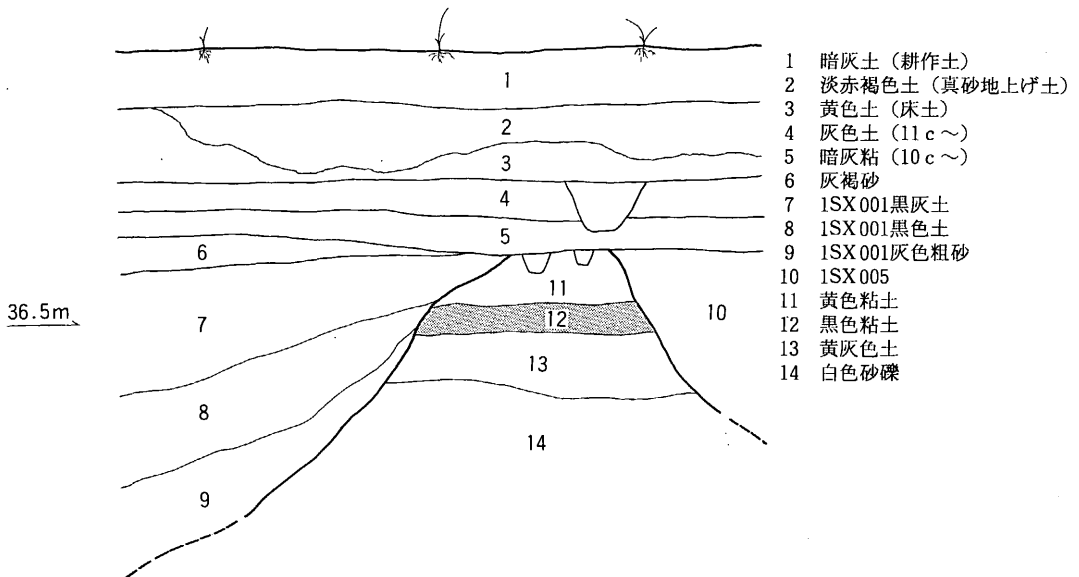
### 3. 調査の概要

#### (1) 埋没環境

雑川遺跡全般の埋没環境は第3図に示すとおりである。上から現代耕作土の暗灰土、その下に水田面を地上げた際の盛り土である淡褐色土（いわゆる真砂土と呼ばれる花崗岩風化土）、耕作土の床土である黄色土、遺物包含層である灰色土（近世耕作土？）、暗灰粘土（平安時代？）が広く堆積している。1SX001上に灰褐色砂が見られた。1SX001が検出されるレベルの地盤は黄褐色粘土で、地表下約70cmに黒色の粘土層が厚さ約20cmで検出された。この層は九州大学の下山学助教授によって採取され、放射性炭素を用いた年代測定で12,440±190年（GaK-13876）というデータが提示され、同一層位と目される原口遺跡1次調査の層位で抽出した資料の鉙物分析した京都大学の竹村恵二教授は、鉙物中にASO-4火山ガラスが含まれると報告している（太宰府市文化財報告第14集P15、55～70参照）。この黒色粘土層の下位にも河川堆積によるものと考えられる砂層が確認されている。



第3図 暗灰粘土出土土器



第4図 雑川遺跡土層模式図

## (2) 調査の手法と遺構の概要

太宰府市では大宰府条坊跡での調査によって一貫した調査手法が確立しており、佐野地区遺跡群についても基本的に同じ手法がとられている。その概要については「太宰府・佐野地区遺跡群 1」1989年で述べているが、本報告の籬川遺跡は実質26日間と調査期間が限られた上、低湿地の調査であったこともあり多少対蹠的に対応した部分もあり、改めて当時の調査について触れておく必要があると考える。

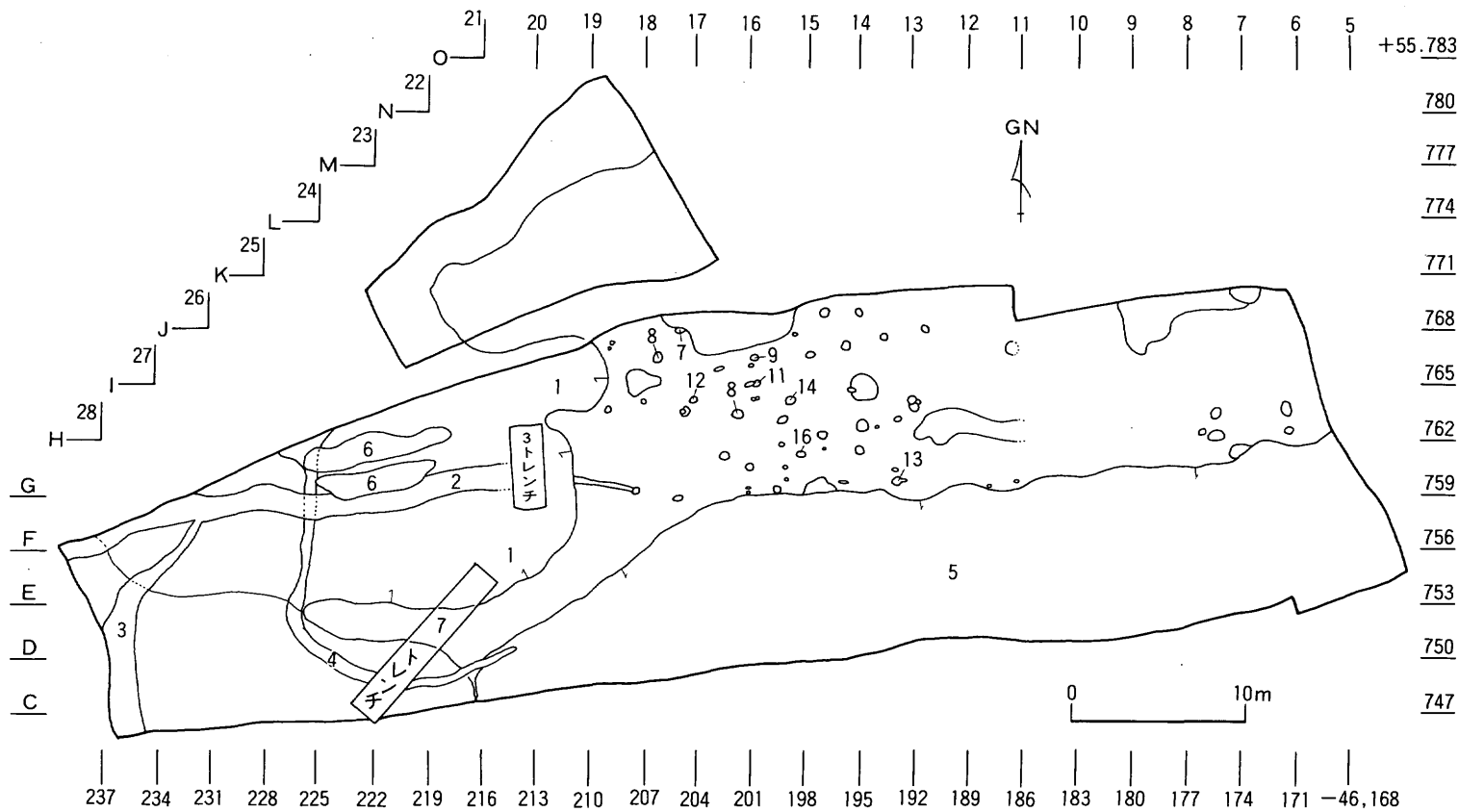
前述の試掘調査の所見に従い調査範囲を設定した後、調査範囲の表土の除去作業は遺構の輪郭が確認されるレベルまで重機によって除去している。1SX001が確認されたことで遺構の広がりや農業用水路を挟んで北側の隣接地に延びる可能性が出たため、後日、予定の調査範囲を北側に拡張した。この際、1SX001の埋土である黒色土の上位まで機械力で除去している。

人力による遺構確認、掘り下げに先だって国土座標を用いた測量基準点の設定をおこない、これに基づいて3mの方眼メッシュを組み、その交点ごとに実測のための杭を打っている。メッシュの呼称は北に向かって(X軸+方向)A, B, Cの順で、西に向かって(X軸-方向)1, 2, 3とし、グリットの呼称は南東角の交点の記号を(B12など)用いている。

遺構の検出をおこない掘り下げの前に1/100の遺構略図を順次作成し、仮のS-番号を付与し遺構の掘り下げをおこなっている。番号の台帳化は現場でおこなっている。今回の調査では担当者の未熟さのため底湿地内での分層と遺物の取り上げに一貫性を欠く状況があり、遺構図や遺物の提示については大まかな程度でしか表現できなかった。遺構の実測は個別的に対処し、全体を一括して1/50のスケールで写真測量をおこなっている。写真撮影には当時はヘリコプターの実機でおこなっていた(現在では模型ヘリを使用している)。写真の記録はメモレベルのものを35mmモノクロ、カラー・リバーサル二種でおこない、正式な記録には最低6×7版のモノクロとカラー・リバーサル二種でおこなっている。

遺物整理は総ての破片を報告者が選別・台帳化し、復原、実測をおこなっている。今回は調査から報告までに8年が経過しており、木製品の実測と写真撮影が困難な個体が多く、反省すべき点として記しておきたい。

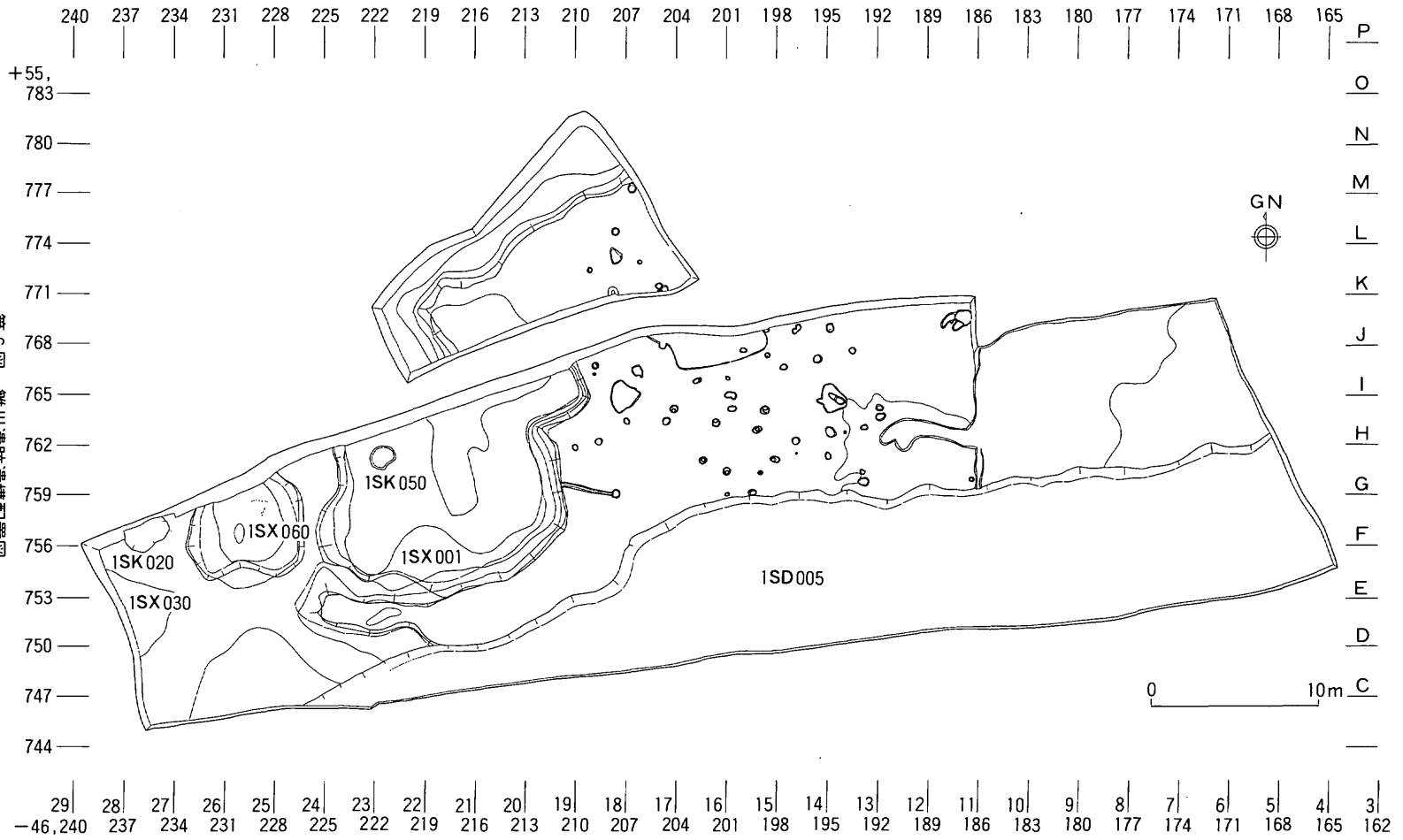
第5図 雄川遺跡遺構略図



第1表 遺構番号台帳

S番号	遺構番号	種 別	時 期	地 区
1	1SX001	低 湿 地	弥生時代後期～古墳時代前期	
2	1SD002	溝	奈良～	G20-26
3	1SD003	溝	弥生時代後期～古墳時代前期	C-F28
4	1SD004	溝	12世紀～	C-D20-25
5	1SD005	溝	奈良～	
6		溜まり状	現代	GF23,24
7		ピ ッ ト	12世紀～	I17
8		ピ ッ ト	弥生時代後期～古墳時代前期	I17
9		ピ ッ ト	奈良～	I15
10		溜まり状	弥生時代後期～古墳時代前期	F27
11		ピ ッ ト	弥生時代後期～古墳時代前期	I15
12		ピ ッ ト	弥生時代後期～古墳時代前期	F27
13		ピ ッ ト	奈良～	G13
14		ピ ッ ト	弥生時代後期～古墳時代前期	H15
16		ピ ッ ト	奈良～	G15
17		ピ ッ ト		(北 区)
18		ピ ッ ト		(北 区)
19		ピ ッ ト		(北 区)
20	1SX020	土器溜まり	弥生時代後期～古墳時代前期	F27
30	1SX030	杭 列		
50	1SK050	貯 蔵 穴	弥生時代後期～古墳時代前期	G22
60	1SX060	杭 列		

第6圖 雉川遺跡遺構配置圖

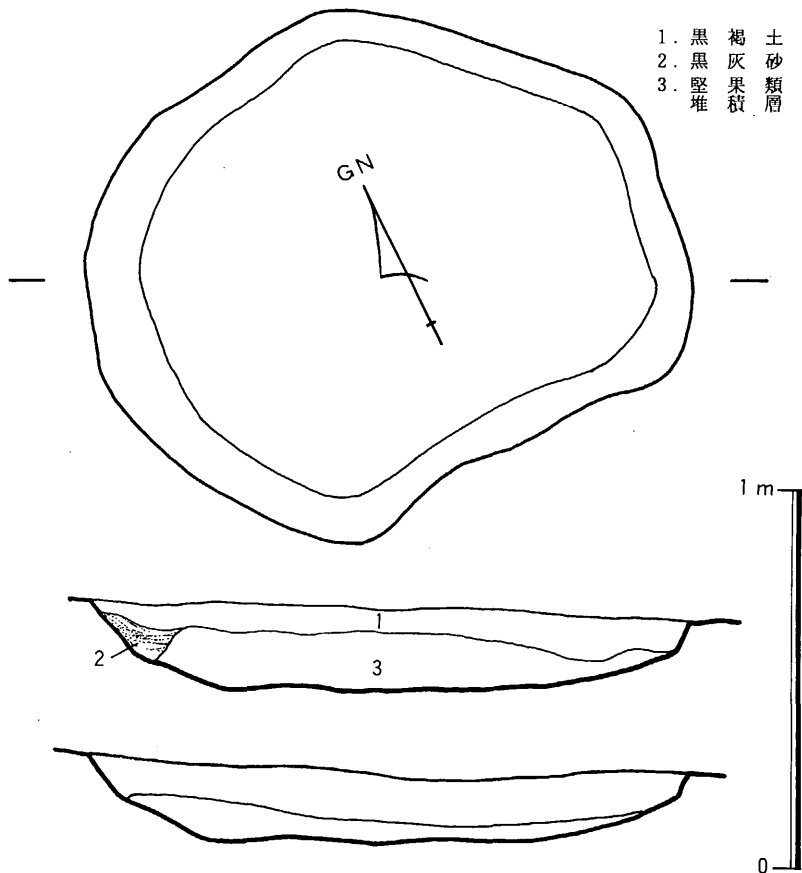


### (3) 検出遺構

土 壙

1SK050 (第7図、図版4)

調査区西側の後述する1SX001黒色土を除去した時点で検出した土壙で、 $1.6 \times 1.3 \times 0.3\text{m}$ を計る。上10cmは黒色土が全面に堆積し、その下に約20cmの厚みで堅果類、いわゆるどんぐりが詰まっていた。土層観察では西側の部分の黒色土とどんぐりとの間に水流があったことを示す縞状の砂層があり、堆積していたどんぐりの上半部は流されその後に黒色土が堆積したものと考えられる。今回は種子の品種同定の報告はおこなえないが、可食とされる榧類に混じってチャンチンモドキなどの食に適さない品種も見られるようである。いわゆる「帽子」を被ったままのものが多く見られる。



第7図 1SK050 実測図



溝

1SD002

調査区西側の後述する1SX001黒色土の上を西から東に向かって流れる幅1 mほどの小さなごく浅い溝で、G20区付近でプランがなくなっている。8世紀の諸産と思われる須恵器の蓋の破片が出土しているが、同安の碗を出した1SD004を切っている。

1SD003

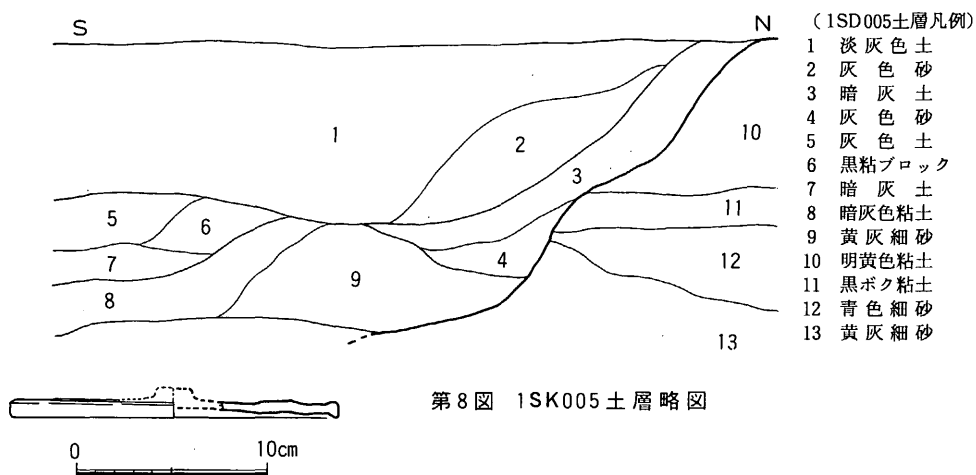
調査区の西側を南から北に向かって流れる幅1 mほどの浅い溝。

1SD004

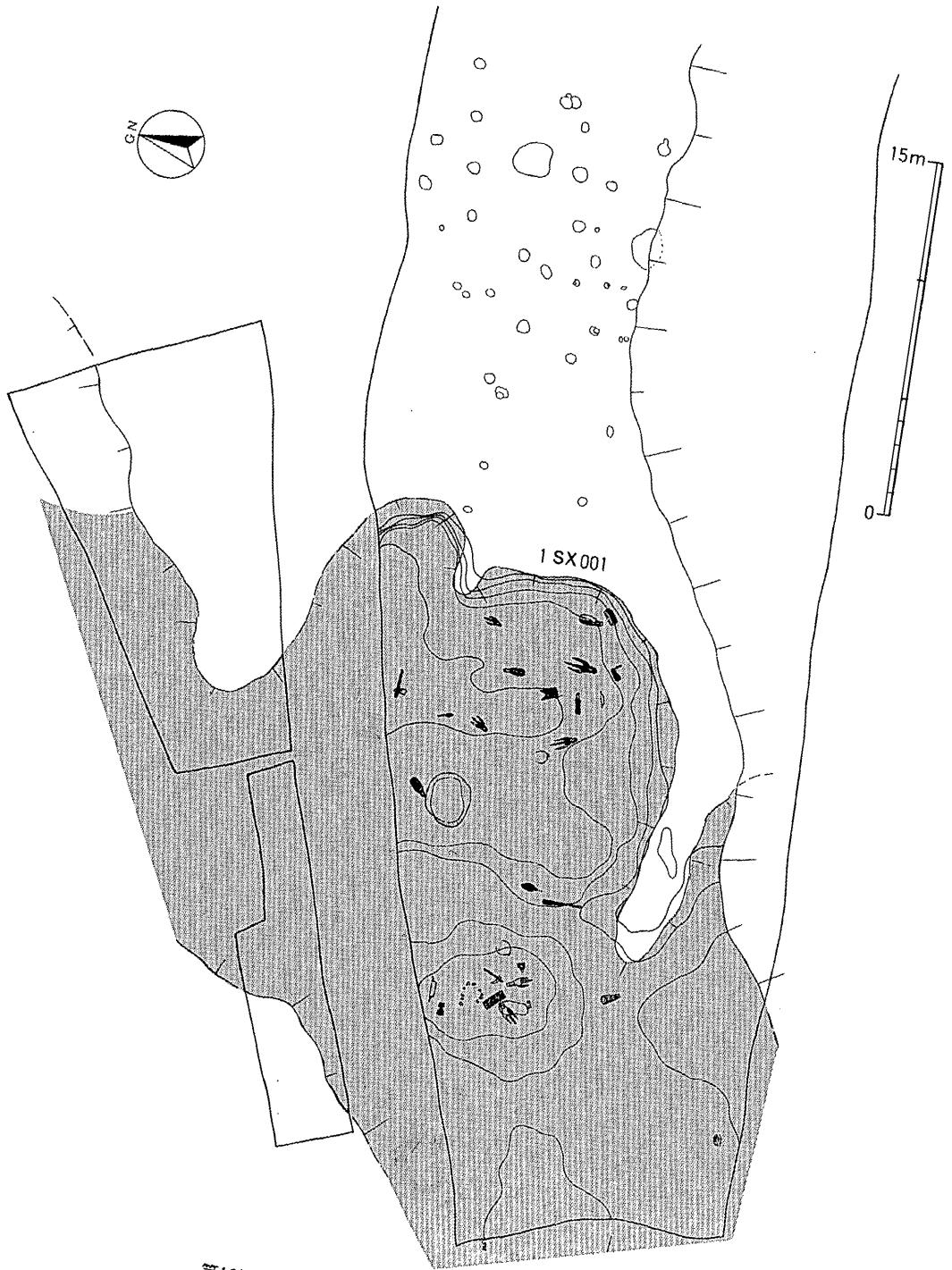
調査区の西側を南から北に向かって流れる幅0.8mほどの小さな溝である。遺物は同安の碗片を出している。

1SD005 (第8図)

調査区の西から東に向かって流れる溝で、白色の粗砂層とシルト質の灰色土で覆われる。奈良時代の須恵器坏蓋片が出土している。



第9図 1SK005土器実測図



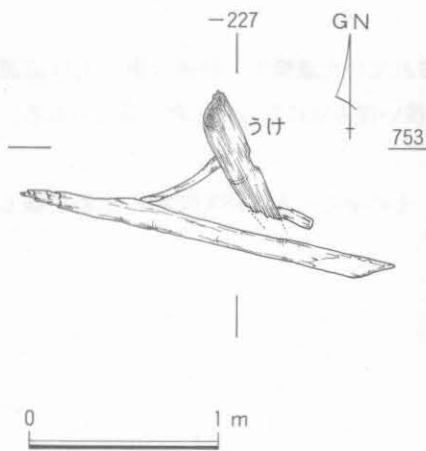
第10図 1SX001 全体図



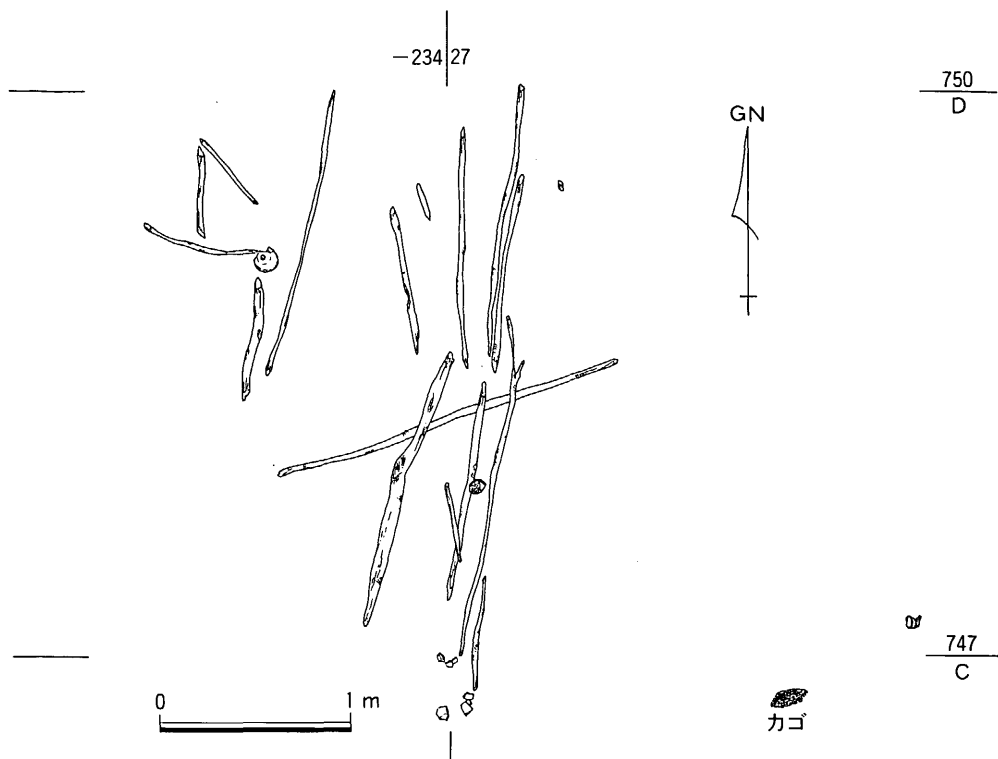
第11図 1SX001黒色土F19付近実測図

762  
H

759  
G



第12図 1SX001黒色土D24付近実測図



第13図 1SX001黒色土C27付近実測図

1SX006

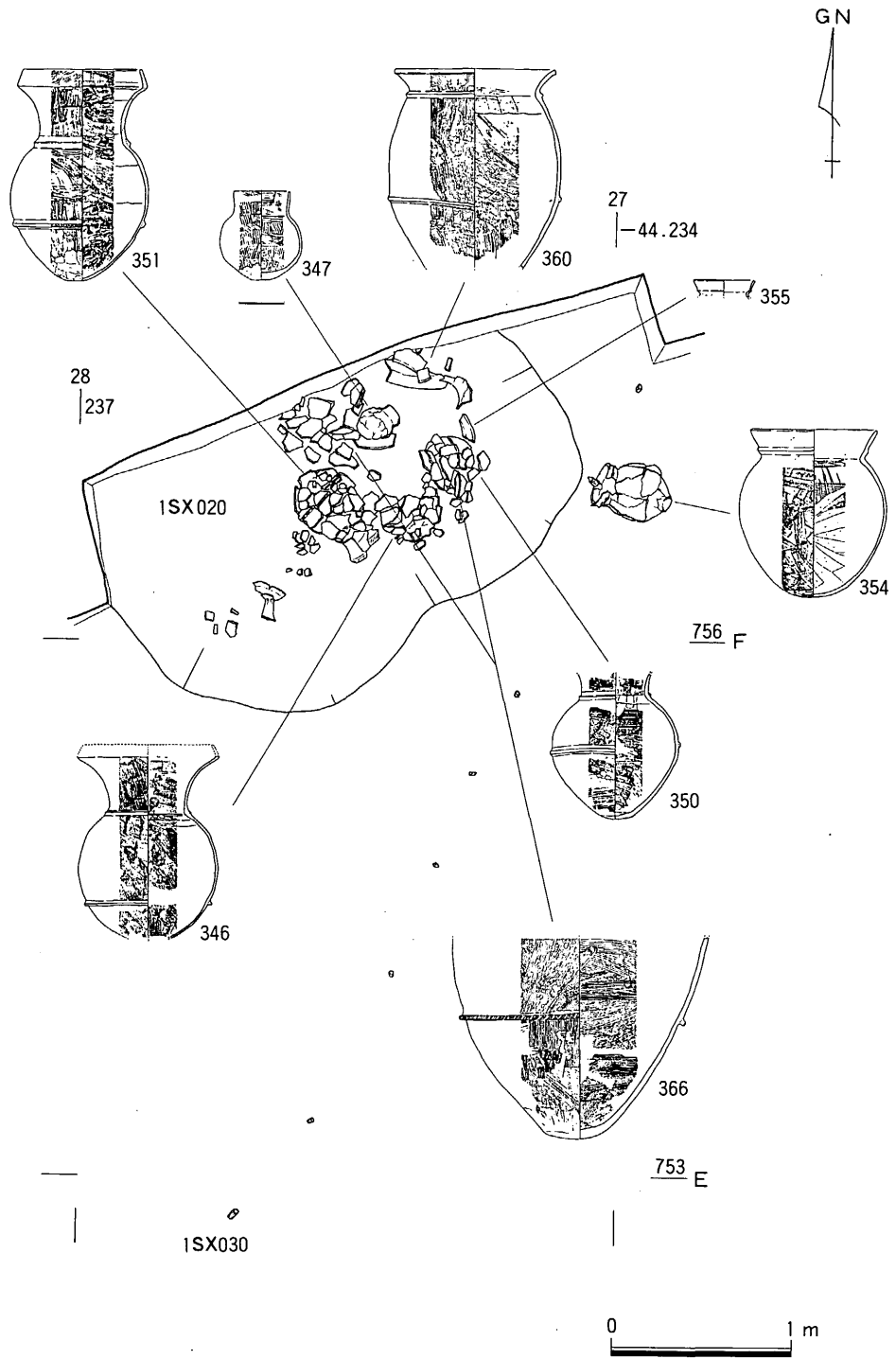
1SX001上で検出した二つの浅い溜まり状遺構で、中世後半期の土器、陶磁器の小片が出土している。この時期の遺構は周辺では全く見られない。

1SX020 (第14図、図版7)

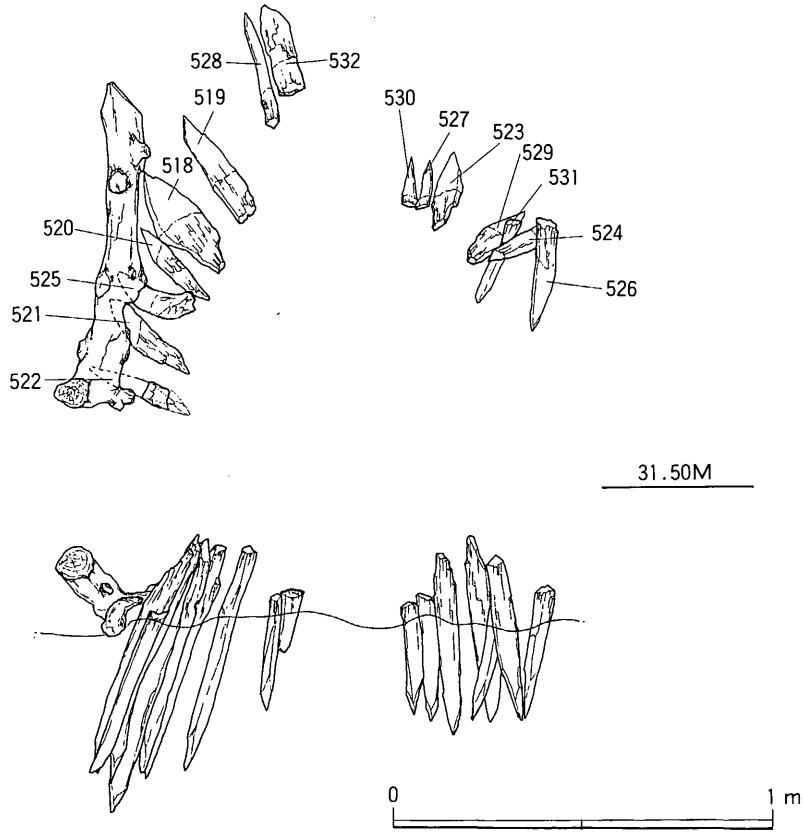
1SX001黒灰土を除去した時点で検出した土器が集積されていた遺構で、明確な掘り方は認識できなかったが、土器片の出方から遺構のベースはごく浅い窪み状になっていたと考えられる。

1SX030 (第14図)

1SX001黒色土の上から打ち込まれた杭の列状遺構で、その中の一本が1SX0020の土器を壊している。



第14図 1SK020, 1SX030実測図



第15図 1SX060 実測図

1SX060 (第15図、図版6)

1SX001黒色土を除去した時点で検出した16本の杭をU字に打ち込んで造られた施設で、杭は内側に傾けて打ち込まれている。1SX001の中でも円形に窪んだ窪みの中心にあり、類例から魚の入れる「えり」とも思えるが、周辺から多くの木製品やチップが出土しており、木製品の加工素材を貯蔵した施設の可能性がある。

## (4) 検出出土遺物

### 1 土 器

土器は総ての個体を選別した上で実測可能な個体については約6割以上を提示している。図化していない破片数については巻末の「出土数一覧表」にまとめているので参照されたい。

土器の実測図は一部を除き1/4のスケールで提示している。

#### 1SX001灰色砂層出土土器（第16～22図、図版10～13）

大半が弥生後期の範疇で捉えられるものであるが、古式土師器も極く少量混じる。

#### 壺型土器（1～29、39）

壺の形状として複合口縁（1～13、23）、長頸（14）、短頸（15～22）のものがある。複合口縁には口縁が袋状にカーブを描くものと「く」字の鋭角に屈曲するものがある。1と2は口縁屈曲部から上が内側にカーブする形状を持ち、7、4、11は端部が外側に反っている。12は口縁端部は上に延びている。

大半がハケ状工具での調整がなされるが一部にはタタキを用いて調整している。4にはタタキが施され口縁部の立ち上がり部分には筒状の原体で押印した竹管文がある。9には円形の粘土塊が二つ並んで張り付けられている。

長頸壺は下半にミガキが入るが上は粗いハケのままである。胴部の形状は中央部に最大径があり、底は平底である。土器の色調は灰色に近い褐色。全体に器壁が厚めである。

短頸壺には形状では19のような中期須玖式に相当するものもある。しかし、調整はナデのみでミガキが無く赤色顔料の塗布もおこなわれていない粗製土器である。20、21は19の系譜上に考えられるもので、球形の胴部にカーブを持つ口縁が付いている。

22の口縁部破片は外反する広口になると思われるもので、横方向のハケの上に上下に繰り返しミガキを施している。

17、25～29は口縁を欠くもので、底部は28、29は平底、25、27は丸底と平底の中間形態を呈す。17は肉厚の平底でタタキを施しており、畿内の「庄内式」の特徴を持っている。25は外面は前面工具によるナデで仕上げられ、プロポーションは長胴で中央部に最大径があり在地には見られない搬入されたものと考えられる。福岡市唐原遺跡SC-10に類似したものが見られる。

#### 甕型土器 (30~40)

く字形口縁を持つ甕で、大半がハケ状工具によって調整されるが、35は内面にケズリが有り40にはタタキが施される。

#### 鉢型土器、ミニチュア土器 (41~57)

く字形口縁 (41~44) と素口縁 (45~49) とそのミニチュア (50~54)、脚付き鉢の脚部 (55~57) がある。く字形口縁には平底と丸底があり時間的な幅が認められる。

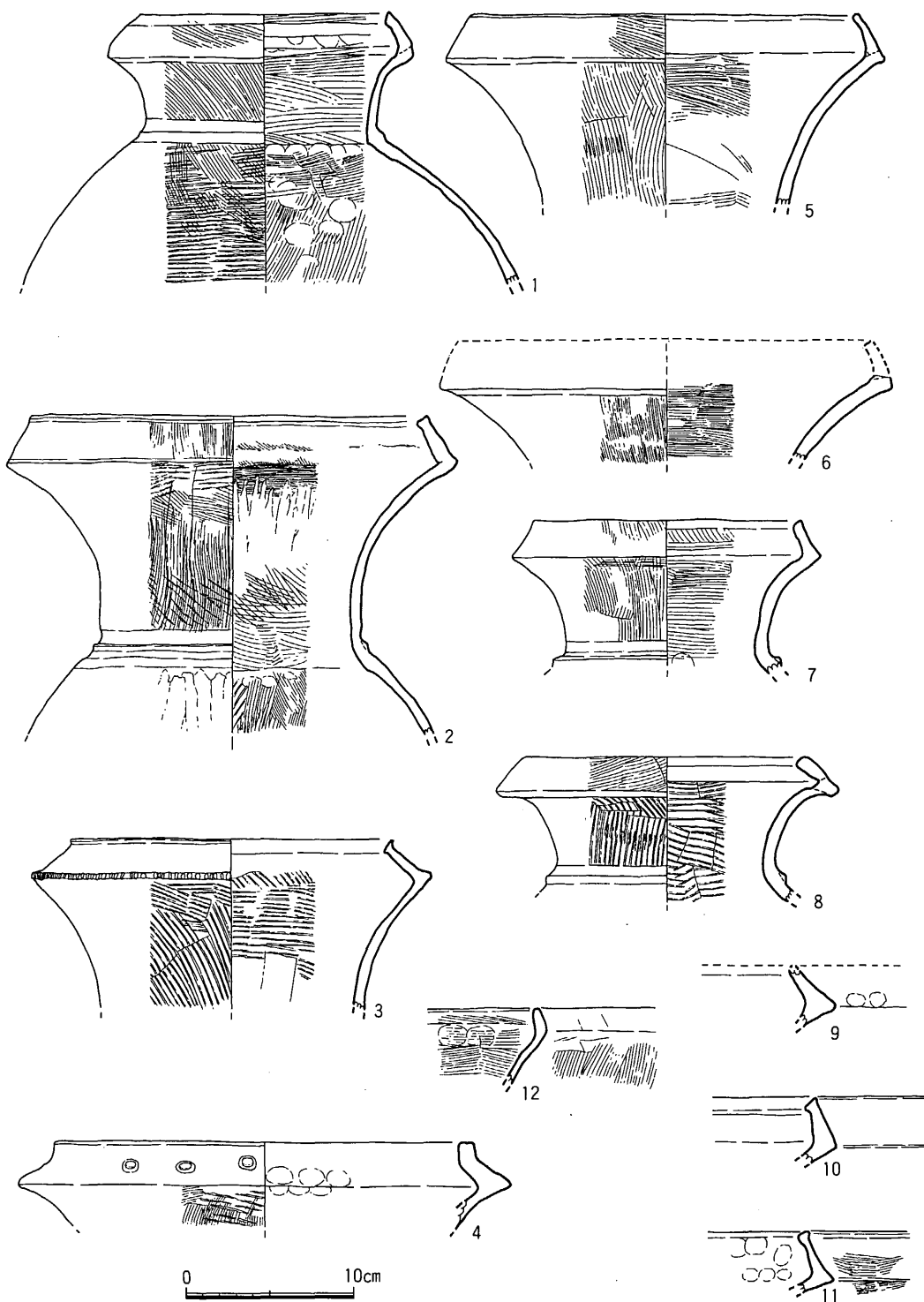
#### 高坏型土器 (58~62)

坏部は59がハケのまま、60は反転した口縁部が長め、脚部は61は屈曲部に6本のヘラ描沈線が巡る在地に見られない手法がある。瀬戸内地域のものか。62は屈曲がきつく小型のもので古式土師器の範疇に考えられる。

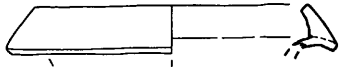
#### 器台、支脚 (63~70)

器台は鼓型であるが上方に片寄って朝顔形に開いている。69は袋状を呈口縁端部に刻みがある。

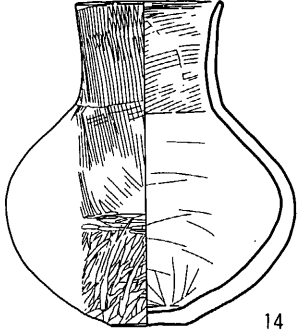




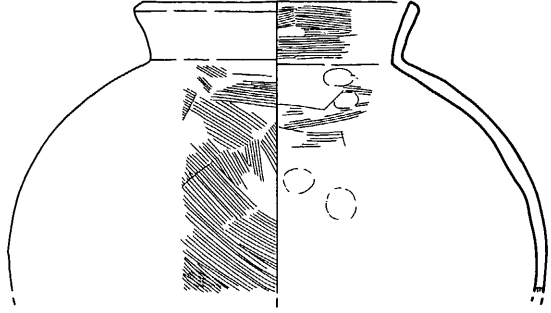
第16图 1SX001灰色砂层出土土器 1



13



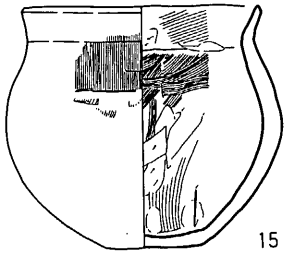
14



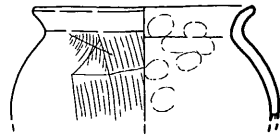
18



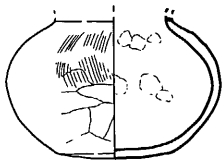
19



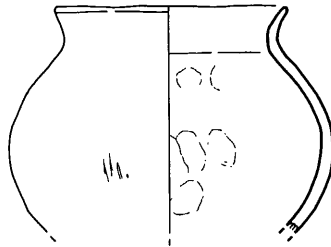
15



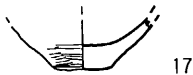
20



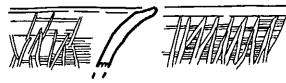
16



21

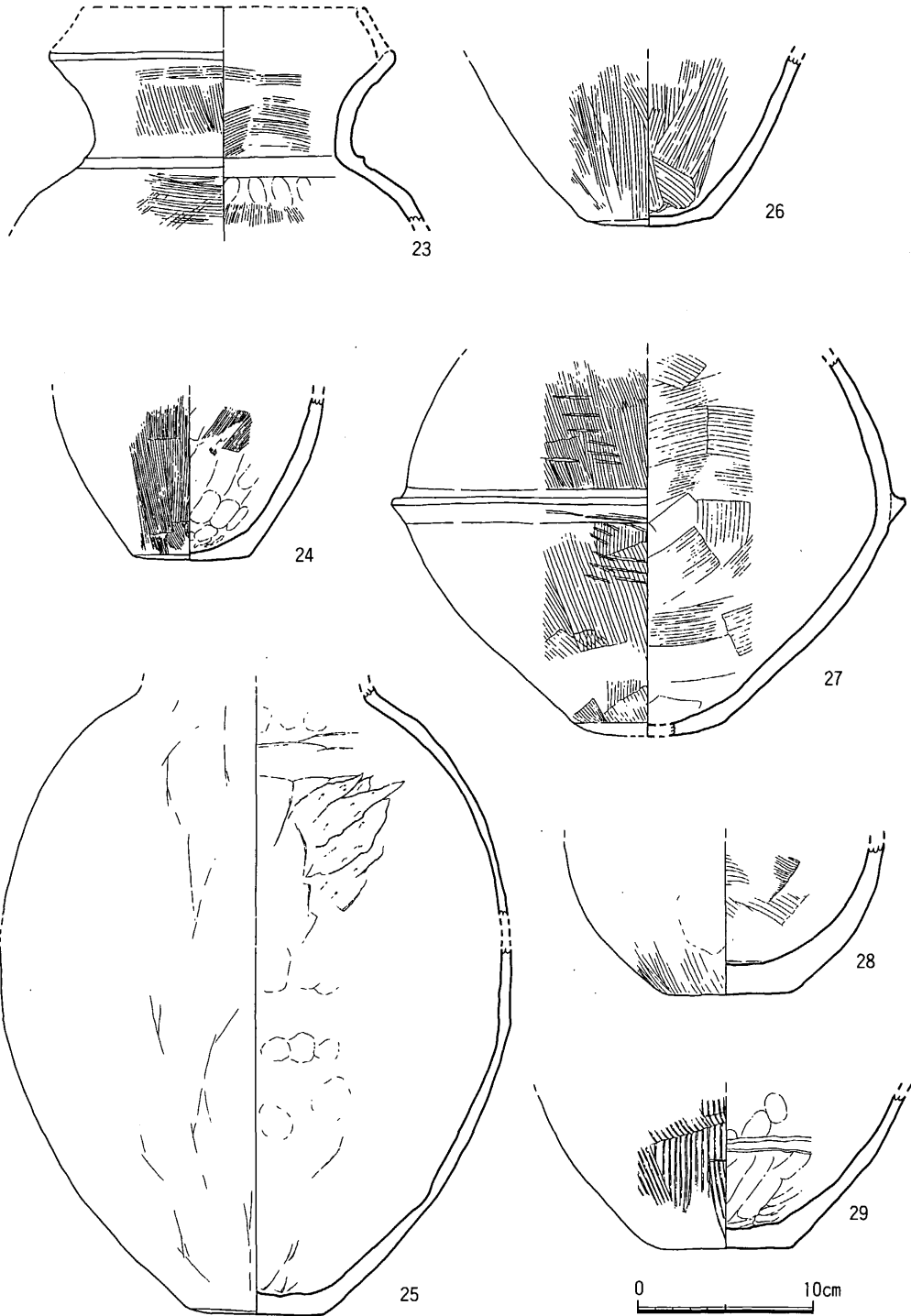


17

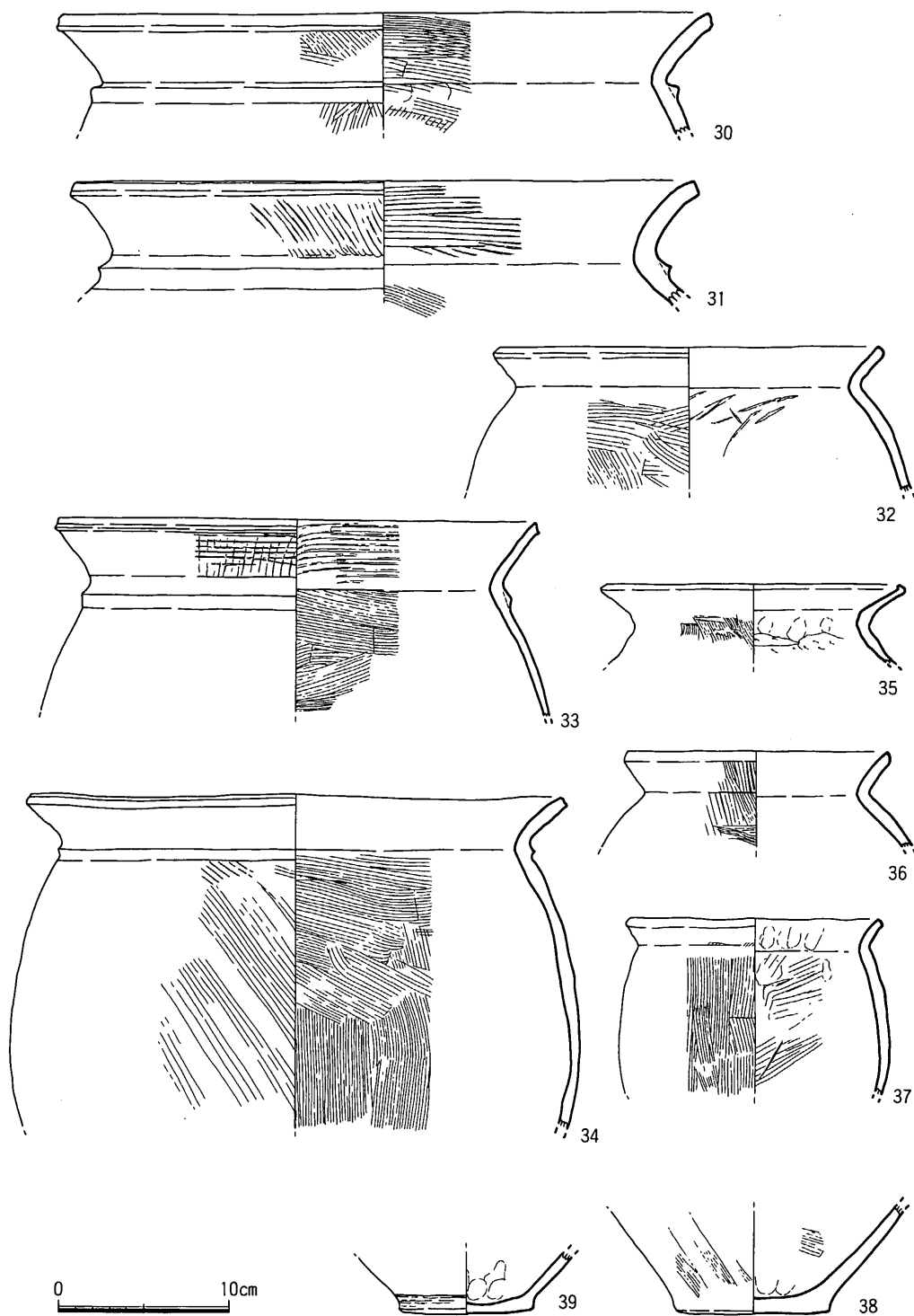


22

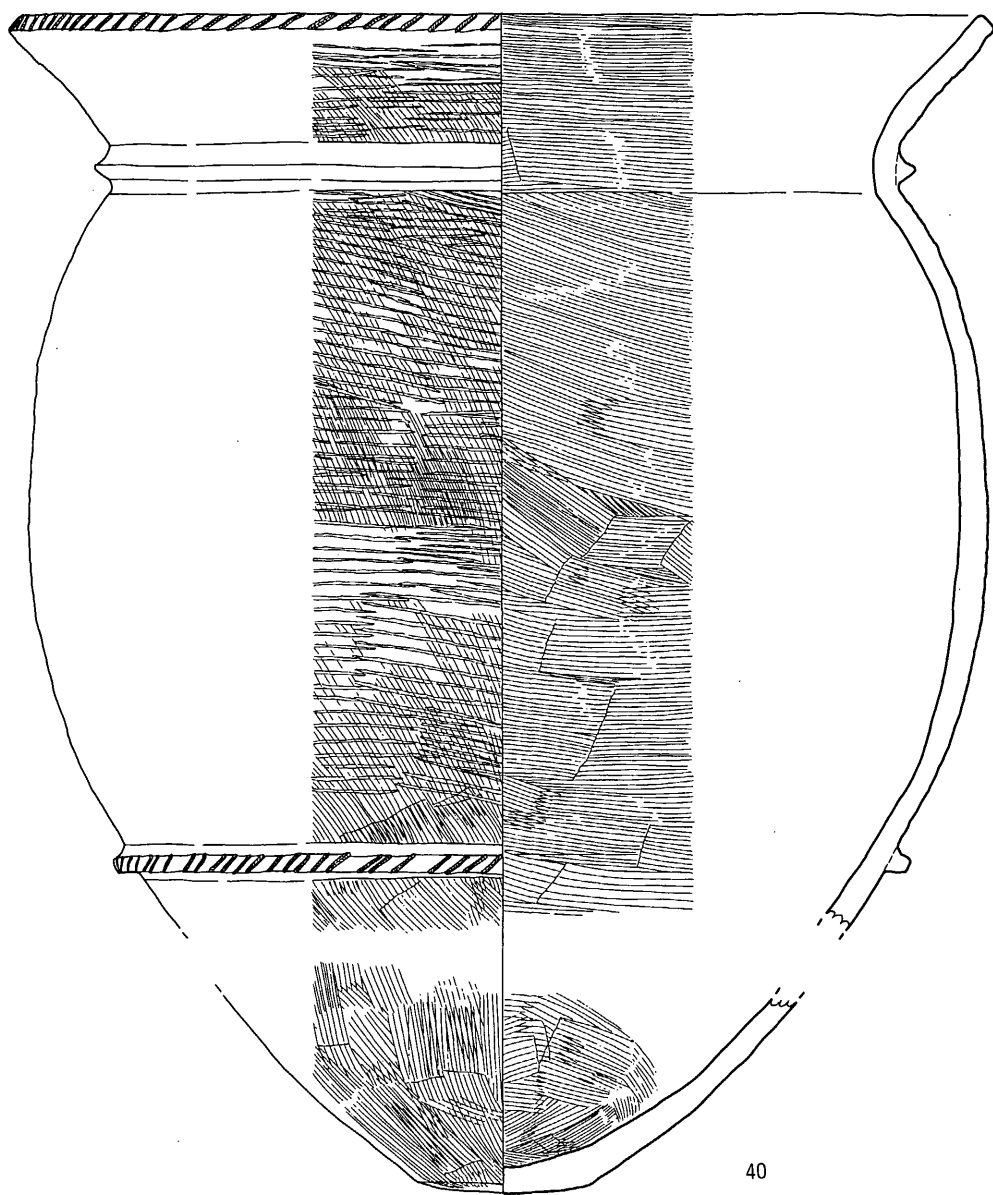
第17图 ISX001灰色砂层出土土器 2



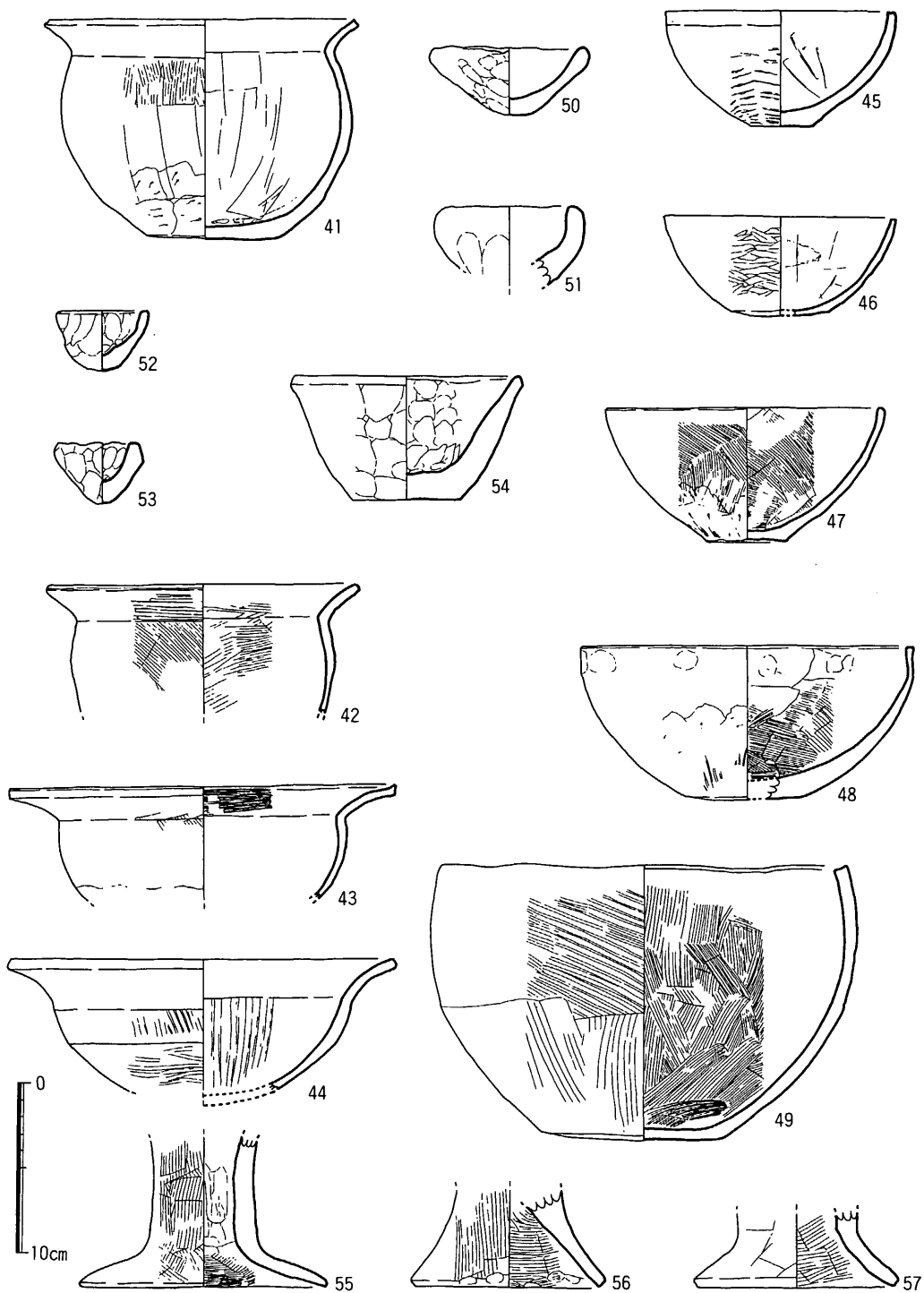
第18图 1SX001灰色砂層出土土器 3



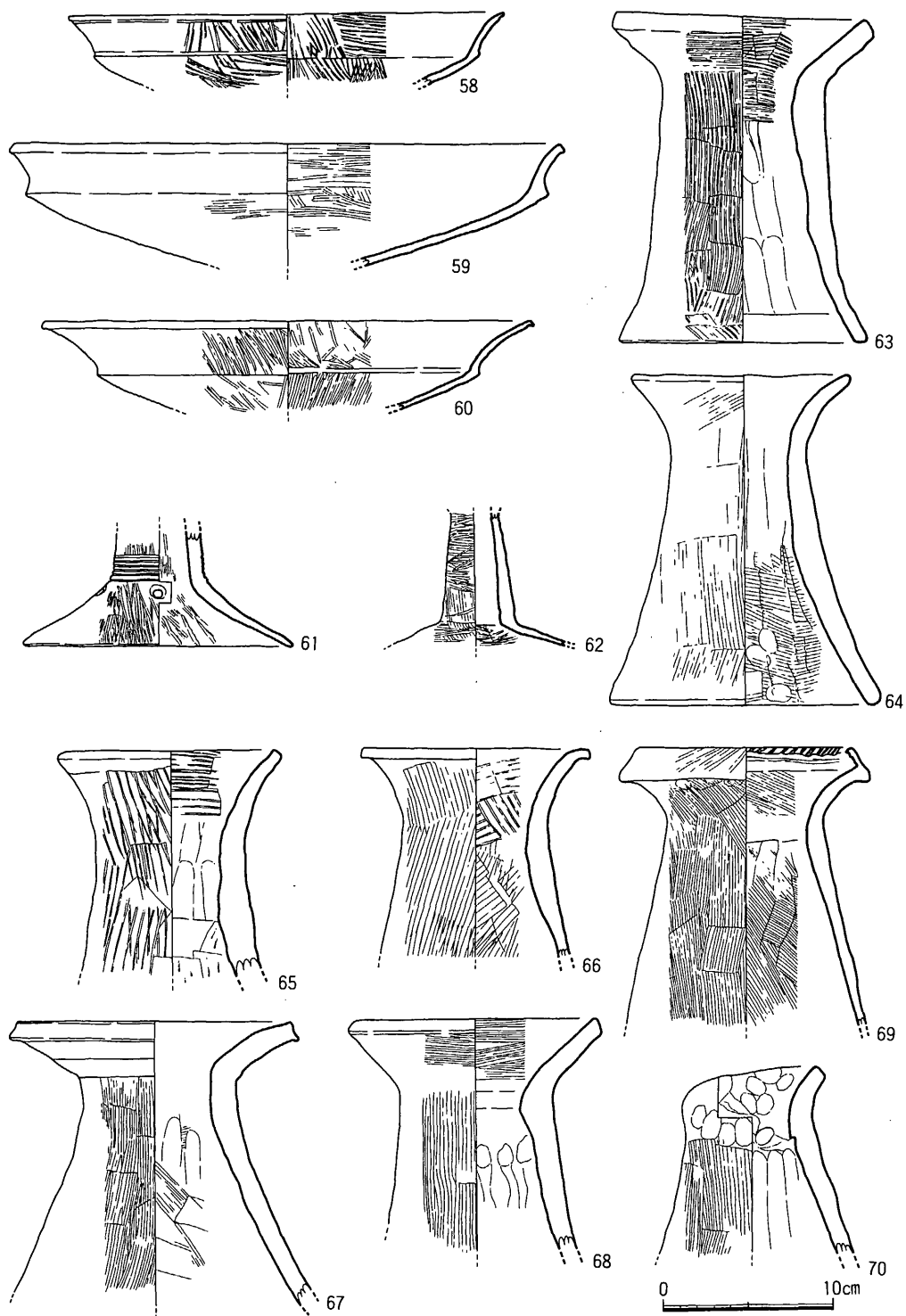
第19圖 1SX001灰色砂層出土土器 4



第20图 1SX001灰色砂層出土土器 5



第21图 1SX001灰色砂层出土土器 6



第22图 1SX001灰色砂层出土土器 7

#### 1SX001黒色土層出土土器（第23～46図、図版13～22）

灰色砂層の上層の遺物群である。土器相は灰色砂層と同じく大半が弥生後期の範疇で捉えられるものであるが、古式土師器も少量混じる。

#### 壺型土器（71～139）

壺の形状として複合口縁（71～98）、広口（101～109、112、113）、短頸（110、111、115～126）、長頸（127～130）、小形丸底（131～133）小形（138～139）のものがある。

複合口縁には口縁が袋状にカーブを描くものから鋭角に屈曲するもの、屈曲外するものまでがある。71と72、73は口縁が袋状で中期須玖式の系譜を持つもので、73には赤色顔料が塗布されている。74、75、77、78は口縁屈曲部から上が内側にカーブする形状を持ち、74は屈曲部外面が下垂している。7、4、11は端部が外側に反っている。76、81、95、89、90、97は口縁部が上方に延びている。86、96は外来系の要素があり口縁端部が外反している。94には屈曲部に連続した刻みがあり、その上には筒上の原体で施した竹管文が見られる。92、93は肉厚で稜線はシャープに仕上げられている。新しい様相として捉えられる。

12は口縁端部は上に延びている。87、88にはヘラ描きの連続三角文があり、精製された胎土を持ち、瀬戸内地方の搬入の可能性が考えられる。87は内面に放射状の粗めのミガキが施される。88は端部上面には二条の沈線が入れている。色調は灰色に近くすんだ褐色を呈している。

広口の104も口縁端部に横沈線が入り瀬戸内系の属性を持つ。内外面ともにハケで調整され口縁端部は二条の沈線が入る。103は口縁端部が少し立ち上がり、外面に連続した刻みが入れている。112は大型の広口壺で口縁上面に重弧文、口縁端部に竹管文、突帯上に交差する刻みが入れている。ハケ調整をベースに粗いミガキが上下して入れられる。

短頸には110、111のような須玖式の範疇に入るものから119のようなく字口縁までである。118は胴部下位にはハケの後ケズリで器面調整している。

長頸には128、129の様に肉厚でハケで粗く仕上げられた粗製品と127の薄くミガキで器面調整された精製品の二者がある。後者は後出のものである。

小形丸底には131、132のようにハケ+ナデのもの133のようにミガキを入れるものがある。後者は前期古墳の祭祀具に採用される形状のものと共通する。

137は口縁を欠き、外面はミガキが丁寧に施される。平底を呈す。138は胴部が扁平で平底を呈す。在地の系譜には見られないタイプの土器である。



### 甕型土器 (99、100、140～183)

く字形口縁を持つ甕で、大半がハケ状工具によって調整されるが159のように一部にはタタキが施される、99、100、168は内面にケズリが有る古式土師器の範疇のものが見られる。165にも内面にケズリが有るが器形的には前述のものとは時期的に先行する可能性がある。167は内面の調整にケズリとハケが混在している。球形の胴部を持ち、168と伴に布留式でも新相の様相を持つものである。SX001出土の一群の中では最も新しい部類に位置づけられよう。168は器壁が厚く内面の粘土紐の接合の処理も不十分である。140は完全な平底でハケのみで仕上げられる。

157などは繊維状の条線が残る工具によるナデとケズリの中間的な調整方法で仕上げられている。この調整法は160のように外面下半部に限って施されるものがある。外面下半部にケズリを入れる手法はタタキを採用するものに顕著に見られる傾向がある。「ケズリ」と表現しているが、布留式甕の内面に見られるような粗いものではなく工具原体や調整される工程上の時期が異なる(胎土の乾燥具合が異なる時期に施される)のであろう。

166は底部に多少平坦面が残る尖り気味の底部をもつ終末の甕であるが、内外面にミガキが入る。169には外面底部下半にケズリの後にタタキを入れているようだ。172は肉厚の平底を持っている。

### 鉢坏型土器 (184～205)

く字形口縁 (41～44) と素口縁 (45～49) と脚付き鉢の脚部 (55～57) がある。く字形口縁には口縁が鐙状に発達したタイプがあり (186、187、191、192)、ミガキ仕上げのものもある。これらは高坏の坏部の系譜が想定され、190、188などは甕から分岐した可能性が想定できる。191、192は在地には例が見られず、古式土師器の範疇で捉えたほうが良いかも知れない。

素口縁のタイプには多種の調整方法が採用されており、201の内面はハケを消すように放射状にミガキとナデの中間的な手法が施されている。195、196にはタタキが、201の外面にはハケの下にケズリが施されている。202と204の外面下半にはごく粗いケズリが施される。

197、198、205は坏の範疇に入る可能性もある。

### 高坏型土器 (206～221)

高坏は脚部を取り外して廃棄したと考えられるものがあり、213のみが接合し得た。坏部はハケで基本的な調整がなされ、坏部はミガキ仕上げ。221はワイングラス型ものもか。口縁には立ち上がりの長さや角度に違いが見られる。一般的には延びが長いもの、屈曲の角度が緩やかなものが時間的に新しいものと解釈されている。

脚部では長脚と短脚とが見られ、220の形状などは古式土師器の範疇で捉えられるものであろう。

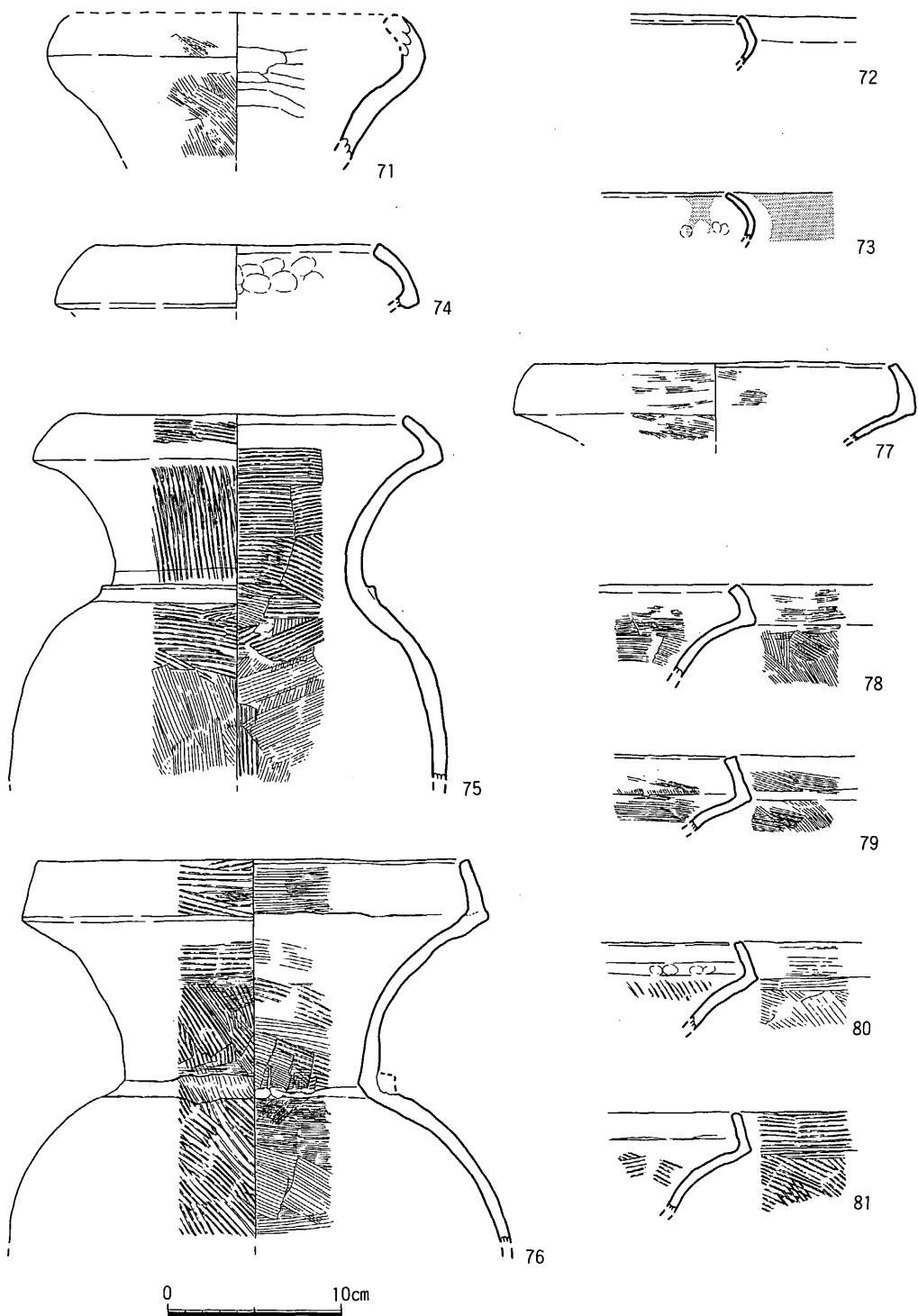
#### 器台、支脚（222～259、273）

器台は上方に開く鼓型である。口縁部か裾部が打ち欠かれたものがある。鼓形の器台には粘土紐から形成したものと粘土塊からてづくねで形成したもの（227、240、241、244、245）との二種類があり、中期の器台と共通した状況が見られる。また、裾部の形状では248、250、251のように内側に反っているものがある。

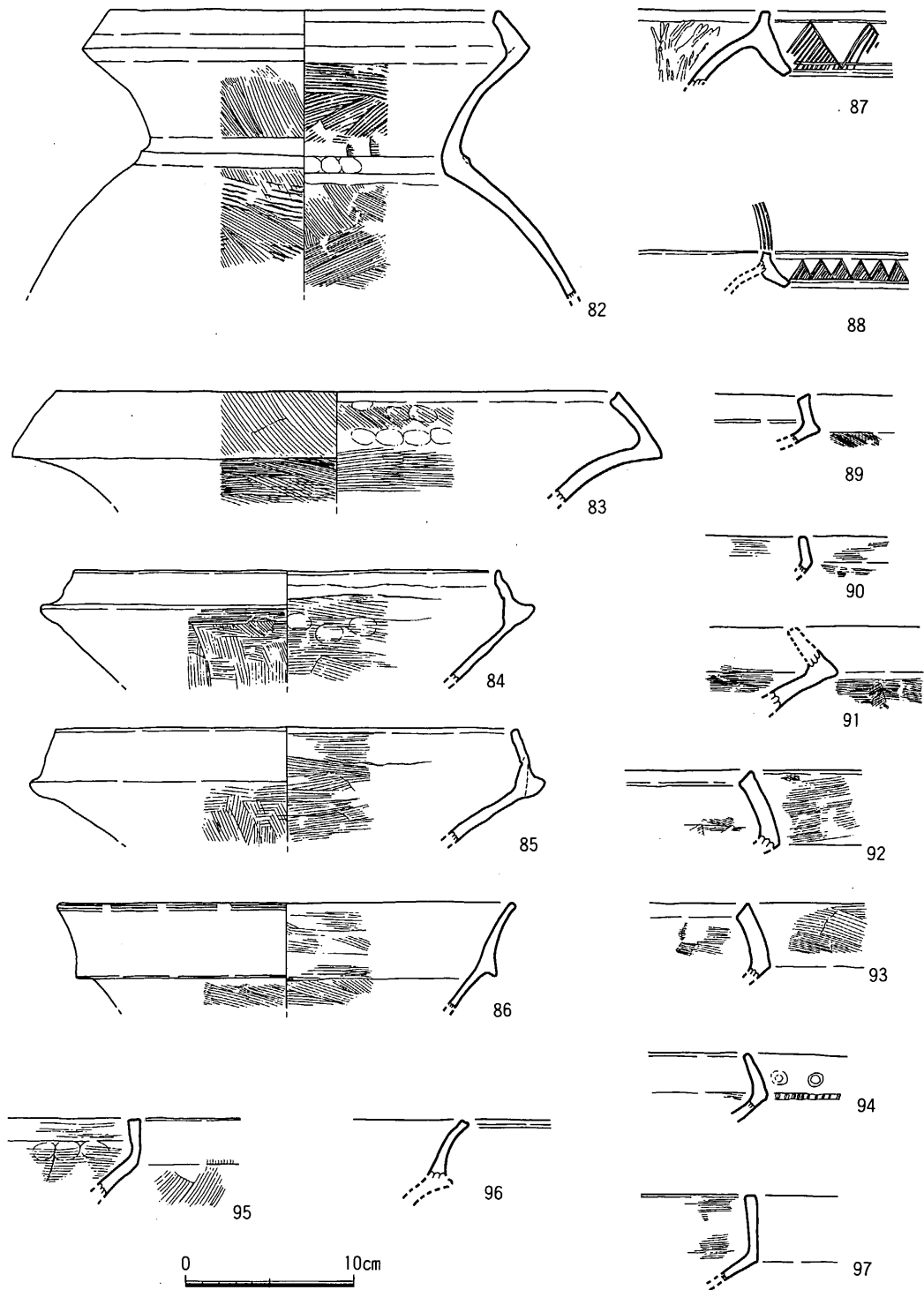
224、228に見られる如く、甕と同様なタタキが施されるものも含まれる。246には板状工具によるケズリ気味のナデが横方向に施されている。

ハケ状工具は一般的には柁目板の小口を使用する状況を想定しているが、252の内面を観察した場合、筒状の狭い空間の中で7 cm以上のかかなり幅広いハケ目が残されている。しかも器壁に食い込むことなくスムーズに弧を描いていることなどを総合して考えると、ここで使用されている「ハケ」工具自体はある程度の土の反発によって褶曲する性質を持っていることが考えられる。

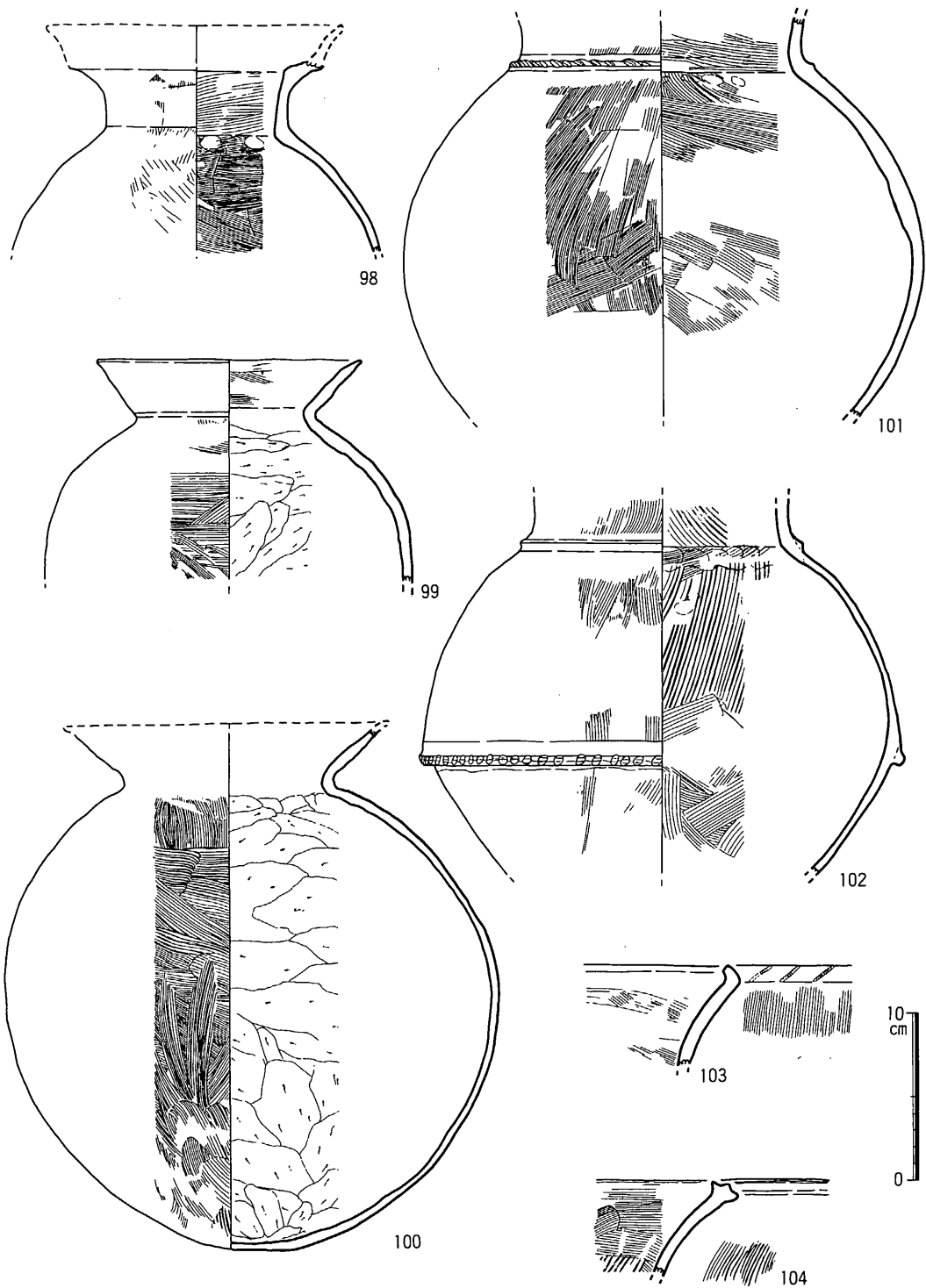
支脚には天井部が傾斜し、一部が角状に張り出すもの（255、256、258）、頭が丸いもの（254）、天井に円形の穿孔があるもの（257）、裾部が広がる筒型のもの（273）、粘土塊を柱状にしたもの（259）がある。明確に二次的に火を受けたようなものは見られない。



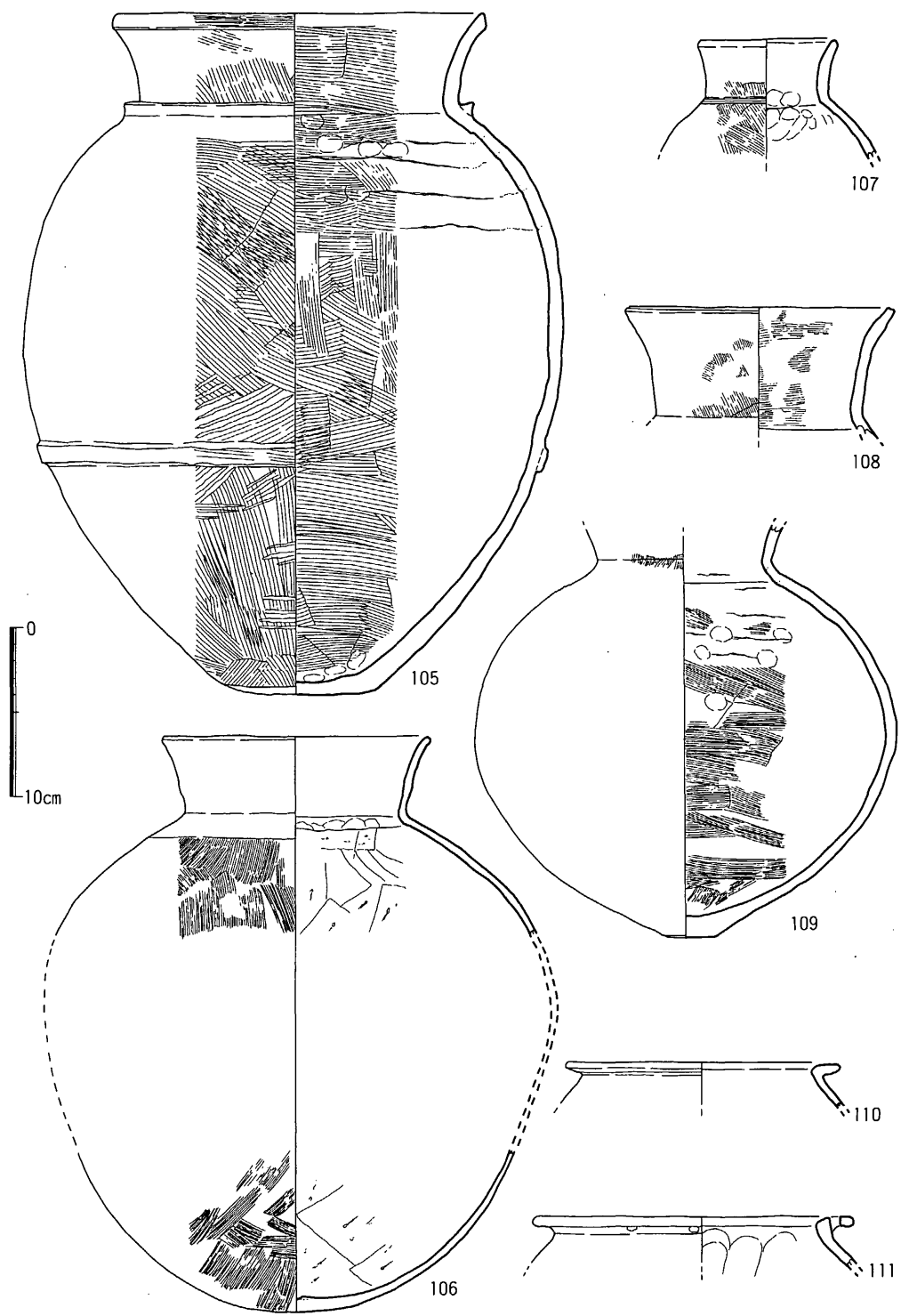
第23图 1SX001黑色土出土土器 1



第24图 1SX001黑色土出土土器 2

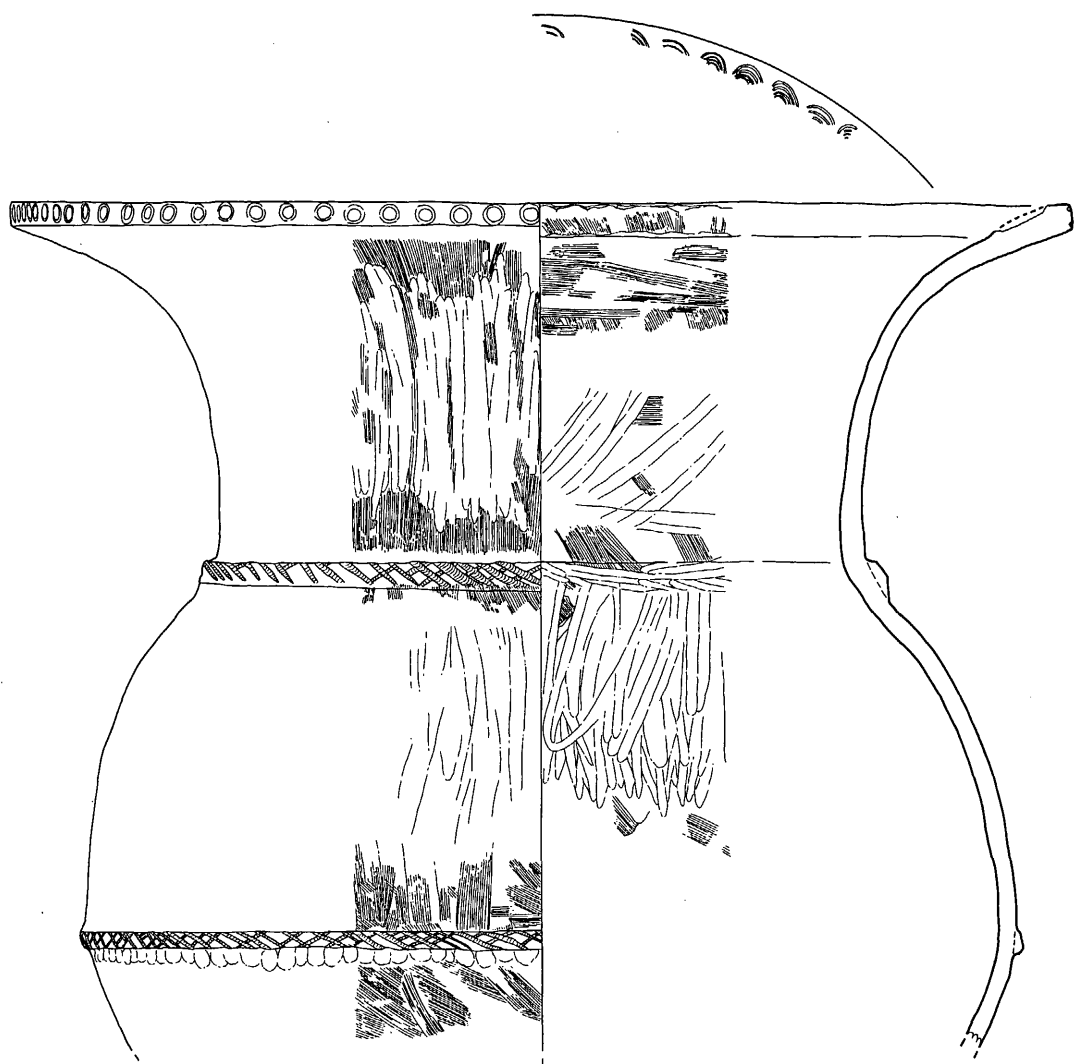


第25图 1SX001黑色土出土土器 3

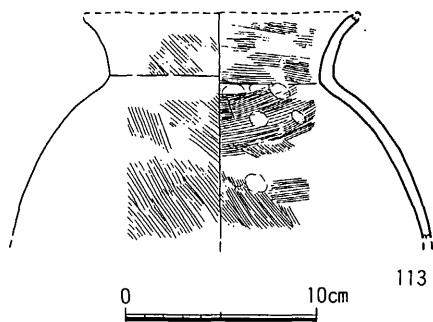


0  
10cm

第26图 1SX001黑色土出土土器 4

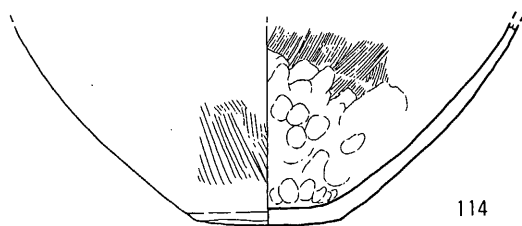


112



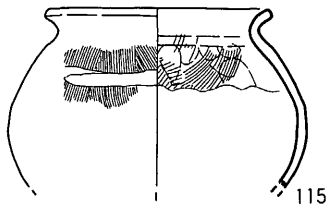
113

0 10cm

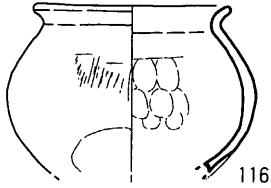


114

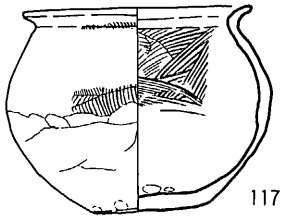
第27图 1SX001黑色土出土土器 5



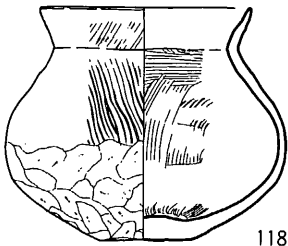
115



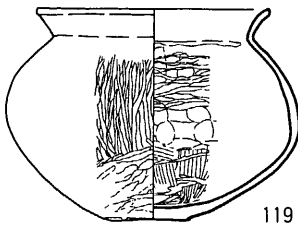
116



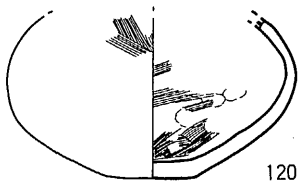
117



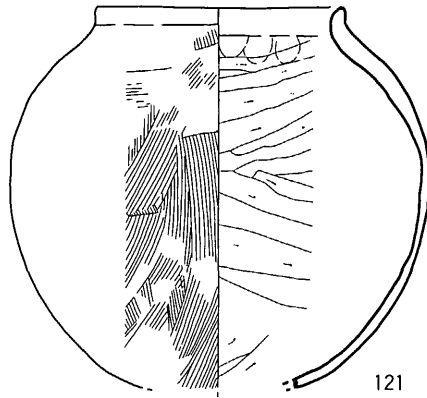
118



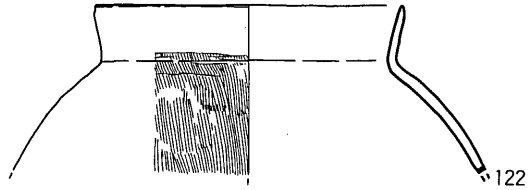
119



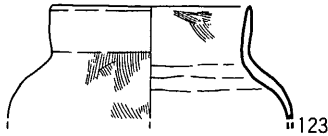
120



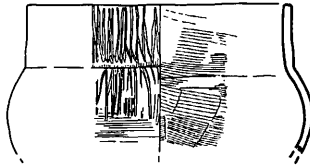
121



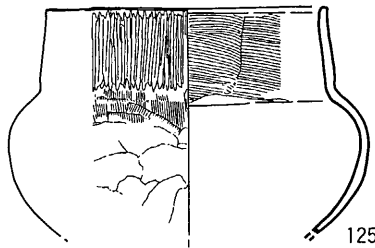
122



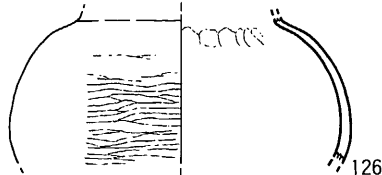
123



124



125

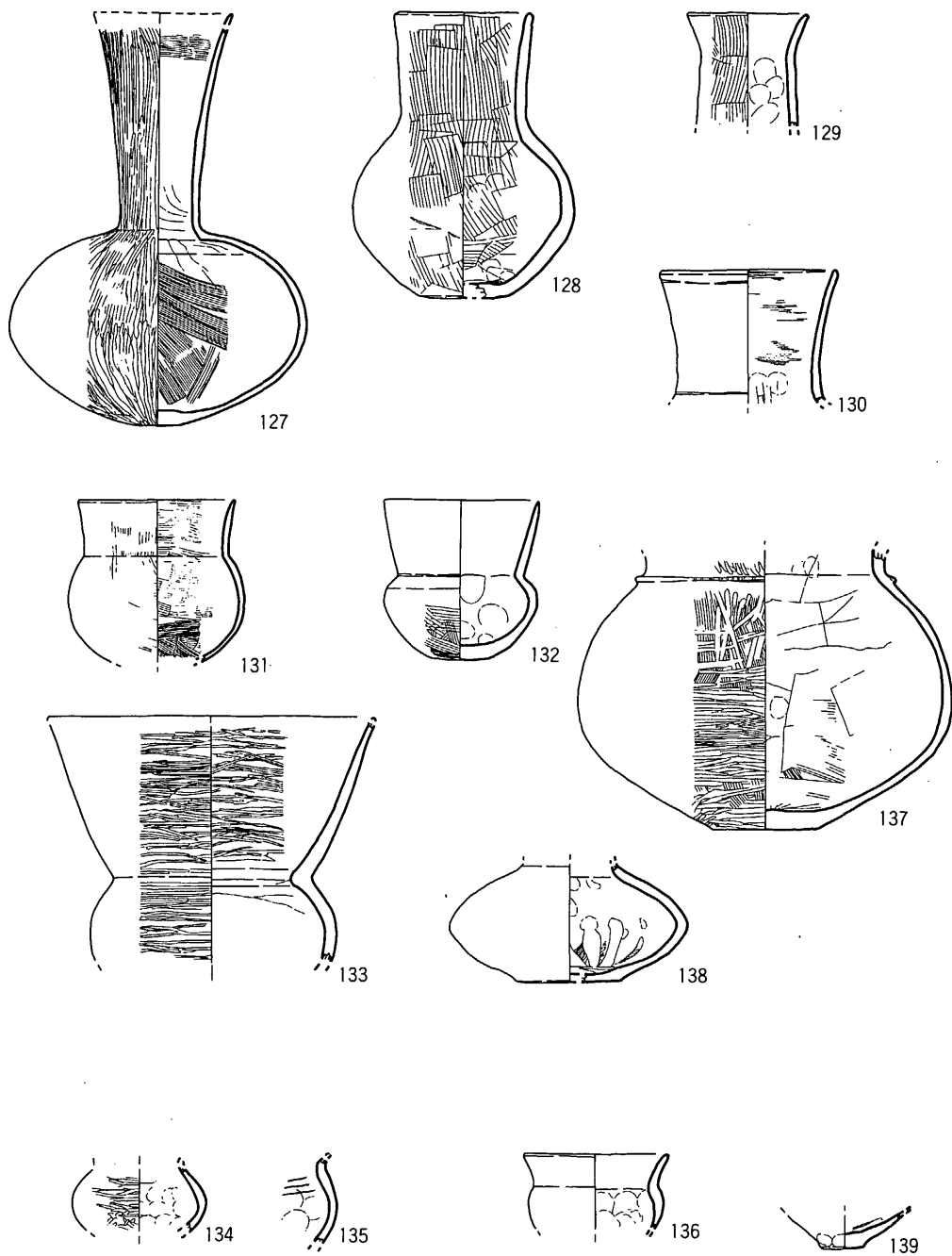


126

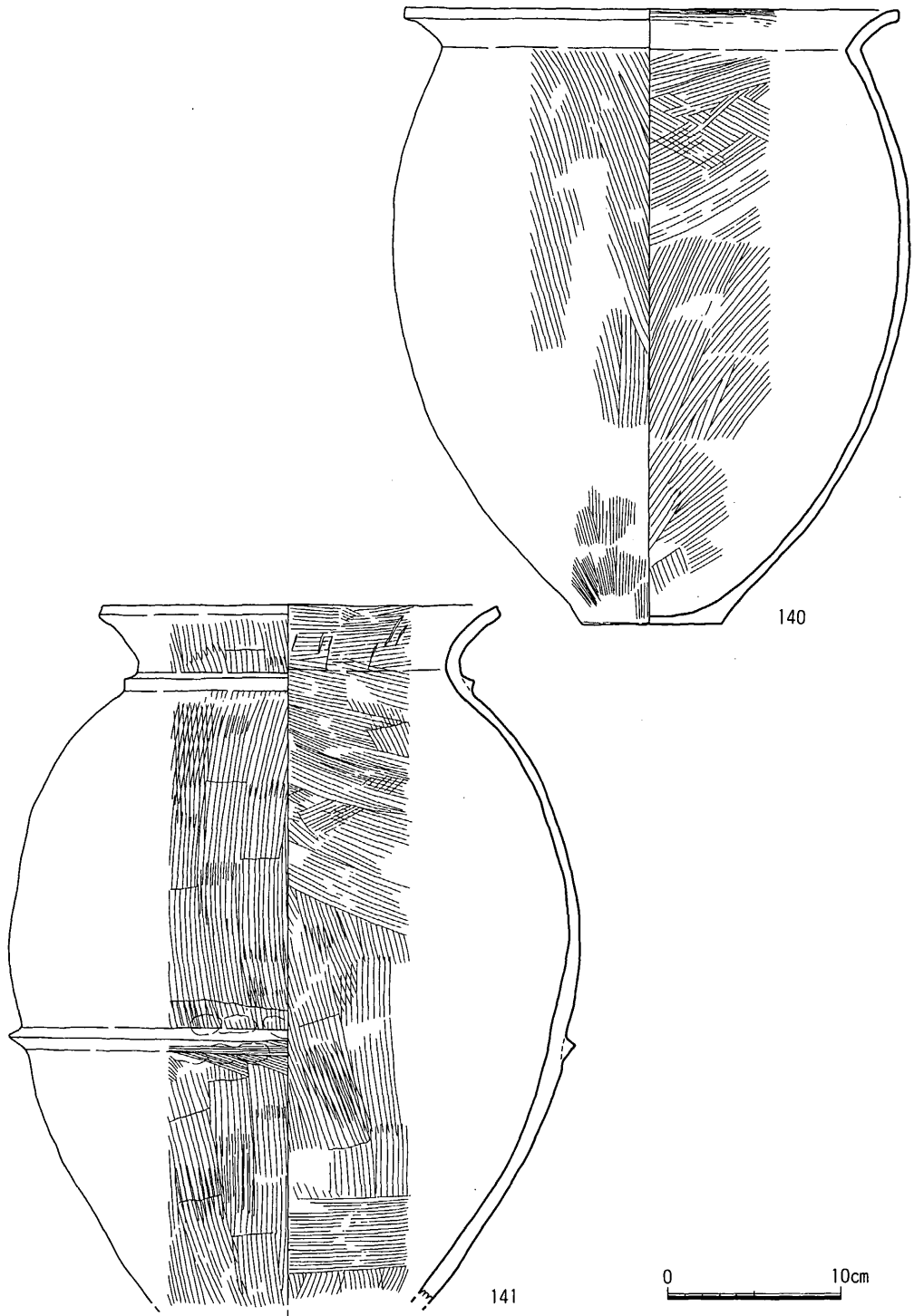


第28图 1SX001黑色土出土土器 6

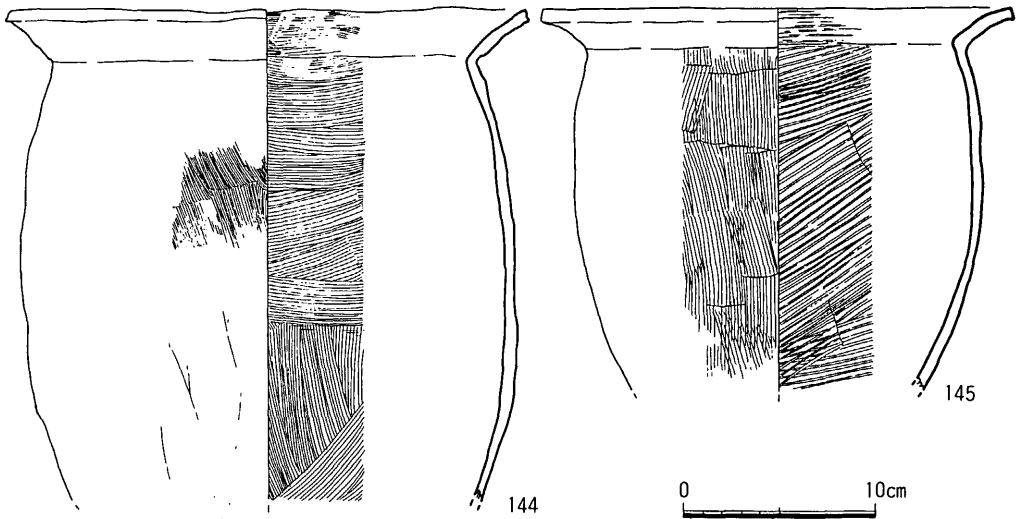
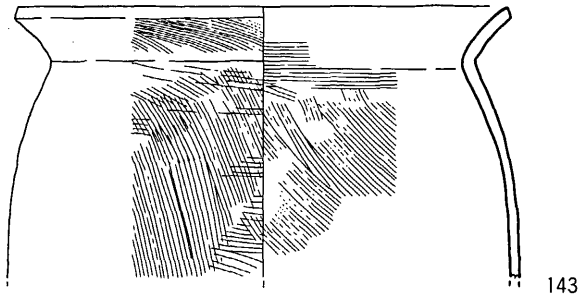
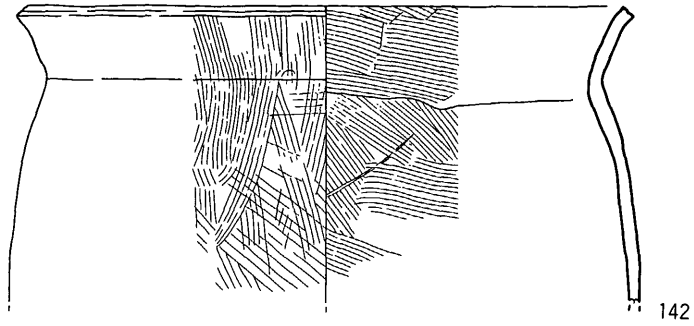




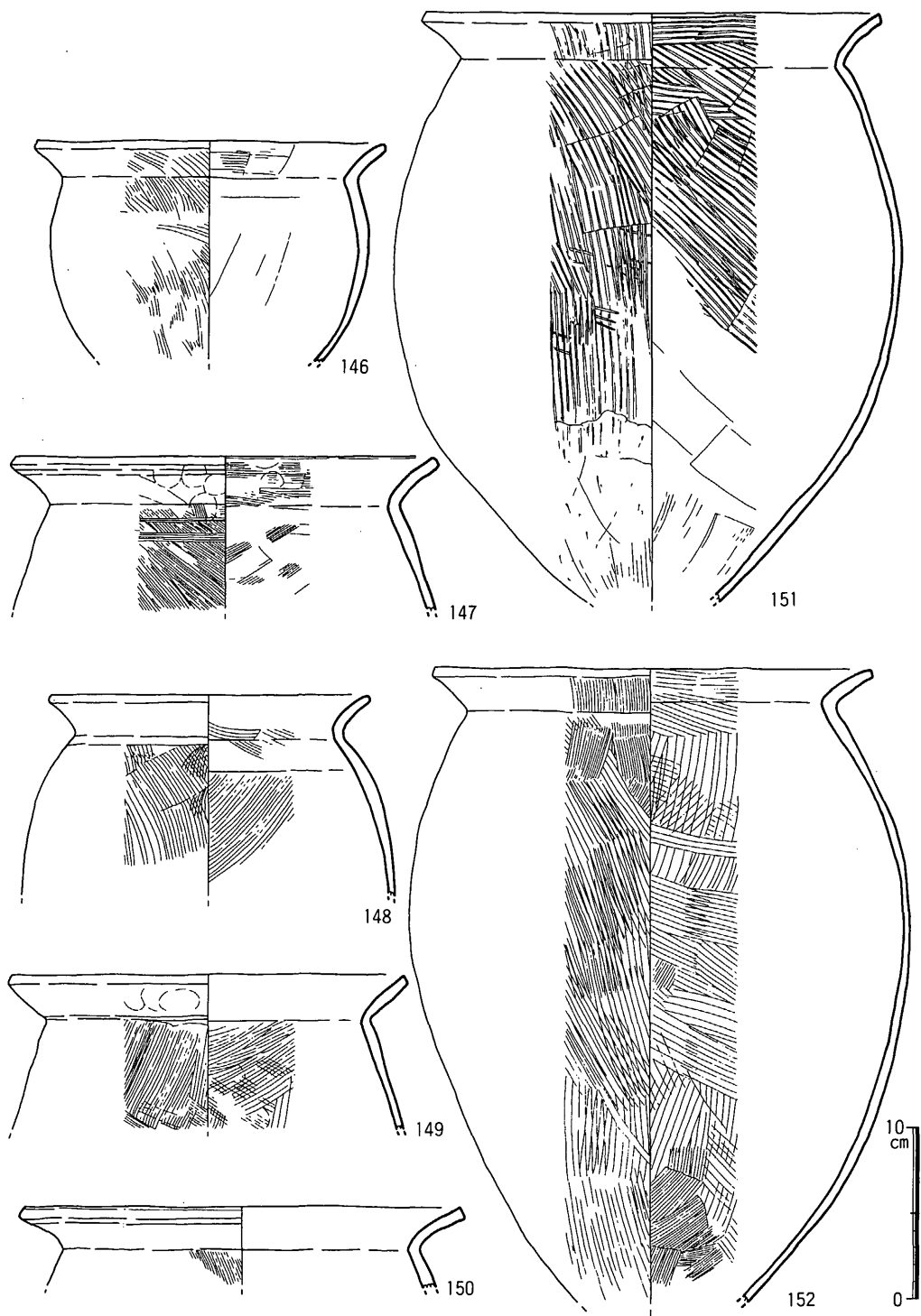
第29图 1SX001黑色土出土土器 7



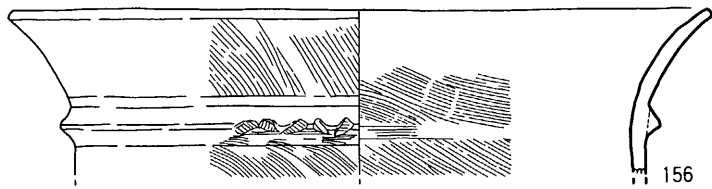
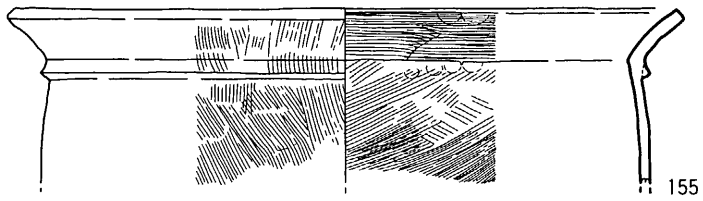
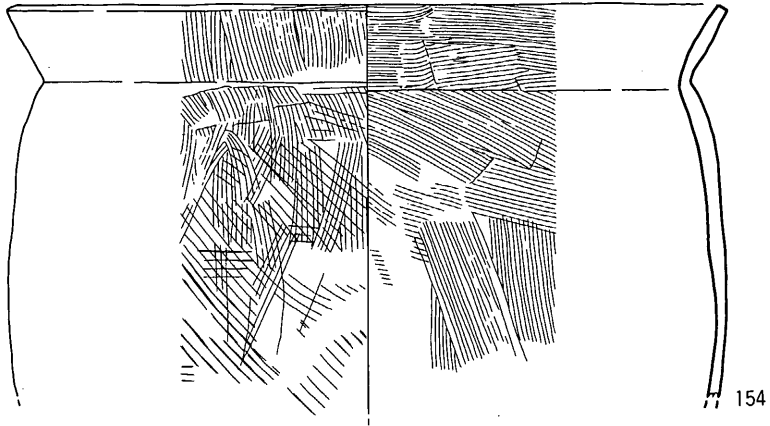
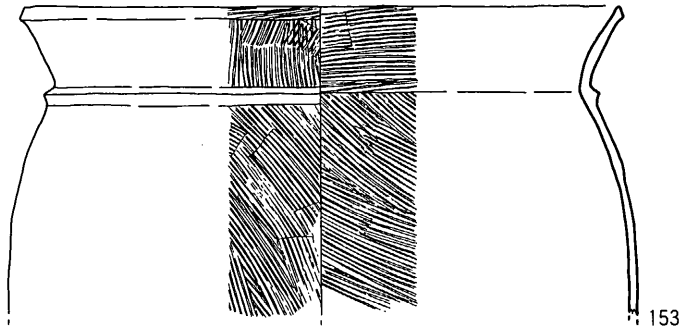
第30图 1SX001黑色土出土土器 8



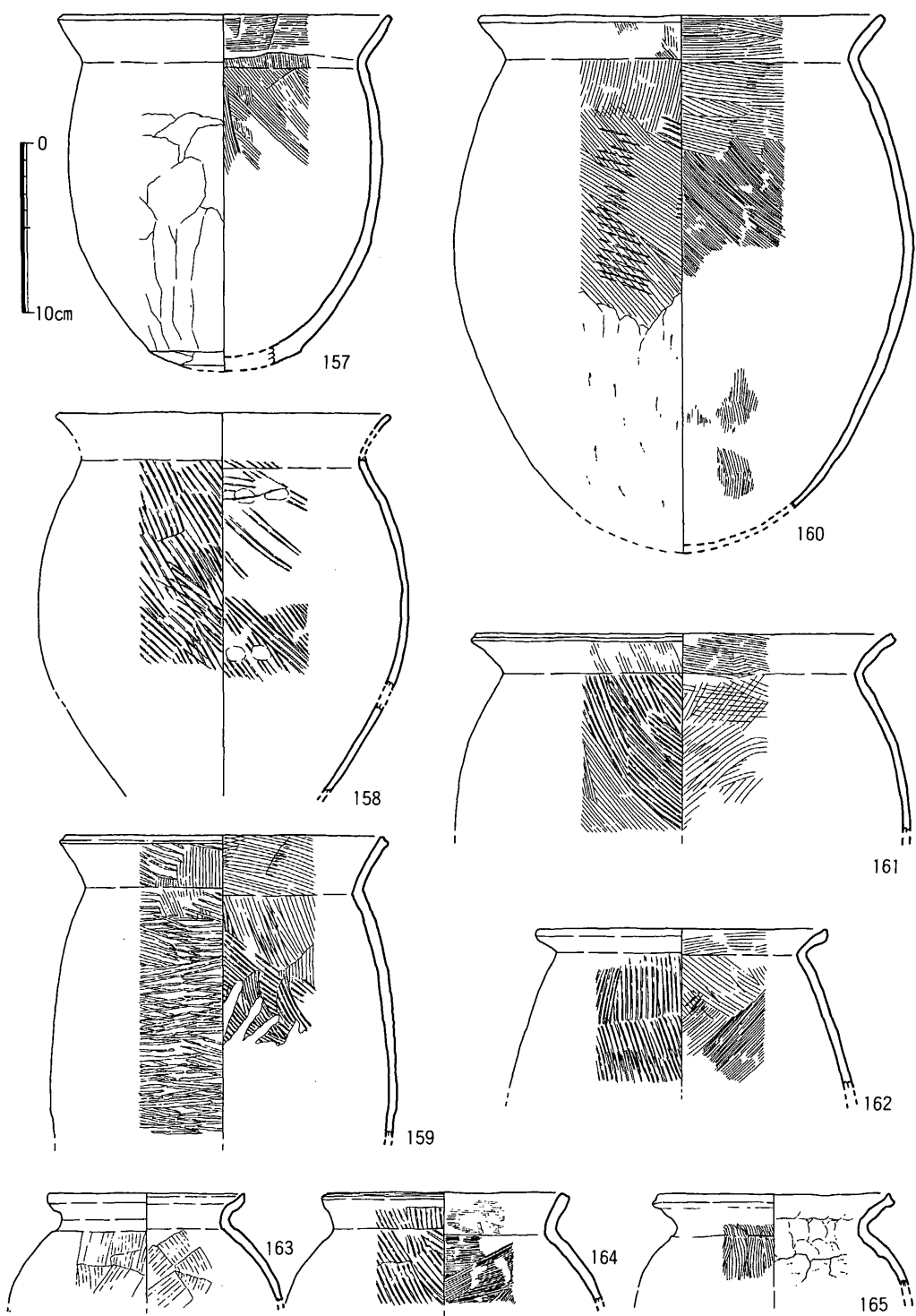
第31图 1SX001黑色土出土土器 9



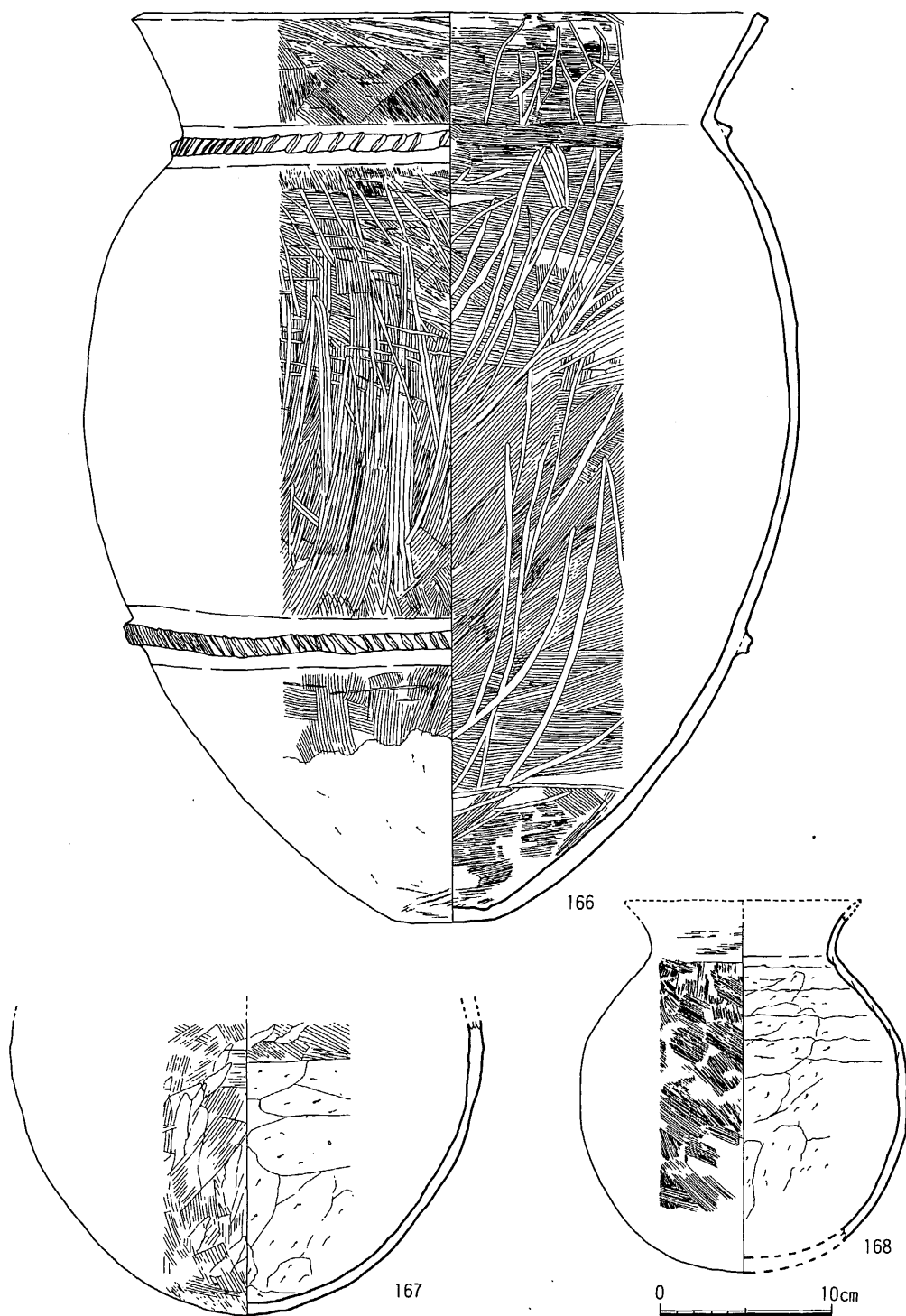
第32图 1SX001黑色土出土土器 10



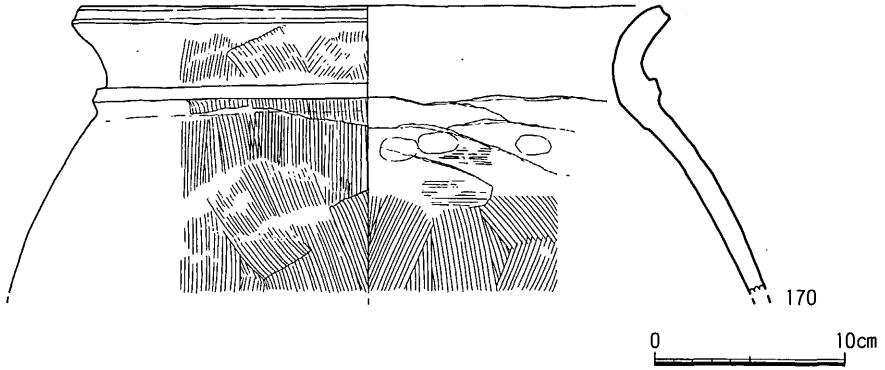
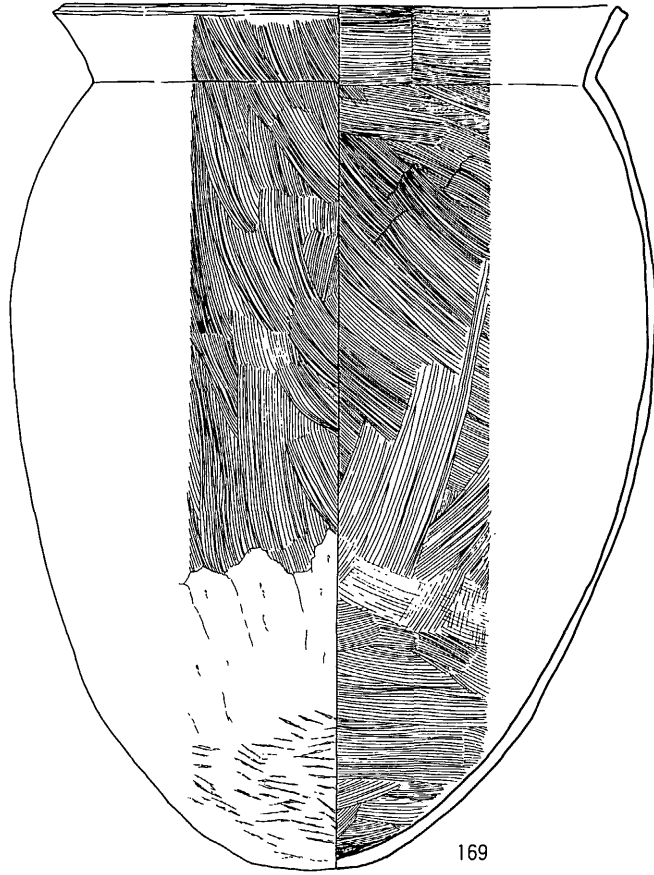
第33图 1SX001黑色土出土土器 11



第34图 1SX001黑色土出土土器 12

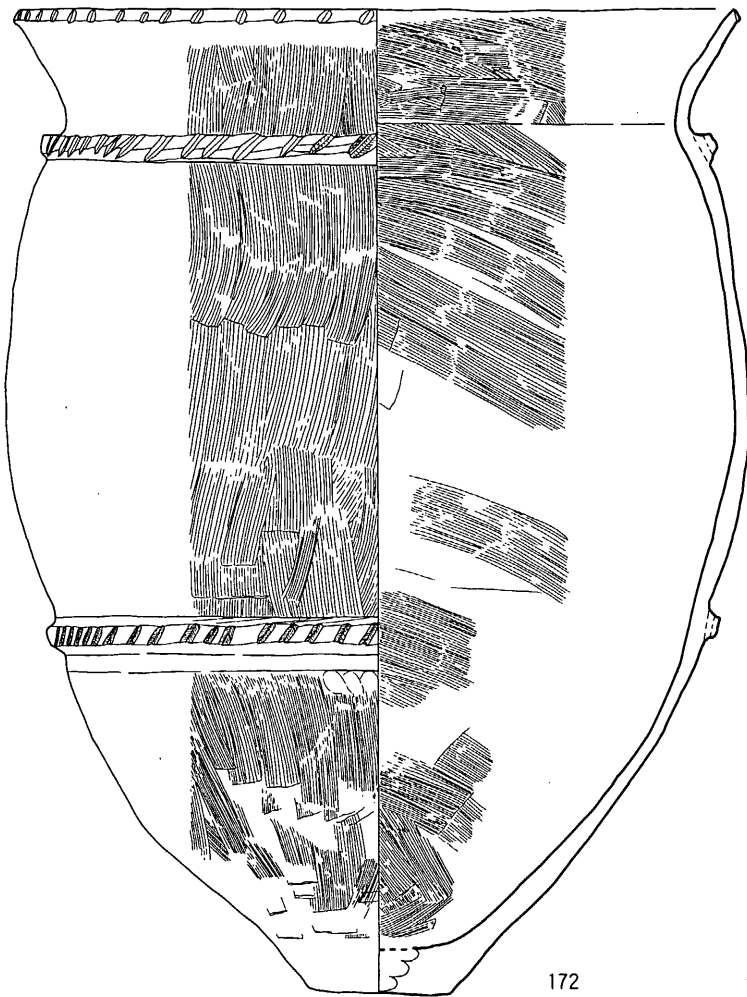
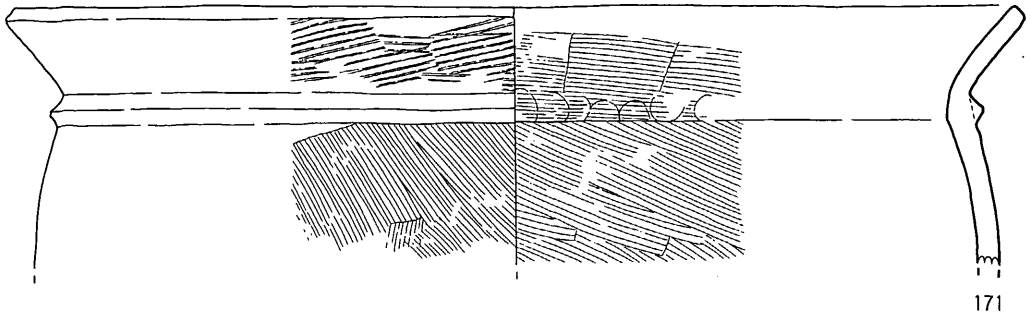


第35圖 1SX001黑色土出土土器 13

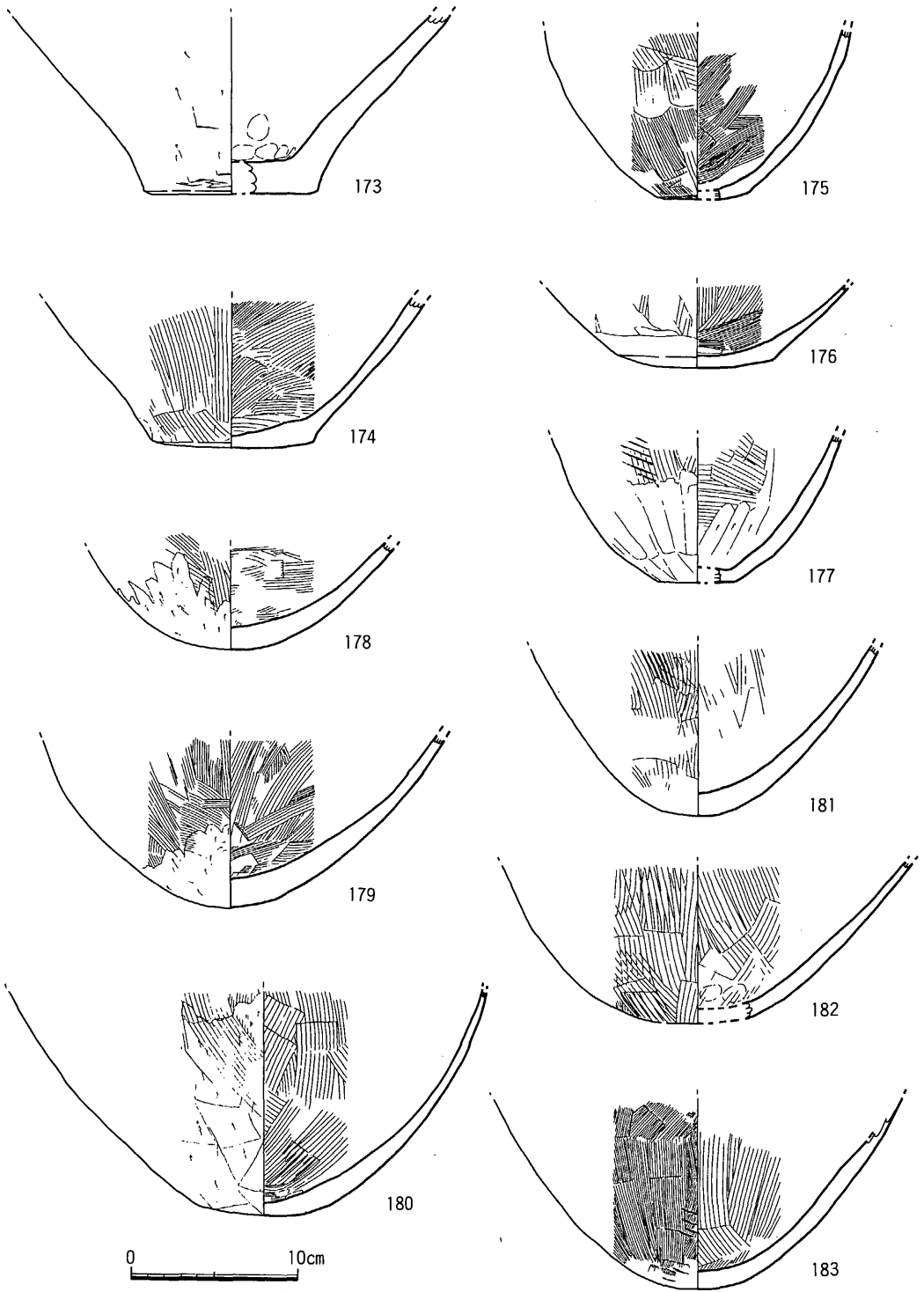


第36图 1SX001黑色土出土土器 14

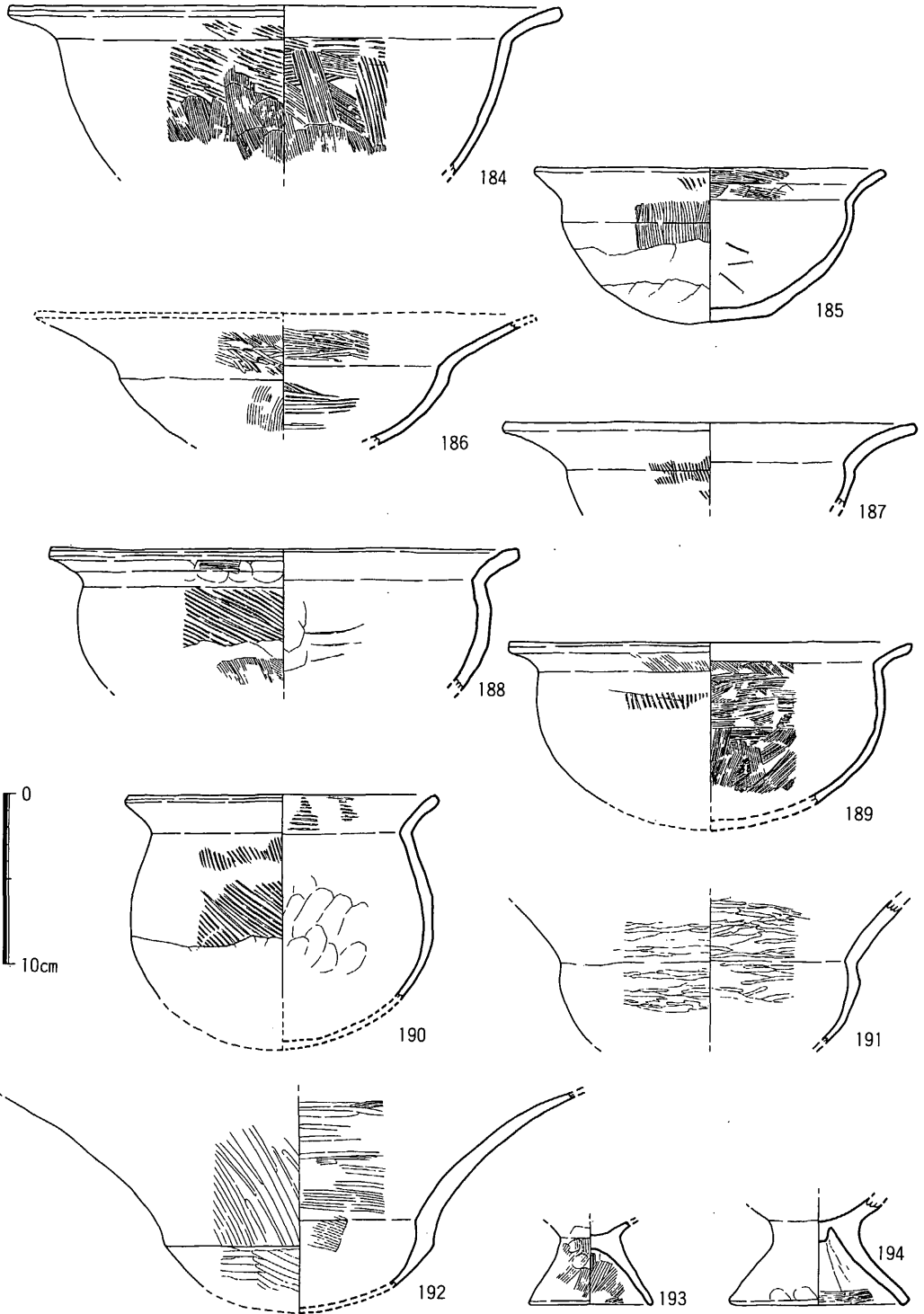




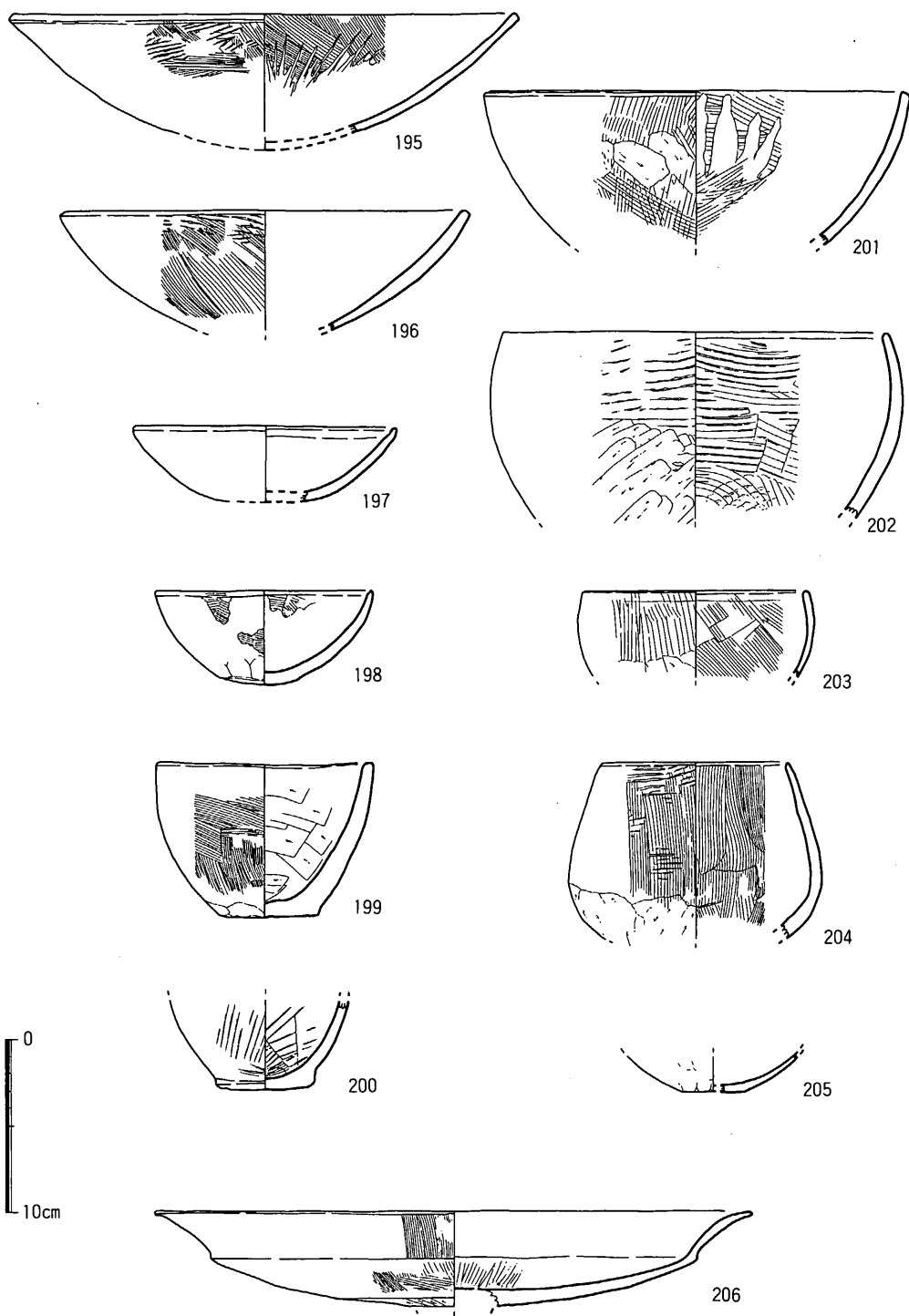
第37图 1SX001黑色土出土土器 15



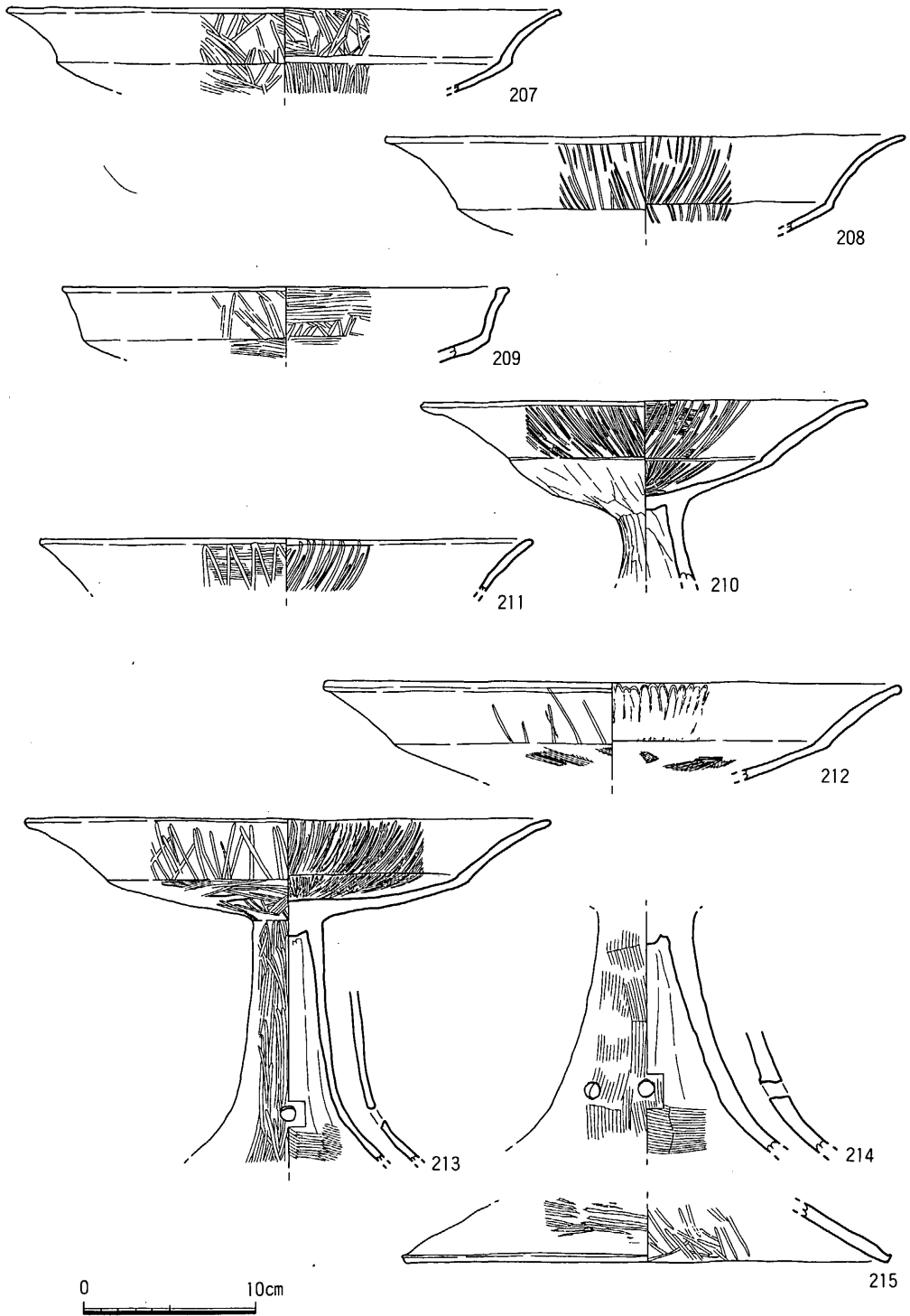
第38图 1SX001黑色土出土土器 16



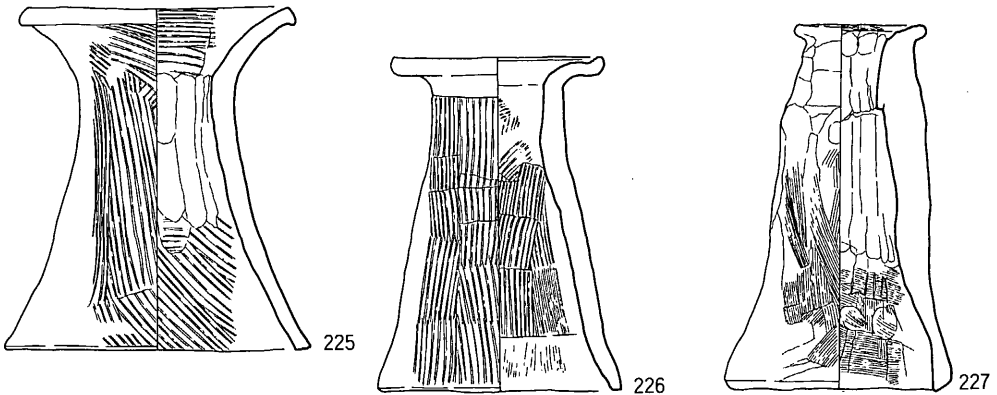
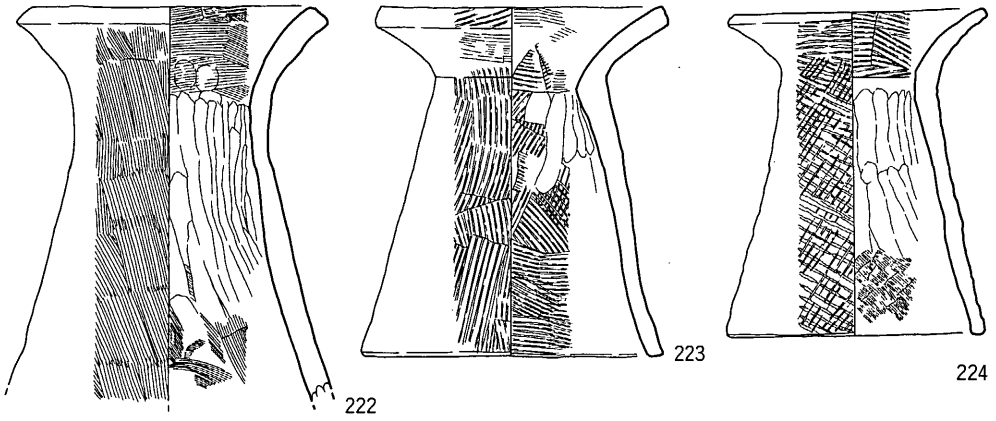
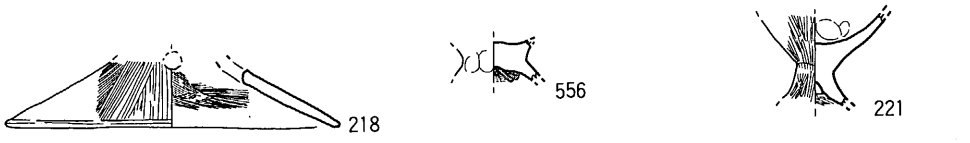
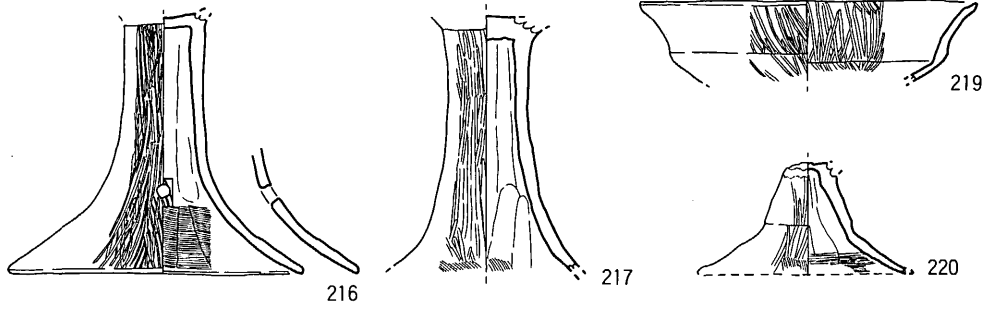
第39图 |SX001黑色土出土土器 17



第40图 1SX001黑色土出土土器 18

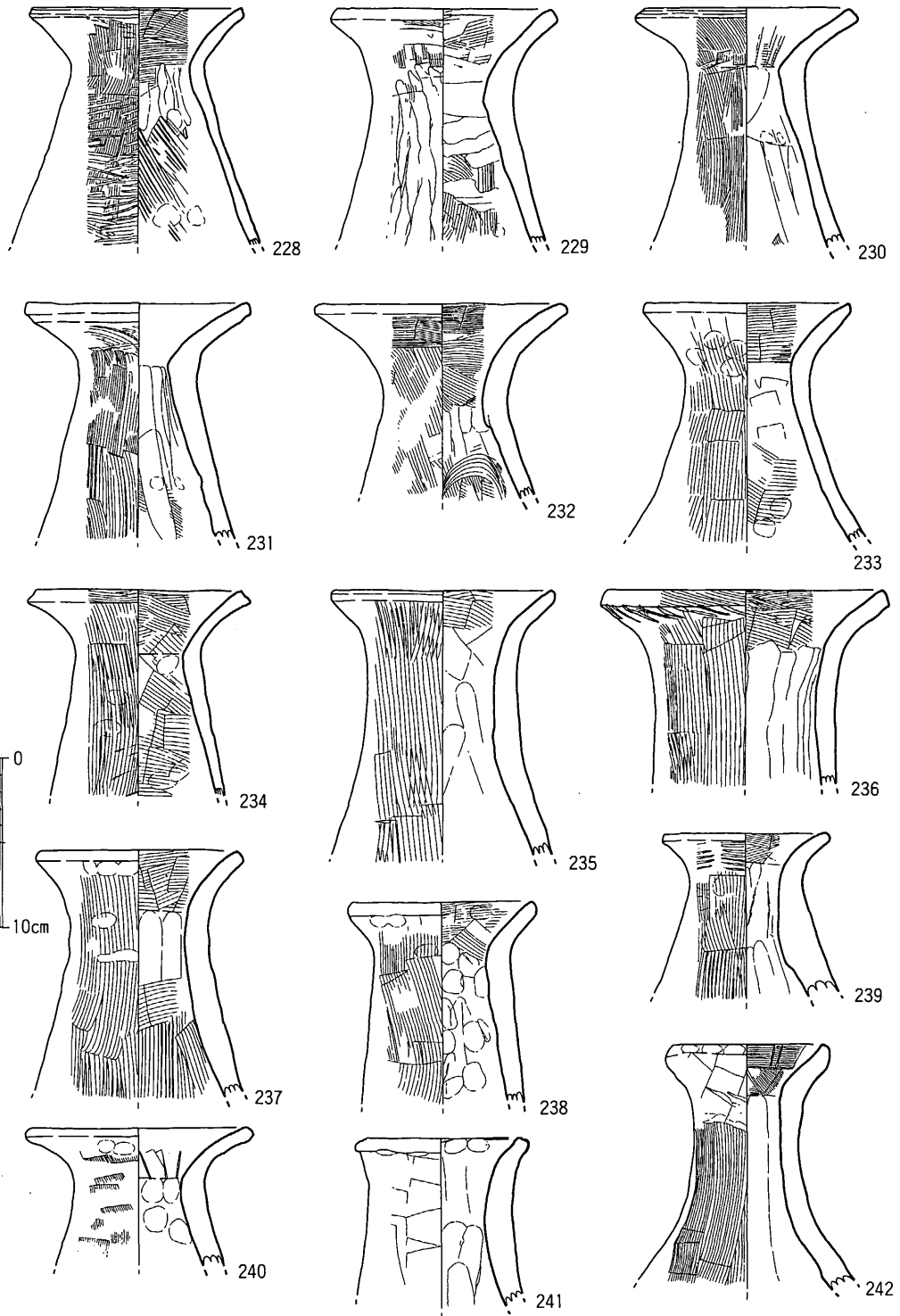


第41图 1SX001黑色土出土土器 19

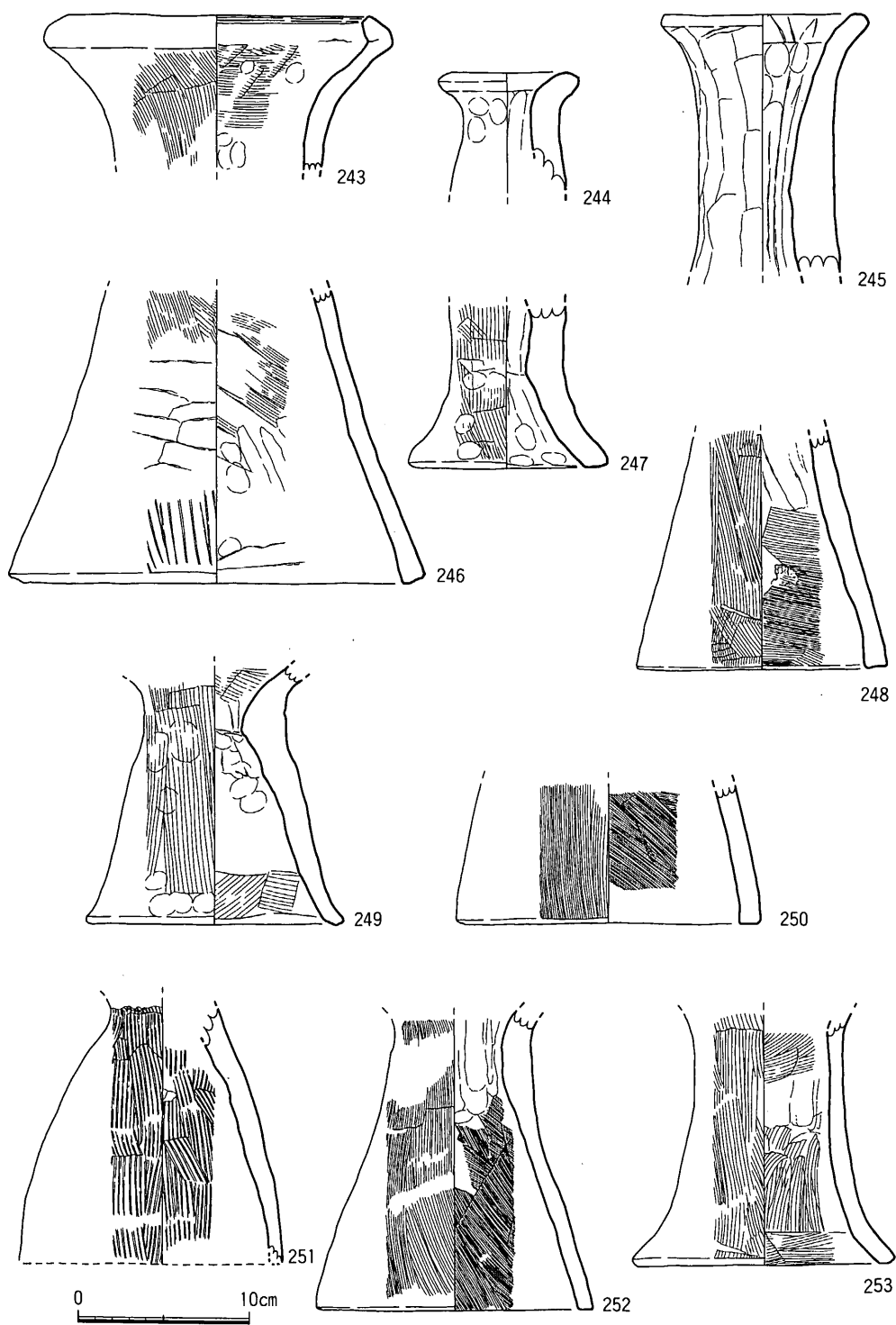


0 10cm

第42图 1SX001黑色土出土土器 20

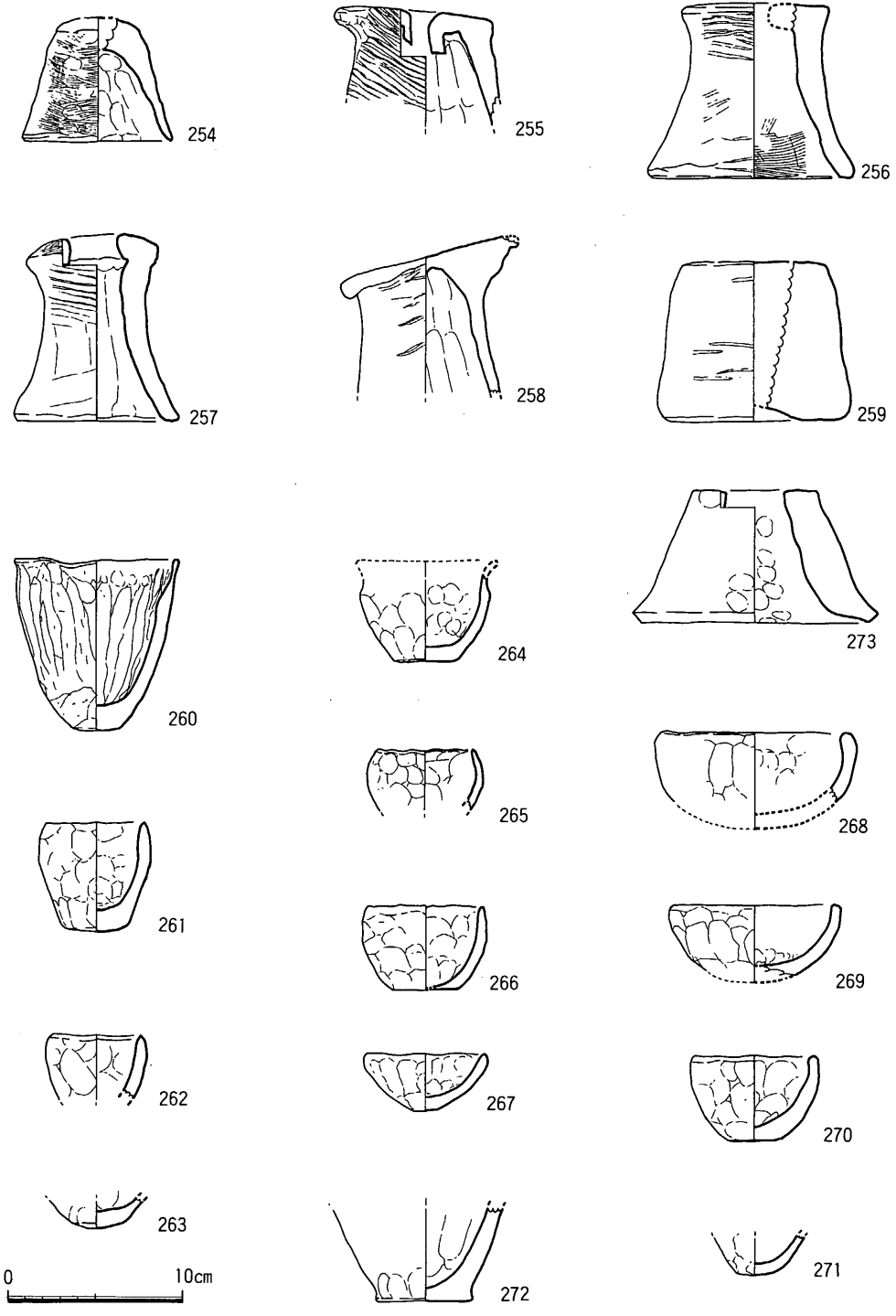


第43图 1SX001黑色土出土土器 21



第44图 1SX001黑色土出土土器 22





第45图 1SX001黑色土出土土器 23

### ミニチュア土器 (260~272)

坏形のミニチュアで、すべててづくねで形成される。色調はくすんだ灰色のものが多い。260と264と272は平底に作られ、264は外反する口縁が付くようである。設置された様な状況で出土しているものはない。

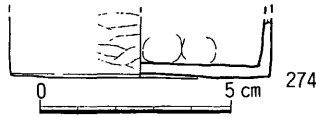
### 筒型土器 (274)

茶筒のような形状で、底の部分が残る。外面はミガキが施され、黒色（漆塗りか？）仕上げ。通有には無い形態で、特殊なものであろう。

この土器の実測図だけ1/2のスケールで掲載している。

### 加工土器片 (図版22、23)

土器片を打ち欠いて円形、半円形にしたもので、通称メンコと呼んでいるものである。皮革加工の工具、遊戯具等諸説あるが、今回出土したものに顕著な使用痕は見られない。割れ口が人為的物か否か判断しかねるものもあり、参考遺物として掲げている。



第46図 1SX001黒色土出土土器 24

#### 1SX001出土土器（第47～53図、図版25～27）

灰色砂層と黒色土出土のものを統合して取り上げた遺物。大半が弥生後期の範疇で捉えられるものである。

#### 壺型土器（275～287）

壺の形状として複合口縁（275）、広口（276、277）、短頸（281～285）小形丸底（286、287）がある。276はへら状の先端が鋭い工具でキズが入れられる。絵画土器とされるものはこの形状の壺が選ばれることから、絵画である可能性がある。同じ様な文様が残された土器片が1SX001黒色土から出土している（図版25右下参照）。

#### 甕型土器（288～303、280）

280、304は古式土師器の範疇のもの。279は壺に配置したが、破片の傾き次第では甕に含めたほうが良いのかも知れない。

#### 鉢・坏型土器（305～314）

く字形口縁（309）と素口縁、脚付き鉢の脚部がある。313と314は坏の範疇か。

#### 高坏型土器（315～319）

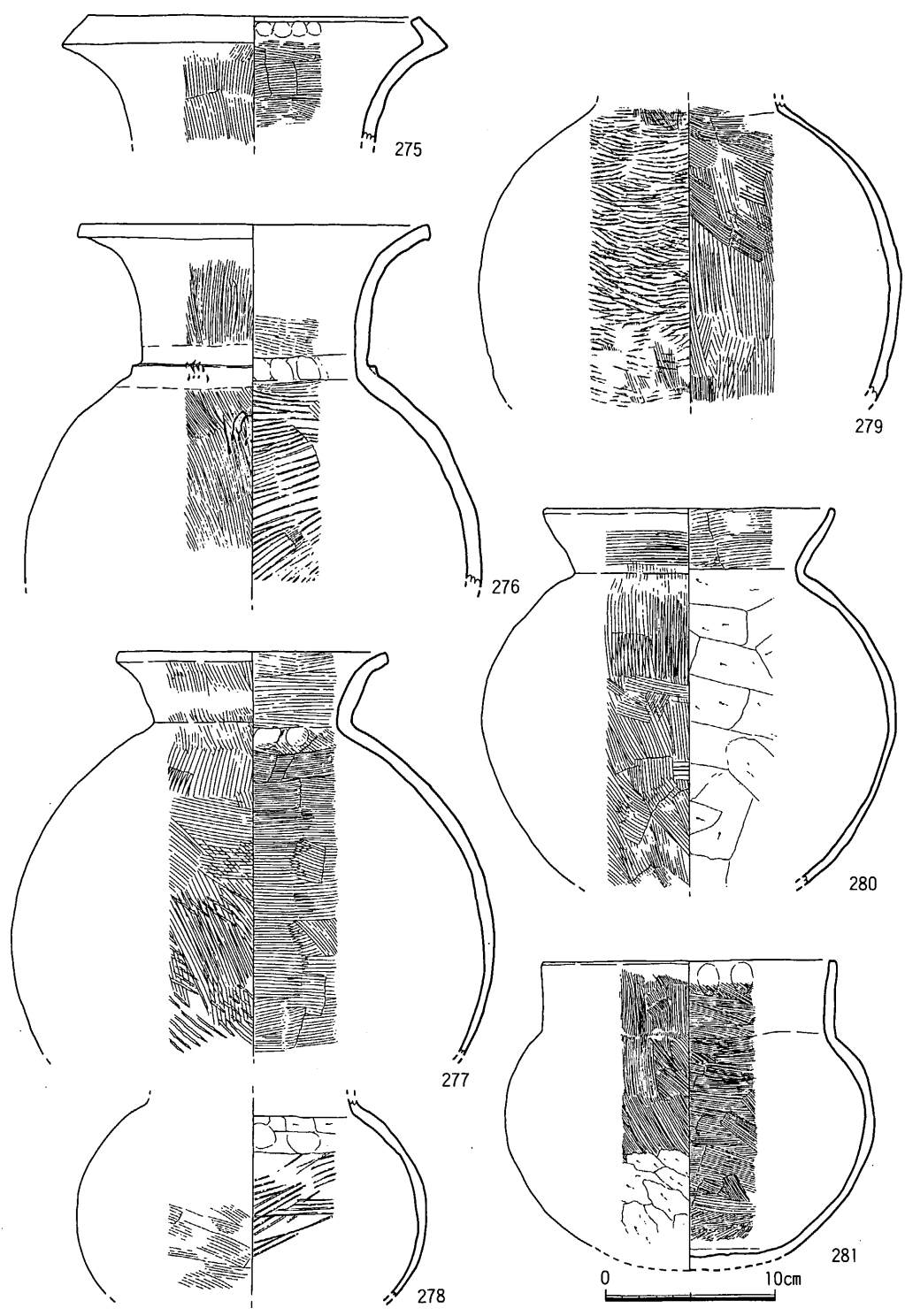
脚部は318がハケのまま。319はワイングラス型。

#### 器台、支脚（63～70）

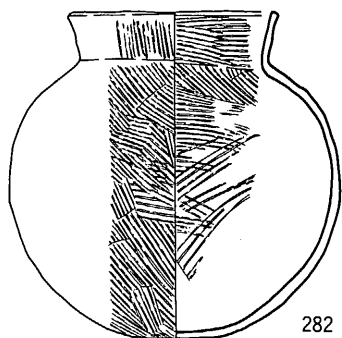
器台は鼓型であるが上方に片寄って朝顔形に開いている。69は袋状を呈し口縁端部に刻みがある。

#### ミニチュア土器（317、338）

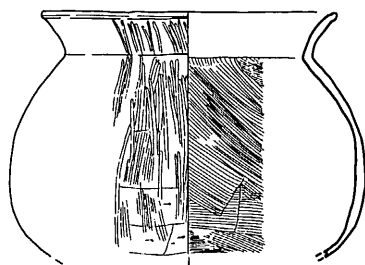
坏のミニチュアで手づくねで形成される。



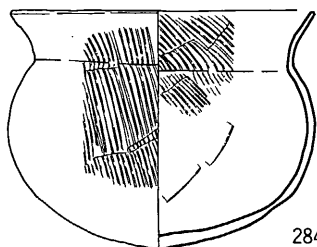
第47图 1SX001出土土器 1



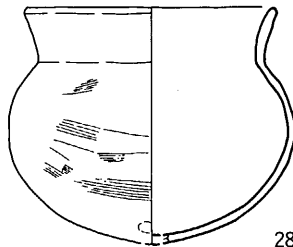
282



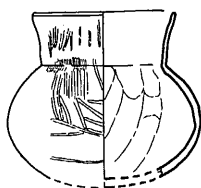
283



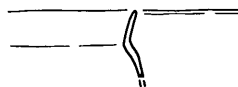
284



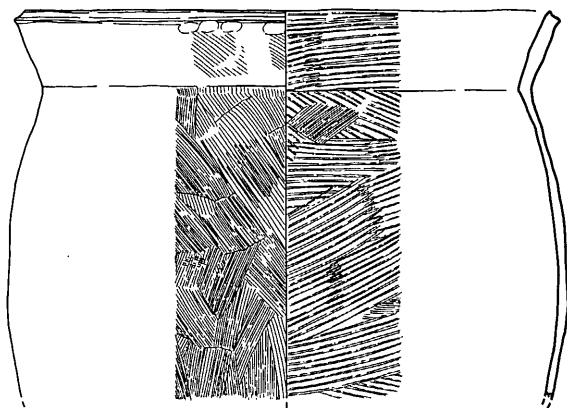
285



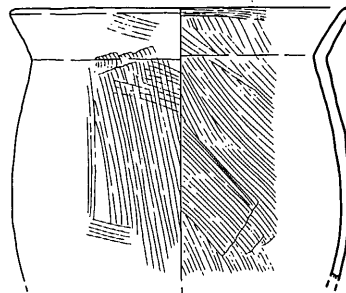
286



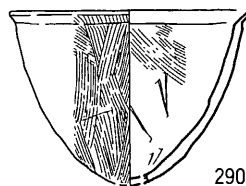
287



288



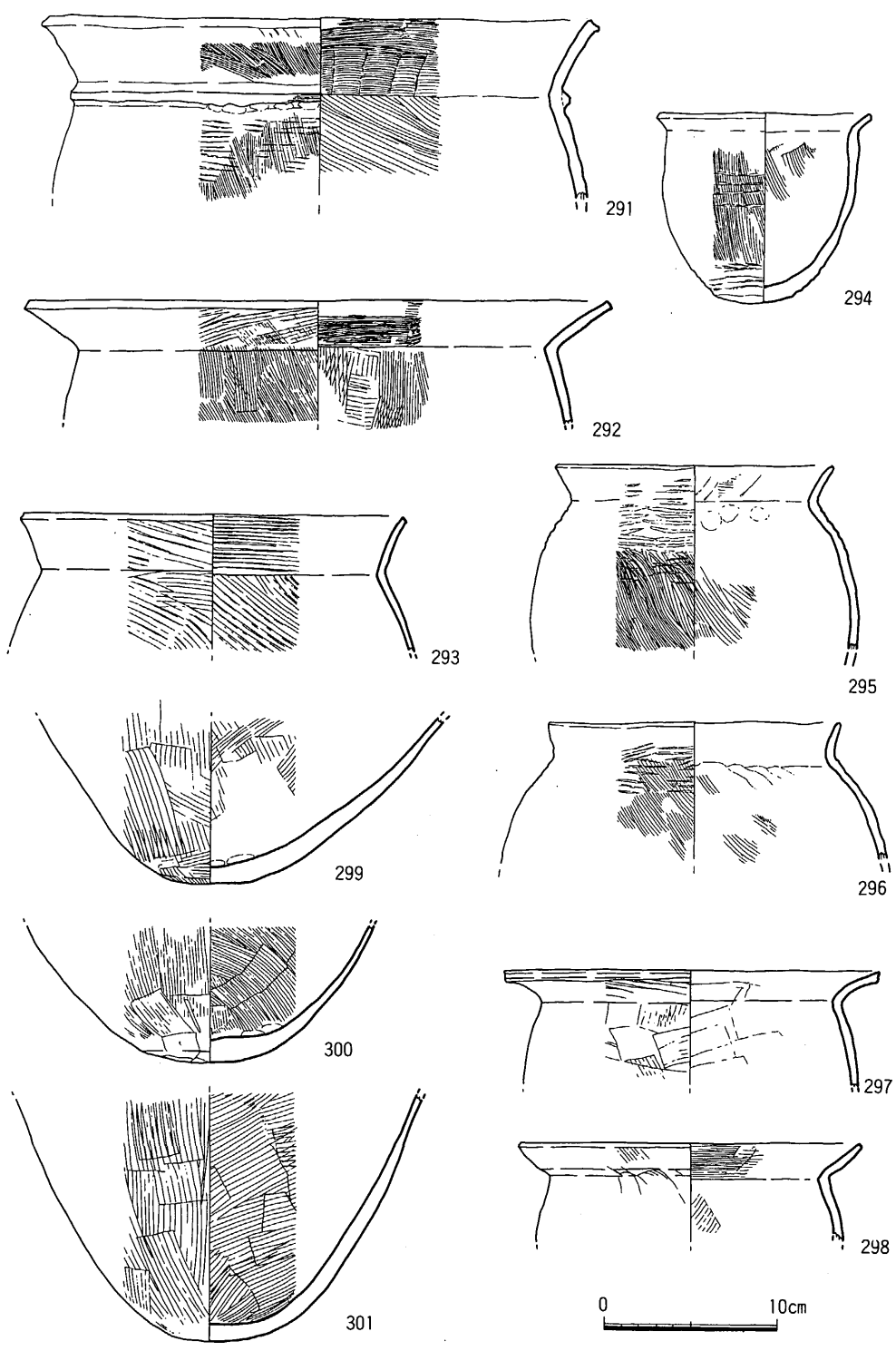
289



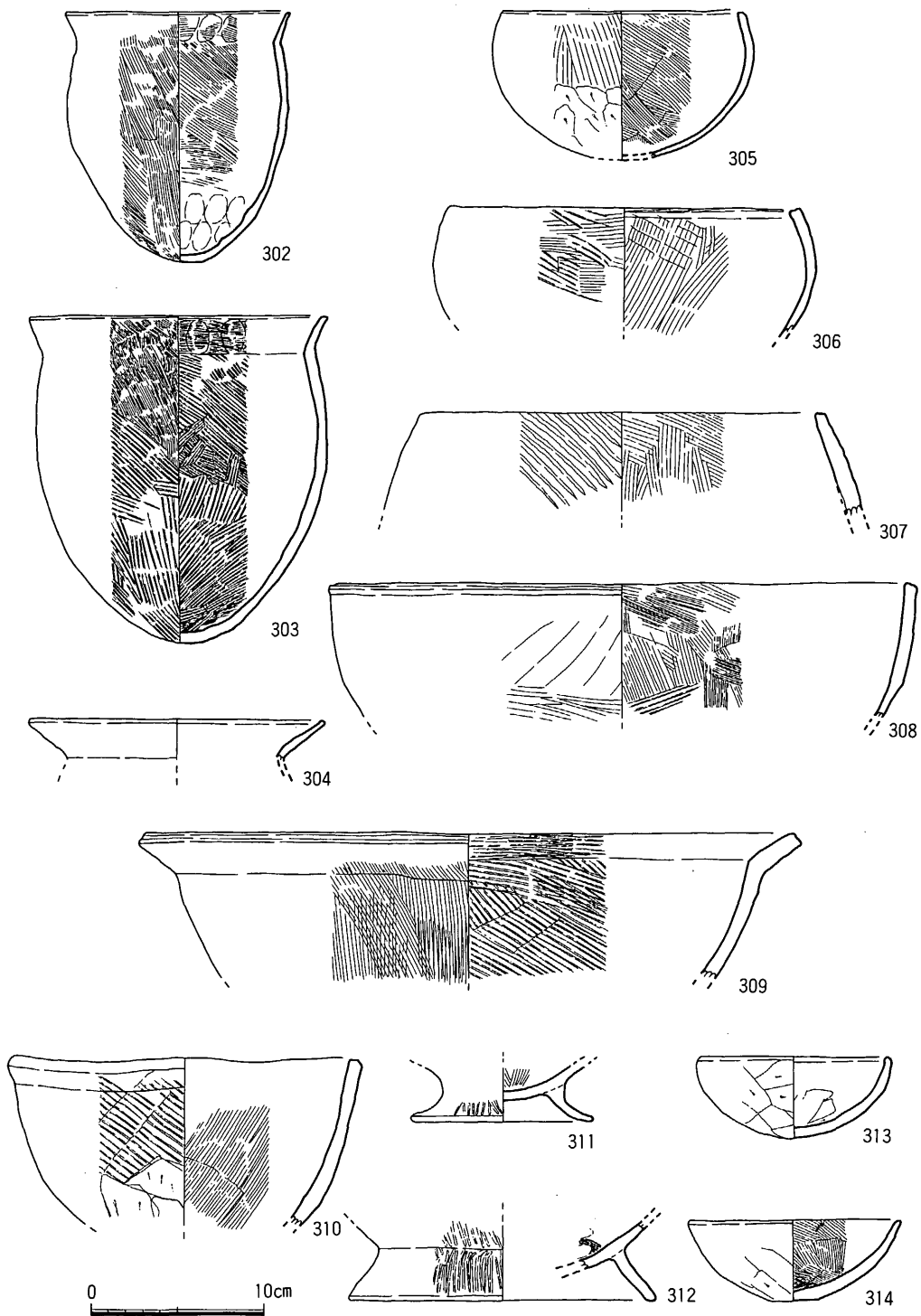
290



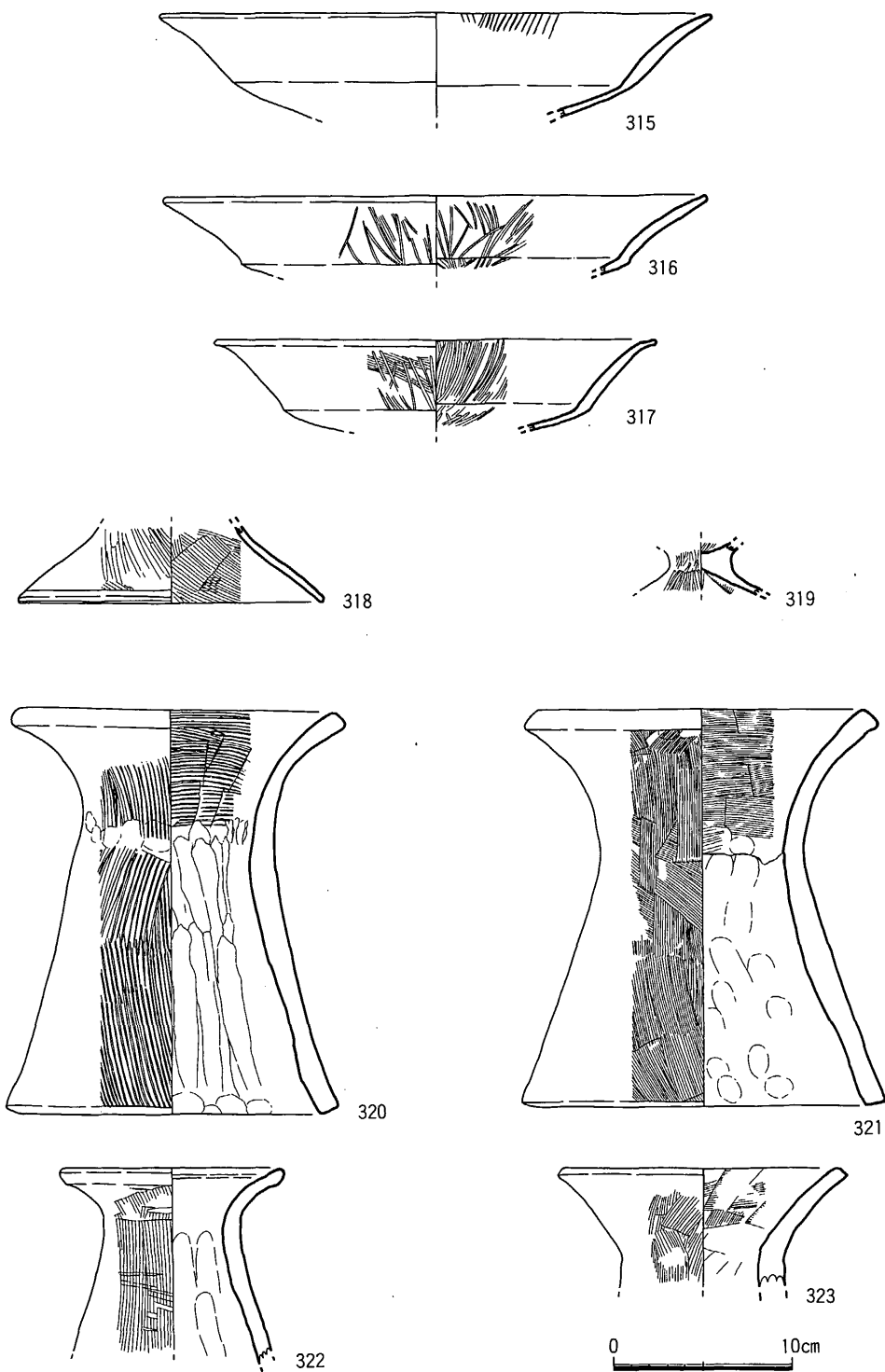
第48图 1SX001出土土器 2



第49图 1SX001出土土器 3

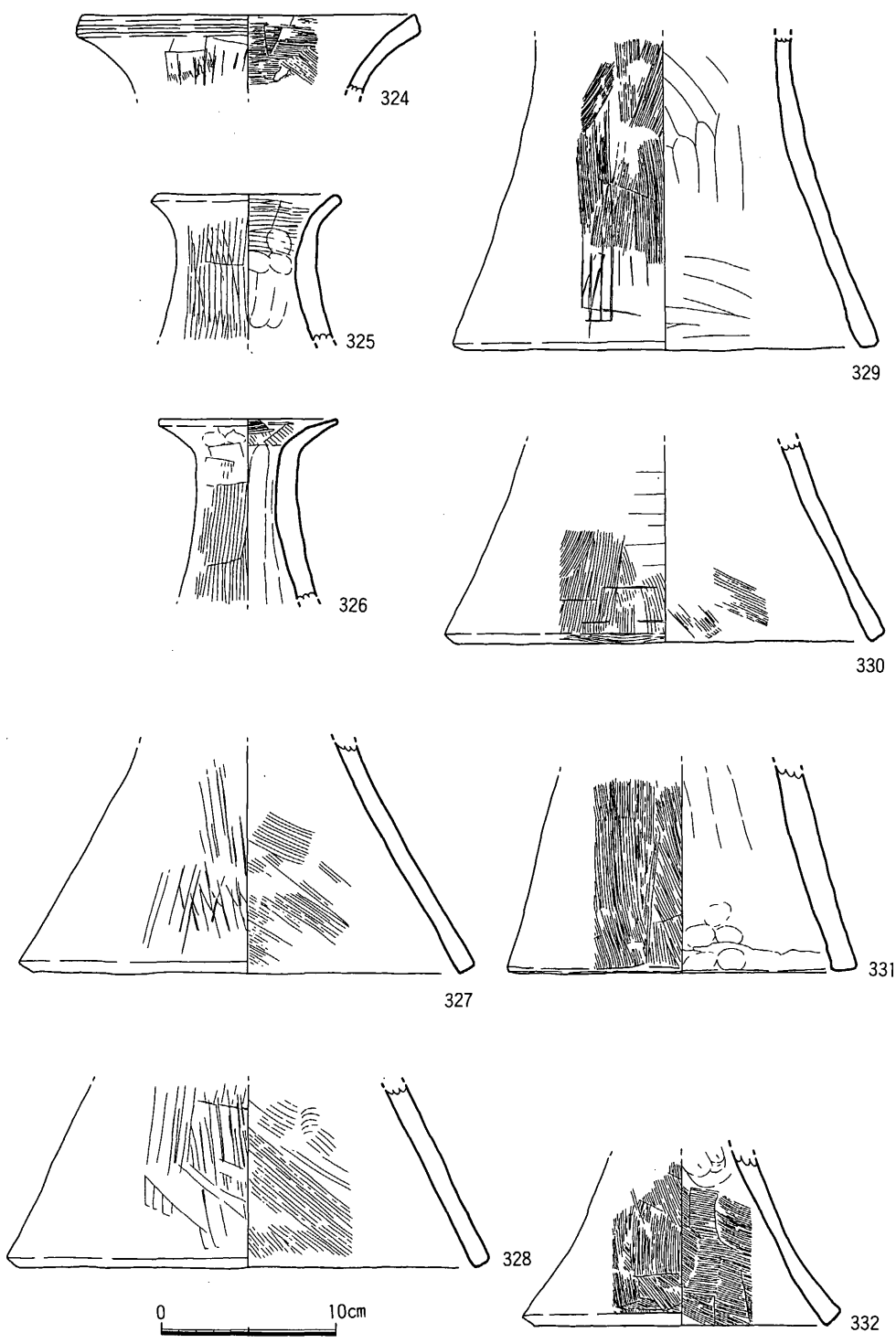


第50图 1SX001出土土器 4

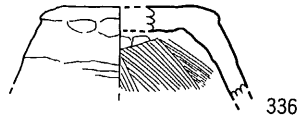
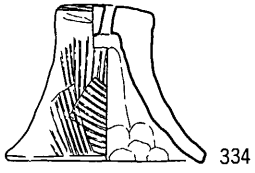
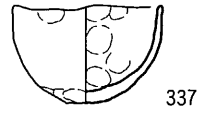
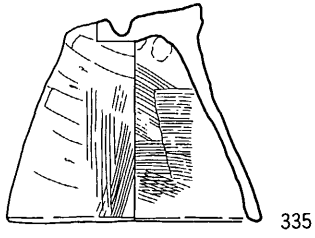
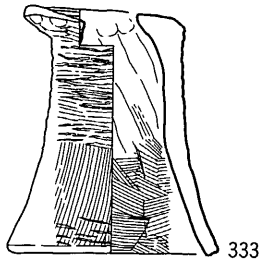


第51图 1SX001出土土器 5





第52图 1SX001出土土器 6



第53図 1SX001出土土器 7

1SX001黒灰層出土土器（第54図、図版27、28、30）

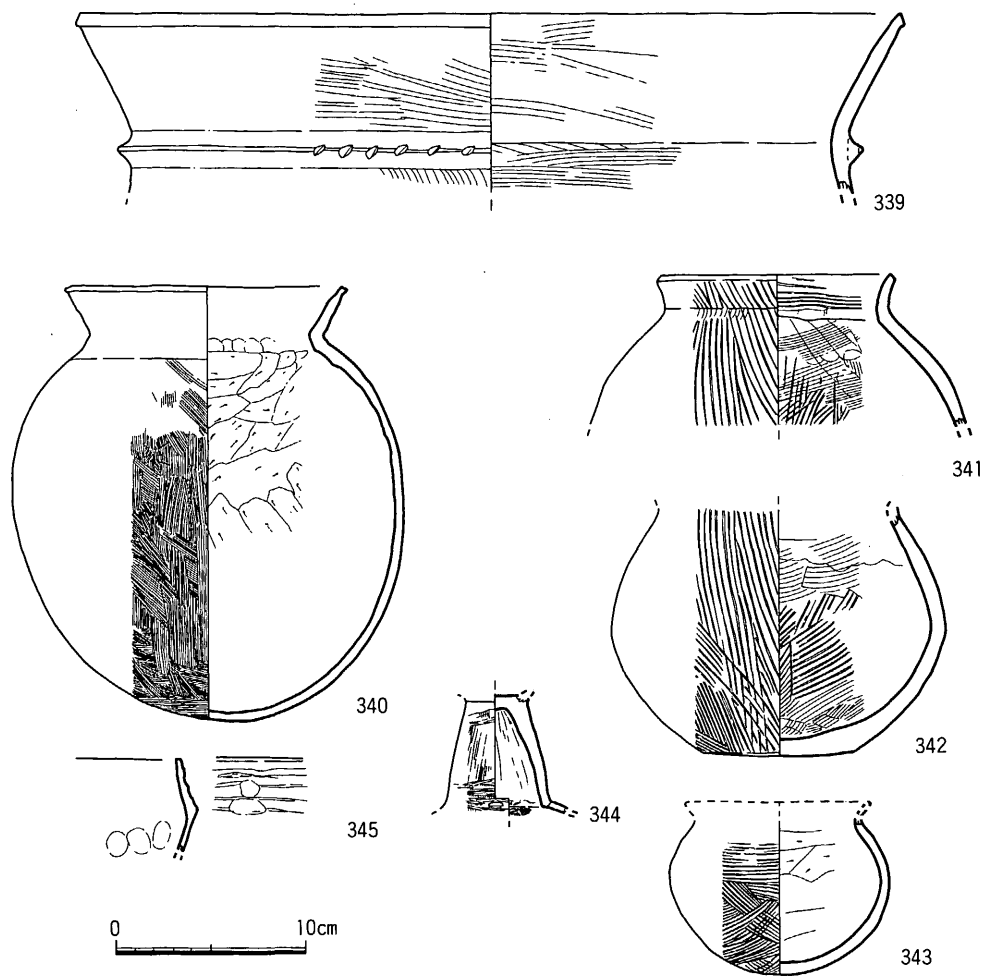
黒灰層の出土遺物は先の1SX001黒色土の上層出土の一群である。

壺型土器（341～343）

短頸壺（341、342）と丸底壺（343）がある。

短頸壺はやや丈高のもので341はやや外反気味に口縁が立ち上がっている。342はやや膨れ気味の平底を呈し、胴部中央に最大径が来る。

丸底壺は内面がヘラケズリで仕上げられるもので古式土師器の段階のものに位置づけることができる。外面上部には横方向のハケが施されている。



第54図 1SX001黒灰土出土土器

### 甕型土器 (339~340)

339はく字形口縁を持つ甕で、外面屈曲部に三角突帯を持つ。内側の屈曲部の稜線はあまり明確ではなくなっている。340はく字形口縁に縦長の球形の胴部を持ち、内面にケズリを施し、外面にはかなり目の細かいハケを施す。古式土師器の布留式の範疇であるが、底の形が丸い形状であり新しい傾向が見て取れる。

### 高坏型土器 (344)

344は脚の屈曲がきつく小型のもので古式土師器の範疇に考えられる。脚の中央付近が多少膨れ気味のフォルムを持つ。裾回りの屈曲部には不揃いの間隔で四つの円形の穴が穿孔されている。細かいハケの上の一部に横方向のミガキが施される。

### 縄文土器

#### 深鉢型土器 (345)

精製された土が使用され、口縁端部はく字に浅く屈曲し横沈線が施される。その沈線施文後に中央から下位にかけて二つの窪みが作られている。色調は淡い黄褐色を呈し、黒色化処理はなされていない。

#### 1SK020出土土器（第55～59図、図版28～30）

1SX001黒灰土掘り下げ中に検出した遺物群で、塊状にまとまって出土している。一括性については土器の検出面と床面の土色の違いなどは明確に掴めず、追加投棄されたものが混在している可能性は否定できない。土器の形式としては多少の幅が考えられる。

#### 壺型土器（346～355）

壺の形状として複合口縁（346、351～353）、短頸（348、349）と長頸（347）がある。

複合口縁の内346は胴部の形状が球形であるのに対し、350、351は最大径が上半に寄っている。351はタタキののちハケで撫でられ底部付近はケズリ気味の粗いナデを施している。口縁端部には斜め方向に叩かれたタタキが、ナデ消されずに残されている。352の口縁端部は極端に外側に反った形状をしており、く字形の複合口縁の中では新しい傾向のものである。350はわずかに底部付近に稜線が残される尖り気味の形状を呈している。胴部中央に台形の突帯を巡らす。

短頸には丈高い348とやや扁平な349があり、後者は凸レンズ状の底部を持っている。ハケで調整された後に底部付近はナデられている。

長頸の系譜に考えられる347は膨らみ気味の平底を持ち、端部付近が僅かに内側に屈曲する口縁を持っている。全体に粗いナデで調整は終了している。

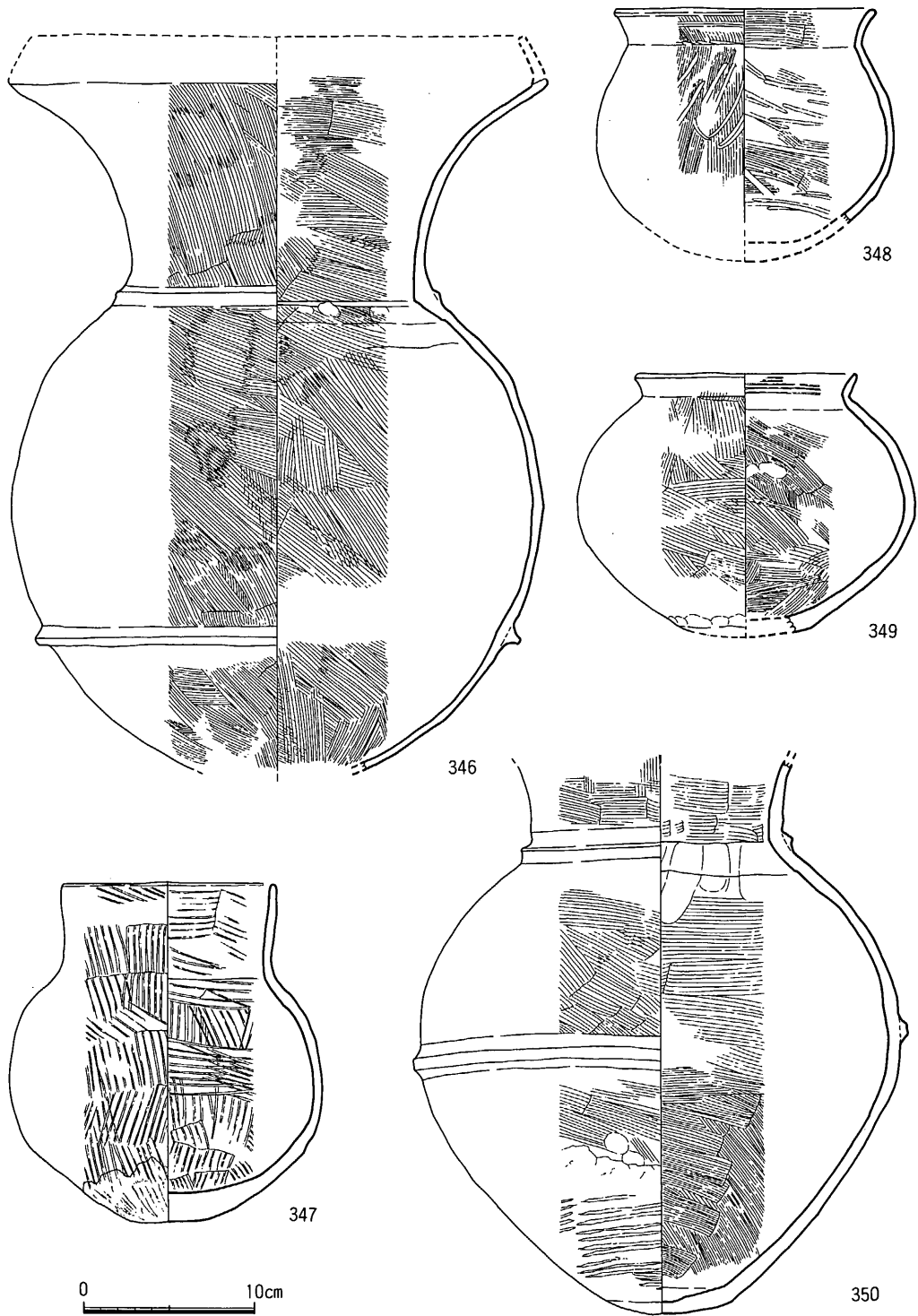
#### 甕型土器（354、355、360、361、366）

複合口縁の354、355は山陰の系譜を持つもので、古墳時代前期の古式土師器の範疇に入るものである。355は外面は黒色の顔料が塗られている。本遺跡の北西にある丘陵上で調査した宮ノ本遺跡7-2次調査で検出した甕棺墓7 ST010の下甕に使用されていた山陰系の複合口縁甕も複合口縁部のみに漆と思われる黒色顔料が塗布されて検出されている。（「太宰府・佐野地区遺跡群4」1993 p28参照）

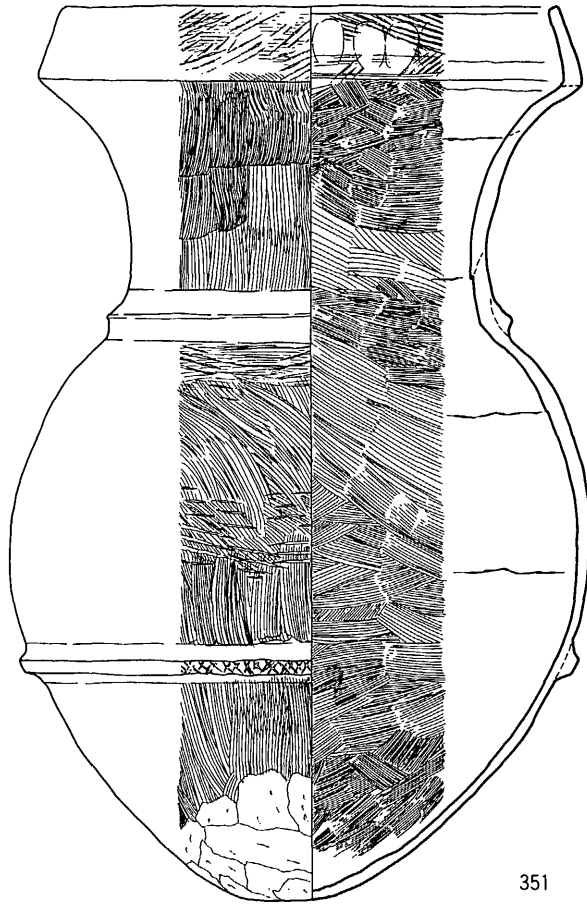
360、361はく字形口縁を持ちハケで仕上げられる在地の伝統的な甕で、360は屈曲が強い口縁に三角と台形の突帯を持っている。366は凸レンズ状の底部を持っている大型の甕で、タタキの上にハケが施され、底部付近はケズリ気味のナデが施されている。

#### 鉢・坏型土器（356～359）

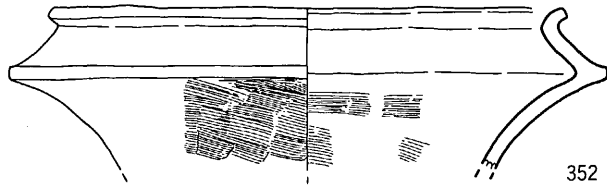
総て素口縁の部類のものである。外面下半部にケズリが施されている。358はタタキの後にハケを施している。356と359は坏の範疇に考えることもできよう。しかし、この段階では須恵器の坏が出現して後のような、安定的な供膳具と考えられるほどの量的なものは本遺跡の調査においても見られず、結論的には形態としては後代の坏に似ているが、この段階では鉢の系譜から派生した一形態と考えておくのが無難と思われる。



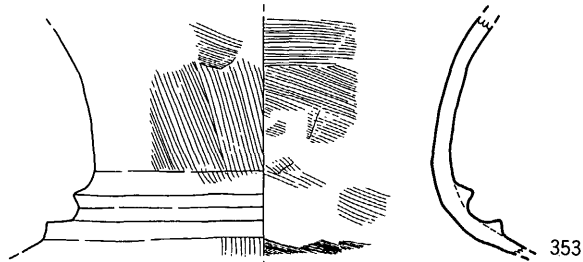
第55图 1SX020出土土器 1



351



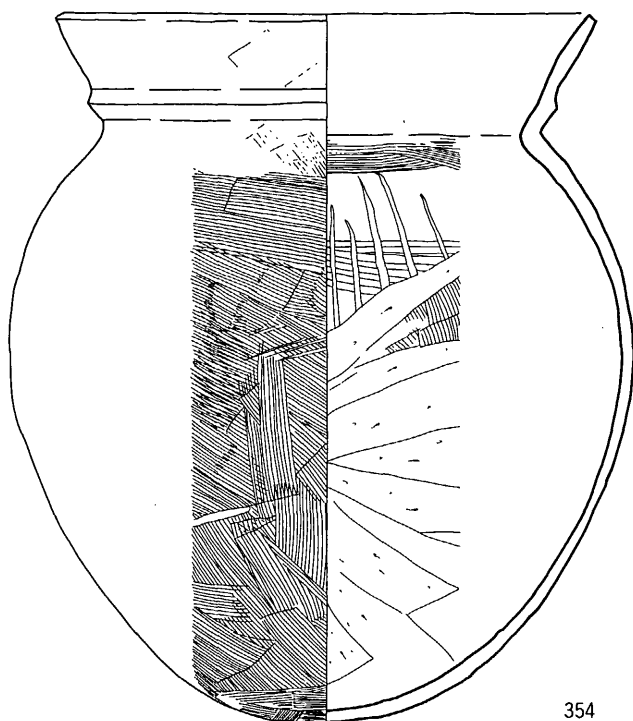
352



353



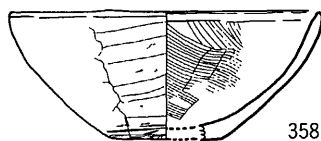
第56图 1SX020出土土器 2



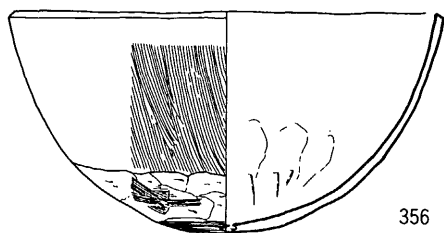
354



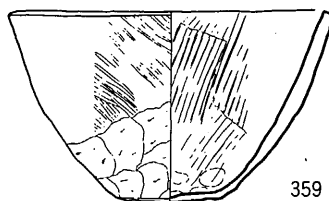
355



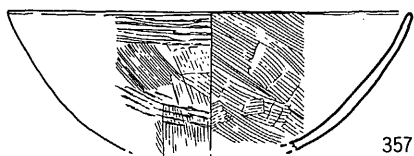
358



356



359

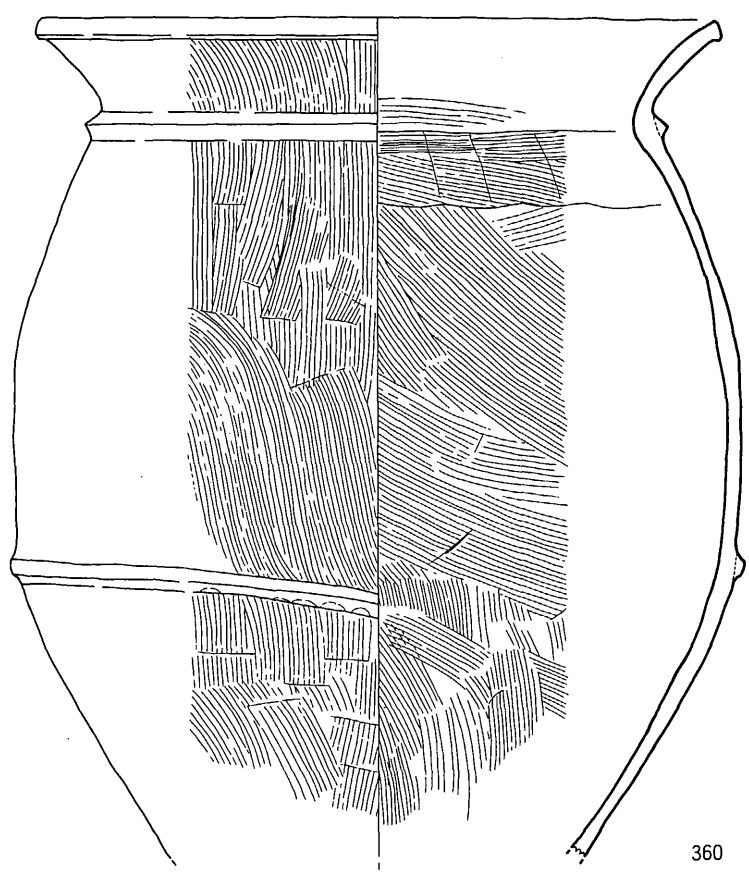


357

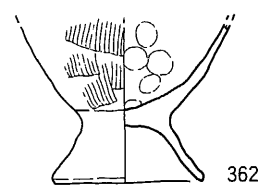


第57图 1SX020出土土器 3

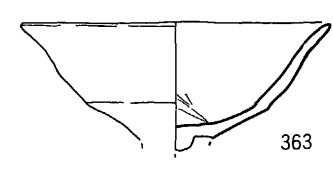




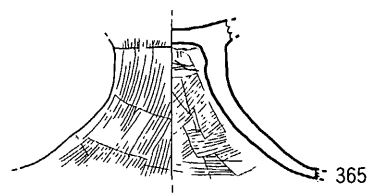
360



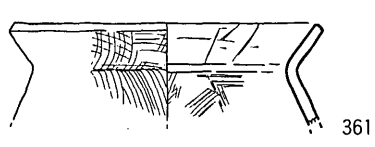
362



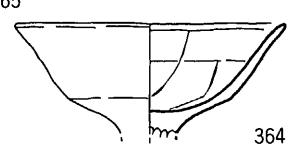
363



365



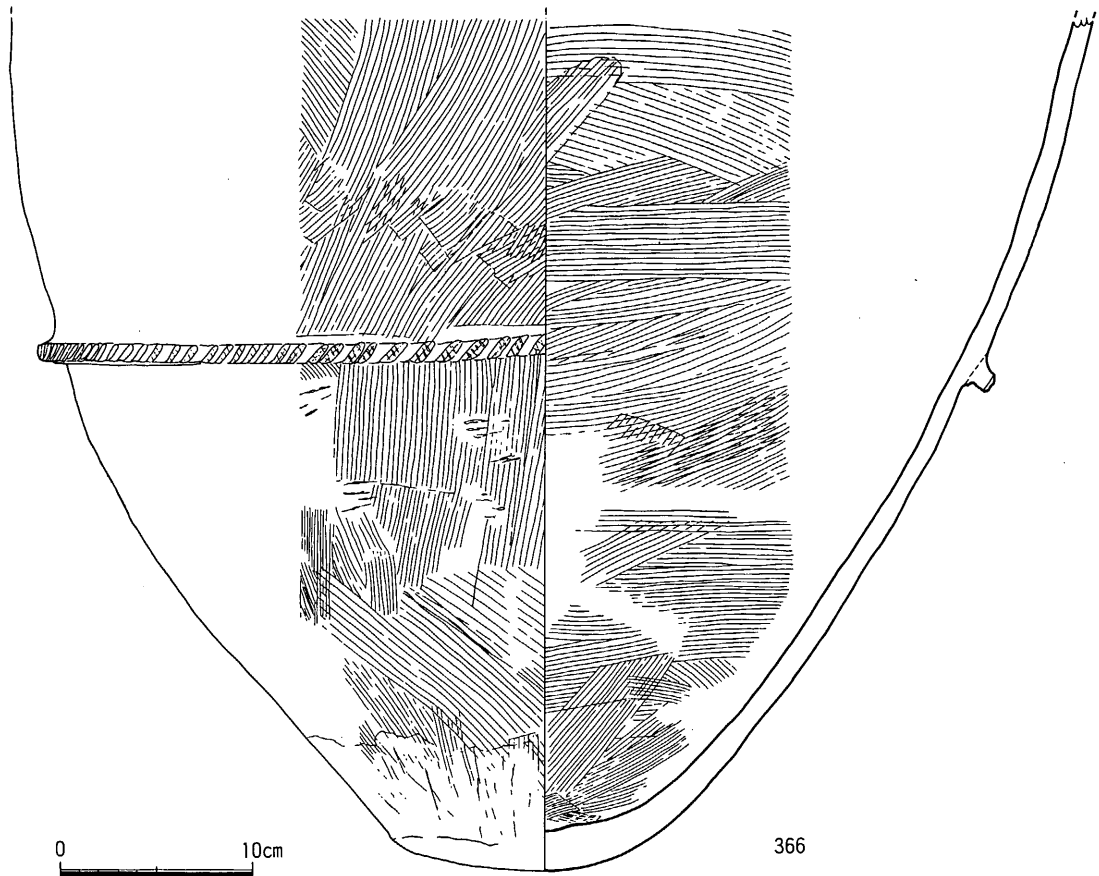
361



364



第58圖 1SX020出土土器 4



第59図 1SX020出土土器 5

高坏型土器 (363~365)

363、364は径が15cm前後の小形の坏部で、古式土師器の範疇に入る。内面は工具によるナデが施される。脚部は365がハケのまま。

## 2 木 製 品

以下に報告する木製品は作図作業を出土から8年経過しておこなったため、一部の遺物に腐食による欠損、肥大、痩せ、褶曲が認められるものが含まれていたが、有り体の実測している。また、樹種の鑑定はこの報告段階では行なっていない。今後機会をみて実施したいと考えている。木製品の実測図はすべて1/6のスケールで提示している

### 1SX001黒色土出土木製品（第60～66図、図版31～37、39）

#### 鍬（367～383）

鍬には平鍬（367）、三つ又鍬（368～379）、二股鍬（380～383）がある。

平鍬は出土後の乾燥のため変形している。上方に三角形の張り出しがある。

三つ又鍬はすべて出土時点で破損した状況で出土した。材はすべてカシと思われ、歯の断裂したものが多い。368は中央の歯が脇のものよりも短い。三つ又鍬は破砕したものばかりが出土したが、復原しうる形状を比較した場合、法量に大小があることがわかる。刃部の破砕の割れ口は平坦なものも多く、繊維がささくれたつようなものは見られない。

二股鍬は4点出土し、380はほぼ完形で383と共伴している。380の先端はあまり磨耗していない。383は二次的に上方に穴が穿たれている。

#### 鋤（384～386）

いずれも一本作りの鋤の部分と考えられ、384は平鋤、385と386はその柄の握り手の部分と考えられる。木目の感じではこれらも材はすべてカシと思われる。

#### 装 着 具（387）

鍬を柄と装着するために柄のほぞ穴に柄とともに差し込むもの。磨耗などの顕著な使用痕跡は見られない。福岡市四箇遺跡C地点で装着状態で出土して用途が判明したもの。

#### 横 杵（388）

先端は加工され磨耗した結果U字形になっている。

#### 鎌 柄（389）

握り手付近は断面円形で装着のほぞ穴に向かって方形になる。ほぞ穴は斜めに開けられる。

#### 斧 柄 (390)

方形のほぞ穴は軸線に対して直に穿たれている。組み合わせ式の鉄斧が装着されるものか。

#### 櫂状木製品 (391)

船のオールを思わせる板状のもので、先端が斜めに磨耗している。

#### 匙状木製品 (393、394)

たまりの部分が浅手と深手のものが出ている。393は柄の先端が欠損している。

#### 火切り臼 (395)

発火具である。横方向から三角に刻みをいれ作られた6箇所の火を起こした窪みが残される。

#### た も 杵 (396～400)

枝を人為的に曲げたと考えられる形状をなし、396はセットで出土した。漁労具と考えられる。

#### 槽 (401、402、405)

前二者は鐙状の張り出しを持つ形状で、402の内面にはわずかに赤色顔料が見られる。

#### 槌 の 子 (406)

筵などを編むための槌の子と考えられる。中央で折れている。

#### 火切り杵 (416)

素材自体が先細りになり、先の部分は焼け焦げている。杭の可能性も考えられる。

#### 用途不明木製品 (392、403、404、427)

392は面取りされた棒状を呈し、403は杓子の柄の可能性はある。404は装飾的な部材か。

#### 板 材 類 (407～413)

407は大、中、小の3種以上の方形の穴が開けられ、転用を繰り返した可能性が考えられる。図の下方は端部を粗く削ったもので小穴が切られている。413はあん(机)の脚の可能性はある。

#### 杭 類 (414～425、430、431、438)

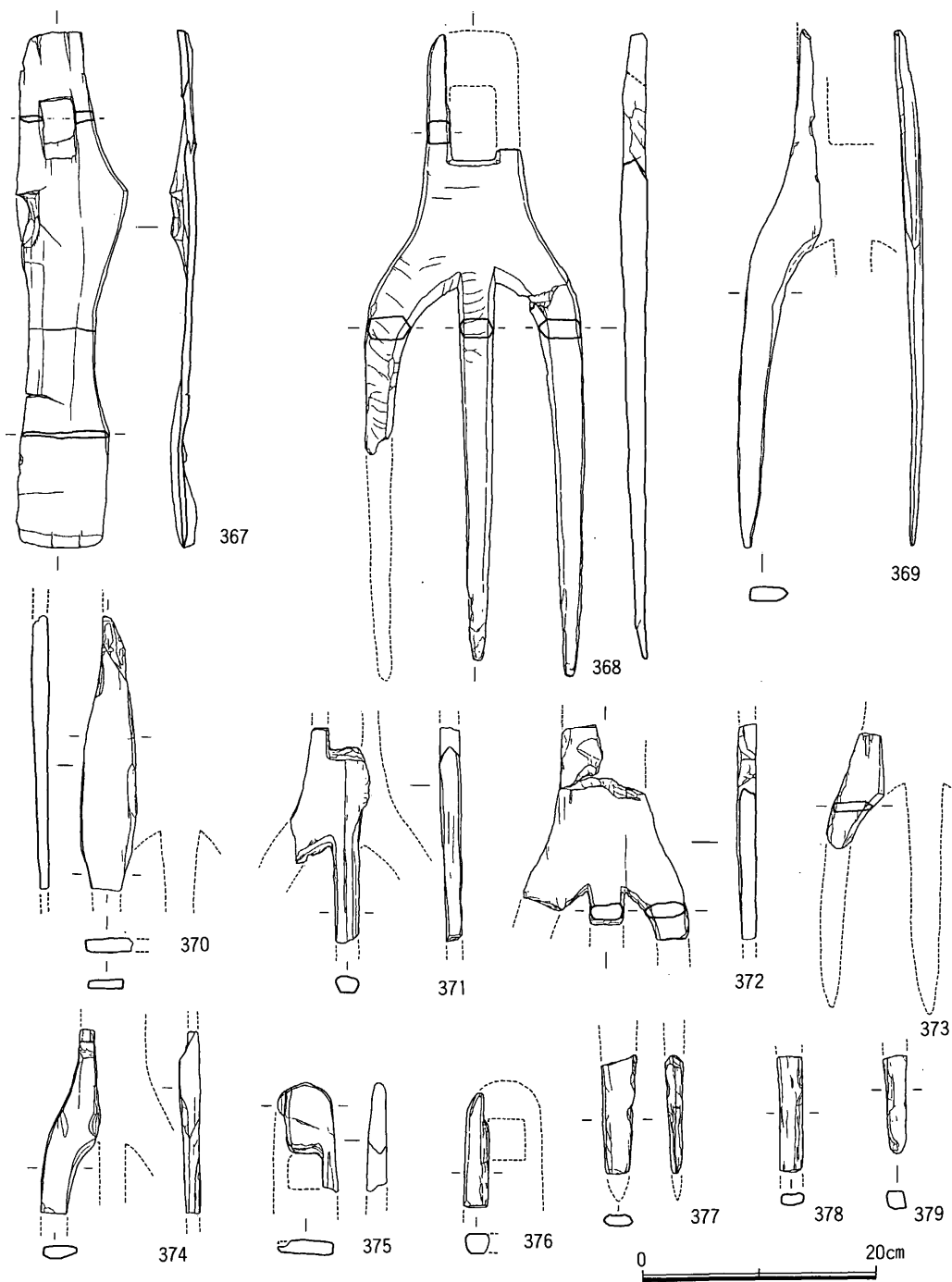
415は削り口を焼いている。425は欠損した小口を削って加工する。

チップ類 (426～429、435～437)

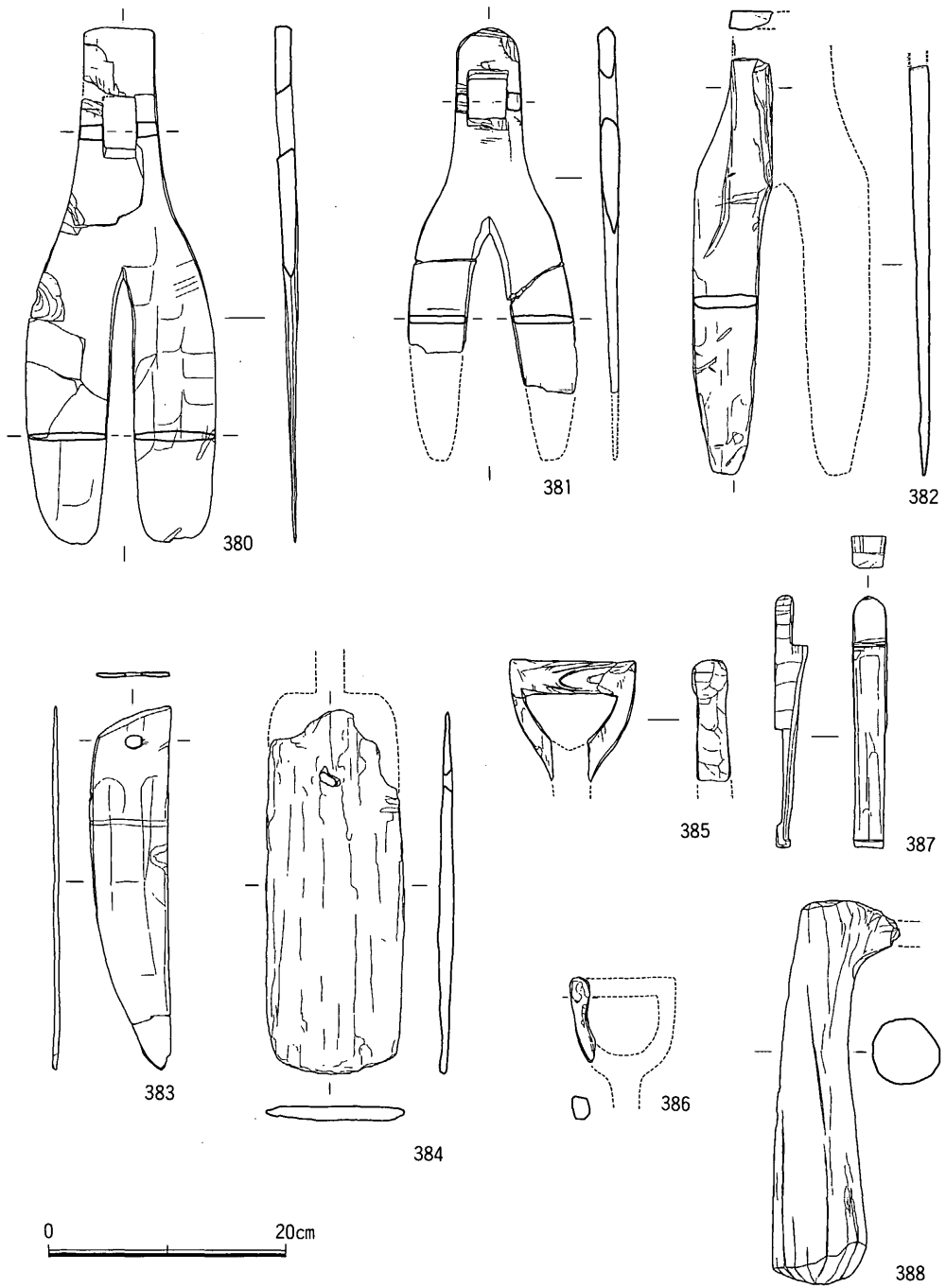
製品加工時点が出た木屑の類で、無数に出土した内の代表的な形状の物を図化している。

割材類 (432～434)

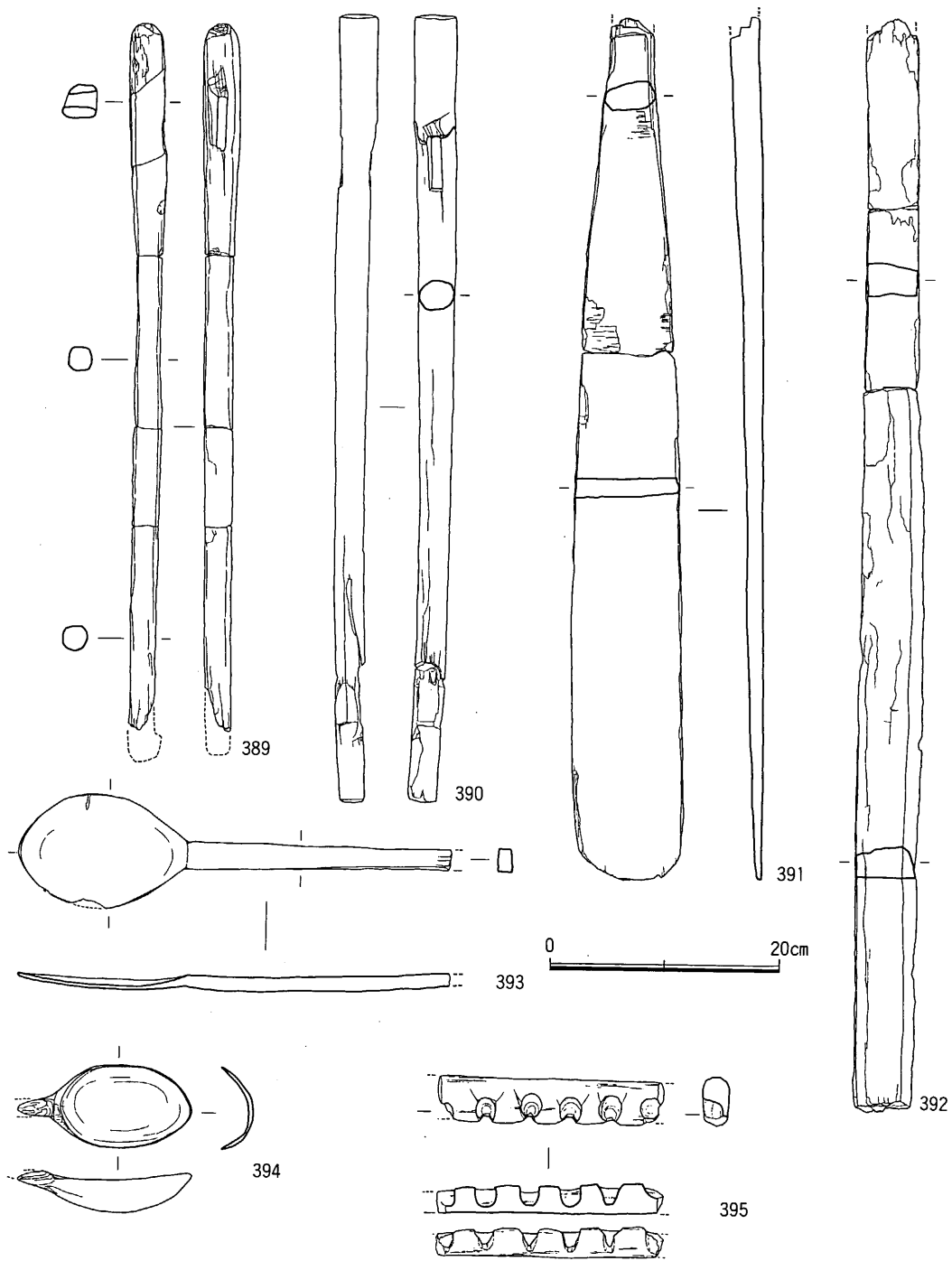
カン材を棒状に割ったままの類で、製品の素材になるものと思われる。



第60图 1SX001黑色土出土木製品 1

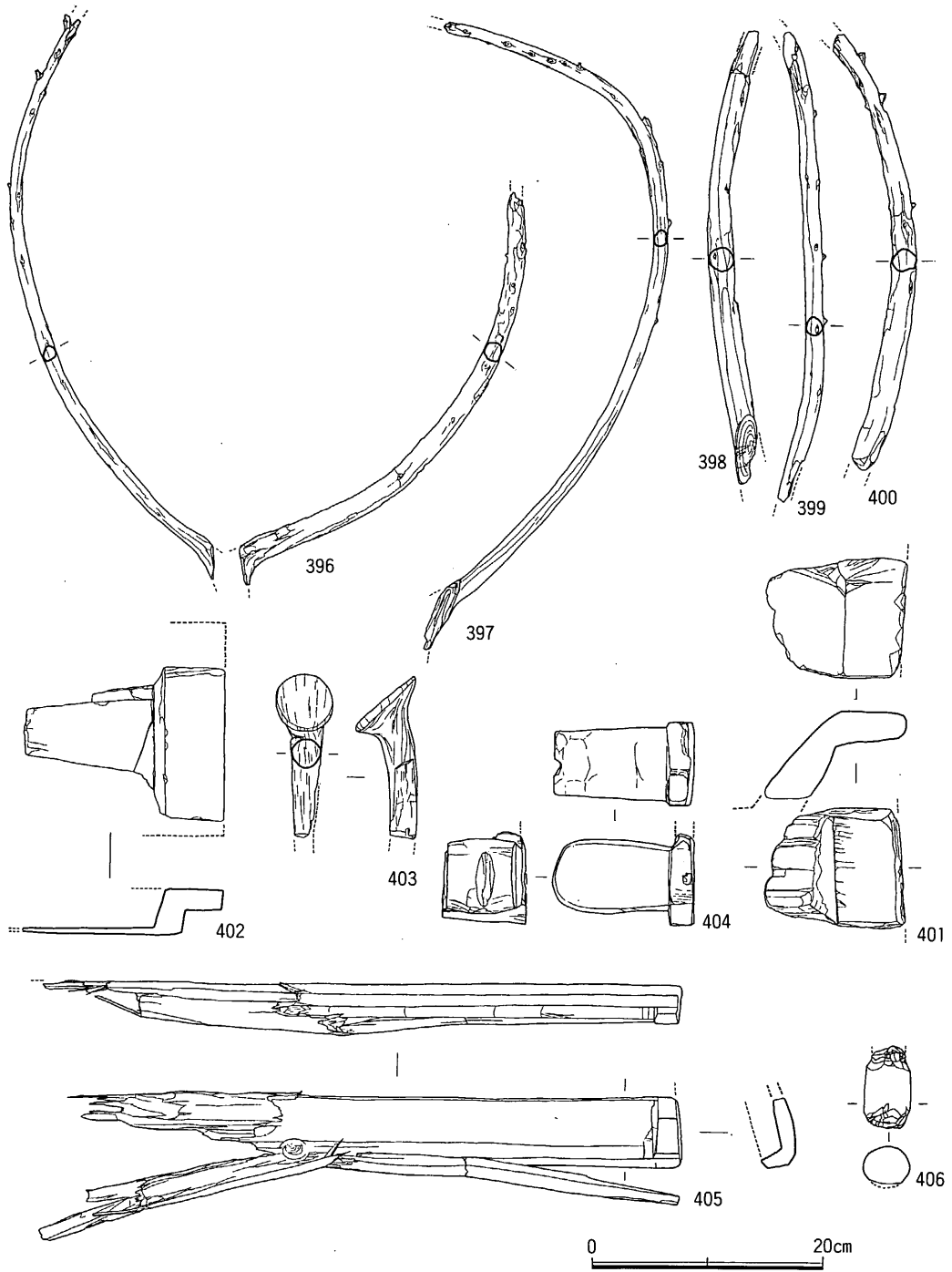


第61図 1SX001黑色土出土木製品 2

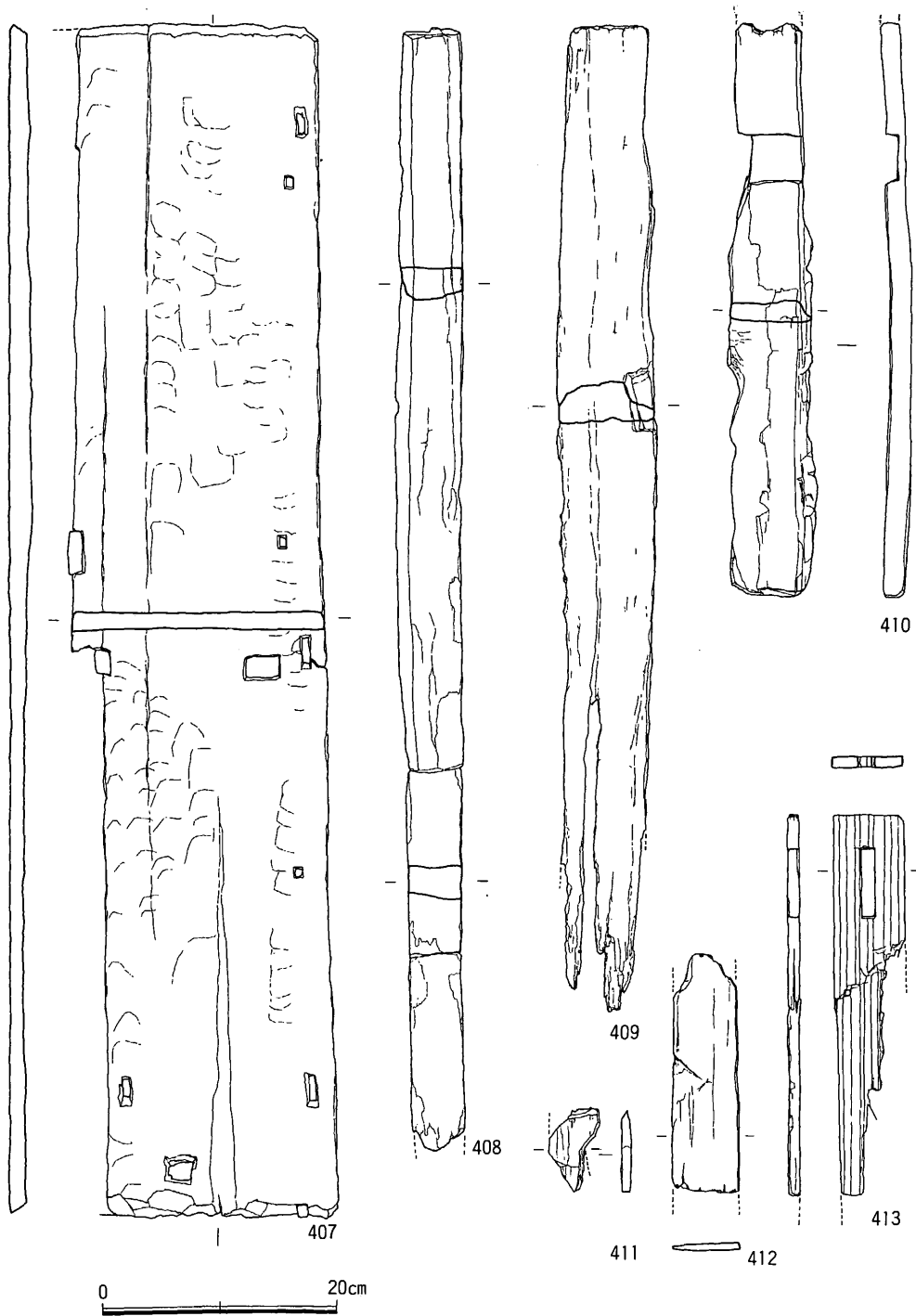


第62図 1SX001黑色土出土木製品 3

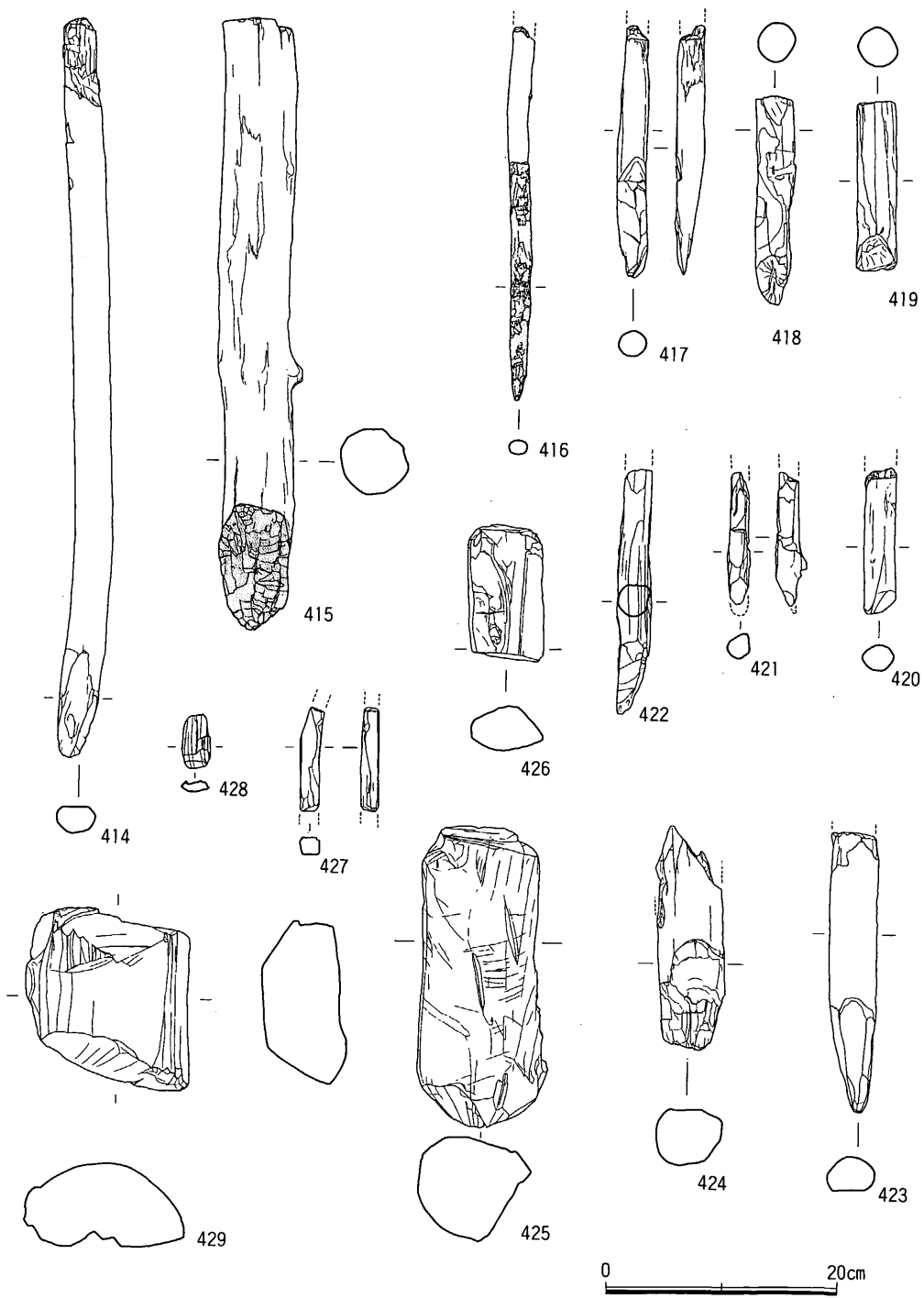




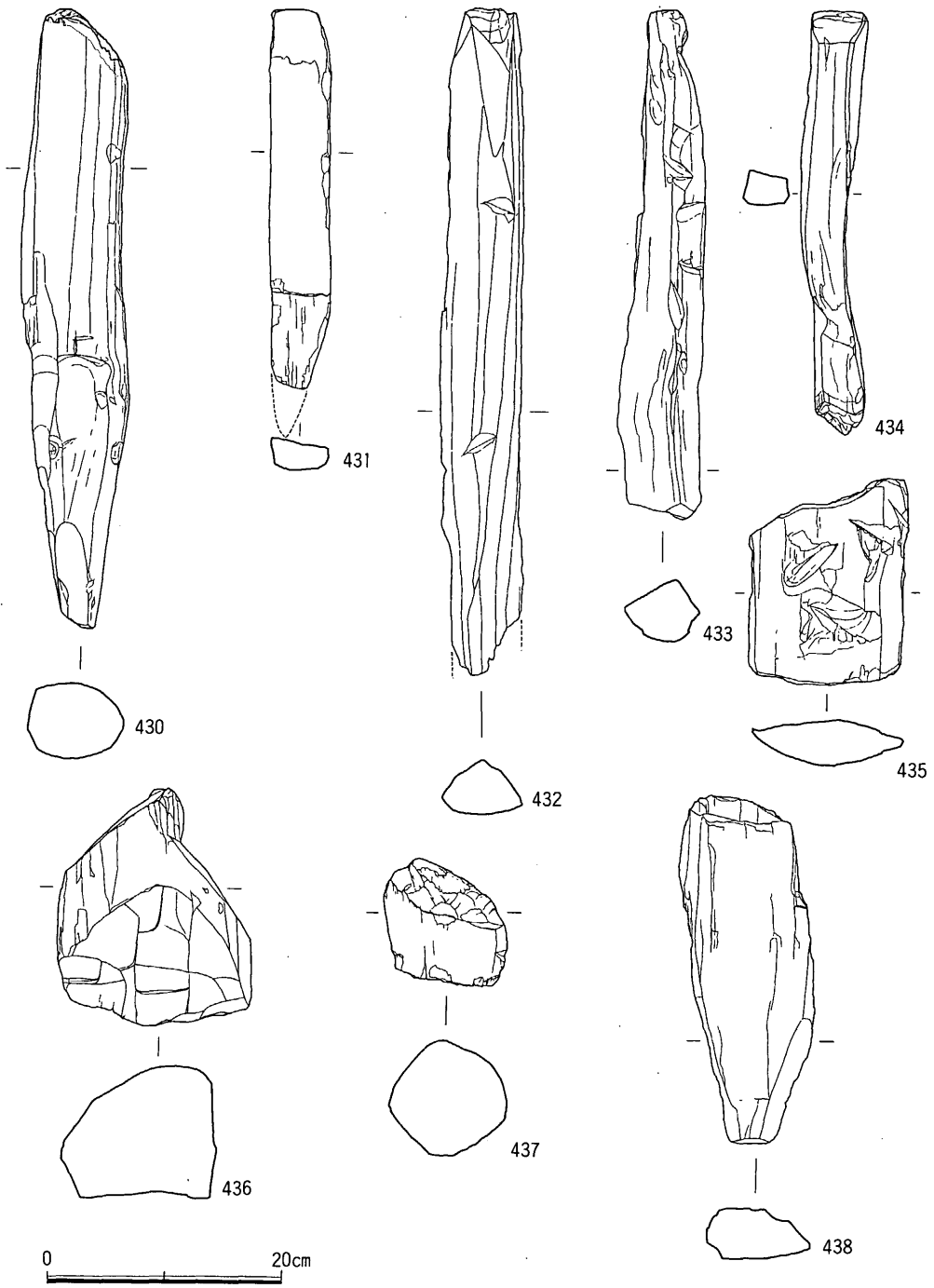
第63図 1SX001黑色土出土木製品 4



第64図 1SX001黑色土出土木製品 5



第65図 1SX001黑色土出土木製品 6



第66图 1SX001黑色土出土木製品 7

1SX001黒灰土出土木製品（第60～66図、図版39～41）

黒色土上層の一群である。

鍬（439）

鍬には三つ又鍬がある。法量が小振りのものである。

柄 類（440～441）

440には二条の帯状の彫り込みがある。441は縦方向に割れている。

う け（図版8）

葦のような繊維質の植物でロート状に組んだ魚類捕獲具で、口と胴部に木製の輪状のフレームが見える。口の内側は斜めに折り返されている。

編みかご（図版9）

伏せられた状態で出土している。素材は竹状の平たい植物繊維で、底は幅広の帯状の素材を交互に規則的に織り、先はそのまま側面になっている。側面の途中でその素材は二股に割られ、それを縦筋として用い、さらにそれより細い素材で横方向に交互に編んでいる。

用途不明木製品（442～444）

442は面取りされた組み物の様な形状を呈し、444は紡垂車の可能性がある。

板 材 類（445）

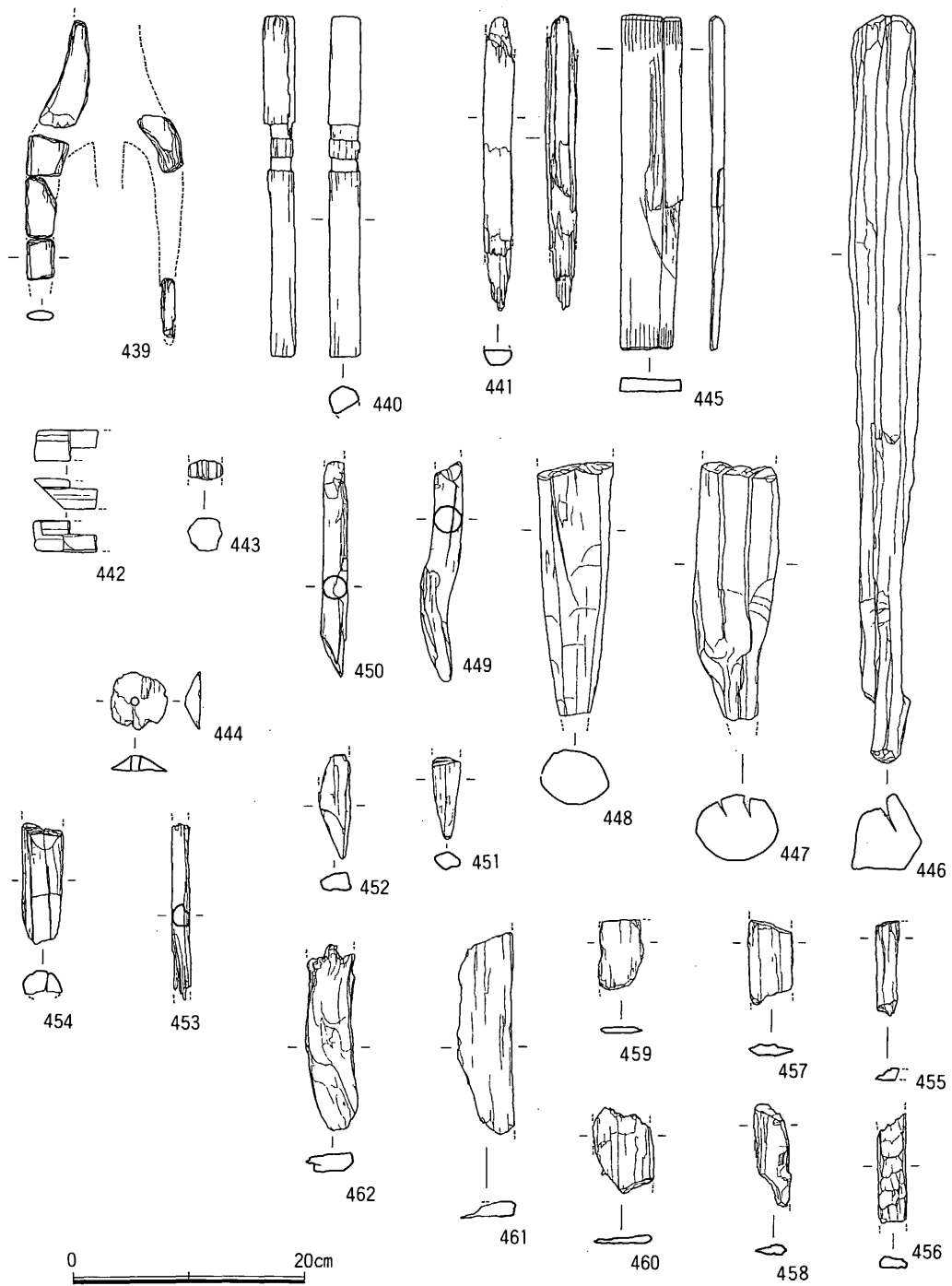
445は目が細かい柃目の板材である。

杭 類（446～454）

大まかに大小あるが、小には概して堅いものが多く、遺構埋没後に打ち込まれた可能性もある。

チ ッ プ 類（455～462）

製品加工時点で出た木屑の類で、1SX001黒色土同様に無数に出土している。



第67图 1SX001黑灰土出土木製品

#### 1SX001出土木製品（第68～69図、図版40～43）

灰色砂層と黒色土出土のものを統合して取り上げた遺物である。

#### 鋏（367～383）

鋏には三つ又鋏（463～466）、二股鋏（467～468）がある。463の三つ又鋏は歯が磨耗して短くなっている。材はカンと思われる。二股鋏は2点出土している。469は鋏のほぞ穴の部分。

#### 装 着 具（470、471）

471は黒色土出土のものと同じ形状を呈す。470は法量や形状が似ているが、挟り込みに多少の違いがある。

#### た も 枠（480～482）

黒色土出土の物と同じ形状を呈すので提示したが、人為的加工痕跡は明瞭ではない。

#### 槌 の 子（406）

黒色土出土のものより中央への挟り込みが深い。中央で折れている。

#### 用途不明木製品（472、473、475）

473と475は小口を面取りされた棒状を呈し、472は又状を呈す。

#### 板 材 類（476、474、477）

477は端部に半円形の挟り込みがあり、反対側の中央に方形のほぞ穴がある。鴨居や敷居のような建築部材の可能性も考えられる。

#### 杭 類（484～492）

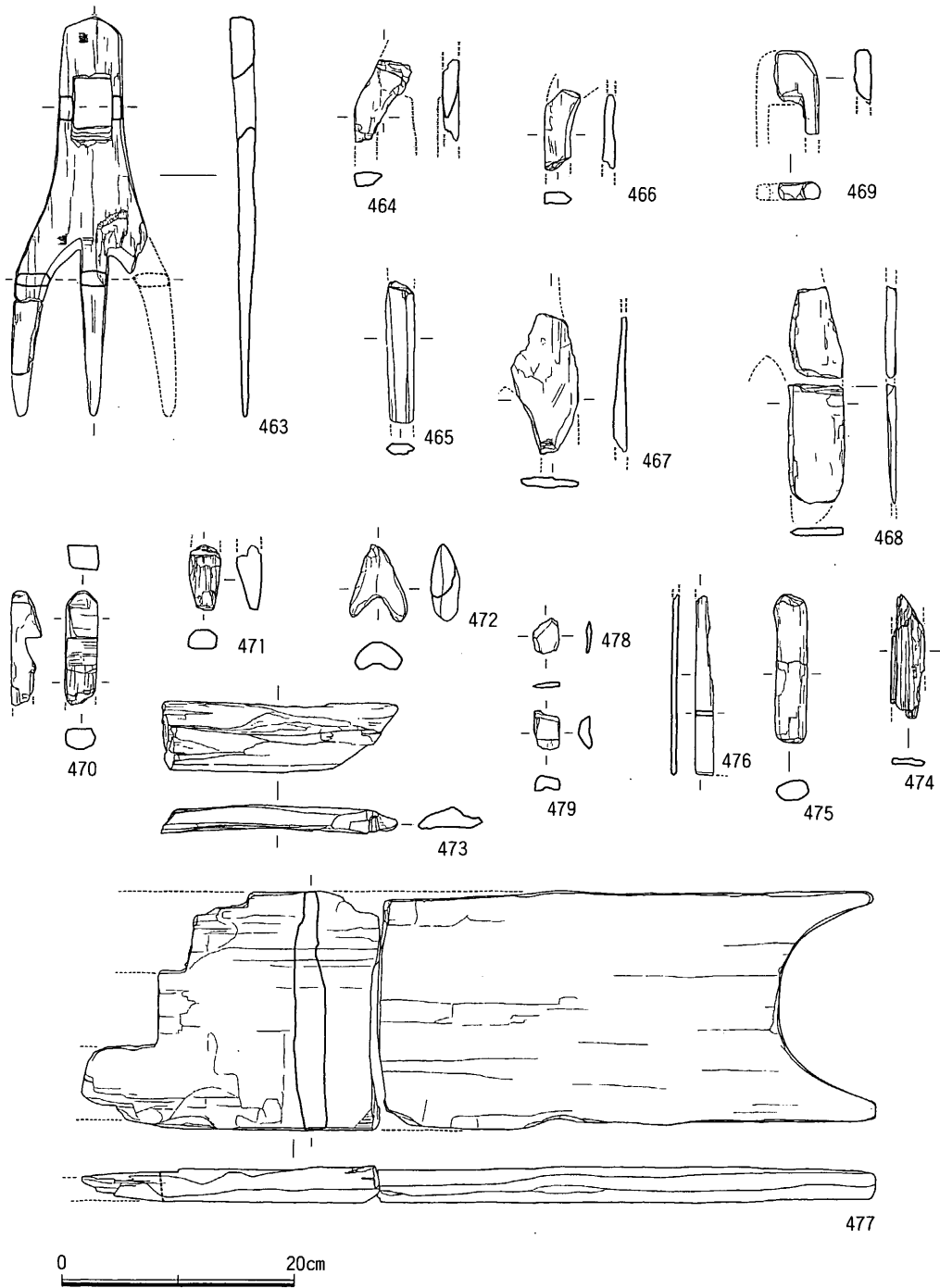
大小があり、大きなものは出土時点で部材の劣化が顕著であった。

#### チ ッ プ 類（478～479）

製品加工時点で出た木屑の類で数多く出土している。

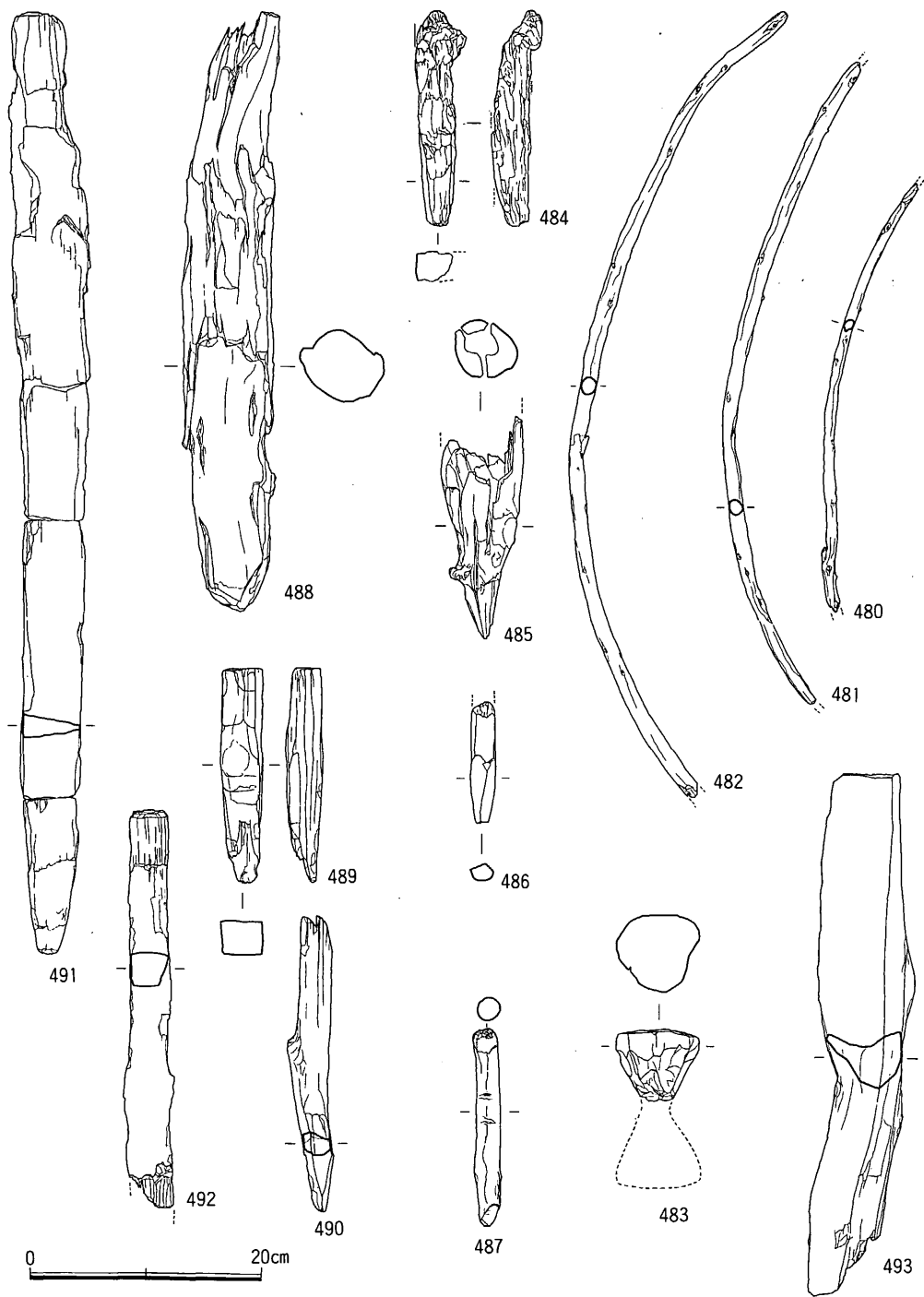
#### 割 材 類（493）

カン材を棒状に割ったままの類で、製品の素材になるものと思われる。



第68図 1SX001出土木製品 1





第69図 1SX001出土木製品 2

1SX001灰色砂層出土木製品（第70図、図版43、44）

鋏（494、495）

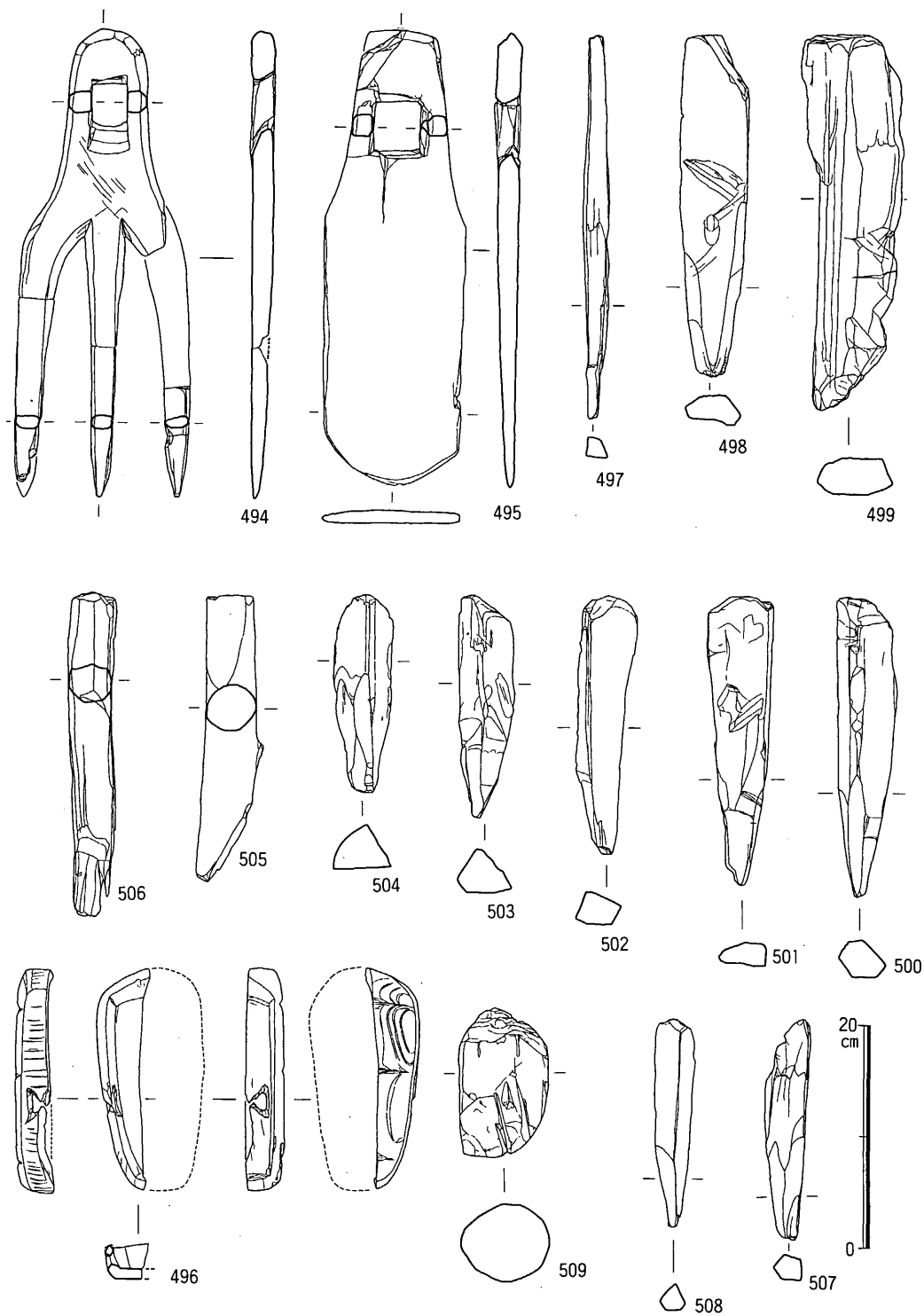
鋏には平鋏（495）、三つ又鋏（494）がある。平鋏は柄の装着穴が方形を呈す。三つ又鋏はやや小振りのもの。材はカシと思われる。

木 靴（496）

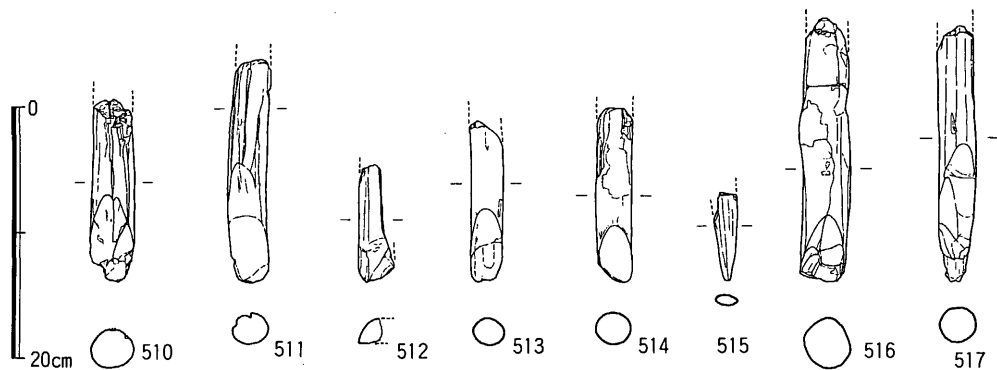
片方の約半分が出土している。福岡市博多区那珂久平遺跡（1987年報告）から出土したものに酷似している。槽状の造りで側面に三角形の紐穴が開けられる。底には滑りどめと思われる横方向の刻みが3条入れられる。底は多少磨耗している感じを受ける。

杭 類（497～508）

カシの割材の先端を削っただけのものと枝の先端を削ったものがある。



第70图 1SX001灰色砂層出土木製品



第71図 1SX030出土木製品

1SX030出土木製品（第71図、図版44）

列状に検出された杭群で、その一つは1SX020の甕を壊して打ち込まれており、これより後出時期のものである。

杭 類（510～517）

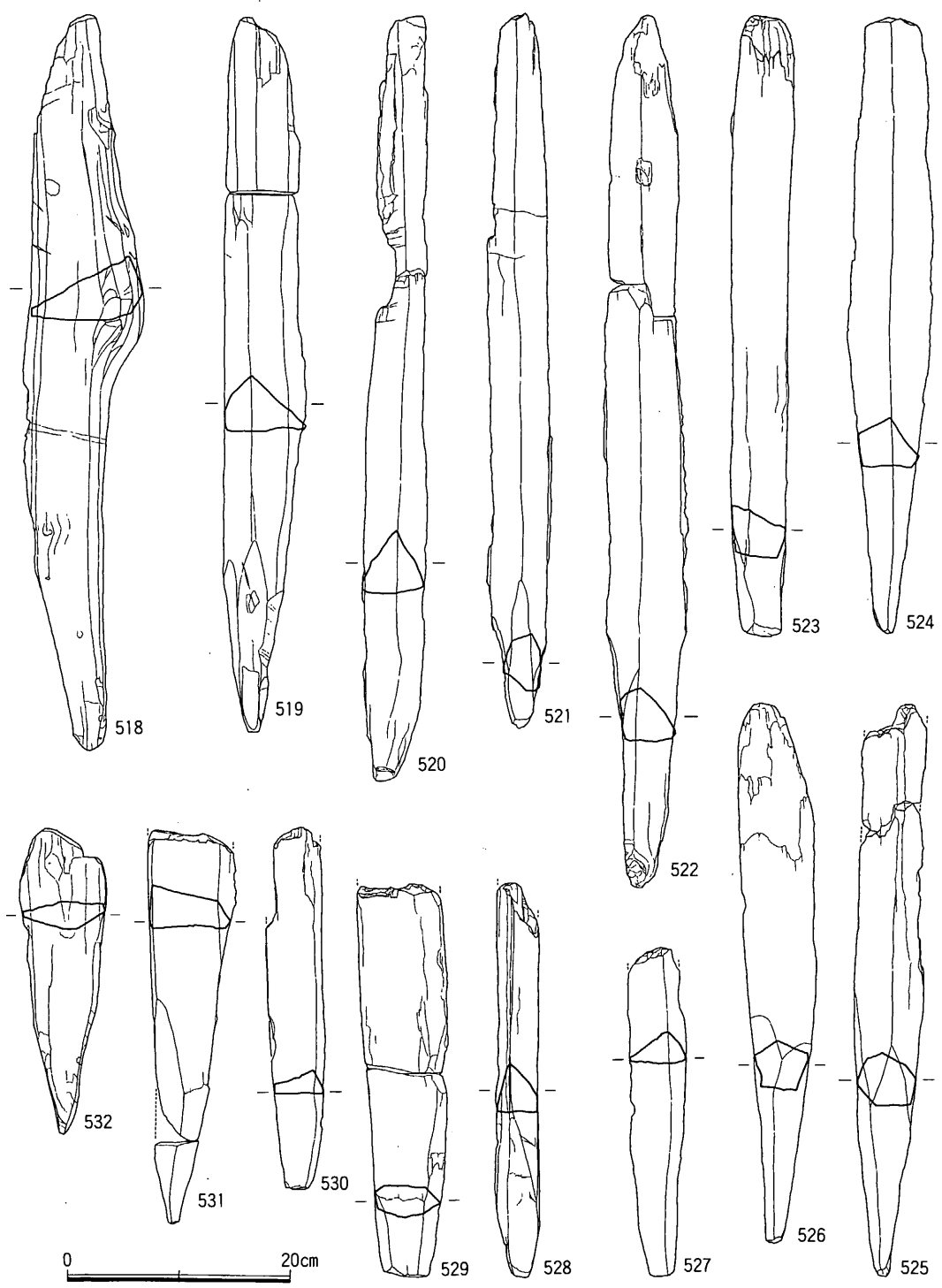
総て枝状の細い素材の先端を削ったものである。肉眼の観察では広葉樹種を使用しているように見える。大半が片側のみを削っている。

1SX060出土木製品（第72図、図版44）

1SX001中に設けられていた、囲い施設に用いられていたものである。

杭 類（518～532）

総てカシの割材の先端を削っただけのものである。肉眼の観察ではカシを使用しているように見える。上半は埋没過程の腐食で欠損している。



第72図 1SX060出土木製品

### 3 石 製 品

#### 1SX001灰色砂層出土石製品（第73図）

##### 石 包 丁 (533、534)

533は小豆色の輝緑凝灰岩製で534は灰色の泥岩製。533は紐穴の回りを残して研ぎ直しがおこなわれ、器面が荒れている。紐穴間の芯心距離は2.3cm、背までは1.0cmである。後者の数値は弥生後期通有の値に相当する（「神松寺遺跡」1978福岡市教育委員会P61参照）。534の紐穴の穿孔はやや直線的で、金属工具による穿孔の可能性も考えられる。

##### 砥 石 (535、536)

両者とも砂岩製で、535は素材の粒子が粗く、中研か粗砥用であろう。片面は円形に窪んでいる。536は中研用か。四面が均等に使われている。面は弧状に反っている。

#### 1SX001黒色土出土石製品（第74～76図、図版23～24）

##### 石 包 丁 (537～539)

537、538は泥岩製、539は小豆色の輝緑凝灰岩製である。539は極端に研ぎ減りしており、紐穴が刃部に近い。538の紐穴間の芯心距離は2.5cm、背までは1.0cmである。

##### 石 鏝 (540、541)

540は基部の抉りが浅い黒曜石製のもので縄文晩期から弥生前期に多い形態のもの。541は安山岩を用いた鋸歯状の形態である。縄文後・晩期に見られる形状である。

##### 砥 石 (542～548)

542と543は手持ちの砥石で、542は砂岩製、543は泥岩製である。その他は置き砥石で、544と547は泥岩製で545と546、548は砂岩製。545の左側は擦り切りの痕跡が見られる。546の右側にはあばた状の窪みがあり、台石としての使用もあったらしい。

#### 1SX001出土石製品（第76図、図版24）

##### 石 戈 (549)

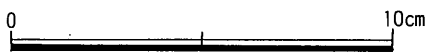
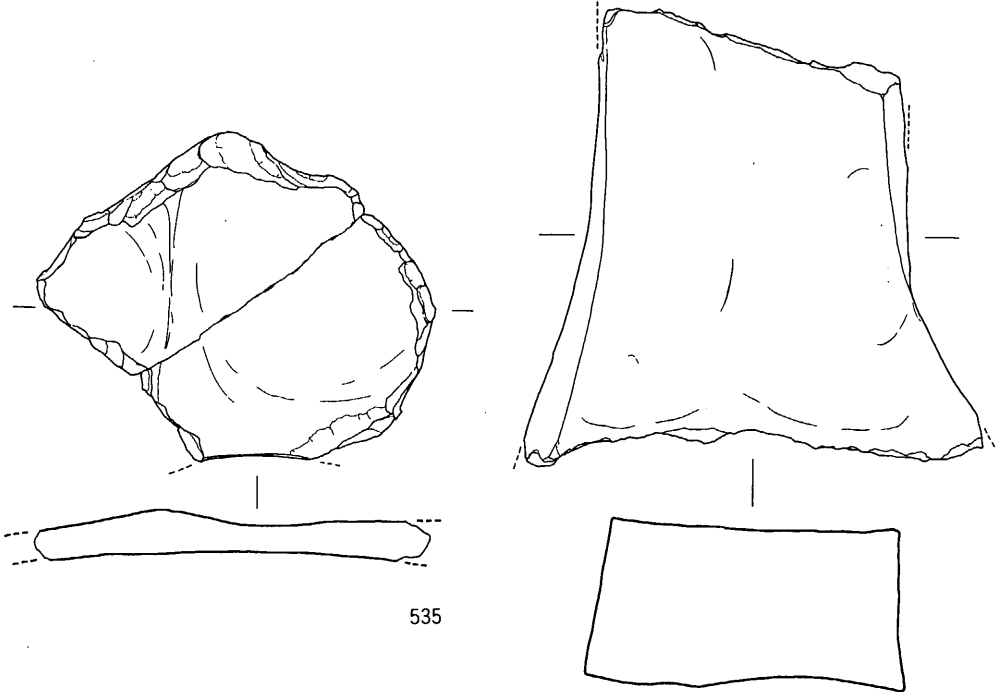
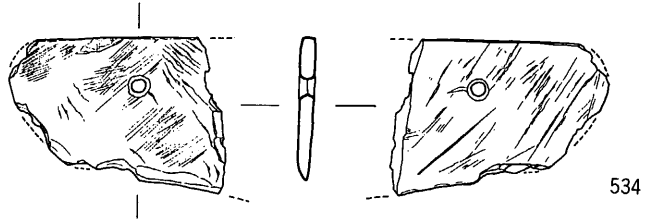
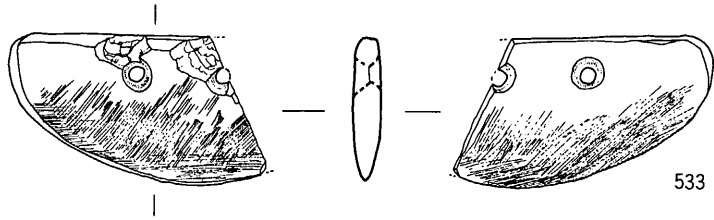
泥岩を素材とするもので、茎部が方形に造り出される。鏑の稜線もはっきりと研ぎ出されている。穿孔された穴は敲打作業によって穿たれている。

##### 叩 き 具 (550)

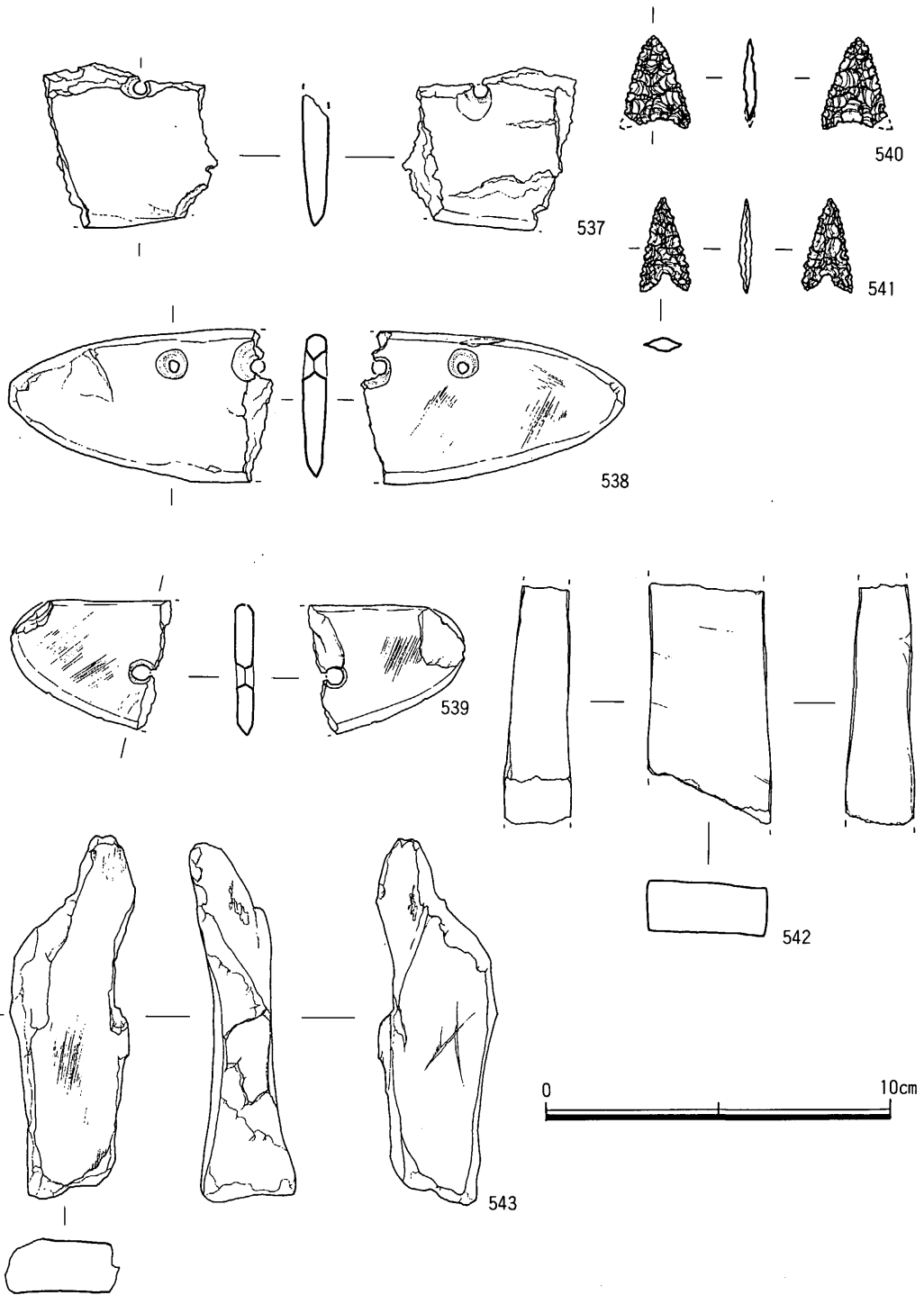
泥岩の円礫で6箇所が集中して使用され、あばた状の窪みが見られる。

##### 砥 石 (551)

粗い砂岩製で、棒状であったものが欠損してこのような形状になったものと思われる。

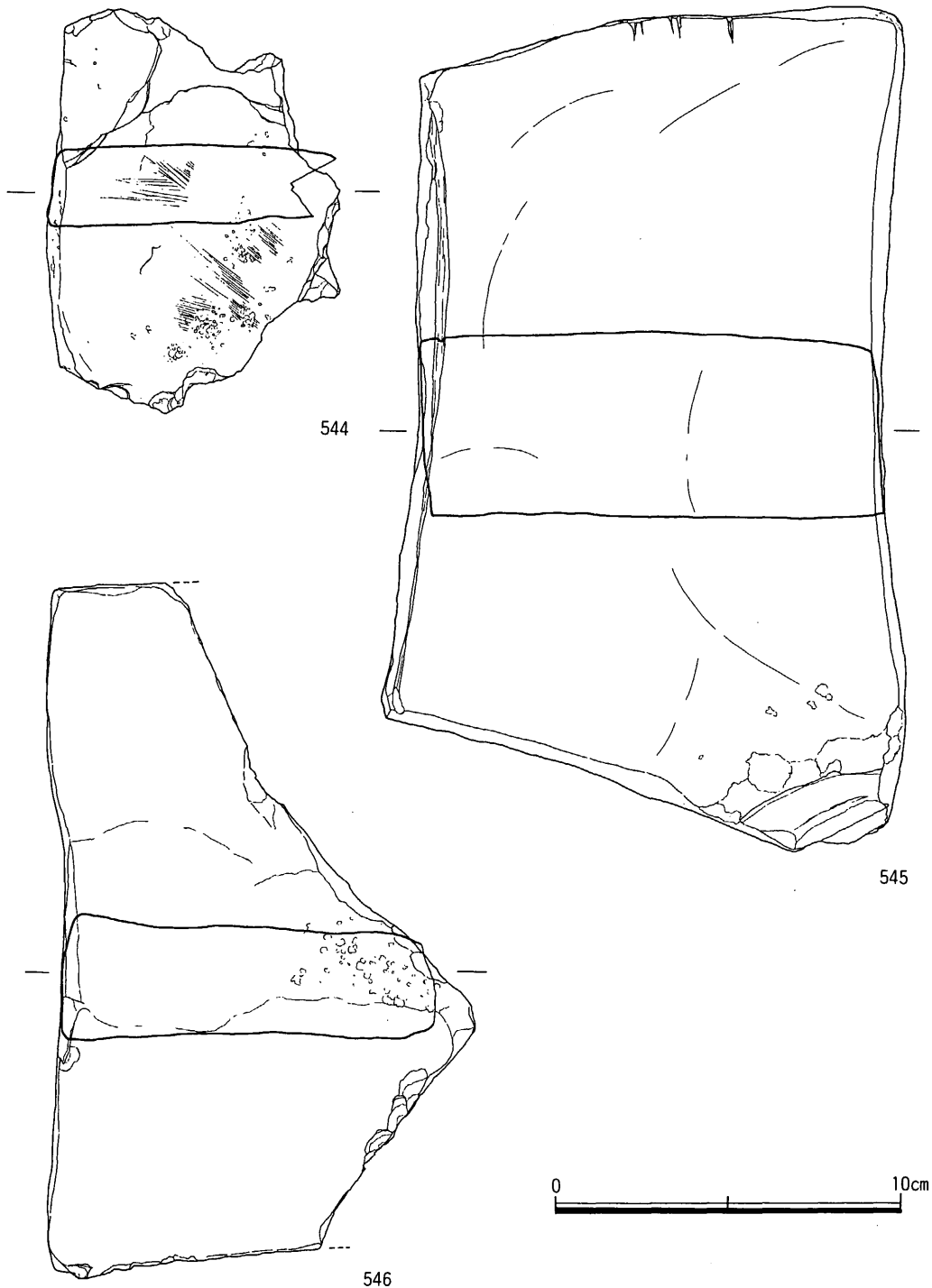


第73图 1SX001灰色砂層出土石製品

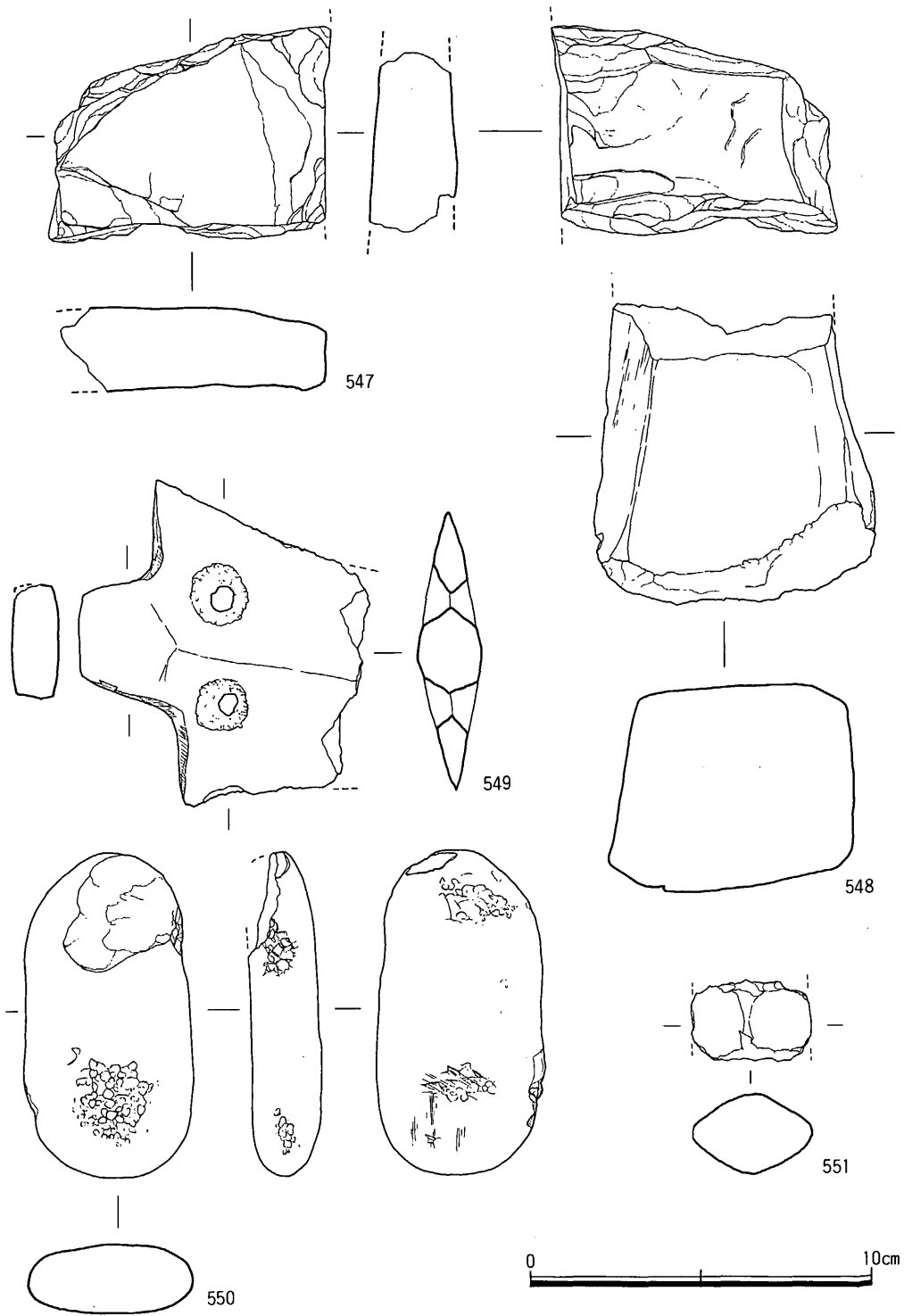


第74图 1SX001黑色土出土石製品 1

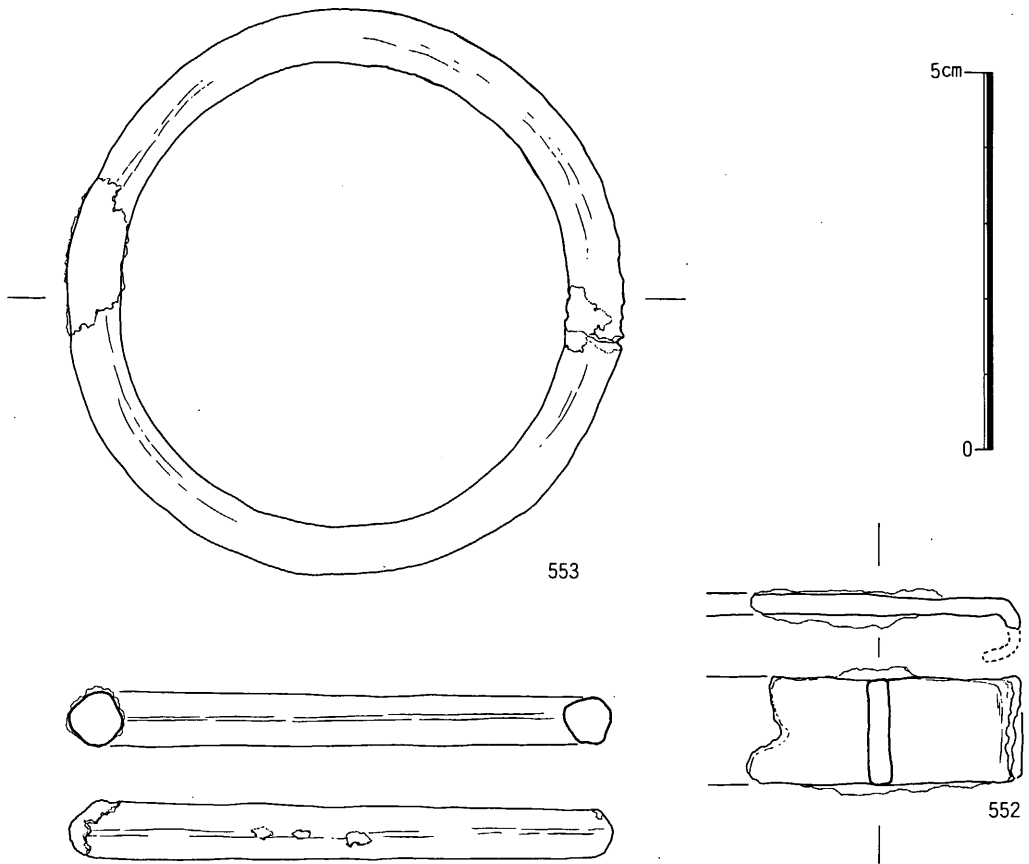




第75図 1SX001黒色土出土石製品 2



第76図 1SX001黑色土他出土石製品 3



第77図 雑川遺跡出土金属製品

#### 4 金属製品

1SX001黒色土出土金属製品（第77図、図版30）

銅 釧（553）

青銅製の鋳造品で円環状を呈している。断面の形状は多少稜線を持った菱形に近い円形を呈している。色調は黒色から金属的な褐色をなし、あまり腐食していない。奈良大学保存科学研究所の西山先生が撮られたX線写真では図の右側部分が一箇所断裂している様子が観察できる。その対面も多少疲労している。

表土出土金属製品（第77図、図版30）

鉄製手鎌（552）

幅1.5cmの鉄板の端部が折れ曲がった形状で出土している。木目の圧着などは見られないが、本遺跡の北にある前田遺跡の弥生後期の遺構で類品が出土しており、参考資料として掲げている。

第2表 雑川遺物観察表①

No	遺構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高さ	底径	外面				内面				備考		
								たたきめ	なで	たてはけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ		けずり	みがき
1	ISX001灰色砂層	16	10	208	15.0	16.1+	-	○		○				○	○			(+は欠損、*は復原値)
2	ISX001灰色砂層	16	10	205	23.9	19+	-			○			○	○	○			
3	ISX001灰色砂層	16	10	212	19.4	10.3+	-		○	○				○	○			口縁部に刻み
4	ISX001灰色砂層	16	11	234	29.6	5.2	-	○		○				○				口縁部に竹管文
5	ISX001灰色砂層	16		267	23.4	11.4	-			○					○			
6	ISX001灰色砂層	16		211	-	5.1+	-		○	○				○	○			
7	ISX001灰色砂層	16	10	200	16.0	8.8+	-			○				○	○			
8	ISX001灰色砂層	16		232	20.5	8.7+	-		○	○	○			○	○			
9	ISX001灰色砂層	16	11	237	-	3.3+	-		○					○				口縁部に貼付文
10	ISX001灰色砂層	16		266	-	4.0+	-		○					○				
11	ISX001灰色砂層	16		270	-	3.7+	-		○		○			○	○			
12	ISX001灰色砂層	16	11	236	-	4.5+	-		○	○					○			
13	ISX001灰色砂層	17		235	14.4	2.5+	-		○					○				
14	ISX001灰色砂層	17	10	250	7.8	17.1	4.0		○	○				○	○	○		
15	ISX001灰色砂層	17	10	247	12.8	12.8	5.1		○	○				○	○			
16	ISX001灰色砂層	17		246	-	6.6+	6.2		○	○				○	○			
17	ISX001灰色砂層	17		271		4.9+	3.3	○						○				
18	ISX001灰色砂層	17		235	15.1	15.4+			○	○	○			○	○			
19	ISX001灰色砂層	17		272	17.0	3.5+				○					○			
20	ISX001灰色砂層	17		233	11.8	6.1+			○	○				○				
21	ISX001灰色砂層	17		262	12.4	12.0+			○	○				○				
22	ISX001灰色砂層	17	11	238	-	3.2+					○			○	○		○	
23	ISX001灰色砂層	18	10	204		10.0+			○	○	○			○	○			
24	ISX001灰色砂層	18		251		9.4+	6.8			○				○	○			
25	ISX001灰色砂層	18		274		36.2+	7.8		○					○		○		
26	ISX001灰色砂層	18		252		9.5+	7.4			○					○			
27	ISX001灰色砂層	18		231		21.8+	9.0	○	○	○				○	○			
28	ISX001灰色砂層	18		207		8.8+	7.4		○	○				○	○			
29	ISX001灰色砂層	18		218		8.9	7.6			○				○	○			
30	ISX001灰色砂層	19		226	38.8	6.9+			○	○				○	○			
31	ISX001灰色砂層	19		227	37.2	6.6+			○	○				○	○			
32	ISX001灰色砂層	19		256	23.2	8.4+			○	○	○			○				
33	ISX001灰色砂層	19		209	28.6	11.3+		○		○					○			
34	ISX001灰色砂層	19	10	206	32.0	19.6+			○	○				○	○			
35	ISX001灰色砂層	19		259	18.0	4.7+			○	○				○		○		
36	ISX001灰色砂層	19		275	15.4	5.7+				○	○	○		○				
37	ISX001灰色砂層	19		254	15.7	10.4+			○	○				○	○			
38	ISX001灰色砂層	19		216		6.1+	9.2			○				○	○			
39	ISX001灰色砂層	19		265		3.7+	8.0*			○				○				
40	ISX001灰色砂層	20	12	242	31.9	59.2+	9.3	○		○					○			
41	ISX001灰色砂層	21	12	248	18.7	13.0	7.8		○	○		○		○	○			

第2表 雑川遺物観察表②

№	遺構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高さ	底径	外面				内面				備考	
								たたきめ	なで	たてはけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ		けずり
42	ISX001灰色砂層	21		261	18.6	7.7+		○		○				○	○		
43	ISX001灰色砂層	21		249	23.0	6.7+			○	○				○	○		
44	ISX001灰色砂層	21	12	217	23.1	7.8+				○				○	○		
45	ISX001灰色砂層	21	12	243	13.7	6.9	3.9	○	○					○			
46	ISX001灰色砂層	21		258	13.8	5.9	6.0						○	○			
47	ISX001灰色砂層	21		255	16.6	7.9	4.8			○		○		○	○		
48	ISX001灰色砂層	21	12	260	19.8	9.1			○			○		○	○		
49	ISX001灰色砂層	21	12	213	24.0	16.3	10.8	○		○				○	○		
50	ISX001灰色砂層	21		263	9.6	4.1								○			手づくね
51	ISX001灰色砂層	21	12	268	9.0	4.7+											手づくね
52	ISX001灰色砂層	21	12	246	5.5	3.6											手づくね
53	ISX001灰色砂層	21	13	245	4.6	3.7											手づくね
54	ISX001灰色砂層	21	13	244	13.8	7.4	6.5										手づくね
55	ISX001灰色砂層	21		225		8.9+	14.8*		○	○				○	○	○	
56	ISX001灰色砂層	21		224		5.8+	11.6*		○	○				○	○		
57	ISX001灰色砂層	21		223		4.4+	12.2		○						○		
58	ISX001灰色砂層	22		219	26.0	4.6+			○				○			○	
59	ISX001灰色砂層	22		240	23.4	7.3+			○				○		○	○	
60	ISX001灰色砂層	22		239	29.3	5.3+			○				○		○	○	
61	ISX001灰色砂層	22		221		6.7+	16.2*			○				○	○	○	
62	ISX001灰色砂層	22		220						○				○	○		
63	ISX001灰色砂層	22	13	201	14.8	19.5	14.8			○				○	○		
64	ISX001灰色砂層	22	13	253	13.1	15.6	16.2		○	○				○	○		
65	ISX001灰色砂層	22		229	13.4	13.4+				○				○	○		
66	ISX001灰色砂層	22		228	13.6	12.2+				○					○		
67	ISX001灰色砂層	22		202	16.2	17.0+			○					○	○		
68	ISX001灰色砂層	22		257	14.2	13.9+			○	○	○			○	○		
69	ISX001灰色砂層	22		222	12.6	16.4+			○					○	○		口縁部に刻み
70	ISX001灰色砂層	22		214	8.5	11.1+			○					○			
71	ISX001黒色土	23		383	22.2	8.5+			○	○				○			
72	ISX001黒色土	23		382		2.8+			○					○			
73	ISX001黒色土	23	14	285		2.8+			○					○			
74	ISX001黒色土	23	14	365	21.4	3.7+			○					○			
75	ISX001黒色土	23	13	205	19.9	21.5+			○	○	○			○	○		
76	ISX001黒色土	23	13	226	25.3	22.5+			○	○	○			○	○		
77	ISX001黒色土	23		378	23.6	4.6+			○		○			○	○		
78	ISX001黒色土	23		376		5.5+			○	○	○			○	○		
79	ISX001黒色土	23		377		4.5+			○	○	○			○	○		
80	ISX001黒色土	23		374		5.1+			○	○	○			○	○		
81	ISX001黒色土	23		375		5.9+			○	○	○			○	○		
82	ISX001黒色土	24	13	204	23.6	16.9+		○	○	○				○	○		

第2表 雑川遺物観察表③

No	遺 構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高 さ	底 径	外 面					内 面				備 考
									たたきめ	な で	たてはけ	よこはけ	下半げずり	みがき	な で	は け	
83	ISX001黒色土	24		354	34.0	6.7+				○	○			○	○		
84	ISX001黒色土	24	14	366	25.6	6.8+			○	○	○			○	○		
85	ISX001黒色土	24		372	31.0*	6.9	-		○	○	○			○	○		
86	ISX001黒色土	24	14	364	27.6	7.3+			○		○			○	○		
87	ISX001黒色土	24	14	386		4.5+			○					○		○	口縁部にヘラ描三角文
88	ISX001黒色土	24	14	393		2.1+			○					○			口縁部にヘラ描三角文
89	ISX001黒色土	24		380		3.0+			○		○			○			
90	ISX001黒色土	24		381		2.2+			○		○				○		
91	ISX001黒色土	24		389		3.6+			○		○				○		
92	ISX001黒色土	24		370		4.6+					○			○	○		
93	ISX001黒色土	24		392		4.5+			○					○	○		
94	ISX001黒色土	24	14	387		3.5+			○					○			口縁部に竹管文と刻み
95	ISX001黒色土	24		379		4.8+			○	○				○	○		
96	ISX001黒色土	24		369		3.4+			○					○			
97	ISX001黒色土	24	14	388		5.2+			○					○	○		
98	ISX001黒色土	25		368		11.5+			○	○				○	○		
99	ISX001黒色土	25		220	15.9	13.3			○	○	○			○		○	
100	ISX001黒色土	25	15	413		31.4+			○	○	○				○		
101	ISX001黒色土	25	15	347		24.0+			○	○				○	○		
102	ISX001黒色土	25	15	247		20.0+			○	○				○	○		
103	ISX001黒色土	25	14	390		6.2+			○	○				○	○		口縁部に刻み
104	ISX001黒色土	25	14	391		6.0+			○	○				○	○		口縁端部に二条沈線
105	ISX001黒色土	26	15	272	22.3*	40.5	9.0	○	○	○				○	○		
106	ISX001黒色土	26	15	261	16.0	21.3+			○	○				○		○	
107	ISX001黒色土	26		256	8.4*	7.1+			○	○				○			
108	ISX001黒色土	26		363	16.0	7.7+			○	○				○	○		
109	ISX001黒色土	26	14	268		22.7	3.2		○	○				○	○		
110	ISX001黒色土	26		384	16.4*	2.5+			○					○			
111	ISX001黒色土	26	15	238	19.3	2.8+								○			
112	ISX001黒色土	27	16	407	56.5	44.7+			○	○				○	○	○	複合口縁の可能性もあり
113	ISX001黒色土	27		367	14.6	11.9+			○	○				○	○		
114	ISX001黒色土	27		241		10.5+	9.6			○				○	○		
115	ISX001黒色土	28	16	234	12.2	9.5+			○	○				○	○		
116	ISX001黒色土	28		218	10.6	9.0+			○	○				○			下半にへこみあり
117	ISX001黒色土	28	16	217	12.2	10.7	5.2		○	○		○		○	○		
118	ISX001黒色土	28	16	253	11.3	12.3	4.9*		○	○		○		○	○		
119	ISX001黒色土	28	16	219	12.3	11.2	4.6		○					○	○	○	
120	ISX001黒色土	28		230		8.7+	4.9		○	○				○	○		
121	ISX001黒色土	28		229	13.1*	20.2			○	○				○		○	
122	ISX001黒色土	28		373	16.4	8.7+			○	○				○			
123	ISX001黒色土	28		235	10.8	6.0+				○				○	○		

第2表 雑川遺物観察表④

No.	遺構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高さ	底径	外面				内面				備考		
								たたきめ	なで	たてはけ	よこはけ	下半げずり	みがき	なで	はけ		けずり	みがき
124	1SX 001黒色土	28	16	231	14.0	7.9+						○		○				
125	1SX 001黒色土	28	17	251	15.0*	12.0+					○			○	○			
126	1SX 001黒色土	28		200		7.9+								○	○			
127	1SX 001黒色土	29	17	349		22.3								○	○	○		
128	1SX 001黒色土	29	17	359	7.8*	16.0	5.0*				○					○		
129	1SX 001黒色土	29		360	6.8*	6.3+	*				○				○			
130	1SX 001黒色土	29		355	10.0*	7.3+				○					○	○		
131	1SX 001黒色土	29	17	357	8.8*	9.2+				○	○					○		
132	1SX 001黒色土	29	17	269	8.8	10.0				○		○			○			
133	1SX 001黒色土	29	17	243		13.3+								○	○		○	○
134	1SX 001黒色土	29		299		3.6+								○	○			
135	1SX 001黒色土	29		301		4.7+				○					○			
136	1SX 001黒色土	29		287	8.2	4.3+				○					○			
137	1SX 001黒色土	29		258		15.8+	6.0				○			○	○	○		
138	1SX 001黒色土	29		358		6.7+	6.0			○					○	○		
139	1SX 001黒色土	29		346		2.2+	2.5			○					○			
140	1SX 001黒色土	30	18	227	29.0	35.8	8.0			○	○					○		
141	1SX 001黒色土	30	18	395	23.7*	40.7+					○					○		
142	1SX 001黒色土	31		320	32.6	15.6+					○					○		
143	1SX 001黒色土	31		324	26.3	14.3+			○		○					○		
144	1SX 001黒色土	31	18	259	27.6	26.1+				○	○					○		
145	1SX 001黒色土	31		250	25.2	20.2+					○					○		
146	1SX 001黒色土	32		323	20.6	12.8+								○	○			
147	1SX 001黒色土	32		335	25.2	10.0+				○	○	○			○	○		
148	1SX 001黒色土	32		322	18.8	11.8+				○	○				○	○		
149	1SX 001黒色土	32		333	23.6	9.0+				○	○				○	○		
150	1SX 001黒色土	32		337	26.2	4.7+				○	○				○			
151	1SX 001黒色土	32	18	228	26.9	34.8+					○				○	○		
152	1SX 001黒色土	32	18	260	25.7	37.5+					○				○	○		
153	1SX 001黒色土	33		249	32.2*	16.4+					○					○		
154	1SX 001黒色土	33		328	38.4	21.7+					○					○		
155	1SX 001黒色土	33		338	36.1	9.3+					○					○		
156	1SX 001黒色土	33		341	37.4	8.8+					○					○		
157	1SX 001黒色土	34	18	223	19.9*	15.7+				○						○		
158	1SX 001黒色土	34		271		13.8+					○				○	○		
159	1SX 001黒色土	34	19	246	19.4*	17.8+				○						○		
160	1SX 001黒色土	34		248	24.0	29.3+				○		○			○	○		
161	1SX 001黒色土	34		240	25.6	11.6+					○	○				○		
162	1SX 001黒色土	34		236	17.4	9.3+					○	○				○		
163	1SX 001黒色土	34		361	11.7*	6.4+					○	○			○	○		
164	1SX 001黒色土	34		362	14.6*	6.6+					○	○			○	○		

第2表 雑川遺物観察表⑤

No	遺構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高さ	底径	外面						内面				備考
								たたきめ	なで	たてはけ	よこはけ	下半げずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	
165	ISX001黒色土	34		330	14.3	5.4+			○	○				○	○			
166	ISX001黒色土	35	19	396	37.4	53.5	6.1	○		○		○	○		○		○	タタキは下半のみ
167	ISX001黒色土	35		257	27.6	17.4+			○	○					○	○		
168	ISX001黒色土	35	19	348		18.7+			○	○	○			○		○		
169	ISX001黒色土	36	19	397	30.7	45.6				○		○			○			
170	ISX001黒色土	36	19	230	31.9	3.2+				○				○	○			
171	ISX001黒色土	37		342	54.2	13.7+			○	○				○	○			
172	ISX001黒色土	37	19	419	38.6	51.9	5.6		○	○				○	○			
173	ISX001黒色土	38		408		10.7+	10.6		○					○				
174	ISX001黒色土	38		275		8.8+	9.8			○					○			
175	ISX001黒色土	38		203		10.2+	5.7			○					○			
176	ISX001黒色土	38		316		4.9+	9.6			○		○			○			
177	ISX001黒色土	38		202		8.8+	4.6			○		○			○	○		
178	ISX001黒色土	38		305		6.1+				○		○			○			
179	ISX001黒色土	38		304		10.1+				○		○			○			
180	ISX001黒色土	38		265		13.5+	6.5			○		○			○			
181	ISX001黒色土	38		256		10.4+				○					○			
182	ISX001黒色土	38		266		9.6+				○					○			
183	ISX001黒色土	38		183		11.5+			○	○					○			
184	ISX001黒色土	39		285	32.8	10.0+			○	○				○	○			
185	ISX001黒色土	39	20	254	2.8	9.1			○	○		○		○	○			
186	ISX001黒色土	39		314		6.2				○			○		○		○	
187	ISX001黒色土	39		311	24.0	4.9+				○				○				
188	ISX001黒色土	39		277	27.9	8.3+				○				○				
189	ISX001黒色土	39		276	23.8	9.5+				○					○			
190	ISX001黒色土	39		284	18.6	12 +								○				
191	ISX001黒色土	39	20	237		8.5+											○	
192	ISX001黒色土	39	20	267		11.2+							○	○	○		○	
193	ISX001黒色土	39		325		6.0	7.3*		○	○				○	○			
194	ISX001黒色土	39		292		6.3+	10.6			○				○	○			
195	ISX001黒色土	40		242	29.8	6.9+			○		○				○		○	
196	ISX001黒色土	40		309	24.0	7.0+			○		○			○				
197	ISX001黒色土	40		201	15.4	4.4				○				○				
198	ISX001黒色土	40	20	255	12.7*	5.5				○	○			○	○			
199	ISX001黒色土	40	20	222	12.7	9.0	5.7			○	○			○				
200	ISX001黒色土	40		225		5.3+	5.8			○				○				
201	ISX001黒色土	40		307	24.8	9 +				○		○			○			
202	ISX001黒色土	40		308	22.3	10.8+				○		○			○			
203	ISX001黒色土	40		232	13.2	5.0+				○		○			○			
204	ISX001黒色土	40		252	10.8	10.3+				○				○				
205	ISX001黒色土	40		317		2.1+	3.7			○				○				



第2表 雑川遺物観察表⑥

No.	遺 構	図版番号写真版号	R番号	口径cm	高 さ	底 径	外 面				内 面				備 考	
							たたきめ	な で	たてはけ	よこはけ	下半げずり	みがき	な で	は け		げずり
206	1SX001黒色土	40		264	34.8	5.5+			○			○				
207	1SX001黒色土	41		394	32.6*	4.9+			○			○				○
208	1SX001黒色土	41		303	30.4*	5.6+			○			○				○
209	1SX001黒色土	41		306	26.2	4.1+			○			○				○
210	1SX001黒色土	41	20	245	26.2	10.5			○			○				○
211	1SX001黒色土	41		315	29.0*	3.1+			○		○	○				○
212	1SX001黒色土	41		262	34.0	5.7+			○	○			○	○		○
213	1SX001黒色土	41	20	255*	31.0*	19.9+						○	○	○		○
214	1SX001黒色土	41		310		14.0+				○			○	○		
215	1SX001黒色土	41		312	28.8*	3.4+		○	○				○			○
216	1SX001黒色土	42		286		13.5+						○	○	○		
217	1SX001黒色土	42		291		13.5+				○		○	○	○		
218	1SX001黒色土	42		263		3.5+	17.8			○		○	○	○		
219	1SX001黒色土	42		318	19.9	4.3+						○				○
220	1SX001黒色土	42		293		5.9+				○		○	○	○		
221	1SX001黒色土	42	20	270		4.6+				○		○	○	○		
222	1SX001黒色土	42		353	16.4*	15.8+				○			○	○		
223	1SX001黒色土	42	21	207	15.6	18.5	16.1			○			○	○		
224	1SX001黒色土	42	21	239	13.7	17.2	13.5	○		○			○	○		
225	1SX001黒色土	42	21	216	14.7	18.1	16.3			○			○	○		
226	1SX001黒色土	42		327	11.4*	17.6	13.0*			○			○	○		
227	1SX001黒色土	42	21	208	7.0	19.3	12.0			○			○	○		上部は手づくね
556	1SX001黒色土	42		313		2.0+			○				○	○		
228	1SX001黒色土	43		206	12.8*	14.0+		○		○			○	○		
229	1SX001黒色土	43		213	13.6	13.8+			○	○			○	○		
230	1SX001黒色土	43		215	13.4	13.8+				○			○	○		
231	1SX001黒色土	43	21	210	13.5	14.0+				○			○	○		
232	1SX001黒色土	43		211	15.1	11.3+				○			○	○		
233	1SX001黒色土	43		329	12.4	13.9+				○			○	○		
234	1SX001黒色土	43		332	13.4*	13.2+				○			○	○		
235	1SX001黒色土	43		319	13.4*	15.7+				○			○	○		
236	1SX001黒色土	43		351	17.2*	11.5+				○			○	○		
237	1SX001黒色土	43		339	12.4	14.6+				○			○	○		
238	1SX001黒色土	43		334	11.2*	12.0+				○			○	○		
239	1SX001黒色土	43		343	10.0*	9.5+				○			○	○		
240	1SX001黒色土	43		340	13.6	8.2+					○		○	○		
241	1SX001黒色土	43		321	10.4	9.3+				○			○	○		
242	1SX001黒色土	43		326	8.9	14.0+				○	○		○	○		
243	1SX001黒色土	44		224	20.6	9.0+				○						
244	1SX001黒色土	44		331	8.3	7.1+				○			○			
245	1SX001黒色土	44	21	214	12.2	15.1+				○			○			

第2表 雑川遺物観察表⑦

No.	遺 構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高 さ	底 径	外 面		たてはけ	よこはけ	下半けずり	みがき	内 面		は け	けずり	みがき	備 考
								たたきめ	な で					な で	は け				
246	ISX001黒色土	44		352		17.2+				○					○				
247	ISX001黒色土	44		344		9.5+	11.8*			○					○				
248	ISX001黒色土	44		345		13.7+	14.8*			○					○	○			
249	ISX001黒色土	44		336		15.1+	15.2*			○					○	○			
250	ISX001黒色土	44		350		8.2+	18.0			○					○	○			
251	ISX001黒色土	44		244		15.6+				○					○	○			
252	ISX001黒色土	44	22	212		17.0+	16.3			○					○	○			
253	ISX001黒色土	44		209		14.7+	15.4			○					○	○			
254	ISX001黒色土	45		278	5.0	7.2	8.9	○	○						○				
255	ISX001黒色土	45		274	9.2	6.8+		○	○						○				
256	ISX001黒色土	45		273		10.3	12.1	○	○						○	○			
257	ISX001黒色土	45		281	7.7	10.7	9.7	○	○						○	○			
258	ISX001黒色土	45		283	10.6	7.9+			○						○				
259	ISX001黒色土	45		279	8.3*	8.2	10.6*		○										
260	ISX001黒色土	45	22	221	9.6	10.0	2.8												
261	ISX001黒色土	45		290	5.7	6.3	3.6												
262	ISX001黒色土	45		300	5.2	3.8													
263	ISX001黒色土	45		298		1.6+	3.0												
264	ISX001黒色土	45		288		4.8+	3.7												
265	ISX001黒色土	45		302	5.6	3.6+													
266	ISX001黒色土	45		289	6.6	4.9	3.8												
267	ISX001黒色土	45		294	6.9	3.4	1.3												
268	ISX001黒色土	45		297	10.4	4.2+													
269	ISX001黒色土	45	22	233	10.1	4.2+													
270	ISX001黒色土	45		295	7.0	5.0	3.1												
271	ISX001黒色土	45		296		2.3+	2.0												
272	ISX001黒色土	45		282		5.4+	5.8												
273	ISX001黒色土	45		280	7.2*	9.7*	14.4		○						○				
274	ISX001黒色土	46	22	418		1.7+	6.8*								○	○			
275	ISX001	47		212	20.0	7.5+			○	○					○	○			
276	ISX001	47	25	218	20.7	21.5+			○	○					○	○			
277	ISX001	47		299	16.7	24.0+		○		○					○	○			
278	ISX001	47		221		11.7+			○	○					○	○	○		
279	ISX001	47		228		17.9+		○		○						○			
280	ISX001	47	26	211	17.6*	22.6+			○	○					○	○			
281	ISX001	47	26	207	17.4	18.5				○					○	○			
282	ISX001	48		227	11.4	17.3				○					○	○			
283	ISX001	48		210	15.6	13.0+									○				
284	ISX001	48	26	226	16.1	12.6				○					○	○			
285	ISX001	48		216	13.4	12.5					○				○				
286	ISX001	48		204	7.7	8.8+									○	○			

第2表 雑川遺物観察表⑧

No	遺 構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高 さ	底 径	外 面		たてはけ	よこはけ	下半けずり	みがき	内 面		は け	けずり	みがき	備 考
								たたきめ	な で					な で	は け				
287	1SX001	48		263		4.5			○					○					
288	1SX001	48		214	29.0*	20.5+			○	○									
289	1SX001	48		247	18.0	14.5+				○									
290	1SX001	48		223	12.8*	9.1+				○				○	○				
291	1SX001	49		250	32.6	10.4+		○		○									
292	1SX001	48		219	34.4	7.0+				○									
293	1SX001	49		220	22.7	7.9+				○									
294	1SX001	49	26	206	12.6	11.0	4.7	○		○				○					
295	1SX001	49		213	16.4	10.6+		○		○									
296	1SX001	49		265	17.0	8.0+		○		○				○					
297	1SX001	49		262	22.0	6.7+				○				○					
298	1SX001	49		253	20.2	5.9+				○				○					
299	1SX001	49		233		9.6+	5.0		○	○									
300	1SX001	49		232		8.0+	8.0			○		○							
301	1SX001	49		264		14.4+				○									
302	1SX001	50	26	208	13.0	14.6				○				○	○				
303	1SX001	50	26	217	17.4	18.3				○									
304	1SX001	50		254	17.5	2.4+			○					○	○				
305	1SX001	50	26	215	14.2	8.6+				○		○							
306	1SX001	50		245	20.4	6.7+		○		○									
307	1SX001	50		246	23.8	5.8+		○		○									
308	1SX001	50		243	34.3	7.8+				○									
309	1SX001	50	26	222	38.9	8.5+			○	○									
310	1SX001	50	27	200	20.8	9.8+				○		○							
311	1SX001	50		237		3.1+	10.7						○	○	○				
312	1SX001	50		238		4.3+	18.0						○						
313	1SX001	50		224	11.0*	4.8						○		○					
314	1SX001	50		225	12.4*	4.7	3.7*					○			○				
315	1SX001	51		230	31.5	6 +												○	
316	1SX001	51		242	31.0	4.6+					○							○	
317	1SX001	51		241	25.2	5.3+				○				○				○	
318	1SX001	51		231		4.4+	17.5							○		○			
319	1SX001	51		244		3.0+								○	○			○	
320	1SX001	51	27	201	19.0	23.0	18.9			○				○	○				
321	1SX001	51		257	10.0	22.6	10.6*			○				○	○				
322	1SX001	51		248	12.8*	10.4+				○				○	○				
323	1SX001	51		202		6.8+	16.4			○				○	○				
324	1SX001	52		251	20.0*	4.7+				○				○	○				
325	1SX001	52		252	11.0*	8.3+				○				○	○				
326	1SX001	52		249	10.4*	10.3+				○				○	○				
327	1SX001	52		259		13.2+	26.5			○				○	○				

第2表 雑川遺物観察表⑨

№	遺構	図版番号	写真版号	R番号	口径cm	高さ	底径	外面				内面				備考	
								たたきめ	なで	たてはけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ		けずり
328	ISX 001	52		261		10.6+	28.1			○				○	○		
329	ISX 001	52		256		18.0+	24.7			○				○			
330	ISX 001	52		258		11.5+	25.6			○				○			
331	ISX 001	52		260		12.0+	20.4			○				○			
332	ISX 001	52	27	203		9.8+	18.4			○				○			
333	ISX 001	53		239	8.9	13.0	11.2*	○		○				○			
334	ISX 001	53	27	235	4.7	8.2	10.7			○				○			
335	ISX 001	53		205	7.3	10.8	13.6			○				○			
336	ISX 001	53		236	10.5*	4.2+				○				○			
337	ISX 001	53	27	234	7.9	5.1	2.2							○			
338	ISX 001	53		240		2.1+	2.9							○			
339	ISX 001黒灰土	54		202	43.9	9.5+						○		○			
340	ISX 001黒灰土	54	28	206	14.2	23.1				○		○		○		○	
341	ISX 001黒灰土	54		200	12.7	8.0+				○				○			
342	ISX 001黒灰土	54		201		13.2+	8.2			○				○			
343	ISX 001黒灰土	54	27	205		8.2+						○				○	
344	ISX 001黒灰土	54	30	203		6.2+								○	○		
345	ISX 001黒灰土	54	27	204		3.9+				○				○			
346	ISX 020	55	28	219	32.0*	37.9				○				○			
347	ISX 020	55		205	12.7	19.9	4.8			○				○			
348	ISX 020	55		207	15.6	12.7+				○				○			
349	ISX 020	55	28	208	13.2	15.3				○				○			
350	ISX 020	55	28	216		32.5+	7.4	○		○				○			
351	ISX 020	56	28	206	26.1	47.1		○		○				○			
352	ISX 020	56		211	27.6	8.6+				○				○			
353	ISX 020	56		209		12.6+				○				○			
354	ISX 020	57	29	220	28.6	37.8				○				○	○	○	
355	ISX 020	57		215	14.2	3.7+				○				○			
356	ISX 020	57		201	16.7	6.8	6.0					○		○			
357	ISX 020	57	29	200	23.0	11.9				○				○			
358	ISX 020	57		212	17.2*	10.3	5.6					○		○			
359	ISX 020	57		203	21.5	7.4+				○							
360	ISX 020	58	29	202	36.6	44.3+				○							
361	ISX 020	58		204	15.8	5.2+				○				○			
362	ISX 020	58		218		8.3+				○				○			
363	ISX 020	58	29	214	16.5*	6.8+				○				○	○		
364	ISX 020	58	29	213	14.4*	5.9+				○				○			
365	ISX 020	58	29	217		8.5+								○			
366	ISX 020	59	30	210		45.0+	12.5			○				○			
554	ISX 001暗灰粘	4	30	200		1.7+	7.8										
555	ISD 005	9	30	200	13.0	0.7+				○							

第2表 雑川遺物観察表⑩

No	遺 構	図版番号	写真版号	R番号	長さcm	幅	厚さ												備 考
367	ISX001黒色土	60	31	015	45.1	9.7	1.2												
368	ISX001黒色土	60	31	007	55.0	18.8	2.3												
369	ISX001黒色土	60	31	025	45.2+	7.5+	1.5												
370	ISX001黒色土	60	31	044	24.0+	5.0+	1.6												
371	ISX001黒色土	60	31	023	18.6+	6.8+	1.8												
372	ISX001黒色土	60	31	005	18.9+	14.3+	1.5												
373	ISX001黒色土	60	32	011	10.0+	4.9+	0.9+												
374	ISX001黒色土	60	32	024	16.0+	5.2+	1.3												
375	ISX001黒色土	60	32	026	9.6+	5.2+	1.3												
376	ISX001黒色土	60	32	012	9.0+	2.2+	1.8												
377	ISX001黒色土	60		041	10.4+	3.1+	1.6												
378	ISX001黒色土	60	32	036	10.2+	2.3	2.0												
379	ISX001黒色土	60	32	018	8.7+	2.2	1.7												
380	ISX001黒色土	61	32	008	44.2	16.0	1.6												
381	ISX001黒色土	61	32	004	31.4+	14.0	1.7												
382	ISX001黒色土	61	32	017	35.6+	6.6+	1.8												
383	ISX001黒色土	61	32	009	31.1	6.3	0.5												
384	ISX001黒色土	61	33	016	31.0+	11.7	1.4												
385	ISX001黒色土	61	33	040	10.3+	10.5	3.0												
386	ISX001黒色土	61	33	045	7.4+	32 +	2.0												
387	ISX001黒色土	61	33	006	21.5	3.0	2.8												
388	ISX001黒色土	61	33	035	32.9	10.7	5.7												
389	ISX001黒色土	62	33	039	63.2+	3.4	2.2												
390	ISX001黒色土	62	33	014	70.3	3.9	2.8												
391	ISX001黒色土	62	33	077	9.9	1.8	1.8												
392	ISX001黒色土	62	33	069	97.7+	5.7	2.4												
393	ISX001黒色土	62	34	034	38.4+	10.1	1.4												
394	ISX001黒色土	62	34	001	15.5+	7.3	0.5												
395	ISX001黒色土	62		002	10.1+	2.0													
396	ISX001黒色土	63	34	010	50.0+	44.0+	1.8												
397	ISX001黒色土	63	34	029	55.6+	21.3+	1.7												
398	ISX001黒色土	63	34	065	40.1+	4.5+	2.2												
399	ISX001黒色土	63	34	064	41.8+	4.0+	1.7												
400	ISX001黒色土	63		075	38.5+	7.4+	2.0												
401	ISX001黒色土	63	35	046	12.4+	10.7	3.5												
402	ISX001黒色土	63	35	022	17.8+	13.5	4.2												
403	ISX001黒色土	63	35	003	14.5+	5.2	2.5												
404	ISX001黒色土	63	35	019	12.4+	8.1+													
405	ISX001黒色土	63	35	033	51.4+	12.9+	1.5												
406	ISX001黒色土	63	35	047	7.2+	4.0	3.5												
407	ISX001黒色土	64	35	051	103.5	21.6	1.6												
408	ISX001黒色土	64	35	077	97.7+	5.8	3.0												

第2表 離川遺物観察表①

No	遺 構	図版番号	写真版号	R番号	長さcm	幅	厚 さ												備 考
409	1SX001黒色土	64	36	052	86.0+	7.4	3.5												
410	1SX001黒色土	64	36	020	50.2+	7.6	2.0												
411	1SX001黒色土	64	36	042	7.4+	4.4+	0.9												
412	1SX001黒色土	64	36	056	19.9+	5.8	0.7												
413	1SX001黒色土	64	36	050	33.3+	6.0	1.0												
414	1SX001黒色土	65	36	058	65.4+	4.7	2.4												
415	1SX001黒色土	65	36	055	54.0+	7.4	5.9												
416	1SX001黒色土	65	36	043	32.9+	2.3	1.3												
417	1SX001黒色土	65	36	021	17.3+	2.5	2.4												
418	1SX001黒色土	65		031	18.4+	3.5	3.5												
419	1SX001黒色土	65	36	032	15.0+	3.6	3.6												
420	1SX001黒色土	65		057	13.0+	2.8	2.3												
421	1SX001黒色土	65		028	11.8+	2.1	2.3												
422	1SX001黒色土	65		066	21.7+	3.0	2.9												
423	1SX001黒色土	65	37	059	24.7+	4.2	3.0												
424	1SX001黒色土	65		060	19.9+	6.2	5.2												
425	1SX001黒色土	65	37	054	26.6+	11.4	8.9												
426	1SX001黒色土	65		063	12.1+	6.6	3.5												
427	1SX001黒色土	65		027	9.2+	2.3	1.6												
428	1SX001黒色土	65		076	4.8+	2.6	1.1												
429	1SX001黒色土	65	37	049	16.2+	14.2	7.5												
430	1SX001黒色土	66	37	072	53.8	9.3	6.6												
431	1SX001黒色土	66	37	073	32.9	5.1	2.7												
432	1SX001黒色土	66	37	061	57.8+	7.0	5.0												
433	1SX001黒色土	66	37	062	44.2	7.5	5.5												
434	1SX001黒色土	66	37	030	36.8	5.8	3.0												
435	1SX001黒色土	66	39	067	18.0+	13.7	4.0												
436	1SX001黒色土	66		037	20.7	16.7	11.3												
437	1SX001黒色土	66	39	071	11.1	10.5	10.0												
438	1SX001黒色土	66		038	30.3	11.8	4.5												
439	1SX001黒灰土	67	39	020	22.9+	14.7+	0.9												
440	1SX001黒灰土	67	39	001	30.0	2.9	2.3												
441	1SX001黒灰土	67	39	002	25.9+	2.8	1.4												
442	1SX001黒灰土	67	39	025	2.8	5.5	2.8												
443	1SX001黒灰土	67		019	3.0	3.1	2.8												
444	1SX001黒灰土	67	40	018	5.2	5.0	1.4												
445	1SX001黒灰土	67	39	024	29.4	5.4	1.3												
446	1SX001黒灰土	67		023	65.5	6.2	6.8												
447	1SX001黒灰土	67		021	22.7+	7.4	5.9												
448	1SX001黒灰土	67		022	22.3+	6.7	4.8												
449	1SX001黒灰土	67		004	19.2+	3.5	2.4												
450	1SX001黒灰土	67		003	19.0+	2.4	2.1												

第2表 雑川遺物観察表⑫

No.	遺 構	図版番号	写真版号	R番号	長さcm	幅	厚 さ													備 考
451	ISX001黒灰土	67		008	7.3+	2.5	1.0													
452	ISX001黒灰土	67		009	9.2+	2.9	1.7													
453	ISX001黒灰土	67	40	005	15.5+	1.6	2.0													
454	ISX001黒灰土	67	40	006	10.6+	3.5	2.1													
455	ISX001黒灰土	67	40	016	16.4+	2.1	2.2													
456	ISX001黒灰土	67	40	014	9.6+	2.2	1.1													
457	ISX001黒灰土	67	40	012	7.5+	3.9	1.2													
458	ISX001黒灰土	67	40	015	9.1+	3.2	1.1													
459	ISX001黒灰土	67	40	013	6.2+	4.0	0.6													
460	ISX001黒灰土	67	41	011	7.6+	5.3	0.8													
461	ISX001黒灰土	67		010	17.7+	4.9	1.4													
462	ISX001黒灰土	67		007	16.3+	4.5	1.6													
463	ISX001	68	40	004	34.9	11.6+	2.2													
464	ISX001	68	41	009	7.1+	5.0+	1.5													
465	ISX001	68	41	002	12.5+	2.3	1.0													
466	ISX001	68	41	024	7.1+	2.3	1.1													
467	ISX001	68	41	025	12.3+	5.8	1.0													
468	ISX001	68	41	011	18.4+	4.8	0.8													
469	ISX001	68	41	001	7.4+	3.9+	1.6													
470	ISX001	68	41	010	10.0+	2.8	2.2													
471	ISX001	68	42	006	5.7	2.8	1.8													
472	ISX001	68	42	022	7.0	5.0	2.1													
473	ISX001	68	42	017	20.3	5.8	5.6													
474	ISX001	68	42	013	10.9+	2.9	0.7													
475	ISX001	68	42	016	13.0	3.0	1.8													
476	ISX001	68	42	014	15.7+	1.6	0.5													
477	ISX001	68	43	005	68.7+	20.9	2.8													
478	ISX001	68		027	3.1	2.4	0.5													
479	ISX001	68	42	023	3.4	2.4	1.4													
480	ISX001	69	43	003	37.8+	8.2+	1.2													
481	ISX001	69	43	002	59.4+	11.8+	1.5													
482	ISX001	69	43	001	64.0+	18.9+	1.7													
483	ISX001	69	43	004	6.3+	7.2	6.8													
484	ISX001	69		012	19.0	4.5	2.7													
485	ISX001	69		019	19.6+	7.2	5.1													
486	ISX001	69		001	10.7+	2.1	1.6													
487	ISX001	69		003	17.2+	2.5	2.2													
488	ISX001	69	42	007	52.7+	8.5	6.4													
489	ISX001	69		018	18.7	3.8	3.1													
490	ISX001	69		015	26.0	3.9	2.0													
491	ISX001	69	42	008	82.6	6.2	2.0													
492	ISX001	69		021	35.0+	4.4	2.9													

第2表 雜川遺物觀察表⑬

No	遺 構	図版番号	写真版号	R番号	長さcm	幅	厚 さ													備 考
493	1SX001	69	43	020	46.0	9.0	4.6													
494	1SX001灰色砂層	70	43	001	42.5	15.8	2.2													
495	1SX001灰色砂層	70	44	002	41.5	12.8	2.2													
496	1SX001灰色砂層	70	43	001	14.7+	5.8+	1.0													
497	1SX001灰色砂層	70		009	35.0	2.4	2.0													
498	1SX001灰色砂層	70		004	31.2	6.2	2.7													
499	1SX001灰色砂層	70		003	34.3	9.3	3.5													
500	1SX001灰色砂層	70		005	27.2+	5.3	3.7													
501	1SX001灰色砂層	70		007	26.2+	6.0	2.2													
502	1SX001灰色砂層	70		010	23.6	5.5	3.1													
503	1SX001灰色砂層	70		014	20.3	15.1	4.0													
504	1SX001灰色砂層	70		011	18.0	5.3	4.1													
505	1SX001灰色砂層	70		012	26.0	6.0	4.1													
506	1SX001灰色砂層	70		008	29.7	4.4	3.5													
507	1SX001灰色砂層	70		013	20.0	4.2	2.5													
508	1SX001灰色砂層	70		006	19.0	3.6	2.5													
509	1SX001灰色砂層	70		015	13.4	8.1	7.1													
510	1SX030	71	44	001	14.8+	3.6	4.2													
511	1SX030	71	44	002	18.0+	3.5	3.6													
512	1SX030	71	44	003	9.4+	2.8	2.1													
513	1SX030	71	44	13.0+	2.7	2.2														
514	1SX030	71	44	005	14.0+	3.0	2.6													
515	1SX030	71	44	006	7.2+	1.9	1.0													
516	1SX030	71	44	007	21.2+	4.2	4.0													
517	1SX030	71	44	008	20.6+	3.3	3.0													
518	1SX060	72	44	005	67.5	11.0	5.4													
519	1SX060	72	45	006	65.4	7.4	5.0													
520	1SX060	72	45	004	69.9	6.0	5.8													
521	1SX060	72	45	002	65.3	5.9	5.1													
522	1SX060	72	45	003	79.5	7.2	4.9													
523	1SX060	72	45	009	56.9	5.7	4.5													
524	1SX060	72	45	010	56.4	7.8	4.4													
525	1SX060	72	45	001	52.3	6.8	4.8													
526	1SX060	72	45	011	49.3	7.0	4.5													
527	1SX060	72	46	014	30.2+	5.2	3.1													
528	1SX060	72	45	007	36.3+	4.1	4.4													
529	1SX060	72	45	012	36.0+	8.1	3.1													
530	1SX060	72	46	015	33.3+	5.1	2.3													
531	1SX060	72	46	013	36.0+	8.0	4.0													
532	1SX060	72	46	008	28.0	7.9	2.6													
533	1SX001灰色砂層	73		241	4.0	6.9+	0.8													
534	1SX001灰色砂層	73		200	4.1	5.7+	0.5													



第2表 離川遺物観察表⑭

No	遺構	図版番号	写真版号	R番号	長さcm	幅	厚さ										備考
535	ISX001灰色砂層	73		276	8.8	10.5+	1.2										
536	ISX001灰色砂層	73		277	12.2+	12.1+	4.3										
537	ISX001黒色土	74	23	401	4.8+	5.1+	0.8										
538	ISX001黒色土	74	23	400	4.5	7.7+	0.7										
539	ISX001黒色土	74	23	399	3.8	4.4+	0.6										
540	ISX001黒色土	74	23	404	2.7	1.8+	0.3										
541	ISX001黒色土	74	23	406	2.7	1.5	0.4										
542	ISX001黒色土	74	23	403	7.5+	3.5	1.6										
543	ISX001黒色土	74	23	402	10.5+	3.6	1.6										
544	ISX001黒色土	75	24	409	11.9+	8.6+	2.3										
545	ISX001黒色土	75	24	410	24.8+	15.3	5.5										
546	ISX001黒色土	75	24	411	20.4+	12.5+	3.7										
547	ISX001黒色土	76	24	405	6.3	8.4+	2.6										
548	ISX001黒色土	76	24	412	8.9+	8.3	6.1										
549	ISX001黒色土	76	24	266	8.7+	9.7	1.9										
550	ISX001黒色土	76	24	268	9.7	5.0	2.1										
551	ISX001	76	24	267	2.5	3.7	2.4										
552	表土	77		001	3.6	1.4	0.4										

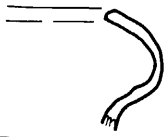
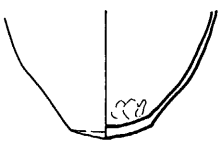
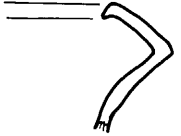

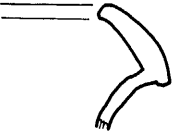
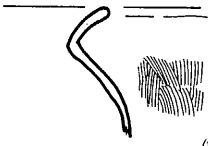
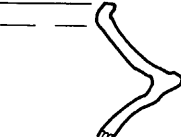
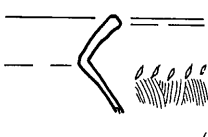
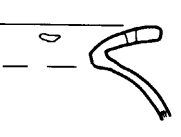
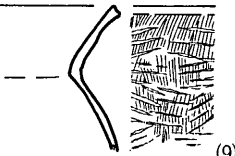
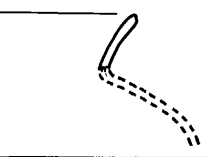
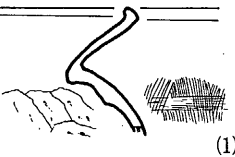
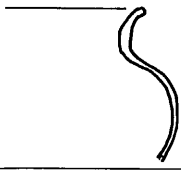
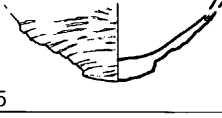
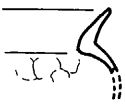
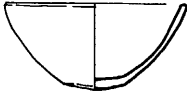
第3表 雑川遺物一覧表 ①

表 土		S - 2	
弥生土器	片	弥生土器	片
須 惠 器	片	須 惠 器	坏、蓋 c 3片
土 師 器	小皿 a (糸切)		
瓦 質 土 器	火鉢片	S - 3	
瓦	片 (格子)		
石 製 品	水晶片	弥生土器	甕 (後期) 片、高坏片
暗 灰 土		S - 4	
弥生土器	片	須 惠 器	片
須 惠 器	壺、蓋 3、坏 c、甕片	土 師 器	小皿 a (へラ切)
土 師 器	小皿 a (へラ切)、碗 c 片	青 磁	同安碗 1 類片
灰 色 土		S - 5	
須 惠 器	坏 c、皿、壺、高坏片	弥生土器	甕、高坏、壺
土 師 器	小皿 a (糸切)、坏 c	須 惠 器	坏蓋 4、坏蓋 3 B
土 製 品	方柱状	土 師 器	片
石 製 品	打具、滑石片	瓦	片
		石 製 品	黒曜石
暗 灰 粘			
		S - 6	
弥生土器	片		
須 惠 器	蓋 c、坏 c、甕片	須 惠 器	坏片
黒色土器 A	碗 c 片	土 師 器	片
石 製 品	砥石 (砂岩)	青 磁	碗 1 - 5 - b 類
		白 磁	碗 5 類、4 ~ 8 類
灰褐色砂		中世陶器	無釉捏鉢片、甕片
		瓦 質 土 器	火鉢 B 片
須 惠 器	片	瓦	片
土 師 器	片 (平安?)、布留甕片		
		S - 7	
灰色砂層			
		青 磁	同安碗 1 類片
石 製 品	錘、砥石 (砂岩)、頁岩塊		
		S - 8	
		弥生土器	甕 (後期) 片

第3表 雑川遺物一覽表 ②


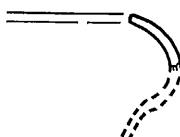

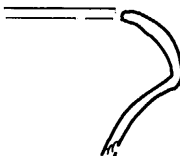
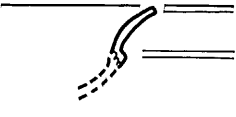

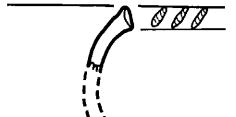
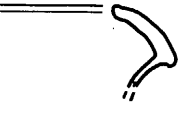





S - 9	
弥生土器	甕片
須惠器	片
S - 10	
弥生土器	甕(後期)片
石製品	錘(花崗岩)
S - 11	
弥生土器	片
S - 12	
弥生土器	片
S - 13	
弥生土器	片
須惠器	蓋 c3
S - 14	
弥生土器	片
S - 16	
弥生土器	甕片
須惠器	壺片
S - 20	
土製品	円盤状
S - 50	
弥生土器	甕(後期)片、壺、高坏片、支脚

第4-1表 1SX001灰色砂層弥生土器出土数一覧

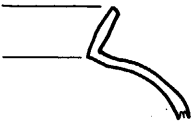

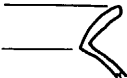
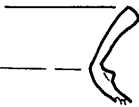
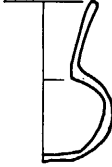
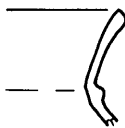
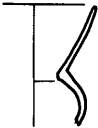
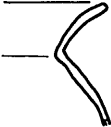

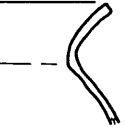

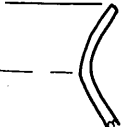
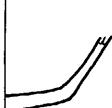
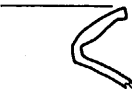

1SX100灰色砂層 1  (2)	壺 (口縁部片) 装状口縁	9  (4)	壺 (底部片) 平~丸底、長胴
2  (2)	複合口縁 く字形	10  (2)	壺 平~丸底、丸胴
3  (1)	く字形、上部肥厚 屈曲部やや下垂	11  (14)	甕 (口縁部片) く字形口縁 ハケのみ
4  (2)	く字形、端部外反	12  (1)	甕 ハケ+刺突
5  (1)	壺 (口縁部片) 短頸壺	13  (9)	甕 ハケ+タタキ
6  (1)	壺 (口縁部片) 短頸壺	14  (1)	甕 外ハケ、内ケズリ
7  (1)	壺 (口縁部片) 小壺	15  (1)	甕 (底部片) 外タタキ
8  (1)	壺 短頸	16  (3)	鉢 素口縁 平~丸底

※ (X) .....個体数

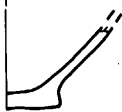


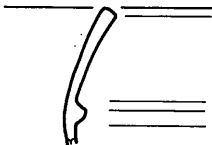



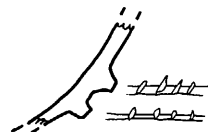
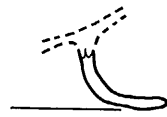




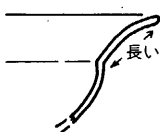

第4-2表 1SX001灰色砂層・1SX001弥生土器出土数一覧

 17 (2)	ミニチュア鉢 浅鉢型 手づくね	1SX001  1 (1)	壺（口縁部片） 装状口縁 丹塗
 18 (2)	高坏（口縁部）	 2 (9)	壺
 19 (1)	高坏（口縁部）	 3 (50)	壺 複合口縁 く字形
 20 (1)	器台（口縁部）	 4 (6)	壺 く字形、屈曲部下垂
 21 (1)	器台（口縁部）	 5 (12)	壺 く字形、端部外反
 22 (2)	器台（裾部） やや内反	6 (10)	壺 複合口縁小片
※ 1SX001は1SX001黒色土と 同黒灰土出土のものを統合 してカウントしたものであ る。		 7 (1)	壺（口縁部片） 短頸 鋤形
		 8 (11)	壺 ゆるいく字形

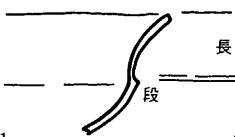

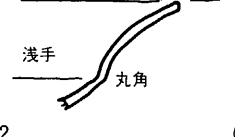

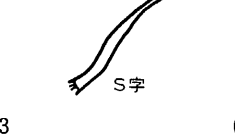


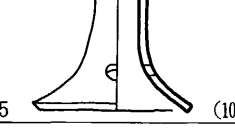

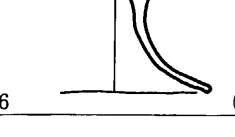

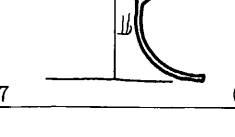
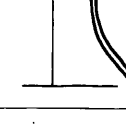

第4-3表 1SX001弥生土器出土数一覧

9		壺 (口縁部片) 短頸 鋭角直立気味	(27)	17		甕 (口縁部片) うす手、口縁内反 (布留系)	(2)
10		壺 短頸 鋭角外反	(9)	18		甕	(12)
11		壺 長頸 平~丸底	(10)	19		甕	(11)
12		壺 小型丸底	(1)	20		小・中型甕小片	(200)
13		甕 (口縁部片) く字形口縁内面鋭角	(46)	21		甕 (底部片) 平底	(69)
14		甕 く字形口縁内面 ゆるいカーブ	(66)	22		甕 平~丸底	(64)
15		甕 く字形口縁内外面 ゆるいカーブ	(53)	23		甕 丸~平底	(78)
16		甕 く字形鋭角	(4)	24		甕 丸底	(35)

第4-4表 1SX001弥生土器出土数一覧



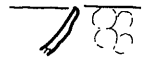
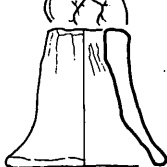
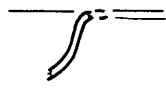

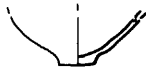
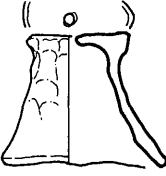



25		甕 (底部) 張り出しのある平底	33		鉢 (口縁部) 素口縁
26		甕 他 底部片	34		鉢 素口縁内反
27		大甕 (口縁部)	35		鉢 (底部) 丸~平底
28		大甕 (口縁部)	36		鉢 (底部) 脚付
29		大甕 (突帯部)	37		鉢 (底部) 脚部
30		鉢 (口縁部) く字形口縁 浅手	38		高坏 (口縁部)
31		鉢 (口縁部) く字形口縁 深手	39		高坏 (口縁部)
32		鉢 (口縁部) S字口縁	40		高坏 (口縁部)

第4-5表 1SX001弥生土器出土数一覧

<p>41</p>  <p>(29)</p>	<p>高环 (口縁部)</p>	<p>49</p>  <p>(3)</p>	<p>高环 (脚部) 裾部屈曲筒状部有</p>
<p>42</p>  <p>(19)</p>	<p>高环 (口縁部)</p>	<p>50</p>  <p>(2)</p>	<p>高环 (脚部)</p>
<p>43</p>  <p>(9)</p>	<p>高环 (口縁部)</p>	<p>51</p>  <p>(1)</p>	<p>高环 (脚部) 筒状部なし</p>
<p>44</p>  <p>(1)</p>	<p>高环 (口縁部)</p>	<p>52</p> <p>坏部片 (728) 脚部片 (102)</p>	<p>高环</p>
<p>45</p>  <p>(100)</p>	<p>高环 (脚部) 長脚 筒状部あり</p>	<p>53</p>  <p>(1)</p>	<p>器台</p>
<p>46</p>  <p>(10)</p>	<p>高环 (脚部) 短脚 筒状部なし</p>	<p>54</p>  <p>(65)</p>	<p>器台</p>
<p>47</p>  <p>(3)</p>	<p>高环 短脚 内面に筒状部あり</p>	<p>55</p>  <p>(1)</p>	<p>器台</p>
<p>48</p>  <p>(8)</p>	<p>高环 短脚 裾部カーブなし</p>	<p>56</p> <p>石</p> <p>ハケのみ 37 ハケ+タタキ 26 手づくね+ナデ 19</p>	<p>器台 (破片)</p>



第4-6表 1SX001弥生土器出土数一覧

 57 (1)	器台(脚部) 二重沈線	65 (437)	支脚(破片) うち タタキ (55) 手づくね (88) ハケ (118) 他 (176)
 58 (4)	小型特殊器台	 (3)	ミニチュア 坏型、手づくね
 59 (8)	支脚 筒状 うち ナデ+ハケ(6) タタキ+ハケ(2)	 (1)	ミニチュア 坏型
 60 (1)	支脚 筒状、装状	 (1)	ミニチュア 坏型、平底
 61 (10)	支脚 円穴 ユビオサエ+ナデ(6) タタキ(4)		
 62 (1)	支脚 円穴無		
 63 (3)	支脚		
 64 (1)	支脚 中実		

## 4. 小 結

### 各遺構の年代と所見

本調査区域で検出し得た遺構について総括しておきたい。

溝についてはSD002、SD003が12世紀以降のものと考えられるSD004を切っており、13世紀後半以降の遺物を出しているSX006に切られているので、そのあいだの時期に置くことができる。いずれもごく小規模なもので性格については人為性を含めて判断し得ない。SD005は奈良時代以降のやや規模の大きな溝で小河川ともいえるものである。堆積土中に砂、角礫を含み相当の流量があった時期が想定される。

溜まり状遺構SX001に複数の遺構が寄生している様子が見られる。堅果類の貯蔵穴SX050、木材加工の素材を水中保存したと考えられる杭囲いのSX006、土器を廃棄もしくは埋設していたSX020などがそれである。溜まり状遺構SX001自体はおおまかに灰色砂層、黒色土、黒灰土の順で堆積しているが、それぞれに畿内の庄内式、布留式に相当するタイプの土器がごく少量ながらも混在しており、下限を古墳時代初頭に置くことができる（詳細後述）。しかしながら出土した土器の内、量的に主体をなすタイプの時期は弥生後期後半であり、人為的活動の主体もこの時期にあったと考えられる。これらの遺構の所属時期も自ずとその幅の中に置かれよう。

1SX001は河川の窪みが低湿地化したものでこの延長は北側で調査したフケ遺跡でも確認されているが、特に今回調査した部分は（河川の氾濫などもなく）安定して黒色土が形成され、岸辺に近く適度に浅く、適度に水気があった箇所であったという環境がこれらの出土遺構、遺物の存在を規定しているように考えられる。ここから出土した土器には廃棄されたものとSX002のように埋置された可能性があるものとが存在する。埋置行為は本市佐野地区に於いては尾崎遺跡と脇道遺跡で6世紀の低湿地での貯木施設に伴う例があり、参考となる。そこでは貯木施設の四隅や岸辺に手づくねのミニチュア土器を含む遺物がまとまって検出されている。本遺跡では手づくねのミニチュア土器や青銅製の釧など日常的でない特殊な遺物が出ており、時限的に祭祀を含む非日常的空間となっていた可能性が指摘できる。

本遺跡北約2.5kmの春日市にある九州大学筑紫地区キャンパス内遺跡の溝SD316は弥生後期終末前後の土器が出土しているが、それらと共に青銅製鋤先と石釧が出土している。この遺物を整理した川村浩司氏はこの遺構から出土した土器の内、精製された古墳祭祀に用いられる土器が含まれる点、土器全体の4割以上が外来系（特に畿内系）で占められる点を基に、墳墓様式の畿内化現象に加えて、古墳時代初頭期の近隣の溝での祭祀行為と考えられる類例を集積した上で「溝での祭祀行為は、外来系文化導入の志向の強さを端的に示すものとして評価」している。（川村浩司「福岡平野における溝での祭祀」1988「日本民族・文化の生成」六興出版）

### 土器の様相について

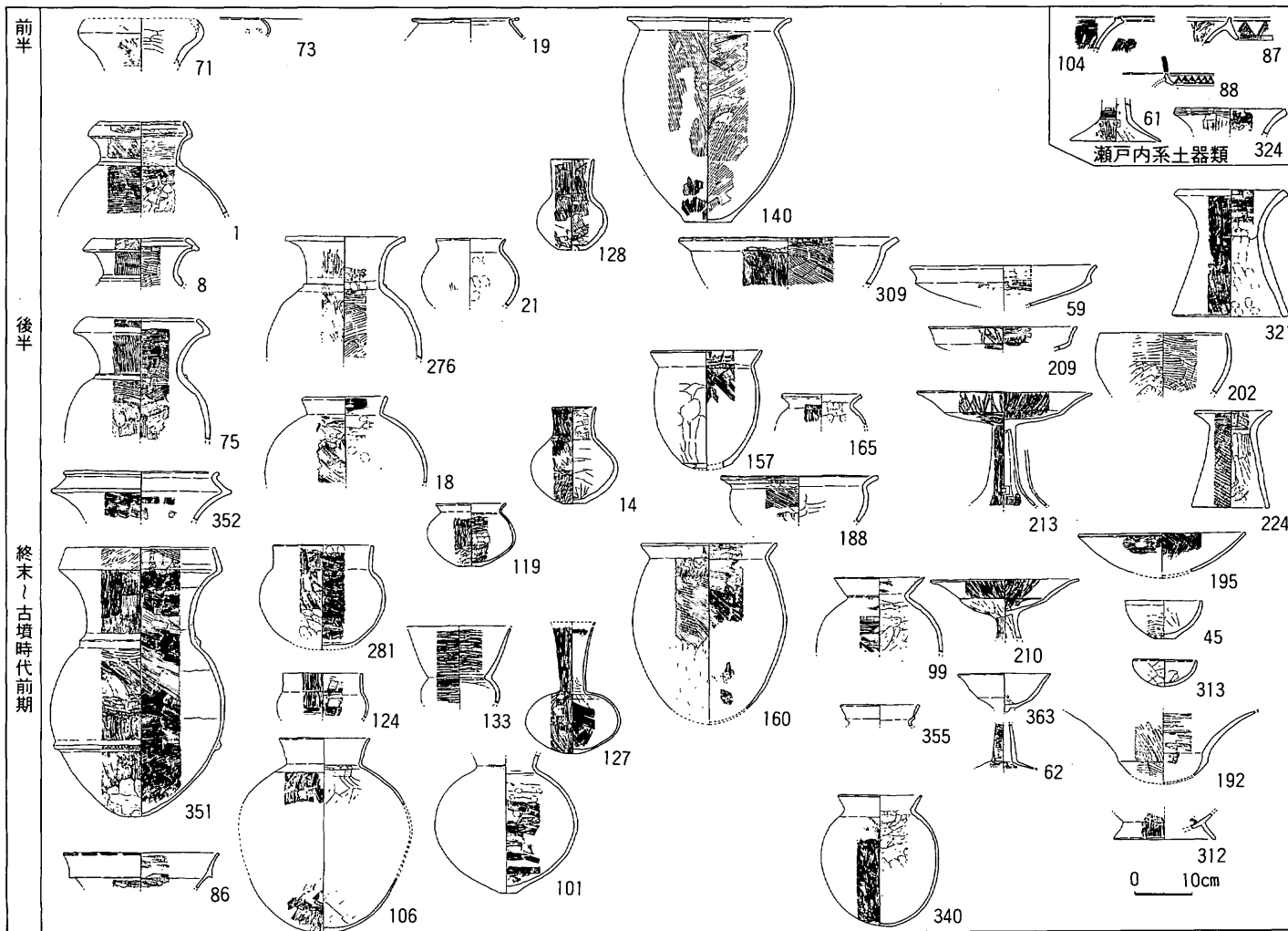
ここでは本文で366個体、観察表で破片を含め2,585個体を紹介している弥生土器について総括しておきたい。出土環境については前節で述べたとおりかなりの時間幅を持つと考えられるのであるが、学史における土器の時間幅はどうであろうか。福岡平野での弥生時代後期の土器相は森貞次郎氏が設定した前半＝高三瀨式、中頃＝下大隈式、後半＝西新式が、形式の名称は別として大枠で認められている。本文中での時期の認識もこれに従っている。細かな型式的、時間的推移については常松1984・1985、岩永1989、溝口1988の分析を参考にしている。

複合口縁壺の口縁部の量的変化は上位層のSX001では後期前半の袋状口縁（表4-2の1、2）を1とした場合、後期中頃の袋状と「く」字形の中間形態（表4-2の4）は0.54、後期中頃から後半のく字形口縁が6.2（表4-2の3、5）、終末期の直立口縁（図24の86他）は0.4で圧倒的に後期の中頃から後半にかけてのタイプが量的に卓越している。下位層のSX001灰色砂層でも袋状口縁（表4-1の1）を1とした場合、後期中頃の袋状とく字形の中間形態（表4-1の3）は2、後期中頃から後半のく字形口縁が7、終末期の直立口縁は0.5とおおかたの傾向は変わらない。また、甕形土器の底部の推移はSX001では平底（表4-3の21）を1とした場合、後期中頃の平底に近い丸底（表4-3の22）は0.77、後期中頃から後半の丸底に近い平底が1.1（表4-3の23）、終末期から古墳時代前期の丸底（表4-3の22）は0.6で、後期中頃から後半のものが量的に多い結果となっている。全体としては壺と甕の型式で見た場合後期前半から古墳時代初頭まで、ある程度の継続性をもって土器が供給された様相が見られ、後期中頃から後半が量的なピークであった。

### 瀬戸内系土器について

特定の地域には限定できないが瀬戸地域の様相を持つ土器が5個体出土している。87、88、104は壺もしくは器台に、61は高坏、324は器台と考えられる。口縁部の横沈線やへら描きの連続三角文は在地にはない手法である。帰属する土器群の時間幅が長いため在地土器からの時期比定は困難であるが、山陽地域の編年を参考にすれば壺類は「酒津式」以前、後期終末以前のものと思われる。本遺跡から出土する畿内系の後期終末の土器群の出現に先立つものである。

九州における瀬戸内系の土器の流入は沿岸部を中心に弥生中期から見られ、後期後半から終末にかけてが最も多く、畿内系の布留式土器が在地化する時期まで流入する。畿内系や山陰系の土器が限定的ながらセットで流入し在地化するのに対して、瀬戸内系の土器はおおかたのものは単体で出土し、顕著には在地の土器のプロポーションなどには影響を残さなかったように思える。しかし、庄内平行期もしくは多少それに先立つ時期に本報告の165の甕、春日市唐梨遺跡4号土壙出土甕109のようにハケ手法一辺倒の伝統の中で、内面調整にケズリ手法が突然現れる現象などは、当該地域からの影響も視野に入れる必要があろう。



第78図 雑川遺跡出土弥生後期土器変遷図

第5表 瀬戸内系土器出土地名表

	遺跡名	市町村名	遺構	器種	時期	部位・使用	備考
1	比恵(7次)	福岡市	井戸 SE-02	甕	後期末末 (下田所)	完形 祭祀?☆	
2	板付F5d	福岡市	溝 SD-31	高坏	後期初頭	ほぼ完形	「板付周辺遺跡・調査報告書(11)」 福岡市教育委員会 1986
3	多々良・込田	福岡市	住居 6号	甕	古墳前期初頭☆ (亀川上層)	口～胴部☆	「山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告」 福岡市教育委員会 1975
4	松の木	那珂川町	土壇	甕	後期末末 (下田所)	胴部 祭祀☆	「松本遺跡Ⅰ」那珂川町教育委員会 1984
5	九大筑紫地区 キャンパス内	春日市	溝 SD-316	甕	" ?	口縁部	九州大学 西 健一郎氏 御教示
6	御床松原	志摩町	包含層	甕・他	中期・中頃	口縁部	「御床松原遺跡」志摩町教育委員会 1983
7	三雲・番上	前原町	住居 4号	甕	後期・後半 (下田所?)	口縁部☆	「三雲遺跡Ⅰ」福岡県教育委員会 1980
8	"	"	包含層	甕	後期・後半 (鬼川市)	口縁部	"
9	三雲・鬼木	"	"	高坏	後期?	裾部欠損	「三雲遺跡Ⅱ」福岡県教育委員会 1981
10	横代	北九州市	"	高坏	後期(鬼川市?)	口縁部	「埋蔵文化財研究会第15回研究集会資料」 第15回研究集会世話人会 1984
11	長野	"	"	甕・高坏	後期(鬼川市?)	口縁部・坏部	"
12	守恒	"	土壇	高坏	後期(鬼川市Ⅰ)	完形?	"
13	前田山	行橋市	方形周溝墓 周溝	甕	古墳前期初頭 (亀川上層)	口～胴部	「福岡県行橋市前田山遺跡の調査」(考古 学ジャーナルNo.156) 1978
14	下藤	大分県 津町	方形周溝墓 周溝	甕	古墳前期 (亀川上層?)	口縁部	「下藤遺跡」(野津川流域の遺跡Ⅴ)野津町 教育委員会 1984
15	熊野原C (宮崎学園都市)	宮崎県 宮崎市	住居 SA-22	甕	(下田所～ 亀川上層)	口縁部	「熊野原遺跡」(宮崎学園都市発掘調査報 告書第2集)宮崎県教育委員会 1985
16	苗代津	熊本県 本町	包含層	甕	(下田所～ 亀川上層)	口縁部	九州大学 西 健一郎氏 御教示

※部位・使用欄中の☆マークは在出土器とのセットをなすもの。

時期欄中の( )中は1977(川入)上東遺跡報告書(岡山県)に掲載の形式名称を当てた。

### 木製品について

本文中では杭も含め167点の木製品を紹介しているが、回収した杭や板材、チップの報告は部分的なものになってしまった。

今回出土した木製品は農具、漁労具、炊事具、容器類、靴、建築部材など多種にわたっている。図で示したようにこれらの大半が破損した状況で出ている。土器同様に廃棄された可能性が高いが、板材(407)や杭に見られるように再利用されたものも見られ、破損したものであっても再生産のための素材として低湿環境に恣意的に置かれていた可能性もないわけでない。カンの割材が共伴していることからその可能性が指摘しうる。また、製品への加工もこの低湿地もしくは至近でおこなわれたと思われ、多くの木材チップが出土した。今後集落のエリアや「場」の復元作業に際して、集落に隣接する低湿地の位置づけが重要になってきている。

# 圖 版



全貌写真

雑川遺跡全景(東より)



2000x2000

東側部分



(中上) 完全新築計画

西側部分



1SX001付近





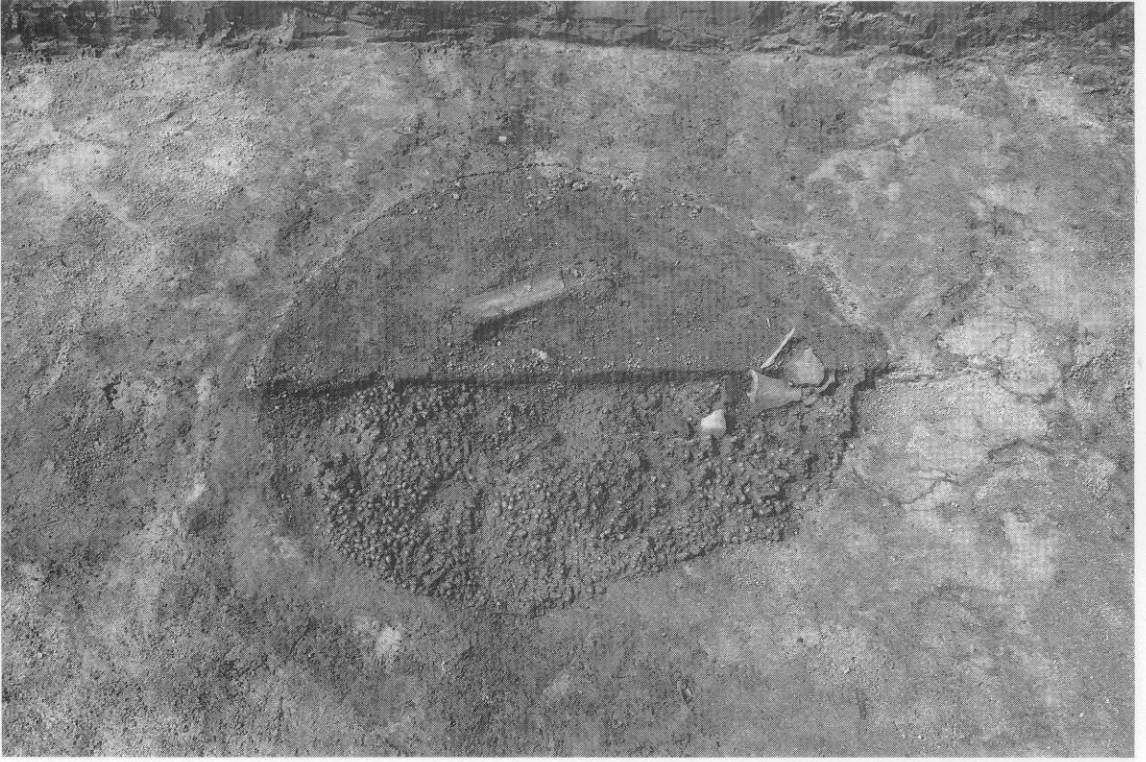
1SX001南より

1SX001南より



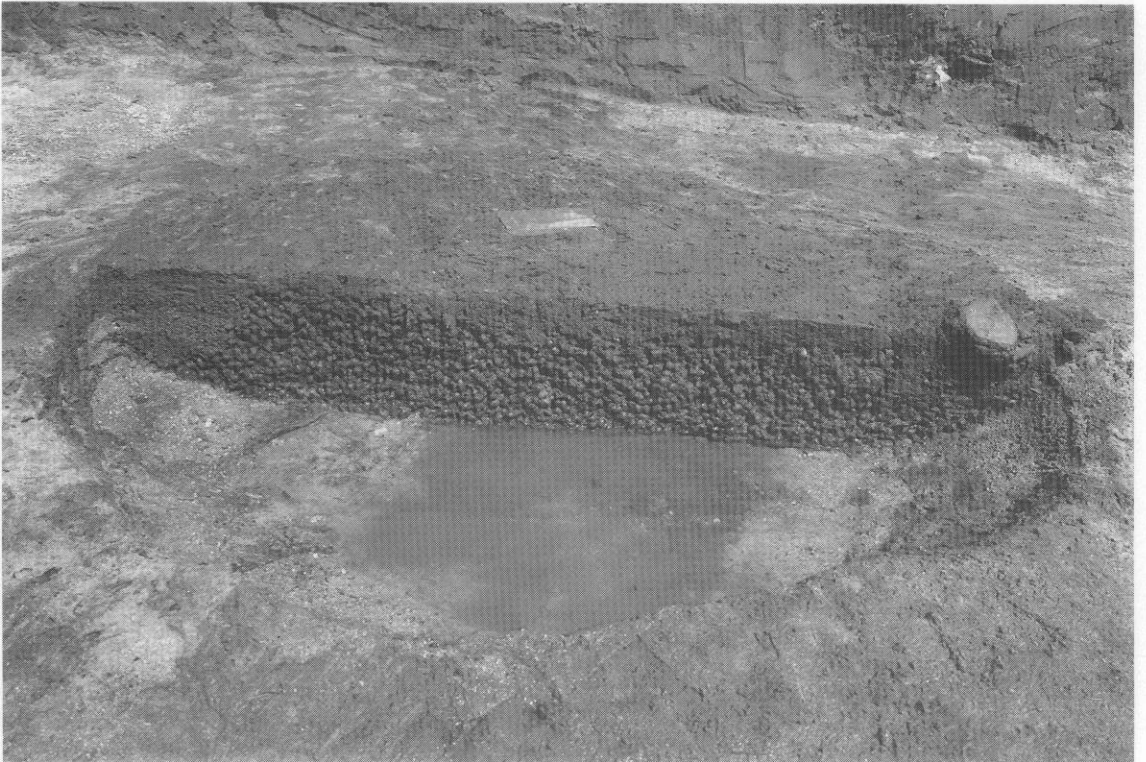
1SX001東より

1SX001東より



1SX050検出時

1SX050検出時



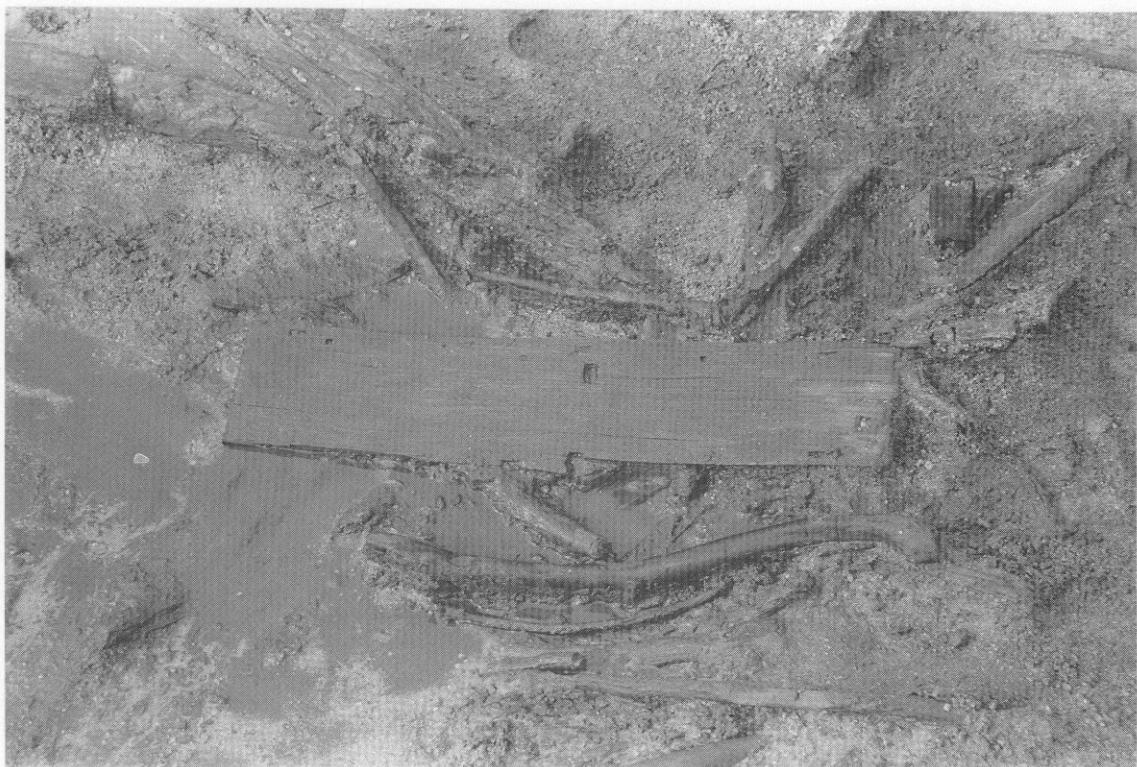
1SX050断面

1SX050断面



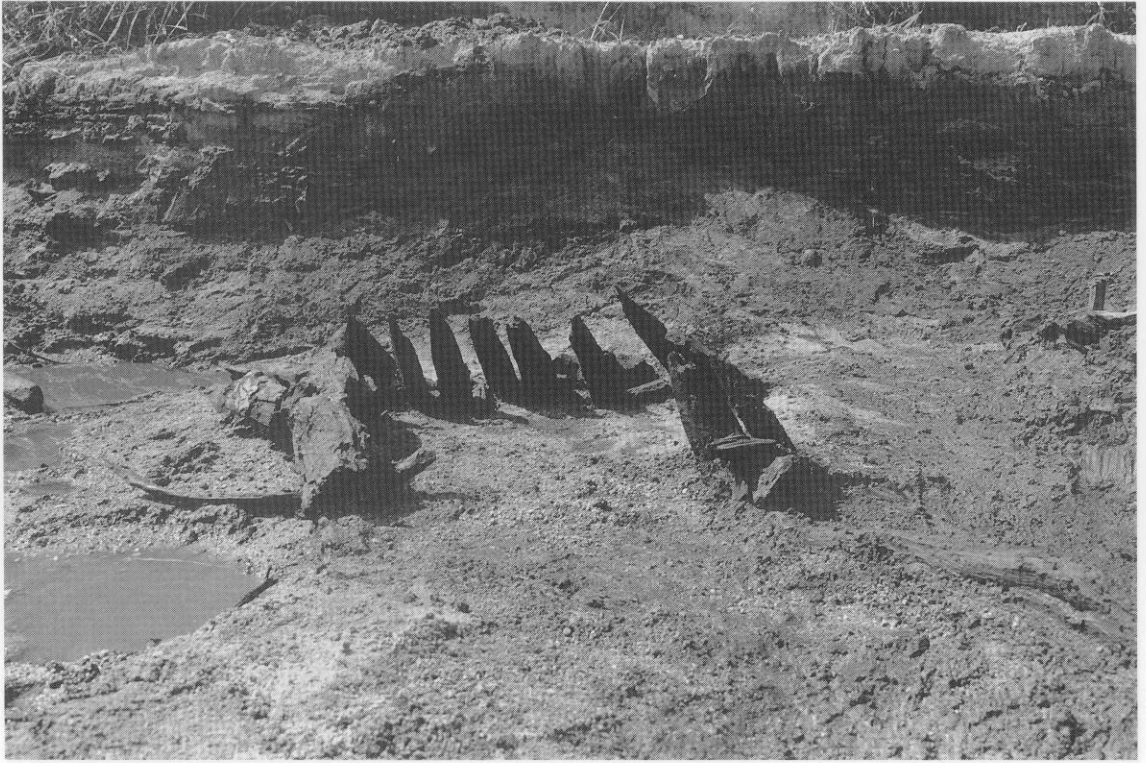
1SX060附近

1SX060附近

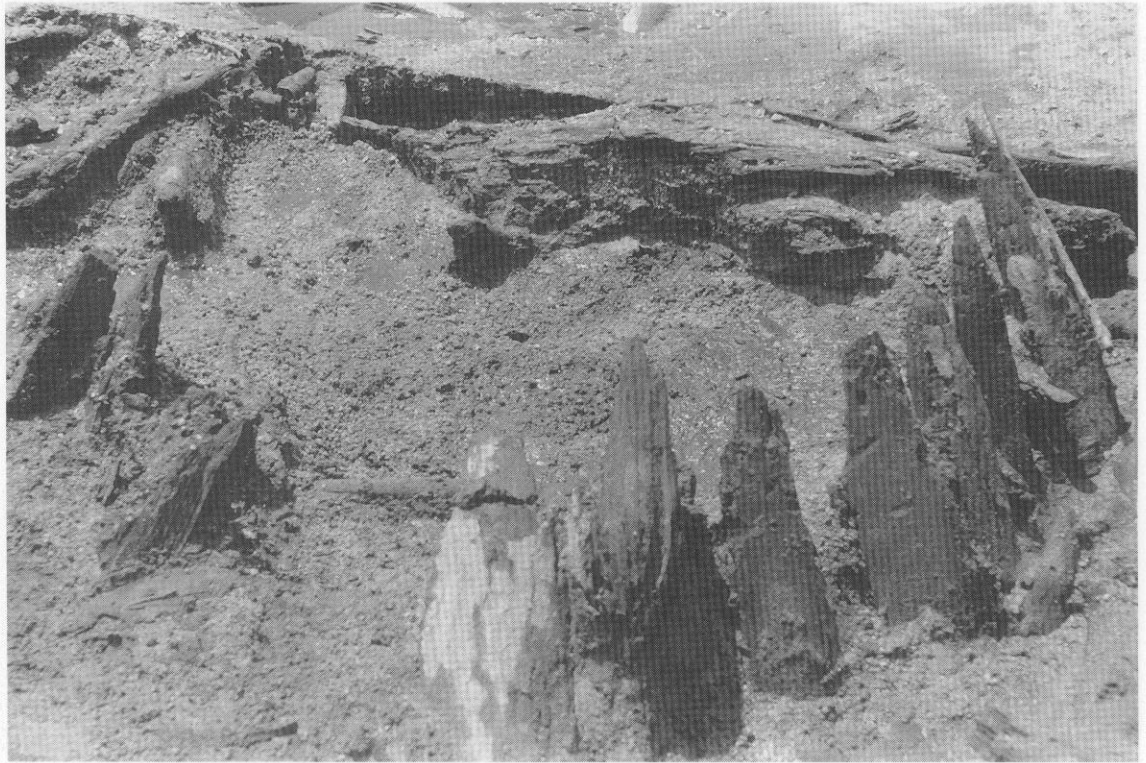


1SX001黑色土407出土状况

1SX001黑色土407出土状况



1SX060南より



1SX060北より

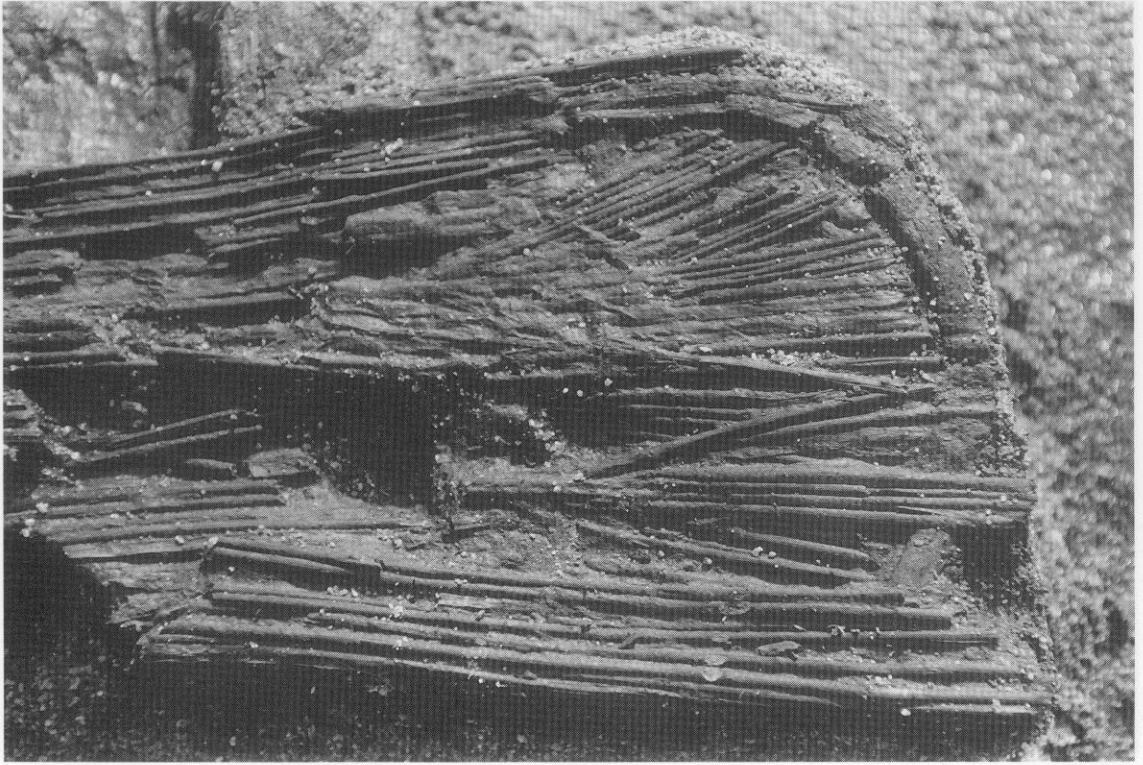


1SK020南より

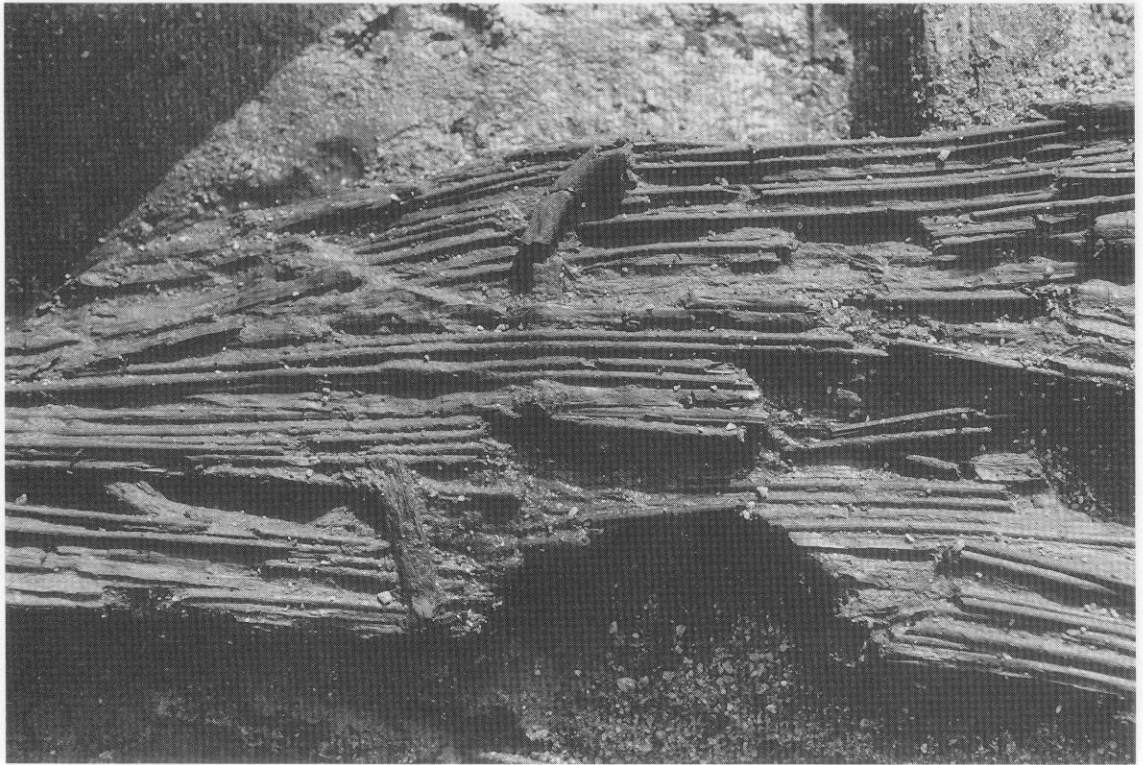
1SK020南より



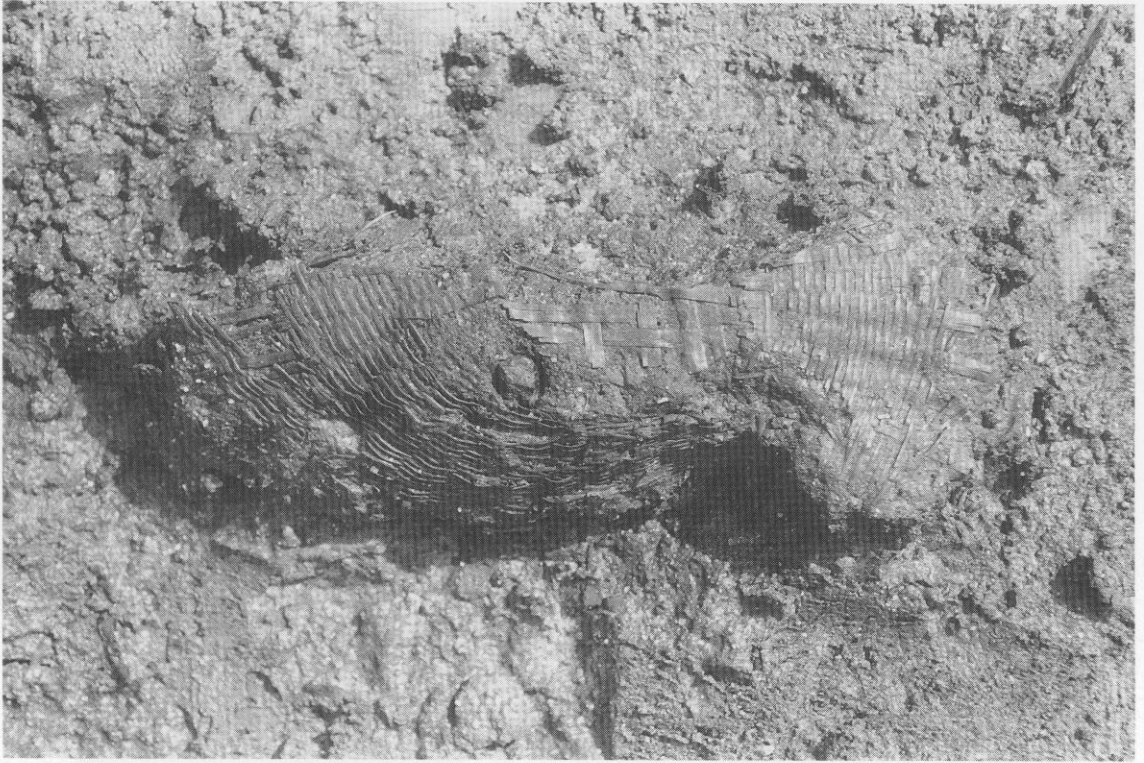
1SK020北より



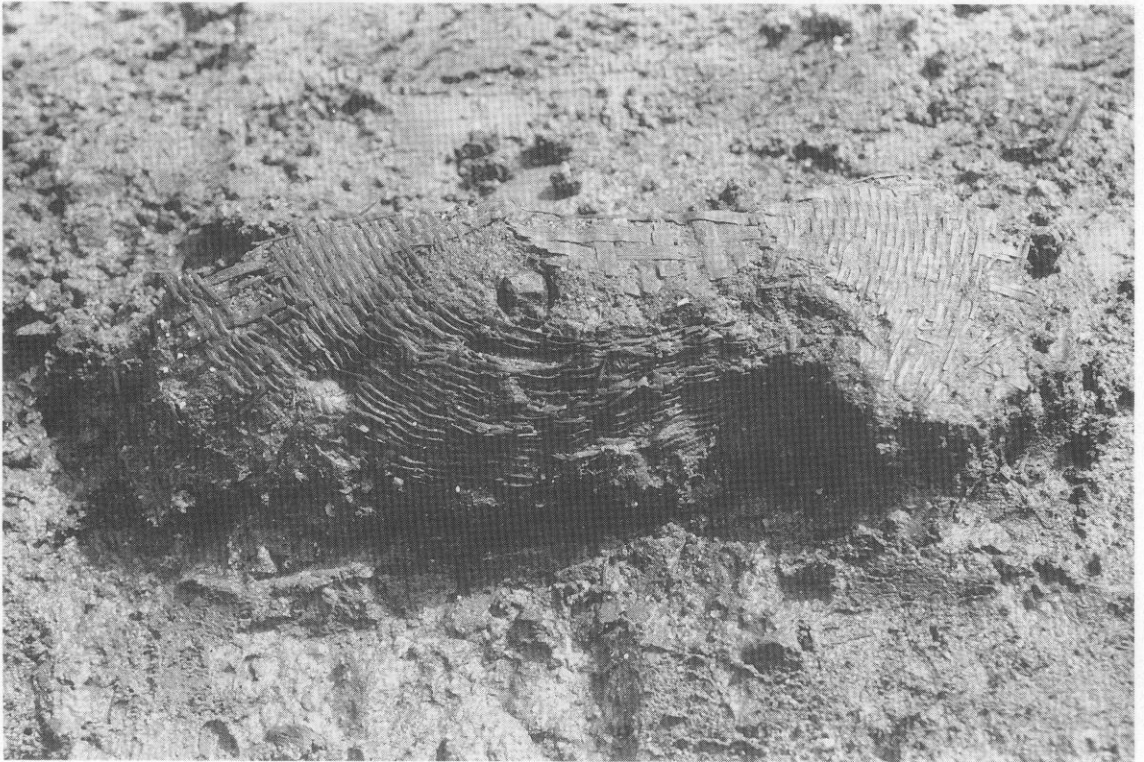
1SX001黒灰土出土「うけ」

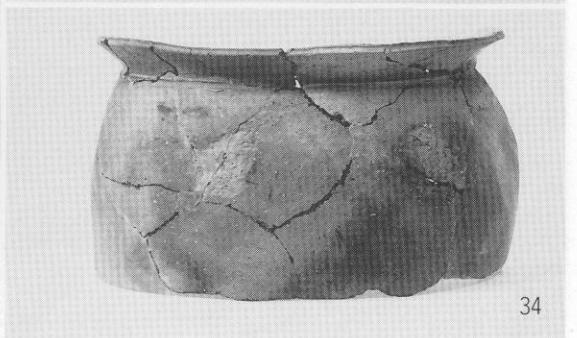
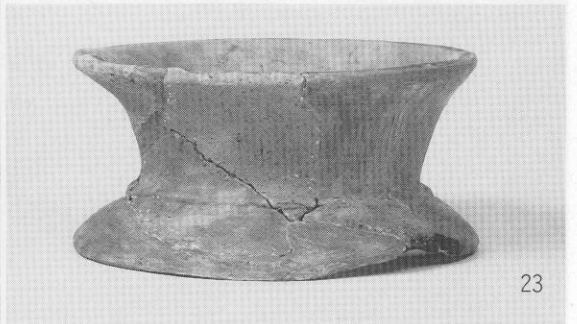
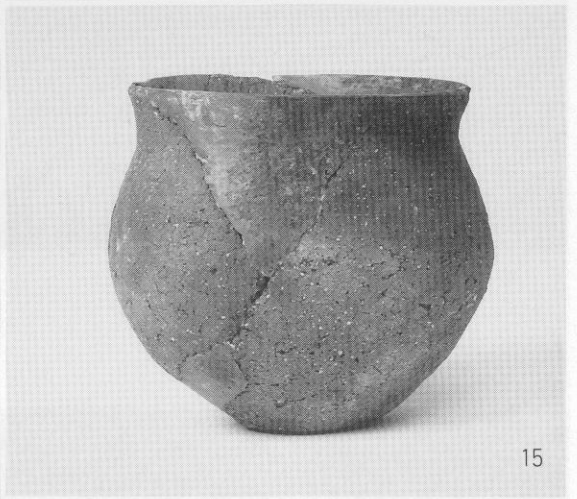
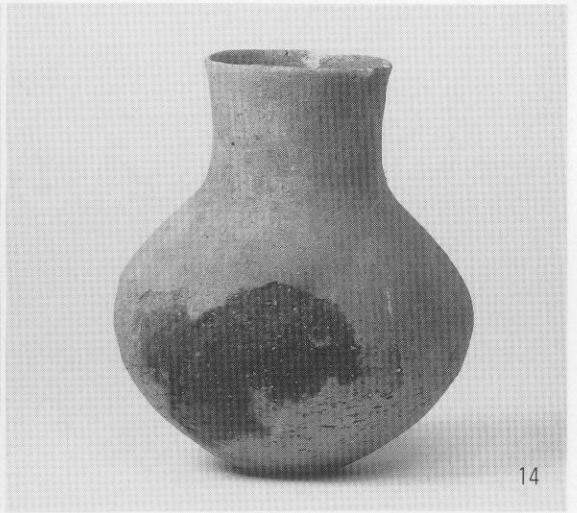


1SX001黒灰土出土「うけ」

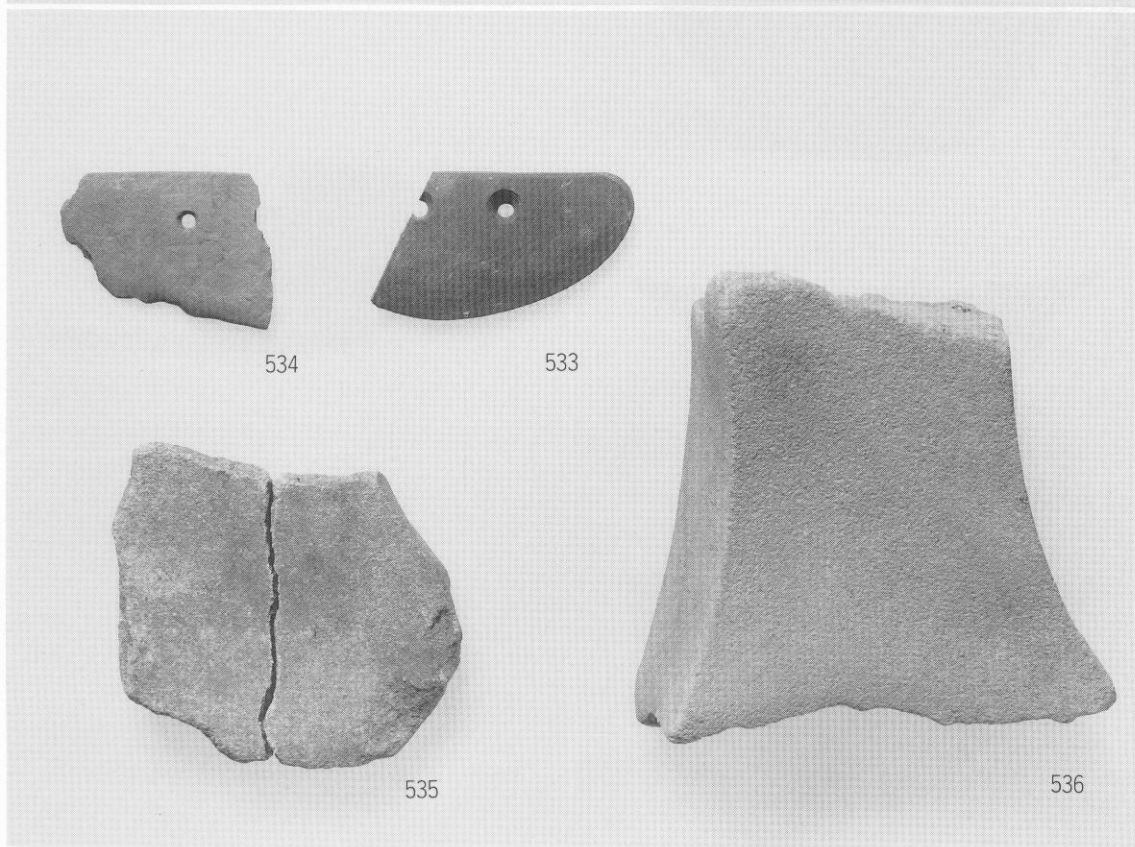
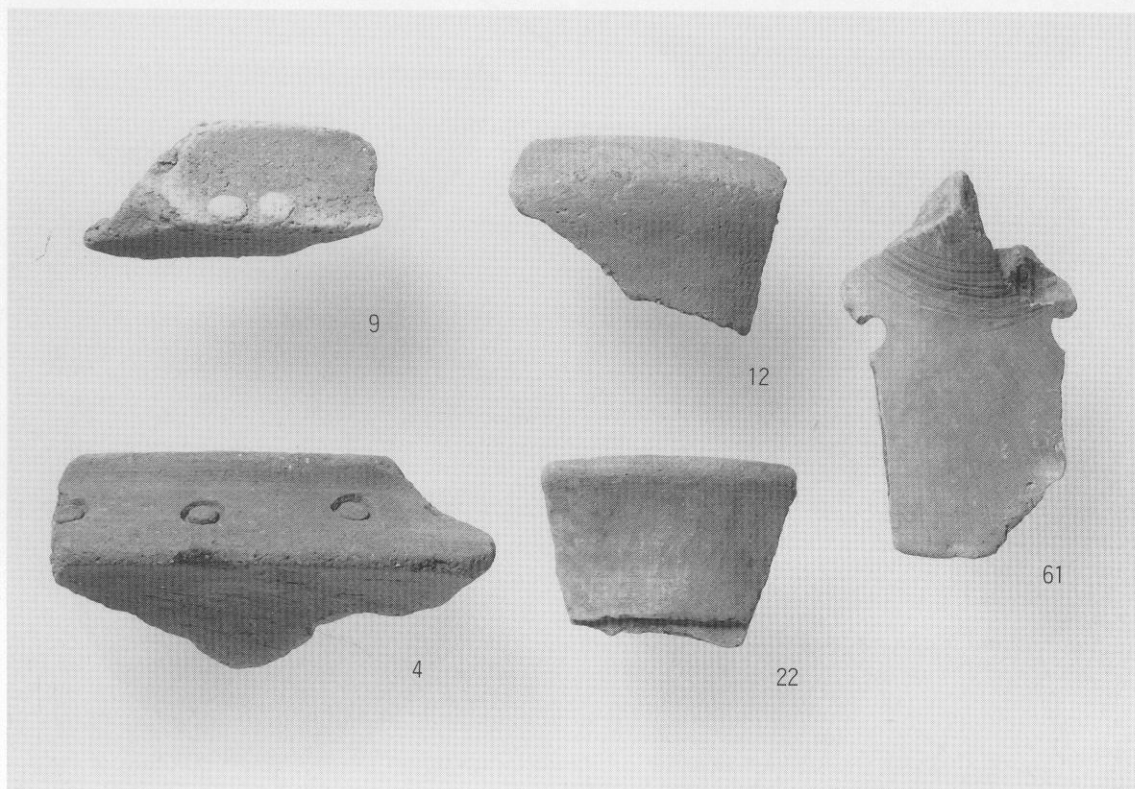


1SX001黒灰土「編かご」











40



48



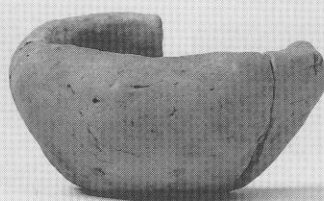
41



49



44



51



45



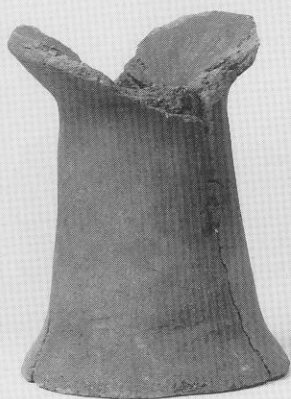
52



53



54



63



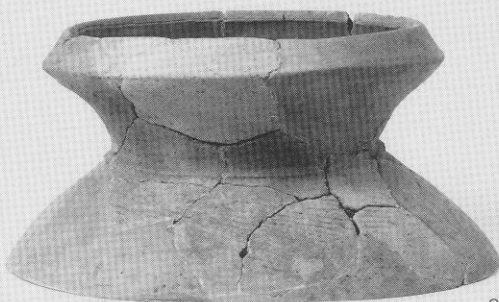
64



75



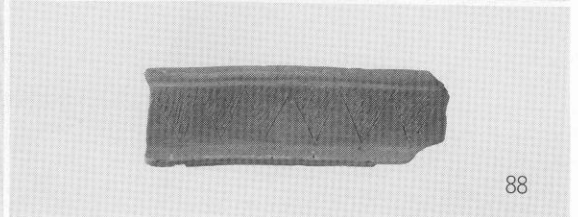
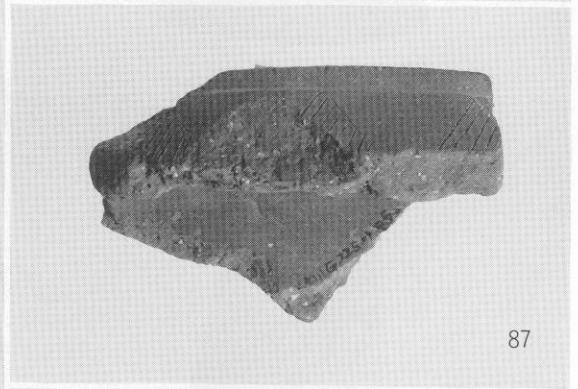
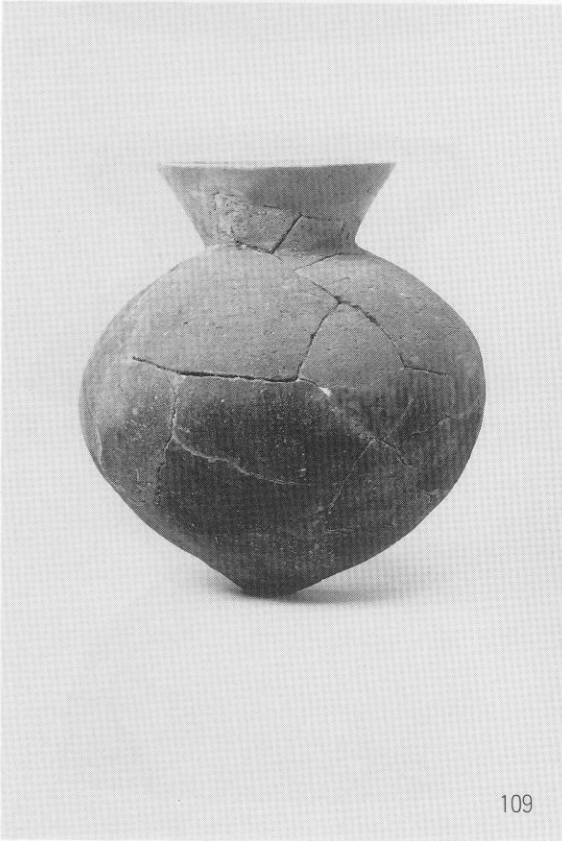
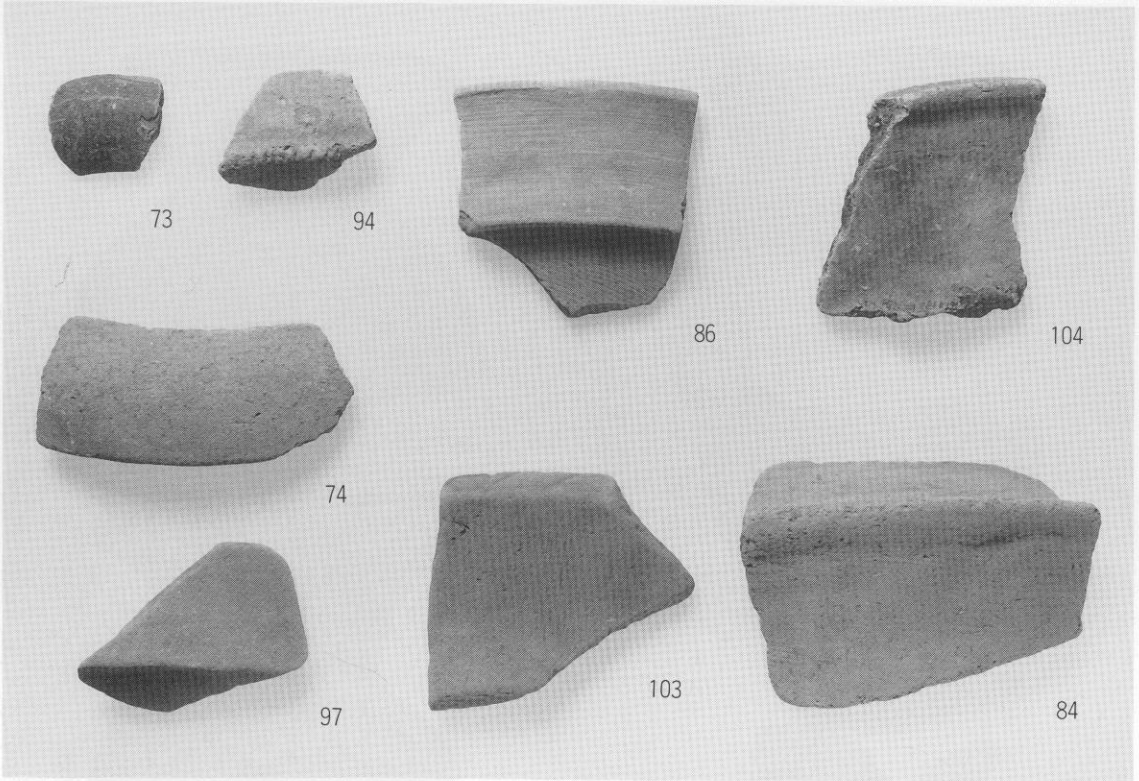
76

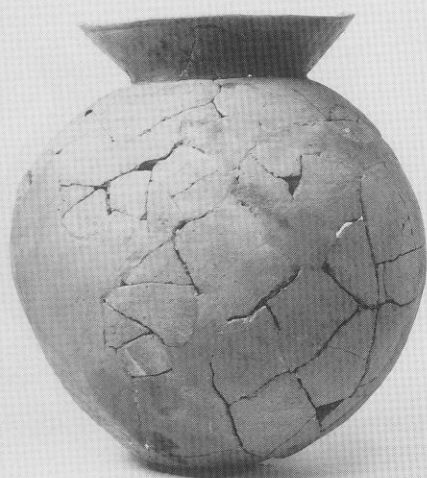


82

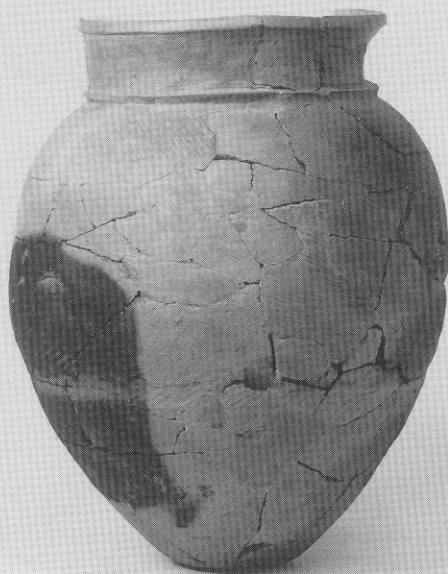


99





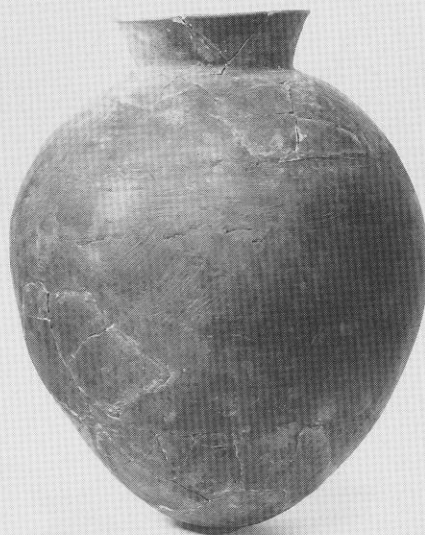
100



105



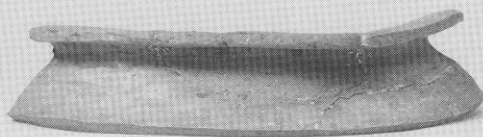
101



106



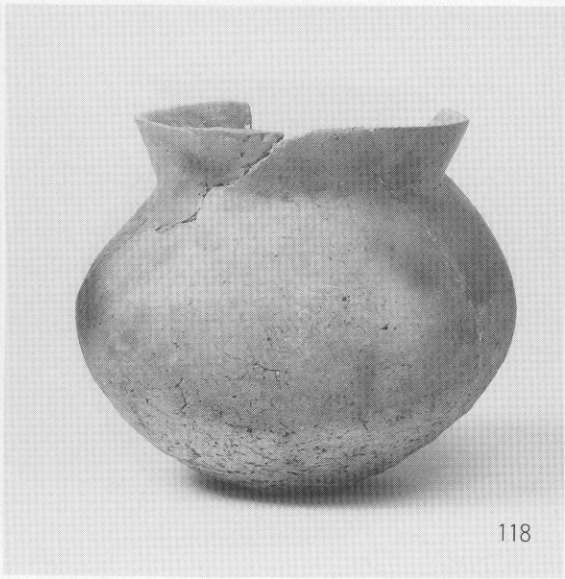
102



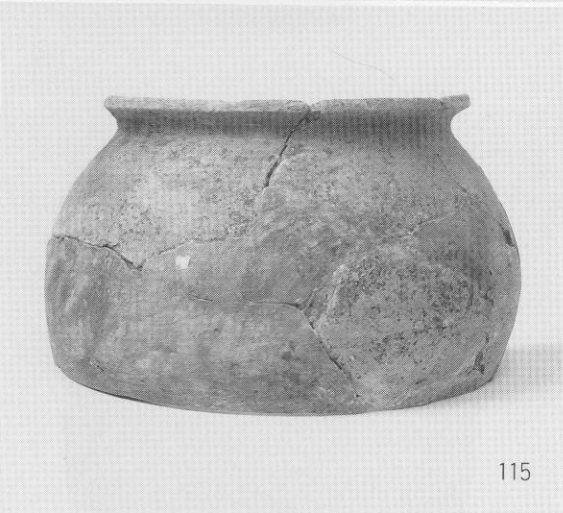
111



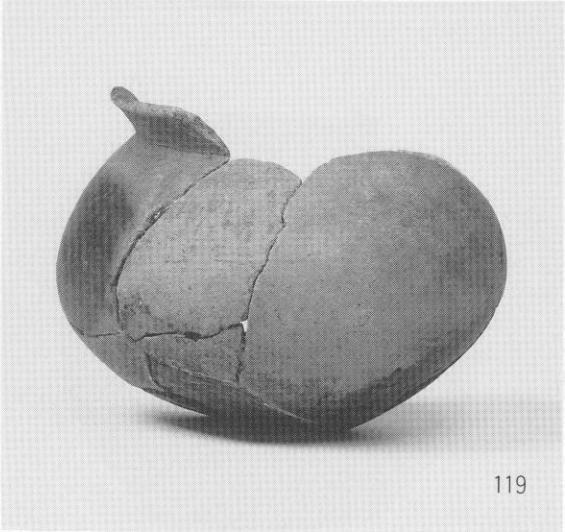
112



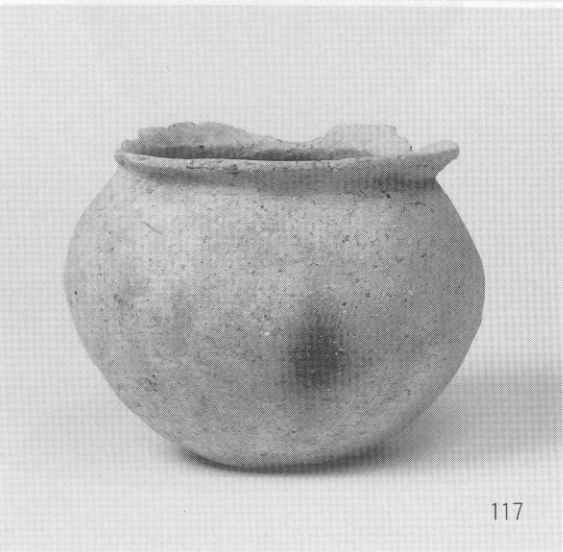
118



115



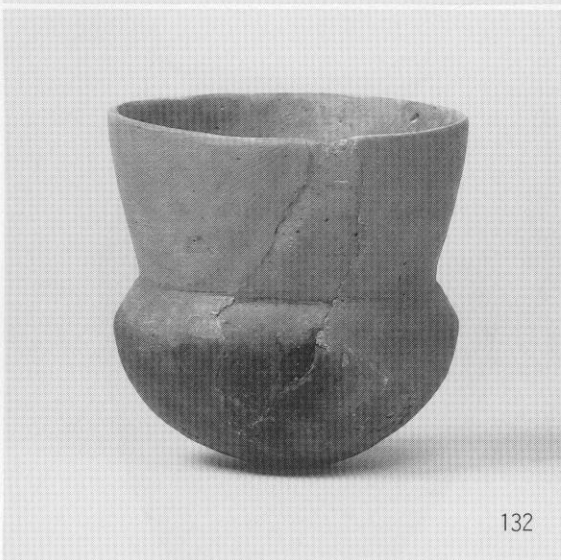
119

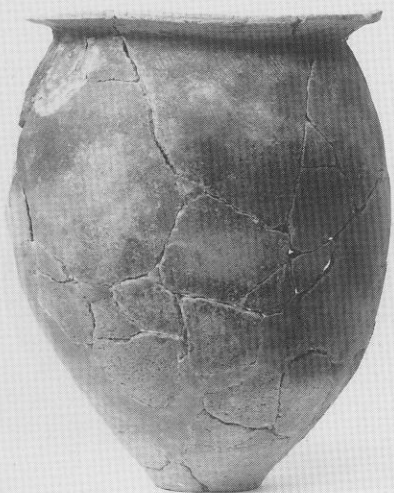


117



124





140



151



141



152

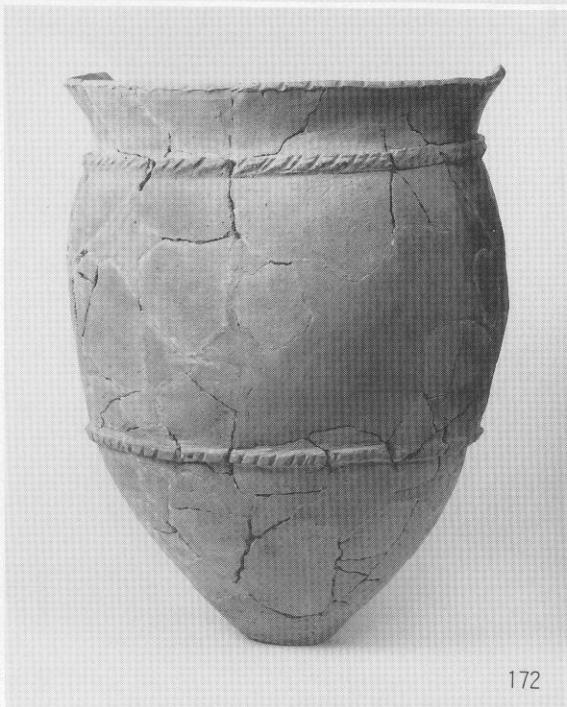
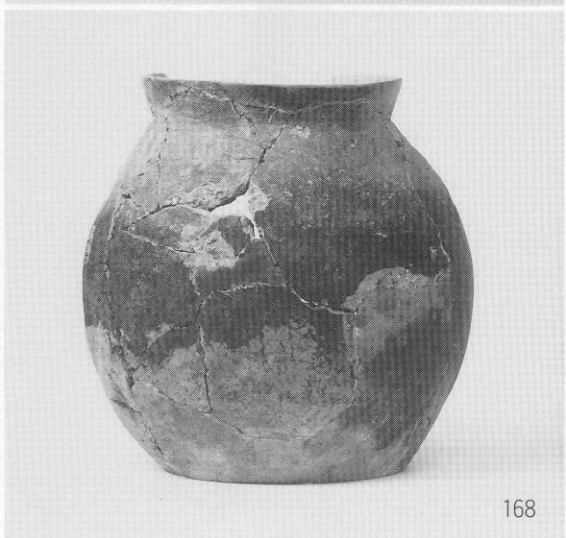
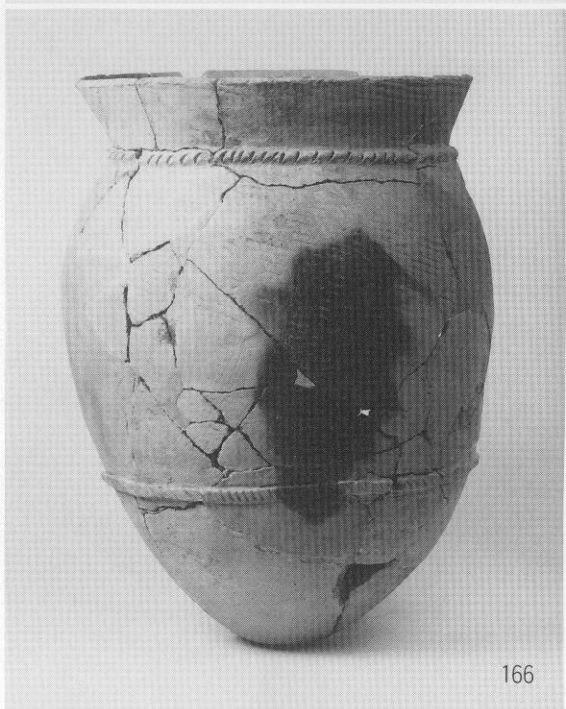
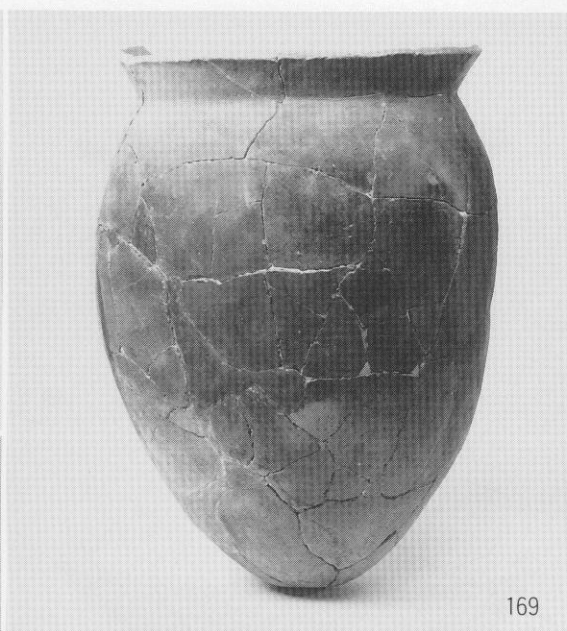
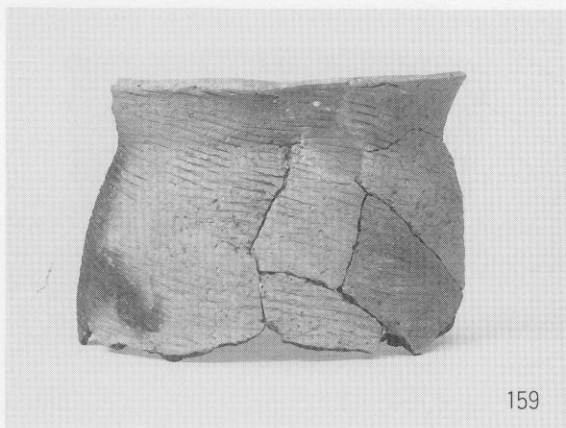


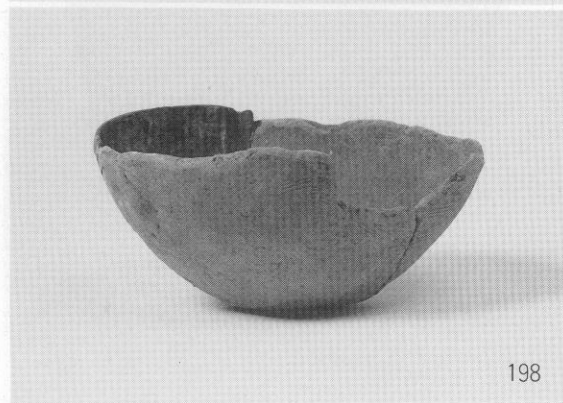
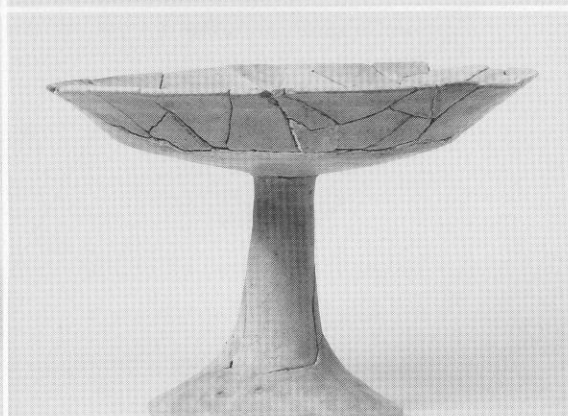
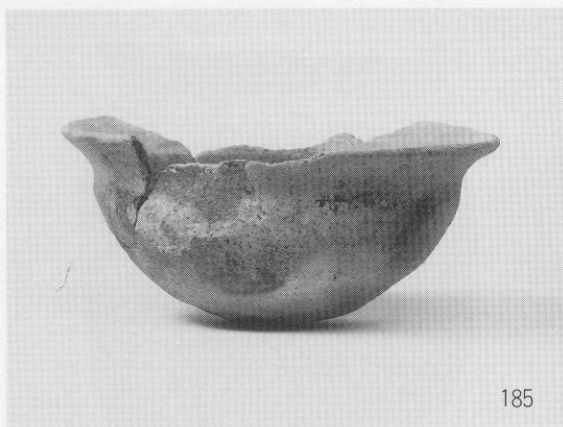
144

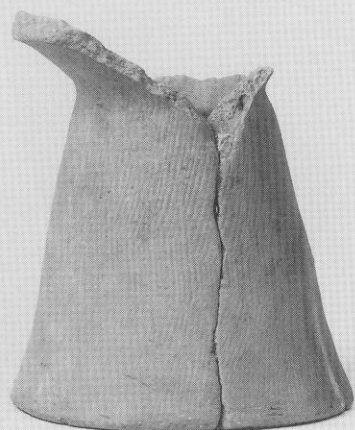


157





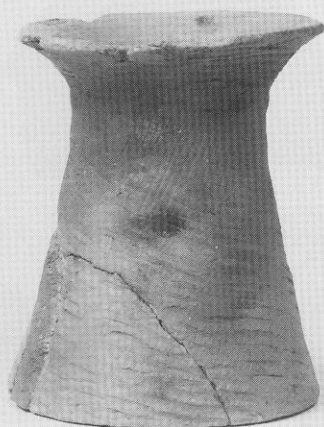




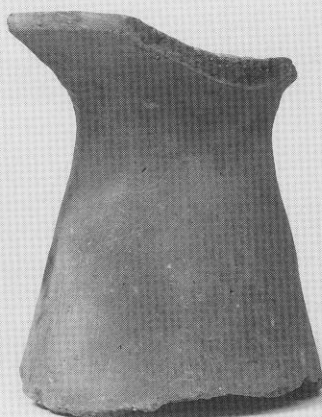
223



227



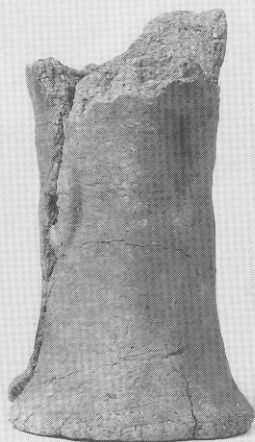
224



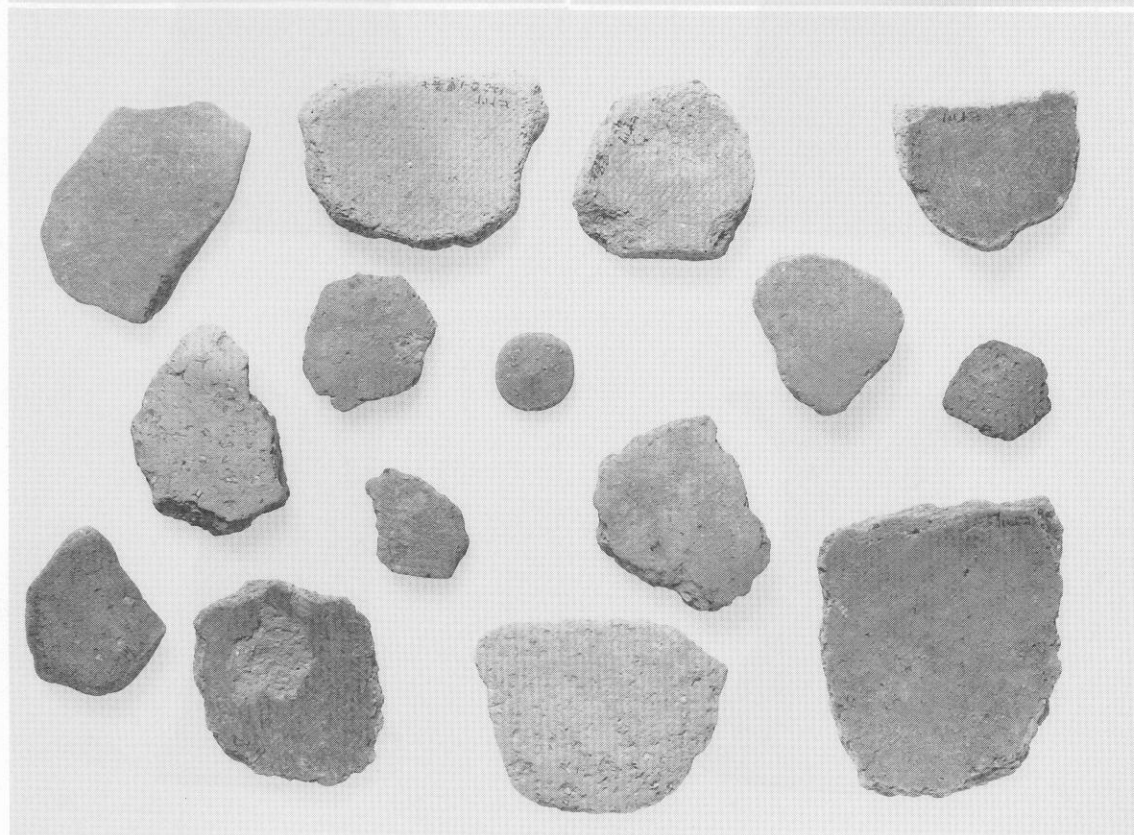
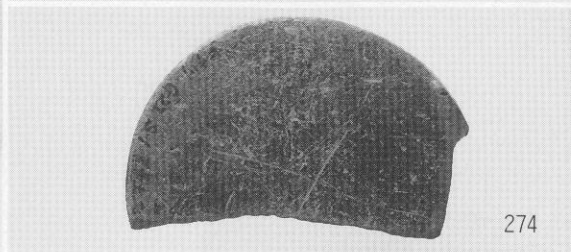
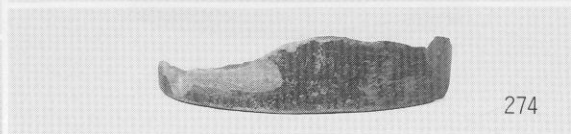
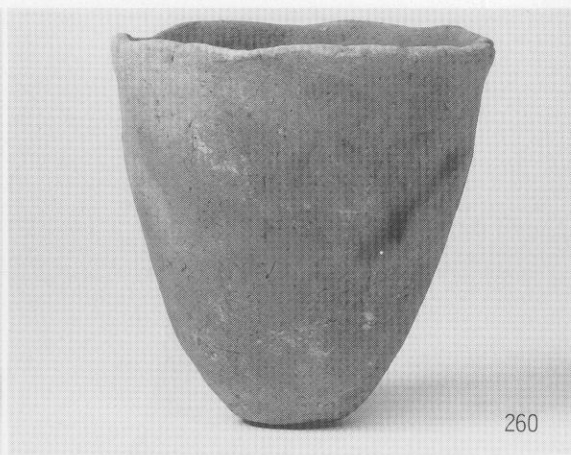
231

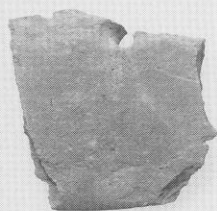


225

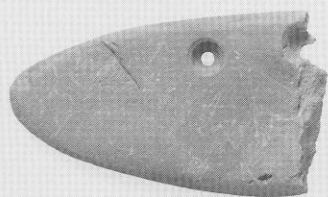


245

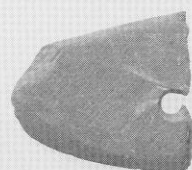




537



538



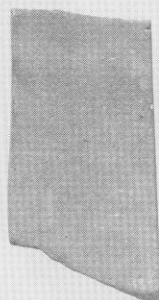
539



540



541

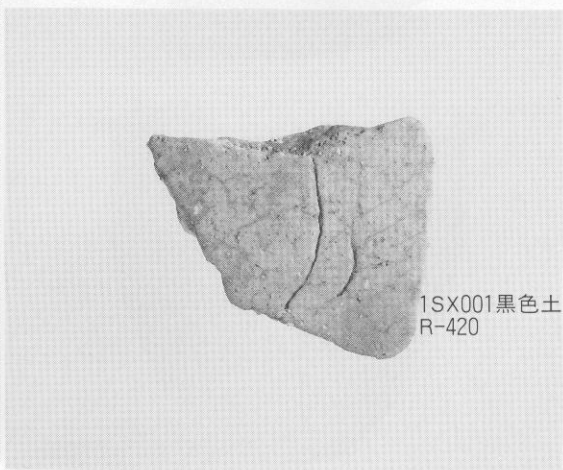
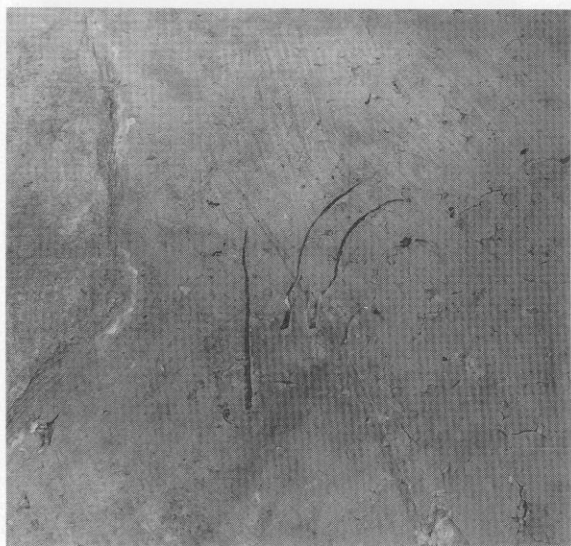
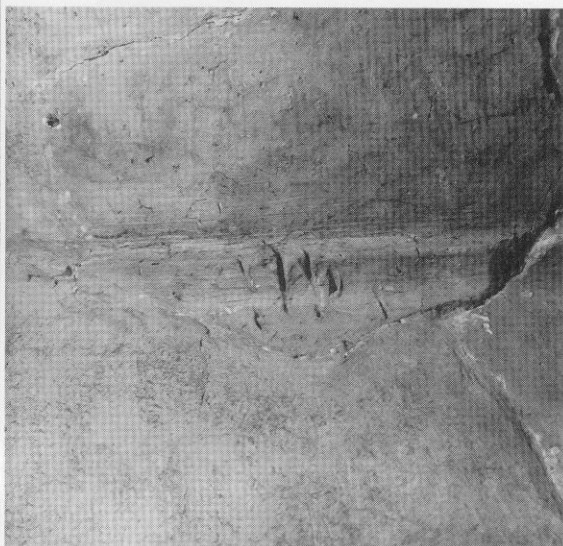


542

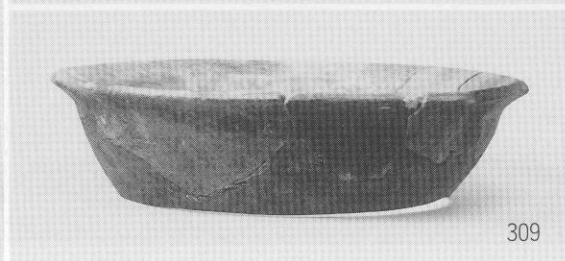
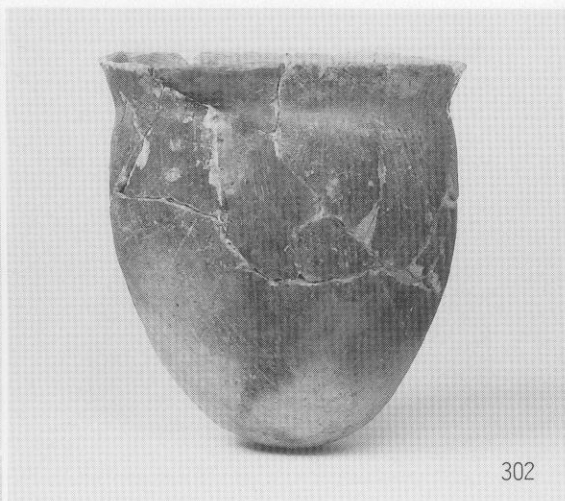


543

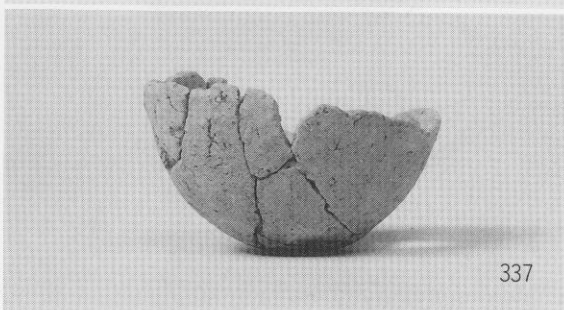
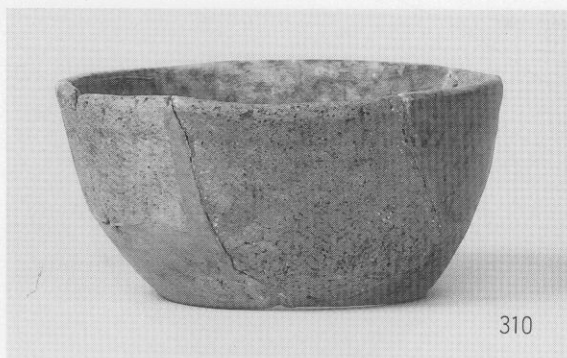




1SX001 (276)  
1SX001 黑色土 (R-420)





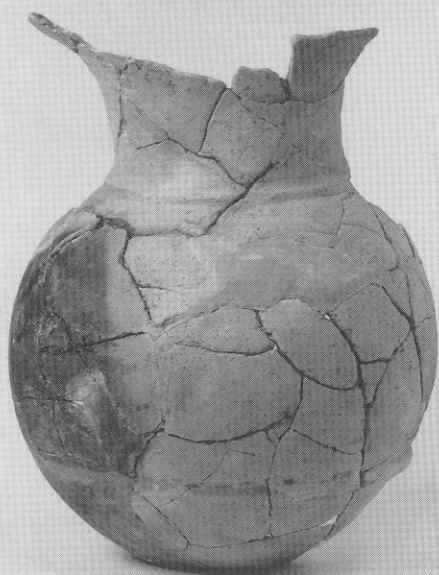




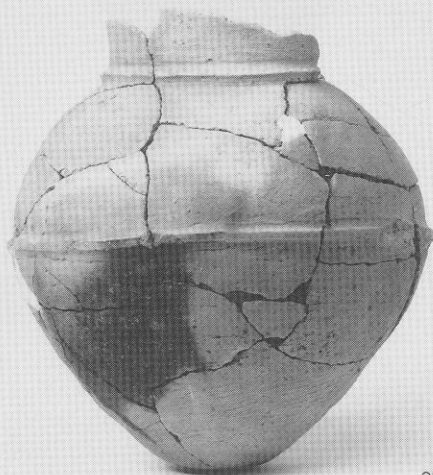
340



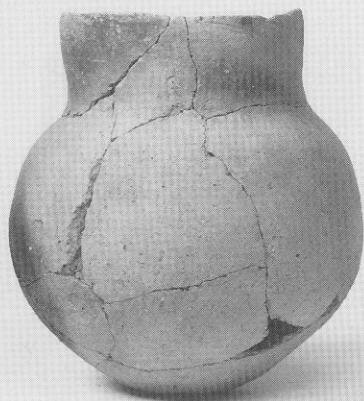
349



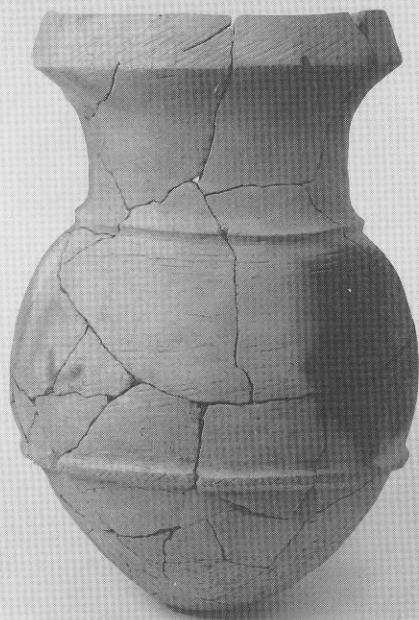
346



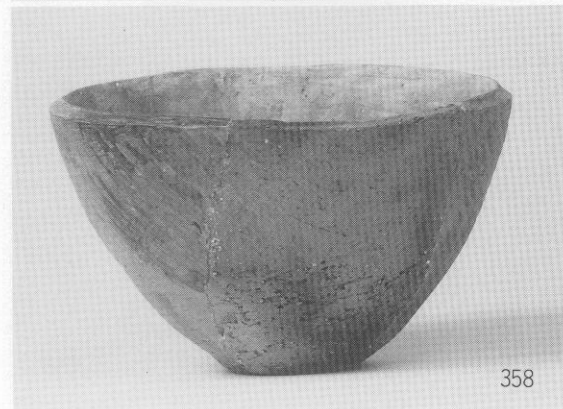
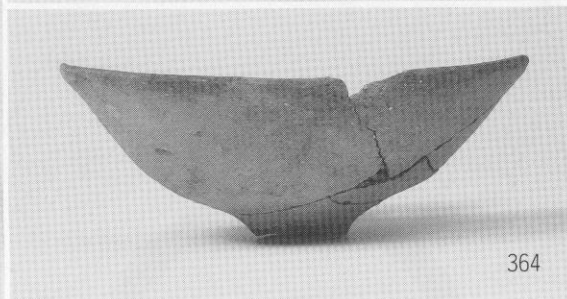
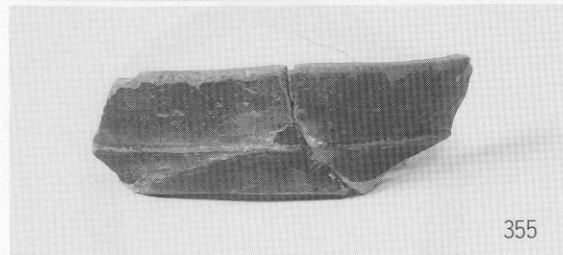
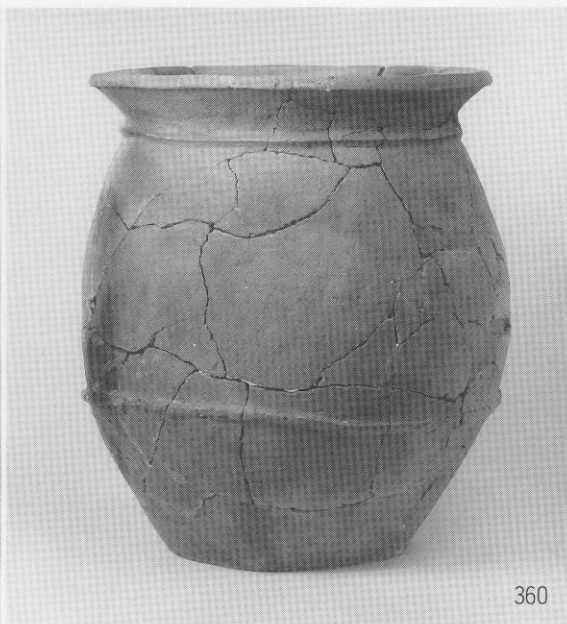
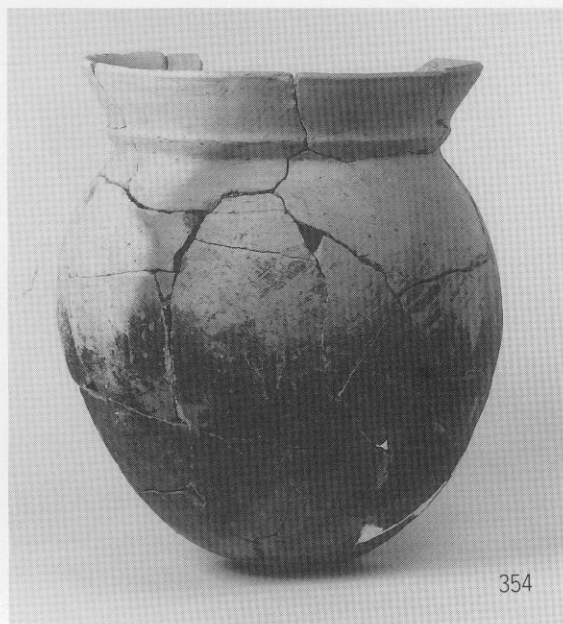
350

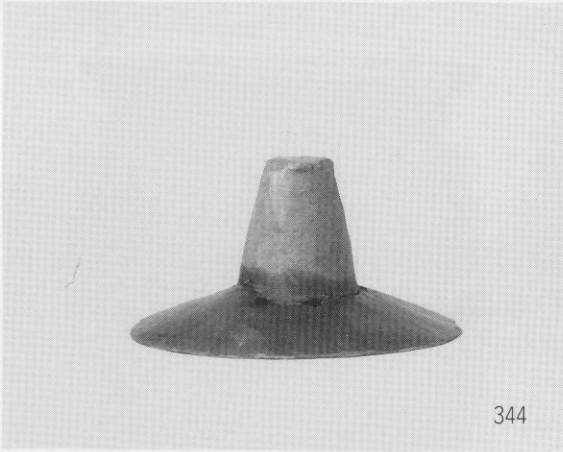


347



351





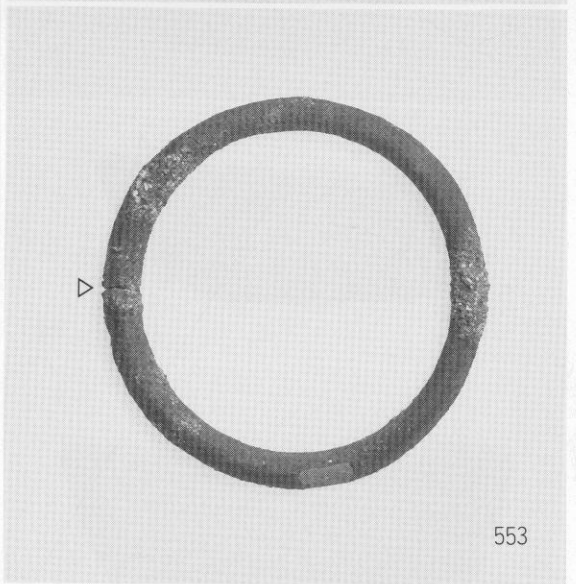
344



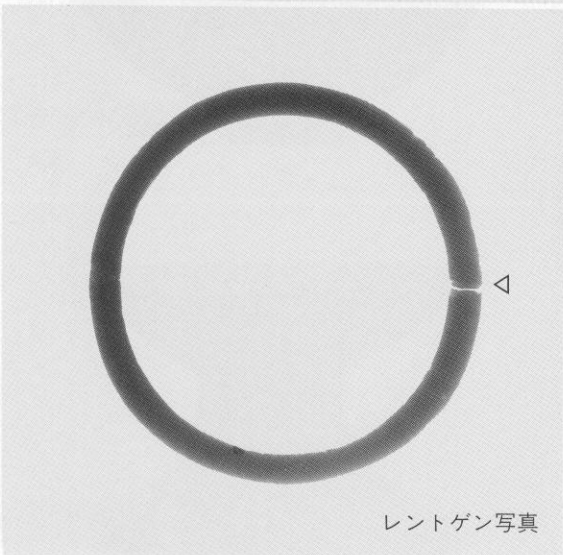
366



553



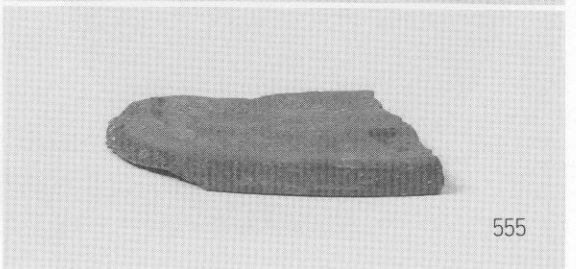
553



レントゲン写真



554



555

1SX001 黒灰土 (344)      暗灰粘 (554)  
 1SK020      (366)      1SD005      (555)  
 1SX001 黒色土 (553)



367



368



369



370



371



372



373



374



375



376



378



379



380



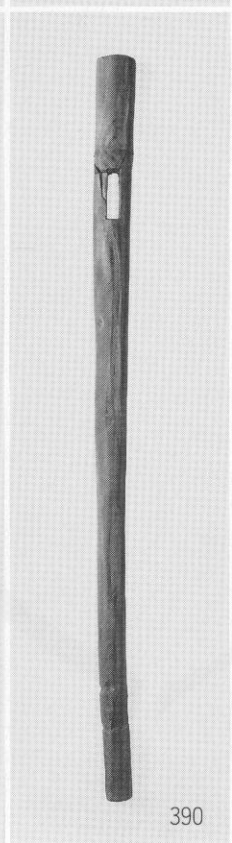
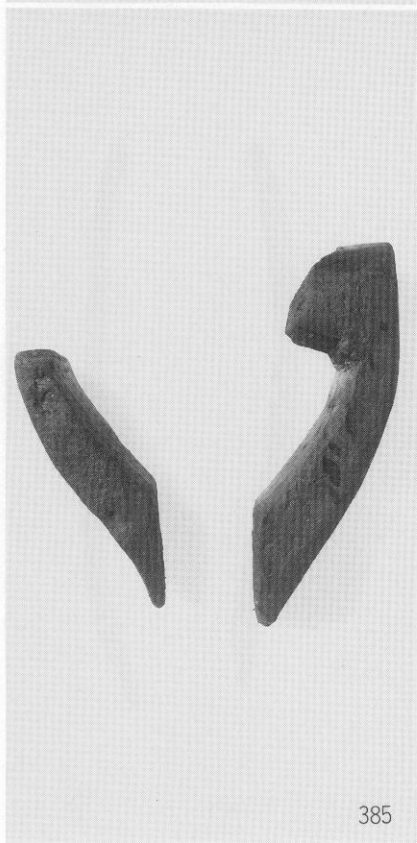
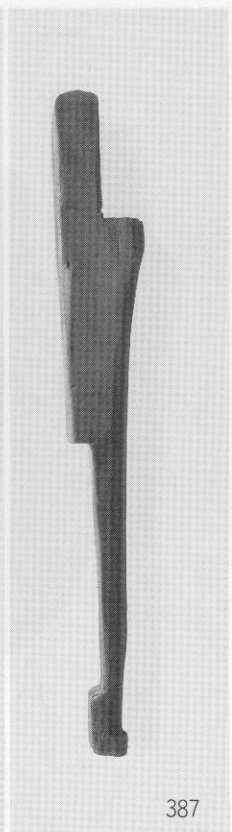
381

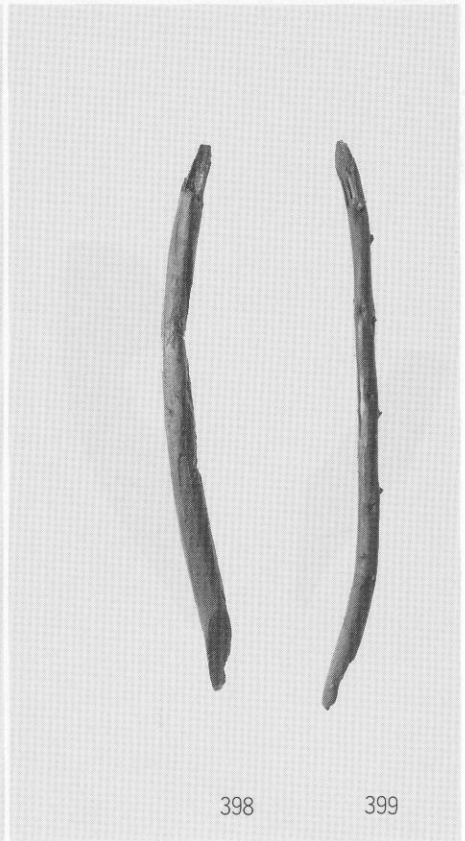
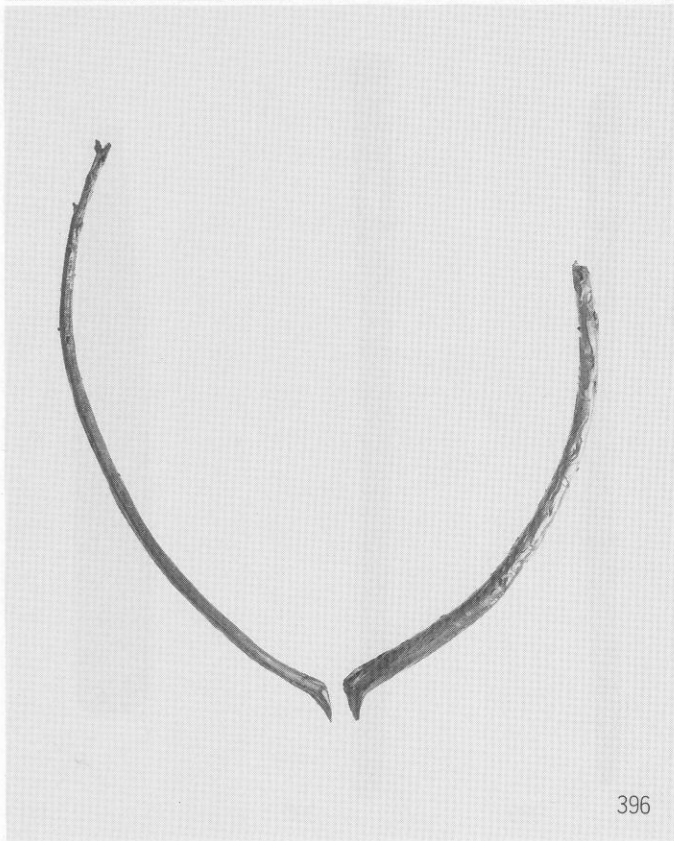
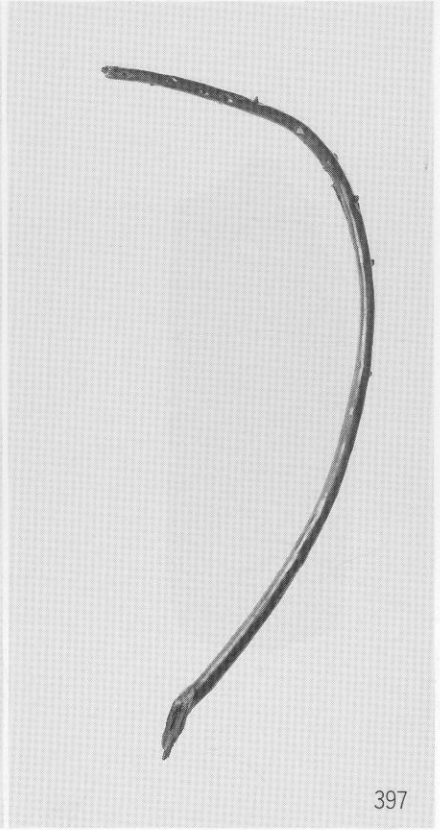
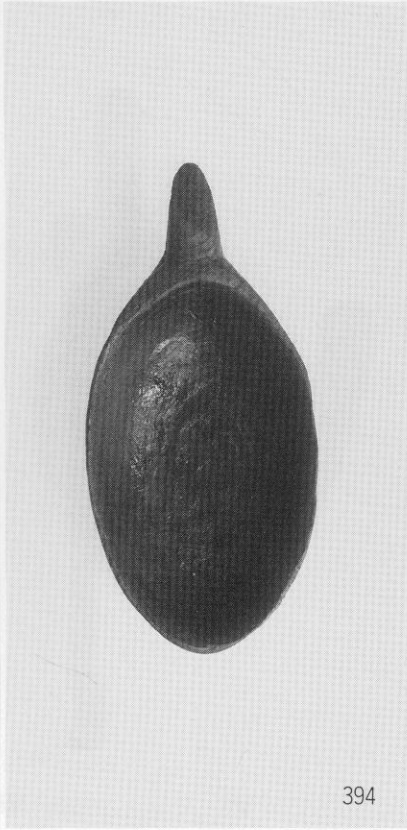


382

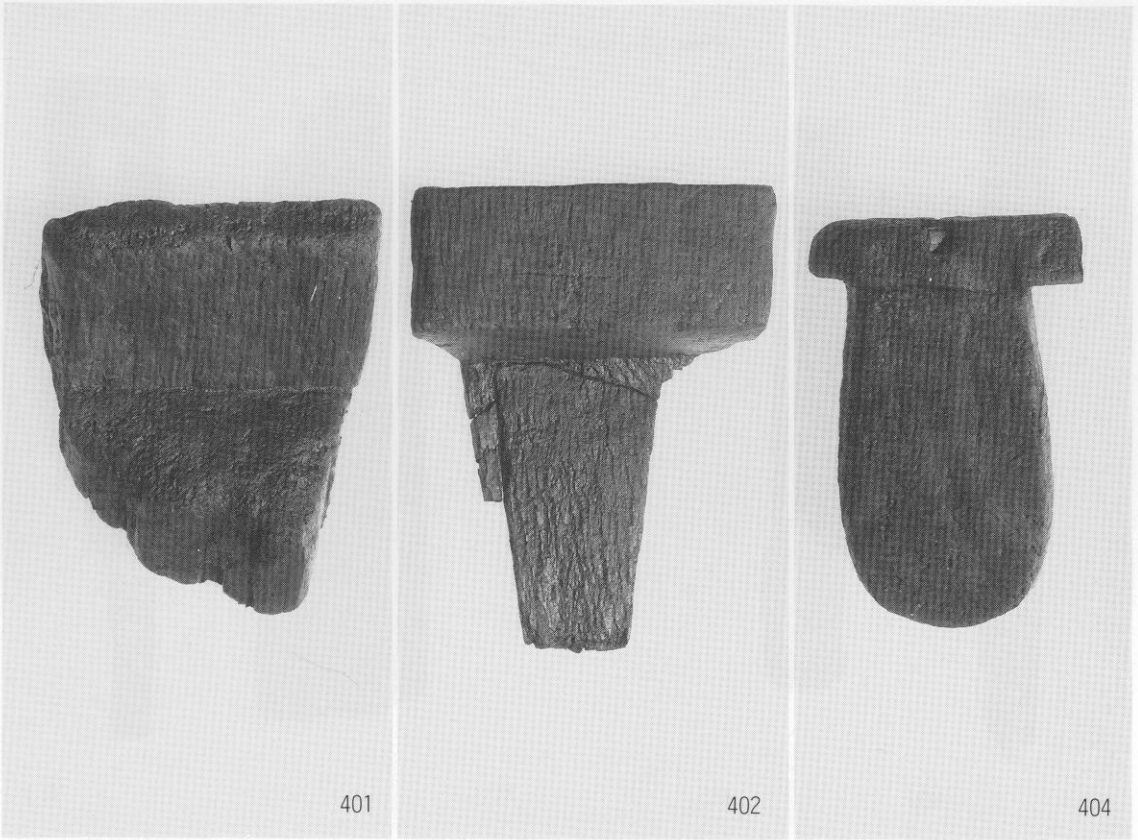


383





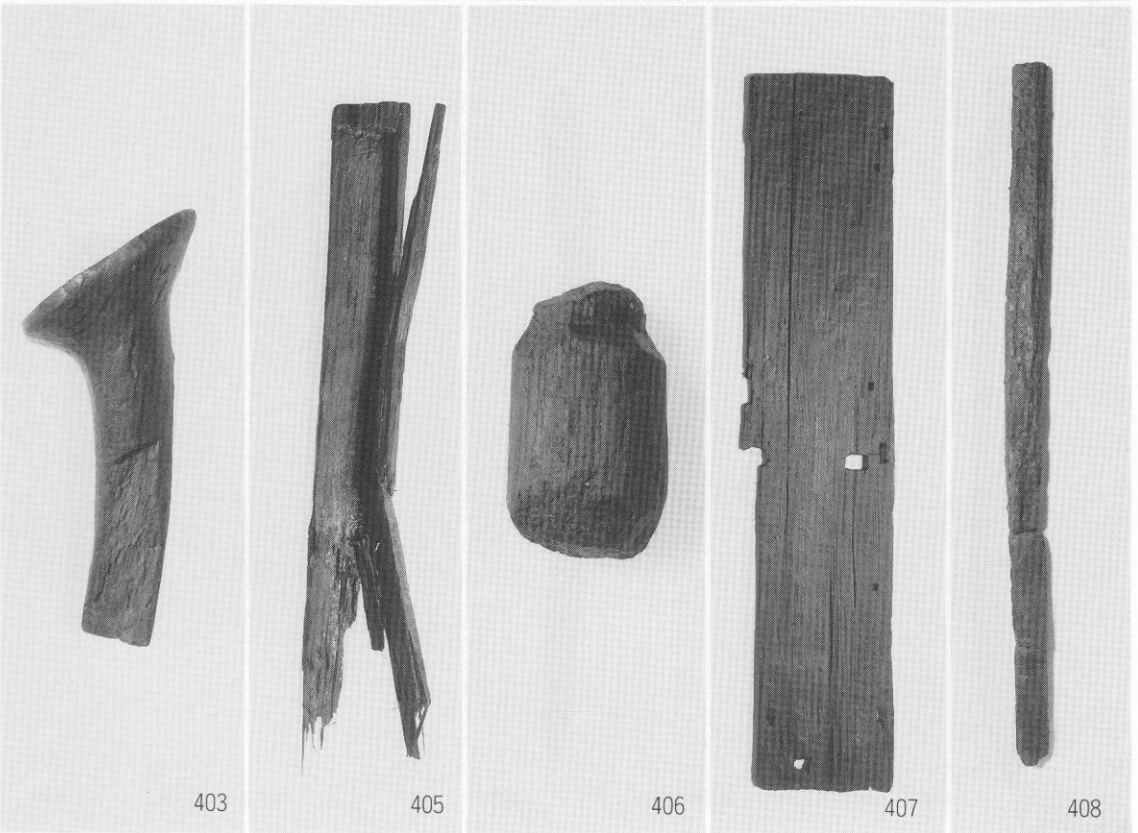




401

402

404



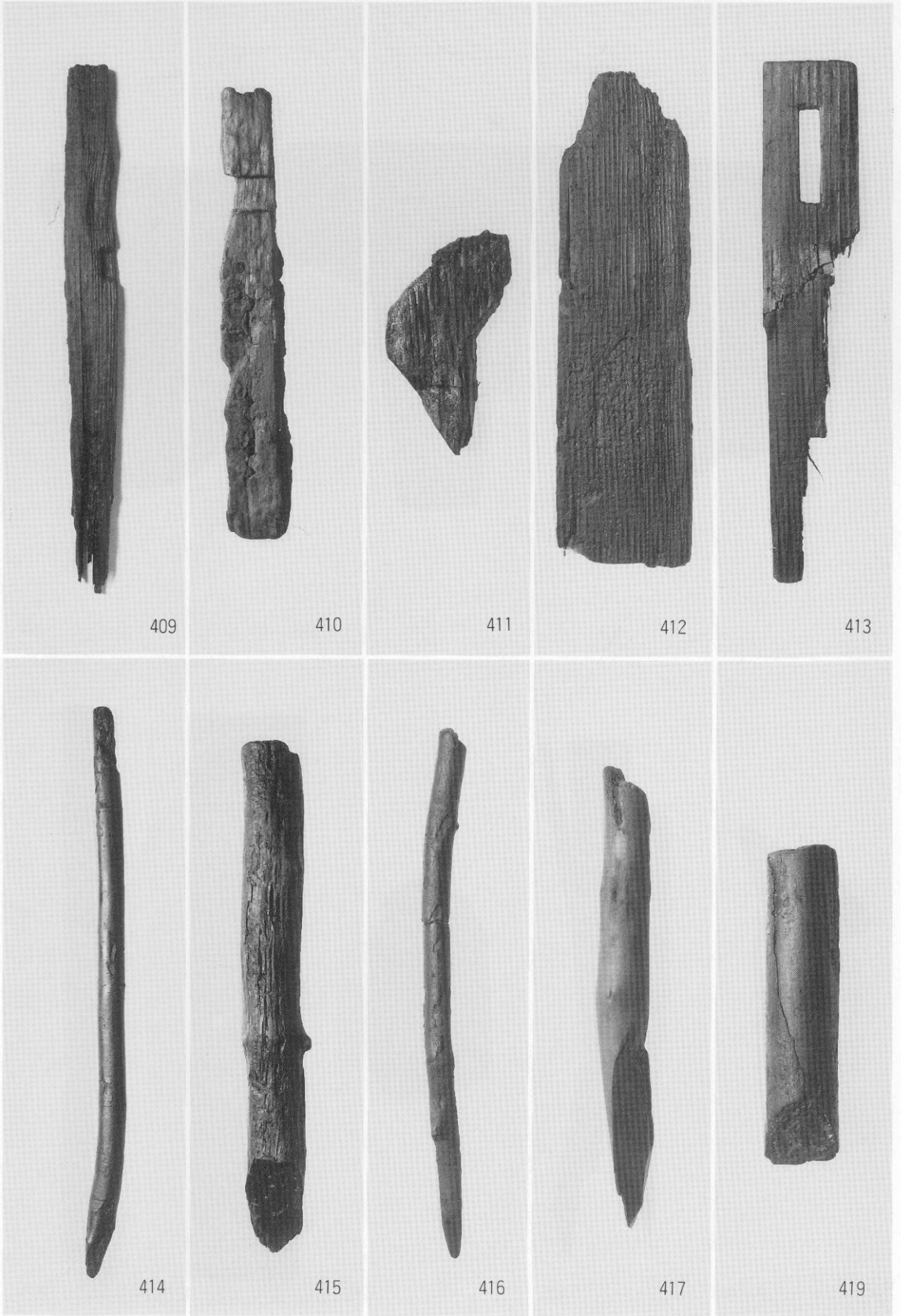
403

405

406

407

408





423



425



429



430



431



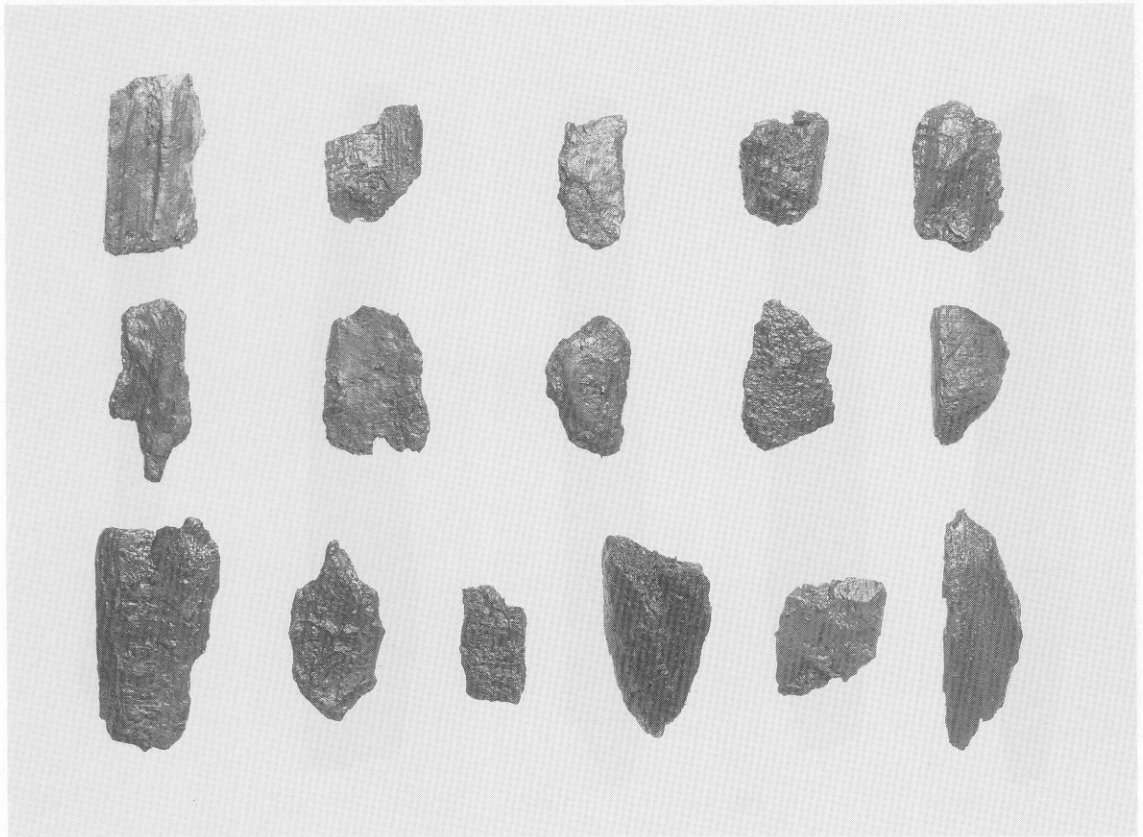
432

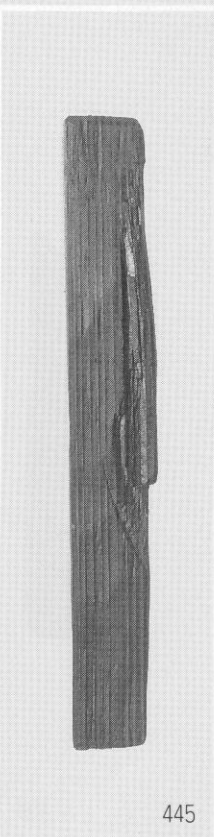
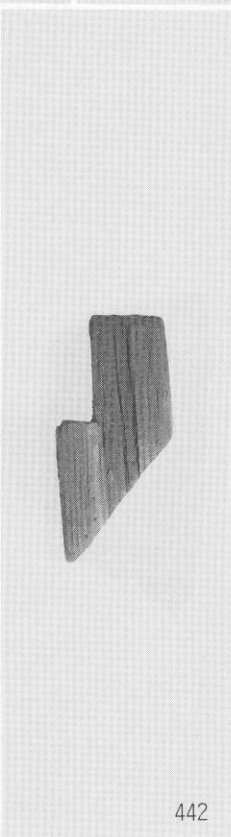
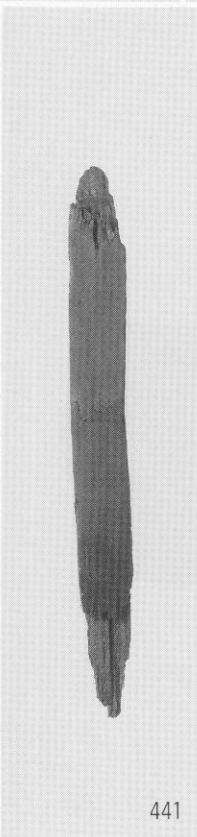
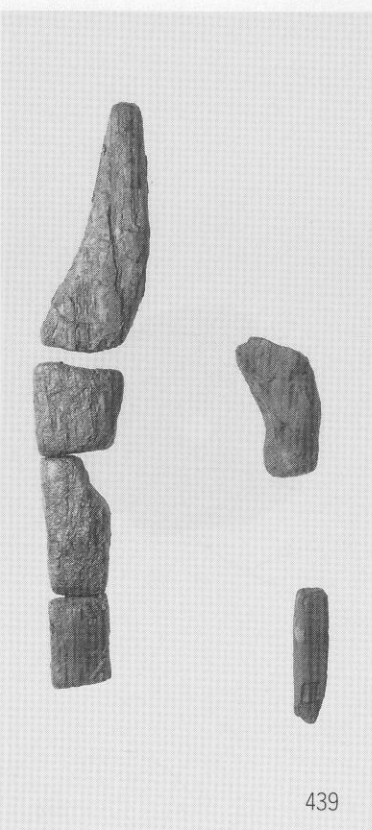
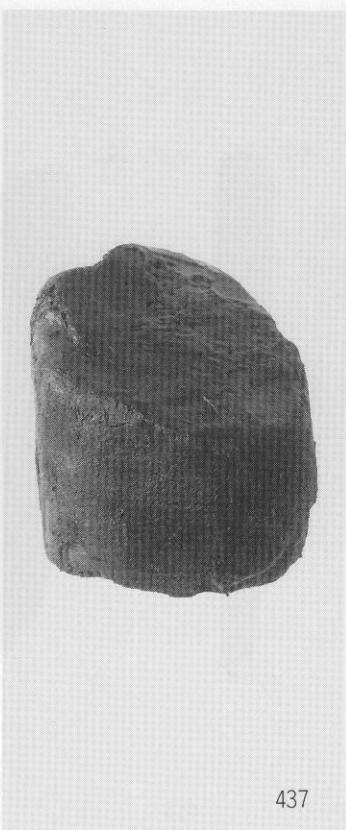


433

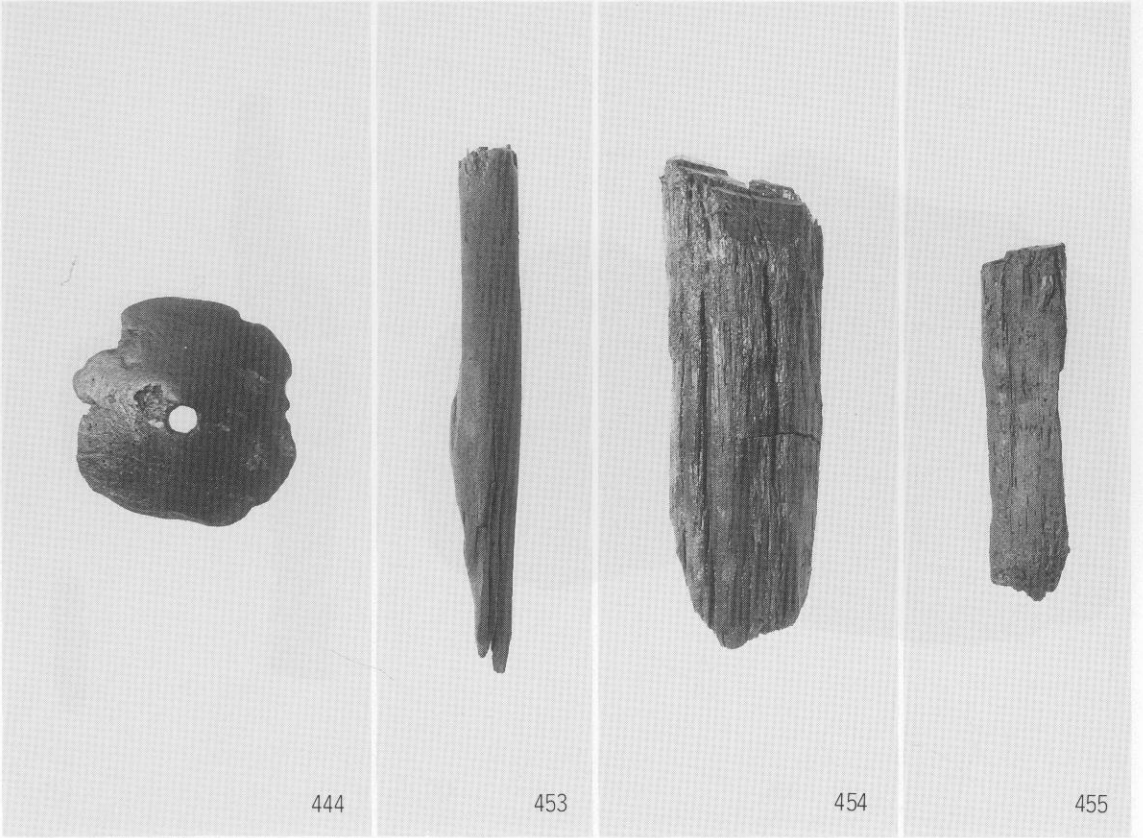


434





1SX001 黑色土 (435~437)  
1SX001 黑灰土 (439~445)

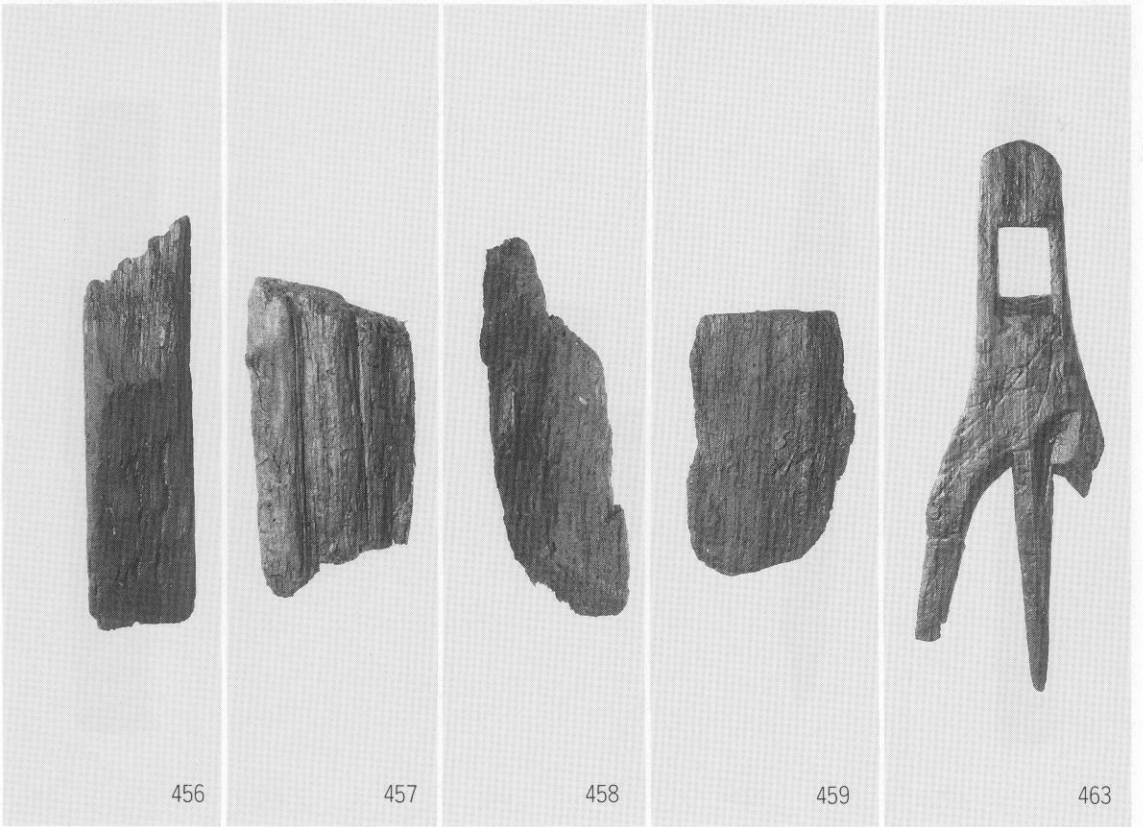


444

453

454

455



456

457

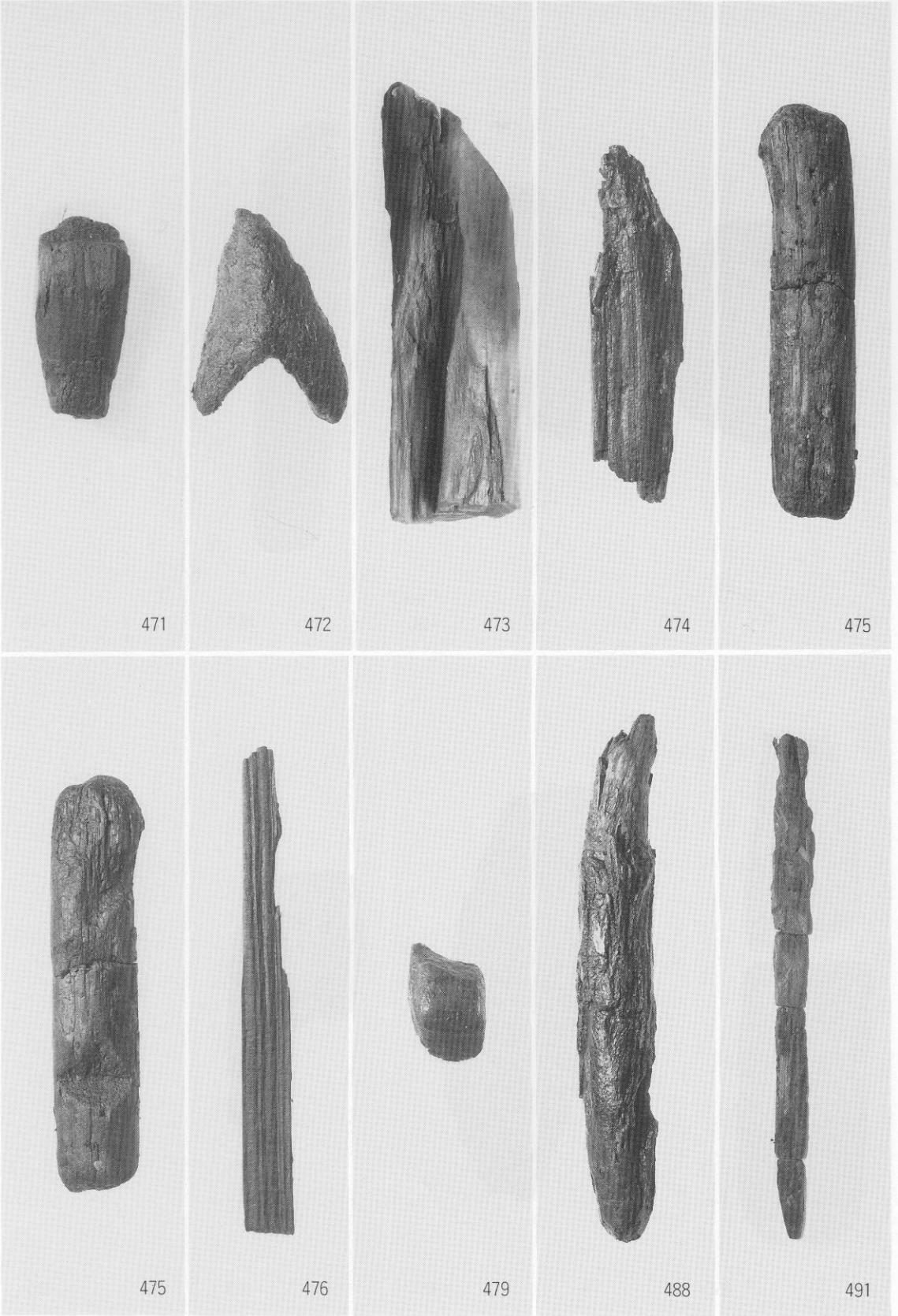
458

459

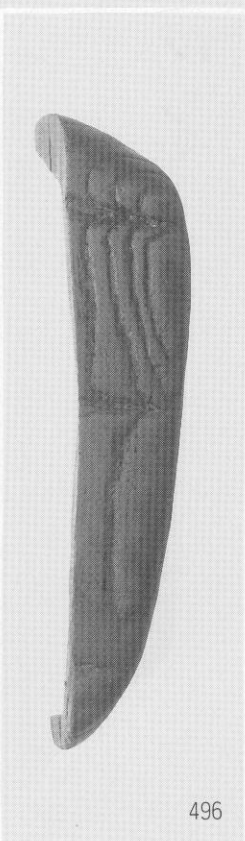
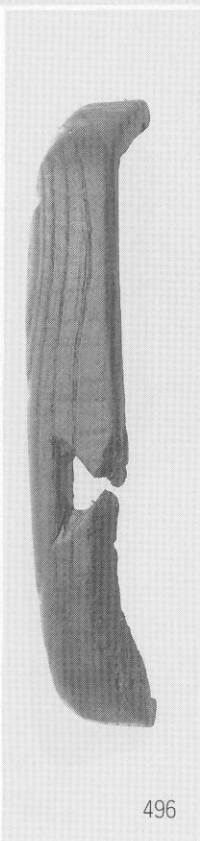
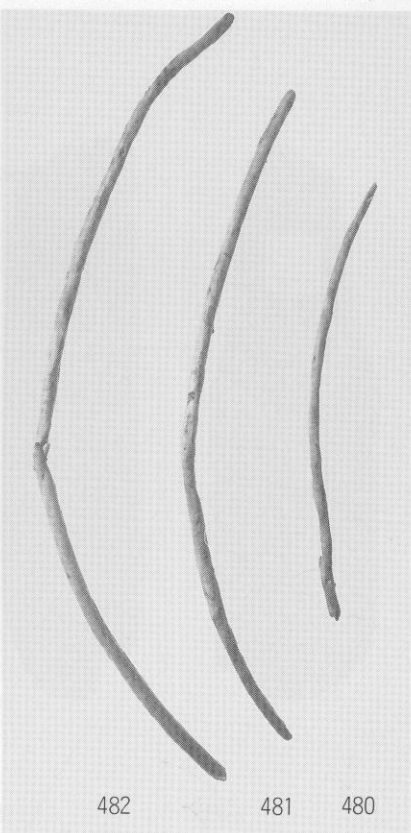
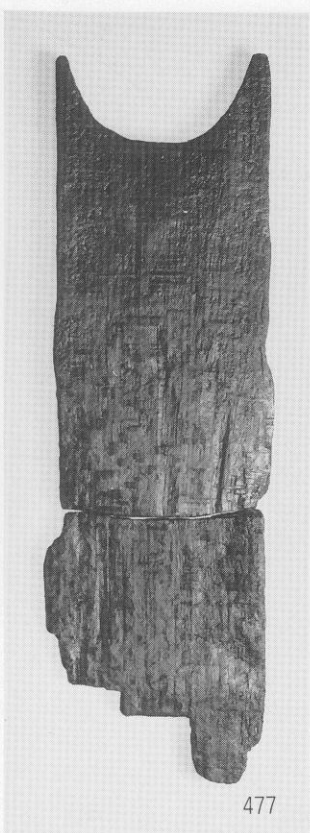
463



1SX001黑灰土(460)  
1SX001 (464~470)









495

510

511

512

513

514

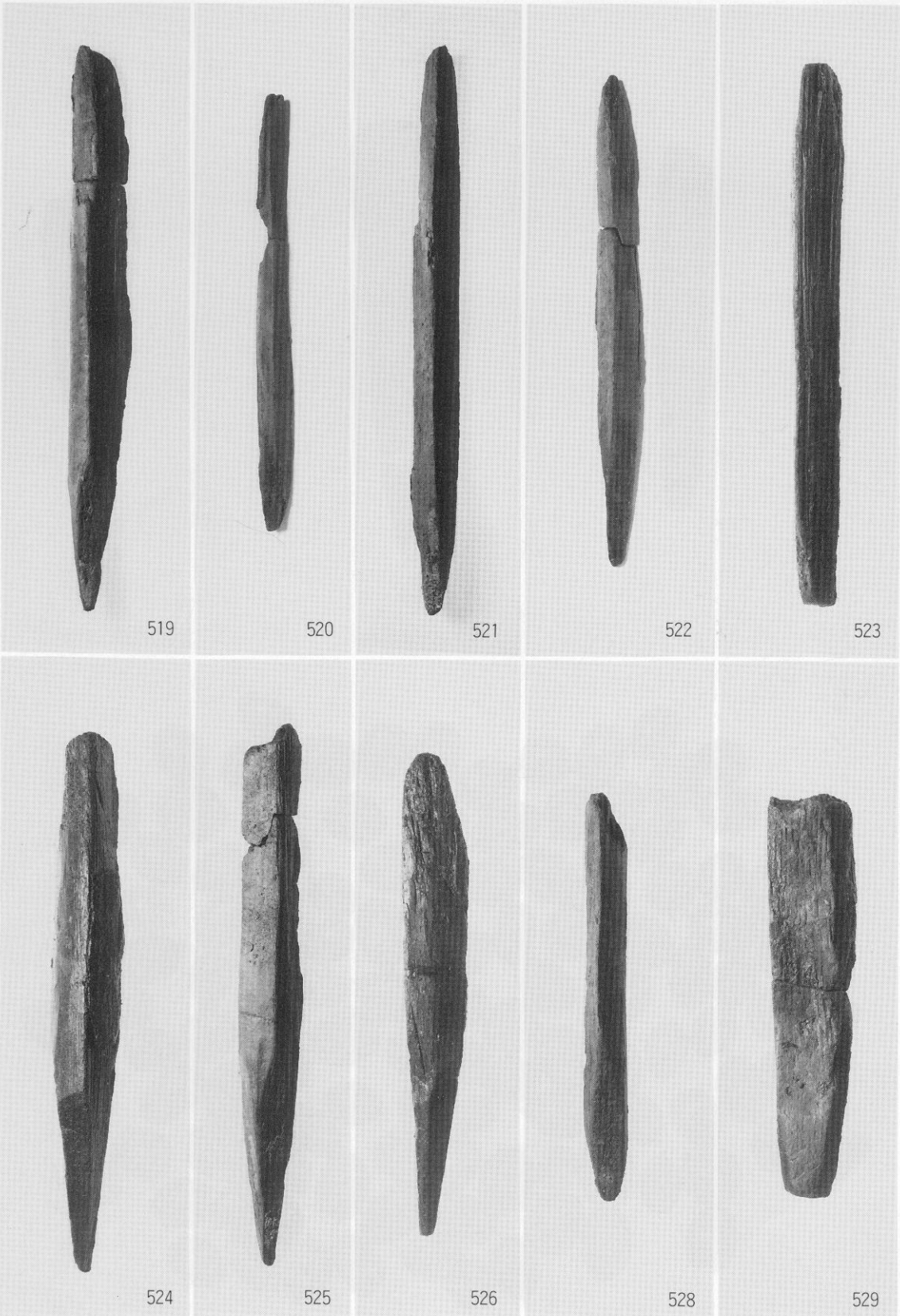
515

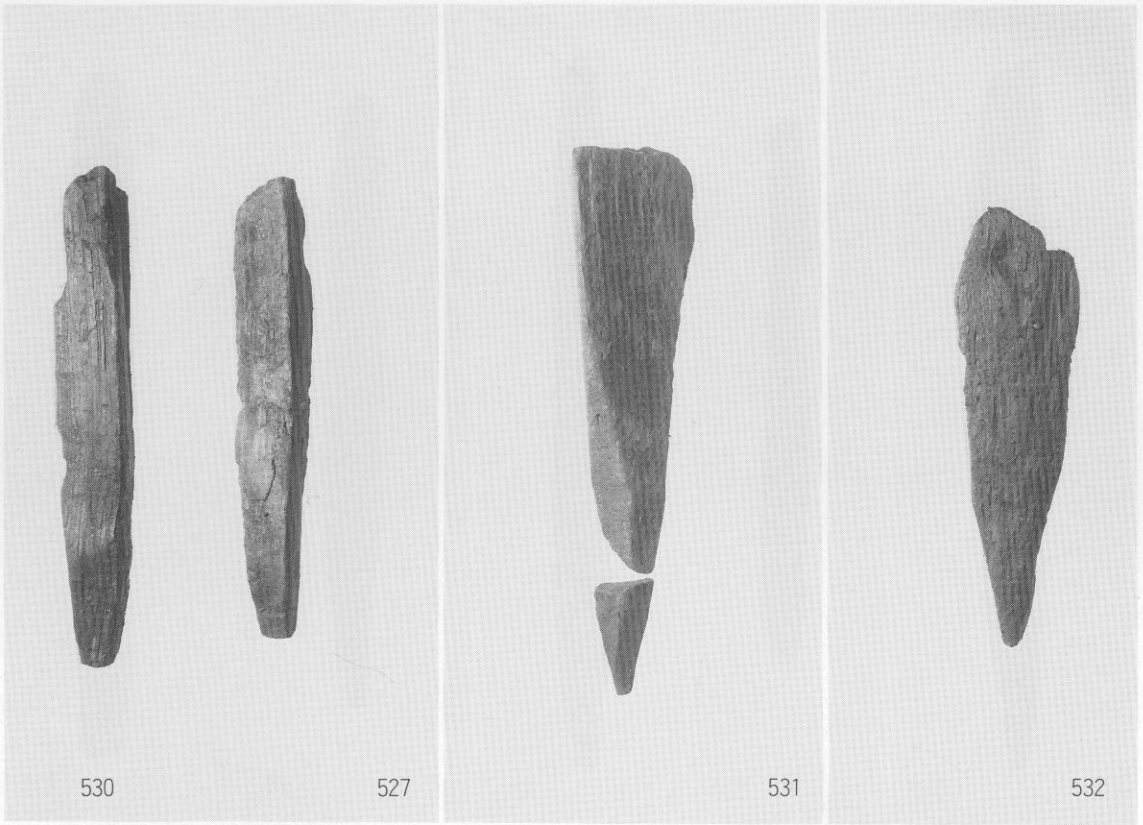
516

517

518

1S001灰色砂層 (495)  
1SX030 (510~517)  
1SX060 (518)





530

527

531

532



1SX060(530~532)  
1SK050「ドングリ」

太宰府・佐野地区遺跡群Ⅵ

— 雛川遺跡第1次調査 —

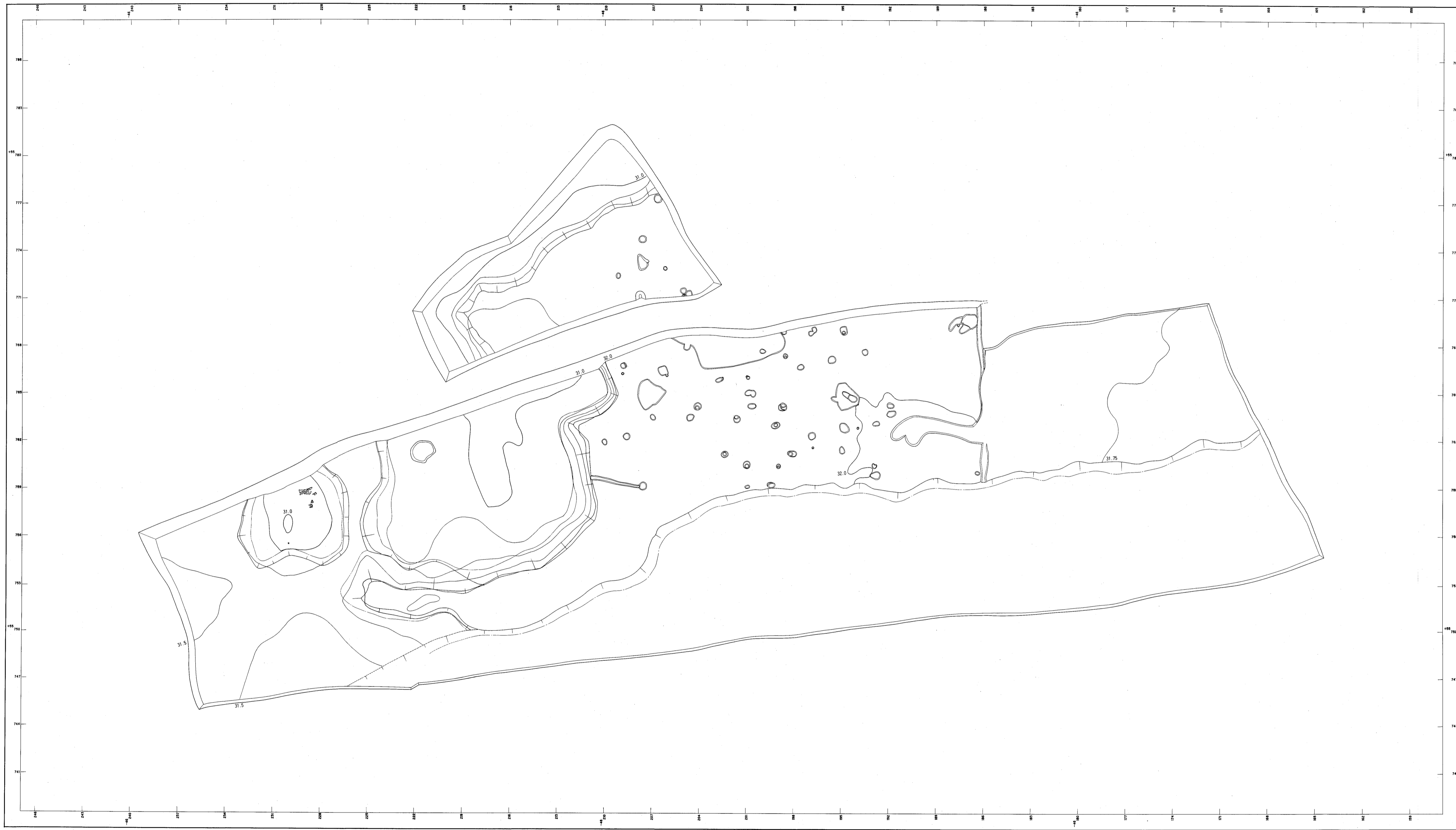
太宰府市の文化財 第31集

平成8年3月

編集 太宰府市教育委員会  
発行 太宰府市大字観世音寺一丁目1番地1

印刷 アオヤギ株式会社  
福岡市中央区渡辺通2丁目9-31

# 雛川遺跡



大宰府市教育委員会

撮影 昭和 63 年 6 月 図 集 系 第 II 系  
測 区 昭和 63 年 7 月 オートグラフ A7、ステレオプロッター A8 等高線間隔 0.5m

1:100

